



マレーシア中華文化教育センター 編訳
台湾NGO法人西有学会 翻訳

第三冊



第三冊

『群書治要』序

『群書治要』は唐の太宗李世民が貞観の初期に編纂を命じた書物です。太宗は十六歳から父と共に従軍したが、十余年の軍隊生活の末に、ようやく動乱の社会を平定することができました。二十七歳に即位してから、太宗は文化の推進にも力を入れました。特に平和な治世を心掛けていた太宗は、民衆たちが日常の営みに専念できるようによく休ませたものです。太宗は武勇に優れていたのみならず、頭脳明晰な人でもいました。そのために、若くして従軍したせいであまり勉強に励めなかったことはいつも心残りでした。また、前の隋の滅亡に鑑みて、ついに始まった新しい時代を持続させていくことの難しさをよく知っている太宗は、群臣が自分を諫め、政策の過ちを指摘するように勧めたのです。太宗は魏徵と虞世南らに命じて、歴代の帝王たちが残した統治の史料を整理させました。さらには、六経四史及び諸子百家の中から、修身、齊家、治國、平天下のエッセンスを取り出し、叢書として編成させました。古くは五帝から始まり、新しくは晋代まで網羅したこの書物は、一万四千あまりの部書と八万九千あまりの古書から六十五種の經典を普く収集し、最終的には五十万あまりの文字数になりました。

完成した本書は魏徵が序文で述べたように、実に「現世で用いれば、前古のことを鑑みられる。後世に伝われば、子孫のためになる」治世の宝典です。太宗は豊かな内容を簡潔

な言葉と鋭い視点でまとめた本書をこよなく愛し、いつも手放しませんでした。「私が何事にも惑わずにいられたのは、卿らの力があつたからです」と、太宗は言いました。

太宗の言葉から分かるように、貞観の治という太平の盛況に本書は莫大な貢献をしていました。本書は政治家にとつて、まさに必読の宝典です。しかしながら、当時の中国では印刷術はまだ発達しておらず、宋朝の初期になると、本書はすでに逸散してしまい、『宗史』にも記録は見当たりませんでした。幸い、日本の金沢文庫には鎌倉時代の日本人僧侶による手書きの謄本が残っていました。そして清朝の乾隆六十年に、謄本は日本人に守られながら、中国本土に送り届けられたのです。上海商務印書館と台湾の出版社はそれぞれこの謄本を元に、印刷して発行しました。二〇一〇年の師走に、浄空は幸運にも本書を得ることができました。何度も読み返していると、無量の歓喜が沸き起こってきました。そして古の聖人と先賢たちが残した文化教育は、この世に永遠の安定と平和をもたらしてくれるという確信を持ちえたのです。最も重要なのは、国人自身が伝統文化を本当に知り、疑念を断ち切って信心を呼び起こすことです。聖賢の伝統文化とは言え、実は一切の衆生自身の性情から顕れてくるもので、時空を超越した新しさを有しています。この文化を学ぶ上で最も大事なのは、「誠敬」の二文字にあります。『曲礼』に曰く、「敬わざることなかれ」。清朝の康熙帝曰く、「民に臨みて主敬を以って本と為す」、「誠と敬とは、千

古に伝わる学でも、此れを越えるものあらざる」。程子曰く、「敬は百邪に勝る」。これらの説明から分かるように、修身し徳を積み、世に利をもたらし民を救済できるのは、ただ「誠敬」の二文字のみです。もし古の聖人と先王たちの教育に対する誠と敬がなければ、たとえ多くの典籍を読んでも、実益を得ることは難しいでしょう。孔子曰く「述べて作らず、信じて古を好む」もこのことを立証しています。

孫中山さんは三民主義についての演説（民族主義第四講）で、このように言いました。「ヨーロッパの科学の発達、物資文明の進歩は、たかがここ二百年あまりのことです。政治と哲学の真理となると、ヨーロッパ人はまだ中国に教えを請わなければなりません。諸君の知っている通りに、この世で最も優れた学問を有しているのはドイツです。しかしながら、ドイツの学者たちは中国の哲学をも勉強しているだけではなく、インドの仏教をも研究しています。全ては己らの科学の偏りを正し、補うためです」。

イギリスのトインビー博士はさらに言いました。「二十一世紀の社会問題を解決したければ、孔子と孟子の学説と大乘仏教の道を精進するのみです」。今日の世界では様々な乱れが見られます。もし世界を、中国を救いたいのであれば、ただ中国の伝統文化教育がこの使命を果たせるのでしょうか。祖先たちが今まで伝わってきた治国の智慧、理念、方法、経験と効果、いずれをとつても千万年という長い試練の時を越えて累積された宝であり、

結晶でもあります。『群書治要』は至高の珍宝であり、非常に尊いものです。もし深く理解して実行することができたら、天下の太平も、個人の幸福も、自ずと得られましょう。逆に、その道に背いた者は、自ら災いを招き入れることを免れず、絶えない災厄に悩まされることでしょう。浄空には分かっています。今日、『群書治要』が再現できたのは、神聖な使命があるためです。両岸三地及び世界各国、各党、各レベルのリーダーたちが共に学べるように、浄空は喜んで世界出版社に一万セットの印刷を依頼しました。調和の取れた社会、大同の治の世の中は期待できましょう。『群書治要』が間もなく重版できるところを、嬉しく思っています。浄空は序文を書くように依頼されたが、この数句の言葉に、歓喜と讃嘆の気持ちを込めて。

浄空

二〇一〇年十二月二十八日 ホンコンで

『群書治要三六〇』序

『群書治要三六〇』は中国古代の聖人と先王たちが太平の盛世を治めたのに用いた智慧、方法、経験、効果等を集めた大成でさり、千万年の試練を経て積み重ねられた文化の結晶です。この宝典は唐の太宗が「貞観の治」を開創するのを助けて、その後三〇〇年間の盛世に必要な基礎を築いたものです。必ずや、各階級に属する今のリーダーたちにとっても、貴重な参考になればでしょう。このことだけではありません。異なる領域と身分の社会大衆にとっても、本書は智慧の泉のように、心身安楽、家庭円満、事業永続など様々な幸福をもたらします。本センターの導師である釈浄空老教授は中華文化の伝承をいつも気にかけていました。二〇一〇年の末に先祖たちのご加護のお蔭で、この宝典は最終的に老教授の手に渡ることができました。本書こそ今の社会問題を解決する良策だと知っている老教授は嬉しさを抑えきれずに、すぐさま世界書店に印刷と流通を依頼しました。老教授がマレーシアでナジブ首相とマハーティル前首相に訪れた時、『群書治要』の内容を簡単に紹介したが、二人はすぐに英語版を読みたいと言いました。老教授はこのことからヒントを得ました。『群書治要』を三六〇カ条に節録して現代文と各国の言葉に翻訳し、世の人々に手にとってもらいやすいようにすることです。老教授はこの任務を本センターに託してくれたために、本センターは『群書治要三六〇』を編集するゆかりになります。老教

授はこのプロジェクトこそ、世界平和にとって最も大きな貢献になれると考えて、これからの十年間で毎年、『群書治要』の中から三六〇カ条の原文を選び取り、各国の言葉と文字に訳して流通させるつもりです。

『治要』は経、史、子から選定し、合計六十五部、五十卷になります。その目録は『周易』、『史記』、『六韜』など経史子の書目を順番に並べたものです。本センターの編集では、『群書治要三六〇』シリーズを六つの大綱に分けました。君道、臣術、貴徳、為政、敬慎、明辨の六つです。それぞれの大綱の下に、また『治要』で述べられた関連のある項目を細目として入れました。この新しい綱目が、読者が『群書治要』の精神を理解する助けになれば、幸いです。

『群書治要三六〇』の編集及び翻訳作業は始まって間もなく、中国大陆、台湾と香港、マレーシアなど各地の人々のご協力を頂いたが、ここで併せて心から御礼を申し上げます。

本編集及び翻訳チームは徳も学識もまだまだ未熟なもので、本書には至らぬ所が多くあるでしょう。どうか皆様のご助力を受け賜わりますよう、よろしくお願いいたします。昔の聖人や先賢たちの智慧ある導きの下で、大衆が心身安楽、家庭円満、事業順調などの幸

せにめぐるように、心から祈っております。また、本書が社会の衝突と対立を解決し、安定した平和な素晴らしい世界に変えることを願っています。共に手を携えて、平和の道へと歩みましょう！

マレーシア中華文化教育センター

二〇一五年七月十二日

『群書治要三六〇』翻訳についての説明

本翻訳書はマレーシア中華文化教育センターが編集及び翻訳したバージョン（二〇一五年七月十二日）を元に行われた日本語の翻訳です。『群書治要』には六つの大綱があり、君道、臣術、貴徳、為政、敬慎、明辨などです。そして、これら六つの大綱からなる治世の宝典から、さらに細心の注意を払って三六〇カ条の項目を選び出した。本書の翻訳プロセスは以下の通りです。三六〇カ条の古文に対しては原典の漢文を保留しながら、外国の方たちにも分かりやすいように、意味解釈では中国語の現代文を日本語に翻訳しました。

本学会が『群書治要三六〇』日本語版の翻訳を依頼された時、浄空老法師の序文を拝読して、私たちは無上の感動を覚えました。その昔、中国では印刷術がまだ発達していません。私たちが『群書治要』は宋朝の初期ですでに散逸してしまいました。幸いにも、日本にはまだ鎌倉時代の僧侶が手書きで写した『群書治要』の全巻がありました。清の乾隆六十年（一七九五年）に、日本人に守られて、貴重な奇書である『群書治要』はようやく中国に戻られて、今に至ります。この度の翻訳は、華夏民族の子孫である私たちが、大和民族の子孫である皆様に恩返しをするまたとない機会であり、実に嬉しい限りです。

聖賢の遺した伝統文化は民族と国家を問わず、時空を超えて、いつまでも新しさを失わ

ない教育です。今この時、私たちの力はささやかなものだが、日本のご縁ある方たちも本書を勉強し、広めてくだされば、幸いです。昔の聖人と先賢たちの残した宝典を日本列島に広めて、このような素晴らしい教育を得られることができたなら、日本も徐々に災難の脅かしから遠ざかることができます。そして、大和民族のより良い未来を創ることができるのです。

国境を越えて、この世で最も美しく善良な心で、世界平和のために、共に心を込めて手を携えましょう。日本の国運がますます隆盛し、人々も安楽な生活ができますように。

台湾NGO法人西有学会

二〇一六年三月二十五日

壹、君道

群書治要序文		I
群書治要三六〇序文		V
群書治要三六〇翻訳についての説明		VIII
一、修身		
（一）使命		1
（二）戒貪（貪欲を戒めます）		4
（三）勤儉（節約）		10
（四）懲忿（怒りをやめます）		12
（五）遷善（善に移ります）		15
（六）改過（過ちを改めます）		18
二、敦親（家族を愛すること）		21
（一）總論		21
（二）孝親（親孝行）		21
（三）教子（子どもの教育）		24
（四）夫婦		29

三、反身（自ら反省します）	30
四、尊賢（賢人を尊びます）	39
五、納諫（諫言を受入れます）	49
六、杜讒邪（陰口と邪念を杜絶えます）	55
七、審断	64

貳、臣術（臣下としての心得）

一、立節（節操を立てます）	72
二、尽忠（忠誠を尽くします）	79
三、勸諫（諫言します）	83
四、挙賢（賢人を推薦します）	86

参、貴徳（徳を崇めます）

一、尚道（道を尊びます）	90
二、孝悌	102
三、仁義	112

四、誠信	123
五、正己（己を正します）	125
六、度量	129
七、謙虚	130
八、謹慎（慎重）	136
九、交友	142
十、学問	143
十一、有恆（根気）	150
十二、処世	151

肆、為政（政治を行います）

一、務本（本分を務めます）	158
二、教化	174
三、知人（人を知ります）	186
四、任使（任命して使いこなします）	194
五、至公（至極公正でいます）	208
六、愛民（民を愛します）	214

伍、敬慎（尊敬と慎重）

七、綱紀	224
八、礼楽	237
九、民生	251
十、法古（古いものに見習います）	256
十一、賞罰	262
十二、法律	264
十三、武事（征伐）	276
一、微漸（物事の小さな兆候）	287
二、風俗（風気）	291
三、治乱	302
四、鑒戒（過去の経験を教訓にします）	312
五、應事（物事に対処します）	323
六、慎始終（最初から最後まで慎みを忘れません）	331

陸、明辨（明弁）

一、邪正（正邪）	333
二、人情	338
三、才徳	339
四、朋党	340
五、辨物（物事を区別します）	341
六、因果	350

壹、君道

一、修身

(一) 使命

① 《洪範》曰：「天子作民父母，爲天下王。」聖人取類以正名，而謂君爲「父母」，明仁愛德讓，王道之本也。（卷十四 漢書二）

【白話】《尚書·洪範》上說：「天子能做人民的父母，而爲天下所歸往。」聖人用相似的稱謂來端正名分，而稱君主是「父母」，表明寬仁慈愛、有德禮讓，是王道的根本。

『尚書·洪範』は言われました。「天子は民の父母として、天下万物の抛り所になれます」似たような言葉で物事の意味を正そうとした聖人は、君主を「父母」と称しました。すなわち、深い仁徳と慈愛を持つ広い心、そして譲り合うの精神こそ、王道の根本です。

② 聖人之從事也，所由異路而同歸，其存亡定傾^①若一，志不忘乎欲利人也。……聖人之心，日夜不忘乎欲利人，其澤^②之所及亦遠也。（卷三十五 文子）

【註釋】①存亡定傾：使瀕臨滅亡或已亡者得以繼續存在或延續，使危險的局勢或即將傾覆的國家轉爲穩定。②澤：恩德，恩惠。

【白話】聖人做事，都是殊途同歸，他們使瀕臨滅亡之國得以延續、使即將傾覆之國得以安

定的目的是一致的，心志總是不忘記要有利於人民。……聖賢者的心境，日夜都不忘記有利於他人，他的恩德所播及的地方也是很廣遠的。

聖人のなすことは、異なっているように見えても、実は同じ目的を目指しています。たとえ国が存続しても滅亡しても、安定しても傾いても、その志が変わることはなく、いつでも民のためになるように考えています。聖人と賢者の心は、昼夜問わずに人のためになるようなことを考えています。そのために、その恩恵と徳の及ぶ範囲もまた、遠く広いものです。

③

道也者，福之本也；祥也者，福之榮也。無道者，必禍之本；不祥者，必失福之榮矣。故行而不緣道者，其言也必不顧義矣。故紂自謂天王也，而桀自謂天子也，已滅之後，民以罵也。以此觀之，則位不足以爲尊，而號不足以爲榮矣。故君子之貴也，士民貴之，故謂之貴；故君子之富也，士民樂之，故謂之富。故君子之貴也，與民以福，故士民貴之；故君子之富也，與民以財，故士民樂之。（卷四十 賈子）

【白話】道義是福德的根本；吉祥是福德的榮顯。不行道義，一定是遭受禍患的根源；不吉祥，一定是喪失福德的表現。所以行爲不依循正道，那麼言語也一定不講求仁義。所以商紂自稱天王，夏桀自稱天子，他們滅亡之後，人民還在咒罵他們。由此看來，有地位不足以讓自己尊貴，而名號也不足以讓自己引以爲榮。所以君主的尊貴，是

士民都尊重他，所以才稱為尊貴；君主的富有，是士民都愛戴他，所以才稱為富有。所以君主的尊貴，在於給予人民以福祉，所以士民尊重他；君主的富有，在於給予人民以財富，所以士民愛戴他。

道義は福德の根本であり、吉祥は福德の榮華の現われです。道義を行わなければ、必ず災いの元になりましょう。不祥事も福德を失ったことの現われです。そのために、日頃の行いが正道から外れてしまうと、その言葉にも必ず仁義が失われてしまうでしょう。そのために、自らを天王や天子と称した商の紂や夏の桀は、滅亡した後も、なお人々から罵られています。このことから分かるように、地位だけでは己を尊いものにすることはできず、名声も己の名誉として誇れません。君主が尊いのは、民が彼のことを尊重しているからこそ、尊い者と言えます。君主の富は、民が彼のことを愛しているからこそ、持てる者と言えます。君主の尊さは、民に福祉を与えるから、民から尊重されます。君主の富は、民に富を与えるから、民から愛されることにあります。

④ 武王克殷，發鉅橋^①之粟，散鹿臺^②之錢；封比干之墓，解箕子之囚；無故無新，唯賢之親。用非其有，使非其人，晏然^③若其^④（無若其之其）故有之。由此觀之，則聖人之志大矣！（卷四十一 淮南子）

【註釋】①鉅橋：殷紂王貯藏糧食的場所，亦作巨橋。②鹿臺：殷紂王貯藏珠玉錢帛的地方。

③晏然：悠閒安適的樣子。

【白話】周武王攻破殷商後，發放鉅橋的糧食，散發鹿臺的庫錢；封修比干的陵墓，把箕子從囚禁中釋放出來；不分舊臣還是新人，只要賢能就親近。使用的不一定都是他原有的東西，任用的不一定都是親近的人，而武王自在從容，就像都是他原有的一樣。由此看來，聖人的志向遠大啊！

周の武王は殷商を破った後、民に鉅橋の食糧を提供し、鹿台金庫の金錢をまき散らしました。また比干の墓を修復し、箕子を牢獄から釈放しました。旧来の大臣でも新しく頭角を露わした新人でも、賢明で有能な者ならば、自ら近づきました。武王が使うのは必ずしも元から彼に所属している者ではなく、任用する者も必ずしも彼に近い者ではありません。それでも、武王は悠然とそれらに接し、まるで元から全てが彼のものであったように。このことから分かるように、聖人の志は実に広く大きなものです！

(二)戒貪(貪欲を戒めます)

【5】罪莫大於可欲，好淫色也。禍莫大於不知足，富貴不能自禁止也。咎莫大於欲得，欲得人物，利且貪。故知足之足，常足矣。
無欲心也。（卷三十四 老子）

【白話】罪惡沒有比荒淫好色更大的，禍患沒有比不知足更大的，過錯沒有比貪得無厭更大的。所以，只有知足的富足，才是長久的富足。

荒淫と好色より大きな罪はなく、満足を知らないことより大きな禍はありません。また、底なしの欲望より大きな過ちはありません。そのために、満足を知っている者の富こそ、長く持続できる富です。

〔6〕今夫溜水^①足以溢壺^②，而江河不能實漏卮^③。故人心猶此也。自當以道術^④度量，食充虛，

衣禦寒，則足以養七尺之形矣。若無道術度量，則萬乘之勢^⑤，不足以爲尊，天下之富，不足以爲樂矣。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①溜水：屋簷上滴下的水。溜：通「雷」，屋簷滴水處。②壺（ホ / ラビ）：盛酒或貯水的器具。③卮（チ / ヱ）：古代盛酒的器皿。④道術：仁義道德。⑤萬乘（マン / セ）之勢：擁有可出動兵車萬乘的力量。喻擁有的地位極高。乘：量詞，古時一車四馬叫「乘」。

【白話】如今屋簷上滴下的水能把水壺裝滿，而江河之水卻裝不滿漏水的酒器。所以人心就像這樣。應當以仁義道德來衡量約束自己，食物能填飽肚子，衣服能抵禦風寒，也就足以養護七尺之軀了。如果不用道德標準來衡量約束自己，那麼即使擁有天子的權勢也不會感到尊貴，即使擁有天下的財富也不會感到快樂。

屋根から滴る雫でも壺を満たすことはできるが、たとえ大河の水でも水漏れのする酒器を満たすことはできません。人の心もこのようにできています。仁義と道徳を己を図る物を

差しとして、自分のことを注意すべきです。なぜなら、空腹を満たし、寒さをしのげることさえできれば、七尺の体を養うこともできましよう。ししながら、もし道徳を己に對する物差しにしなければ、たとえ天子の權威と勢力を持っても、尊いであるようには感じられません。また、たとえ天下の富を手中に収めても、楽しく感じないでしよう。

⑦ 目悅五色^①，口欲滋味，耳淫五聲^②。七竅交爭^③，以害一性，日引邪欲，竭其天和^④。身且不^⑤能治，奈天下何！（卷三十五 文子）

【註釋】①五色：青、赤、白、黑、黃五種顏色。古代以此五者爲正色。這裡泛指各種顏色。②五聲：指宮、商、角（jué / ㄐㄨㄝˊ）、徵（zhǐ / ㄓˇ）、羽五音。③交爭：猶交集。指不同的事物、感情聚集或交織在一起。④天和：謂人體之元氣。

【白話】眼睛喜歡五彩顏色，嘴巴貪愛美味，耳朵沉湎於音樂。眼耳口鼻七竅交織在一起追求享受，就會傷害人的天性，天天被邪惡欲望吸引，自己身體的元氣被消磨殆盡。自身都無法調治保養，又怎能治理天下呢！

目は色とりどりの五彩を好み、口は美味を偏愛し、耳は音楽に浸りたいものです。これら五感が共に享受することばかりを追い求めていると、人の天性は損なわれます。日に日に邪惡な欲望に引き寄せられて、身体の元氣が擦り減らされていくのです。自分のことさえも修めて保養することができない者に、天下を治められましようか。

⑧

夫美也者，上下外內，小大遠邇，皆無害焉，故曰美也。若於目觀則美，於目則美，德則不也。財用則匱，是聚民利以自封而瘠民也，胡美之爲？封，厚也。胡，何。何以爲美。夫君國者，將民之與處，民實瘠，君安得肥？

安得獨肥，言將有患。（卷八 國語）

【註釋】①君國：謂居君位而御其國。

【白話】所謂美，是指對上下、內外、大小、遠近都沒有妨害，才稱得上美。如果眼睛看著美觀，

然而卻爲此耗費財物，這是斂收民財使自己富有卻讓百姓貧困，哪裡還算什麼美呢？身爲治理國家的君王，要與百姓共處，百姓貧困了，國君怎麼得以享受富裕？（意思是一定會有禍患的。）

いわゆる美とは、目上や目下、内外大小、遠近いずれの者に対しても害を及ぼさないからこそ、美と言えます。もし目には美しい物が映っているのに、その美を追求するために財物は使い果たしてしまうのならば、ただ人々から富をかき集めて、民を貧困の窮地に陥らせるだけで、美しいこととは言えません。国を治める君主は民と共にあるべきです。民が貧しい生活をしているのに、君主が贅沢をすることがあっていいのでしょうか。（必ず禍が訪れるという意味です。）

⑨

天下之害，莫甚於女飾。上之人不節其耳目之欲，殫生民之巧，以極天下之變。一首之飾，盈千金之價（價作資）；婢妾之服，兼四海之珍。縱欲者無窮，用力者有盡；用有盡之力，逞無

窮之欲，此漢靈^②之所以失其民也。上欲無節，衆下肆情^③，淫侈^④並興，而百姓受其殃毒^⑤矣。

（卷四十九 傅子^⑥）

【註釋】①盈：超過。②漢靈：即漢靈帝劉宏，東漢第十一位皇帝。在位期間重用宦官，殘

殺士人，恣情縱樂，導致爆發黃巾起義，漢朝名存實亡。③肆情：猶縱欲。④淫侈

殺士人，恣情縱樂，導致爆發黃巾起義，漢朝名存實亡。③肆情：猶縱欲。④淫侈

（she / re）：奢侈無度。參：「奢」的籀文。⑤殃毒：禍害。⑥傅子：西晉傅玄著。

【白話】對天下有危害的事，沒有比君王讓後宮的女人過分的裝飾打扮更嚴重的了。君王不節制耳目的欲望，竭盡天下的奇巧，耗盡天下的奇異之物。後宮女子一頭的首飾，就花費千金之資；婢妾的衣服，包含了四海的珍寶。縱欲的人欲望無窮，而百姓的物力有限；用有限的物力，去滿足無盡的欲望，這是漢靈帝失去民心的原因。在上者欲望沒有節制，下面的人肆情縱欲，荒淫奢侈之風並起，百姓就會遭殃受害。

天下に災いをもたらす種に、後宮の女房たちの過度な着飾りを君主が許してしまうことより酷いものではありません。耳と目の欲望を制限しない君主は、天下の珍しくて巧みな者を探し求め、天下の奇異な物をかき集めます。女房一人の髪飾りに千金をはたし、妾一人の衣裳に四方の珍宝が使われることもありました。好きなように生きる者の欲望が尽きることはないが、絞られる民の財力には限度があります。有限な財力で無限の欲望を満たそうとすること、これこそ漢の靈帝が民の心を失った原因です。上位にいる者の欲望に制限はなく、その下につく者も欲望のままに行動してしまうと、荒淫と贅沢を好む風潮が興り、

民は被害を蒙ります。

⑩

齊景公使使於楚，楚王與之上九重之臺，顧使者曰：「齊亦有臺若此者乎？」使者曰：「吾君有治位之堂，土階三尺，茅茨不剪^①，采桷^②不斷^③，猶以爲爲之者勞，居之者泰。吾君惡^④有若此者乎？」於是楚王怵如^⑤也。（卷八 韓詩外傳）

【註釋】

①茅茨不剪：謂崇尚儉樸，不事修飾。茅茨：茅草蓋的屋頂，亦指茅屋。剪：斬斷；除去。②采桷（jié / ㄐㄧㄝˊ）：桷（zuò / ㄗㄨㄛˋ）木的屋椽（chuān / ㄔㄨㄢ）。采：「採」字之省，「桷」指柞木。桷：方形的椽子，椽子是建築中用以支撐房頂與屋瓦的木條。③斲（zhuó / ㄓㄨㄛˊ）：雕鑿，雕飾。④惡（wù / ㄨˋ）：疑問代詞，相當於「何」、「安」、「怎麼」。⑤怵（bào / ㄅㄠˋ）如：《韓詩外傳》其他刻本「怵」均作「悒」（yì / ㄧˋ），民國年間商務印書館所印《群書治要》有眉註：怵作悒。悒如：憂愁不安的樣子。怵：掛懷。又音 dǎo / ㄉㄠˇ，悖逆。

【白話】

齊景公派遣使者到楚國去，楚王和使者一起登上九重高的樓臺，回頭對使者說：「齊國也有這樣的樓臺嗎？」使者說：「我們國君有處理政務的朝堂，堂前只有三尺高的土臺階，茅草蓋的屋頂沒有加以修剪，柞木椽子也沒有雕琢裝飾，但他還認爲修建朝堂的人太勞苦了，而住在裡面的人太安逸了。我們國君怎麼會有這樣美好的高臺呢？」楚王聽後顯得不安。

の景公は楚国に使者を遣わしました。使者と共に九階の高さを誇る高樓に登った楚王は振り返り、使者に尋ねました。「齊国にもこのような高樓がありますか」使者は答えました。「わが君には政務を処理する堂がありますが、堂の前には三尺ほどの高さがある土の階段しかありません。ワラでできた屋根は切り揃えることなく、木でできた骨子にも彫刻などの装飾は施されておりません。それでも、わが君は堂を修築する者の方が大變で、堂の中で暮らす者は安逸な生活に甘えすぎているというお考えです。そのようなわが君に、かような美しい高樓がある訳がありませんか」使者の言葉を聞いた楚王は不安そうに見えました。

(三) 勤儉(節約)

11 聖人卑宮室而高道德，惡衣服而勤仁義。不損其行以好(増作)其容，不虧其德以飾其身。國不興不事之功，家不藏不用之器。(卷四十 新語)

【白話】聖人住簡陋的房子，而崇尚道德；日常穿戴很儉樸，而盡力於實踐仁義。不損害德行來增添臉上的光彩，也不虧損道德來美化自身。國家不動用民力去做無益於百姓的事功，君主家裡不收藏華而不實的器具。

聖人は質素な暮らしをして道德を尊び、日頃の着こなしも簡単なもので、仁義の實踐を

苦心するばかりです。また、面子のために行いを損なうことなく、外見のために徳に背くこともしません。国は無益なことののために民の力を使わないようにしており、君主の家にも華美なばかりで役立たぬ物を所蔵しません。

〔12〕

子曰：「禹，吾無間^①然矣。菲^②飲食，而致孝乎鬼神；惡衣服，而致美于黻冕^③；卑宮室，而盡力溝洫^④。禹，吾無間然矣！」

間：非也。菲，薄也。致孝于鬼神，謂祭祀豐潔也。黻，祭服之衣，冠名也。

（卷九 論語）

【註釋】①無間（jian / りん）：無可非議。間：間隙，此處意思是指其間隙而非議之。②菲

（fei / りん）：微薄。③黻冕（fu mian / コメオン）：古時天子臨朝或祭祀，所穿

的禮服名爲黻，所戴的禮帽名爲冕。④溝洫：田間的灌溉水溝，借指農田水利。

【白話】孔子說：「對於禹，我是找不出他的缺點可以批評的了！禹王自己飲食簡單，而祭祀的祭品卻豐盛潔淨，盡心孝敬祖先；自己平日的衣服很粗劣，而臨朝和祭祀的禮服卻十分莊嚴；自己宮室矮小簡陋，而盡力於爲人民修治溝洫水利。對於禹，我是找不出他的缺點可以批評的了！」

孔子は言われました。「禹については、もう欠点はないと言えましょう。禹自身の飲食は質素なものなのに、祭典に使う供え物は豊かできれいなもので、祖先のことを非常に大事にしています。彼自身の衣裳は素朴なものなのに、朝堂と祭典に出る時の礼服は非常に厳かなものです。また、彼自身は狭くて簡単な部屋で暮らしているのに、常に民のために

治水の仕事を忘れません。禹について、もう欠点はないと言えましょう」

(四)懲忿(怒りをやめます)

13

爾^①無忿疾^②于頑，無求備于一人。人有頑驕不喻，汝當訓之。無忿怒疾之，使人當器之，無責備於一夫也。（卷二 尚書）

【註釋】①爾：你。此處指周公的次子姬君陳。本句選自《尚書・君陳》篇。周公把殷代遺

民中不服從周朝統治的人，遷徙到陪都洛邑，周公親自督察和管理。周公去世後，周成王令君陳繼承周公的職責。此篇是周成王策命之詞。②忿疾：忿怒憎惡。

【白話】對於愚昧頑劣之人，你不要憤怒、厭惡（應當耐心開導他）；對任何一個人，都不要要求全責備（用人應當發揮他的長處，並協助他提升他的短處）。

愚かで卑劣な者に対しては、怒ったり嫌ったりせずに、気長に指導しなさい。だれに対しても、完璧を求めてひたすら責めるものではありません。その者の長所を伸ばし、短所を補うのです。

14

上無忿怒之志^①（志作毒），下無伏怨^②（怨舊作愆，改之）之患。故長利積，大功^③立，名成於前，德垂^④

於後，治之至也。（卷四十 韓子）

【註釋】①志：志作毒，指傷害。②伏怨：潛藏的怨恨。③大功：大功業，大功勞。④垂：

留傳；流傳。

【白話】國君沒有因憤怒而對下屬與百姓造成傷害，下屬與百姓沒有因積怨而對國君造成憂患。所以長久的利益得以積聚，偉大的功業得以建立，名望成就於生前，德化垂範於後世，這是治理天下最高的境界。

君主は憤怒のために臣下や民を傷つけることなく、臣下や民も積年の恨みで君主にとつての憂いになることはありません。このような状態だからこそ、利益は長く積もられ、偉大な功業も築き上げられるのです。このように、生前ですでに名声を得て、生後も残した徳化が長く続けられることこそ、天下を治める者の最高な理想です。

15

臣有辭拙而意工，言逆而事順，可不恕之以直乎？臣有樸駭^①而辭訥^②，外疏而內敏，可不恕之以質乎？臣有犯難^③以爲士^{（士疑當作上或主）}，離謗^④以爲國，可不恕之以忠乎？臣有守正以逆衆意，執法而違私志，可不恕之以公乎？臣有不曲己以求合，不耦世^⑤以取容^⑥，可不恕之以貞乎？臣有從^⑦側陋^⑧而進顯言，由卑賤而陳國事，可不恕之以難乎？臣有孤特^⑨而執節^⑩，分立而見毀，可不恕之以勁乎？此七恕者，所以進善接下之理也。（卷四十七 政要論）

【註釋】①樸駭（*pu / ai*）：魯鈍，多用爲謙詞。駭：愚，呆。②訥（*ne / 3u*）：出言遲鈍；口齒笨拙。③犯難：承受風險；不顧危險。④離謗：遭受誹謗。離：遭受；遭遇。後多作「懼」。⑤耦世：適應世俗。⑥取容：討好別人以求自己安身。⑦從：介詞，

在，由。⑧側陋：指出身或地位低下。⑨孤特：特出；孤高。⑩執節：堅守節操。

【白話】有的臣子不善於表達但意見很好，說出來的話不好聽，但他的意見能使事情順利成就，怎能不體察他的正直而寬容對待呢？有的臣子樸實憨厚言語遲鈍，外表平常而頭腦聰慧，怎能不體察他的質樸而寬容對待呢？有的臣子爲了君主寧願承受風險，爲了國家忍受一切誹謗，怎能不體察他的忠誠而寬容對待呢？有的臣子因爲恪守正道而違背眾人的意願，執法嚴明而不顧及個人感情，怎能不體察他的一番公心而寬容對待呢？有的臣子不願意違背自己心中的道德準則而迎合他人，不迎合世俗以求得苟且容身，怎能不體察他的堅貞而寬容對待呢？有的臣子地位微賤卻能提供明智的意見，不顧身處低位而能直陳對國事的主張，怎能不體察他的難能可貴而寬容對待呢？有的臣子性格孤僻但能嚴守節操，處世獨立而受到毀謗，怎能不體察他的剛勁節操而寬容對待呢？這七個方面的恕道，正是進舉賢善之人、接納下層意見的道理啊。

言葉は拙いが、素晴らしい内容の意見を言える臣下がいます。その者の言うことはあまり聞いていて気持ちのいいものではないが、彼の意見でことが順調に運ぶことができ、その正直さに免じて寛大に接するべきではありませんか。また、言葉が巧みではなく、外見も素朴で目立たないが、頭のいい臣下がいます。そのような者の質素さに免じて、寛大に接するべきではありませんか。君主のために危険を冒し、国のために全ての誹りを耐え忍ぶ臣下がいます。そのような者の忠誠を察して、寛大に接するべきではありませんか。

(五)遷善(善に移ります)

正道を守るために周りに染まることなく、個人の私情をはさまずに厳しく法律を執り行う臣下がいます。そのような者の潔白さを察して、寛大に接するべきではありませんか。己の心にある道徳の物差しを曲げて、他人や世間に迎合しない臣下がいます。そのような者の潔さを察して、寛大に接するべきではありませんか。低い地位にいるのに理知的な意見を進呈し、国のためになる主張を直言できる臣下がいます。そのような者の珍しさに免じて、寛大に接するべきではありませんか。人との付き合いは悪いが、節操が素晴らしく、他人に左右されることのない臣下がいます。そのような者の狷介さに免じて、寛大に接するべきではありませんか。これら七つの寛大の実践こそ、賢者と善人を採用し、下々の意見を取り入れるための道です。

16

無田^①甫田^②，維莠^③驕驕^④。興也。甫，大也。大田過度，而無人功，終不能獲。興者，喻人君欲立功

積小以成高大也。無思遠人^⑤，勞心^⑥忉忉^⑦。忉忉，憂勞。此言無德而求諸侯，徒勞其心忉忉然。（卷三 毛詩）

【註釋】①無田：沒有力量耕種。田：耕作；開墾。②甫（ハロ／ヒメ）田：大田。甫：大。

此處「田」指土地。③莠（ヤロ／ニメ）：田間常見雜草，其穗形似狗尾，俗名狗尾

草。④驕驕：草盛且高貌。⑤遠人：遠方之人。⑥勞心：憂心。⑦忉忉（タロ／カム）：

憂思貌。忉：憂愁；憂傷。

群書治要 360 3

一、修身

【白話】農夫無力耕種過大的田地，田地裡就只會雜草叢生（比喻君王想建立功勳使國家安定，一定要勤勉地修身養性，積累小的善行來成就大的功績）。君王無德就別想著遠人來歸附擁戴，那只會白白地勞心費神。

自分の耕せる以上に田んぼが大きすぎると、田んぼには雑草が生えるばかりです。（君主が功勳で国を安定させたいのであれば、地道に己の心性を治める必要があります。小さな善行の積み重ねこそ、大きな功績を成就できるのです）。君主に徳がなければ、遠方から賢人が尋ねてくることを欲するのも時間の無駄でしょう。

17 孔子曰：「見善如不及^①，見不善如探湯^②。」（卷九 論語）

【註釋】①不及：趕不上。②湯：燒開的水，沸水。

【白話】孔子說：「見到人有善行，要有慕賢之心，好像跟在別人後面趕路，生怕追不上他；碰到不善的事情，就像以手去探剛燒開的沸水一樣，避之唯恐不及。」

孔子は言われました。「人が善行をしているのを見かけると、その心を敬いましょう。まるで人生の先輩を追いかけられるように、その者の心に追いつかないことを恐れるべきです。もし悪いことと出くわしたのならば、まるで素手で沸いたばかりの熱湯に触れてしまったように、避けるよりほかに道はありません」

18

孟子曰：「子路^①人告之以其過則喜；禹聞善言則拜；大舜又甚焉，善與人同，舍己從人，樂取於人以爲善。自耕稼陶漁以至爲帝，無非取於人者。取諸人以爲善，是與人爲善也。故君子莫大乎與人爲善。」
舜從耕於歷山及陶漁，皆取人之善謀而從之。故曰：莫大乎與人爲善也。（卷三十七 孟子）

【註釋】①子路：仲由的字。春秋時魯國卞（今山東泗水縣泉林鎮卞橋）人，孔子弟子。又字季路。

【白話】孟子說：「子路聽到別人告訴他的過失，就非常歡喜；禹聽見人家很好的言論，就虛心拜受；大舜又比他們偉大，他對於行善，沒有別人和自己的區別，並且能放下自己的看法，接受別人好的意見，非常快樂地採取別人的長處，拿來行善。從他微賤時從事耕種、燒陶、打漁等行業，一直到當了帝王，沒有不是採取別人的長處，自己照樣去做的。採取別人的長處拿來行善，也就是與人一同行善。所以君子的美德，沒有比與人一同行善更大的了。」

孟子は言われました。「子路は人から自分の欠点を告げられると、いつも喜んでいました。禹は人のいい意見を聞くと、謙虚に受け取ったものです。大舜は彼らよりさらに素晴らしいです。善い行いをするのに、大舜は自分と人の区別をしません。彼は自分の見方に執着することなく、人のいい意見を受け入れ、その長所を嬉しく採用するのです。また、大舜は卑しい身分の時から農耕や陶器作り、漁業など様々な仕事をしてきたが、帝王になつてからも、人の長所を取り入れながら、自ら実行しようとし続けました。人々のいい

ところを取り入れて、共に善い行いをします。だからこそ、君子の美德の中で、人と共に善行をするより大きなものではありません」

(六) 改過(過ちを改めます)

〔象〕曰：洊雷^①，震。君子以恐懼修省^②。(卷一 周易)

〔註釋〕①洊(ジビ/リナ) 雷：接連不斷的雷聲。洊：同「薦」。再、屢次、接連之意。②修省：修養道德，省察過錯。

〔白話〕《象傳》說：接連不斷的雷聲，這就是震動的象徵。君子此時應當心生敬畏恐懼之感，因此修養道德，省察己過。

『象伝』は言われました。「鳴りやまない雷鳴こそ、震動の象徴です。このような時に、君主は心から恐れを抱き、己の過ちを振り返って道德を修めるのです」

〔20〕子曰：「顔氏之子，其殆^①庶^②幾^③乎！有不善，未嘗不知。知之，未嘗復行也。《易》曰：『不遠復，無祇悔^④，元吉。』」(卷一 周易)

〔註釋〕①殆：大概，表揣測。②庶：差不多，近似。③幾：心念、事物變化時的隱微跡象、先兆。這裡指知幾，能洞察機先，念頭、事情一發動便知結果。唐代孔穎達先生編

訂的《周易正義》中說：「幾，微也，是已動之微。動，謂心動、事動，初動之時，其理未著，唯纖微而已。」④祇（ひ／＼）悔：大災禍。祇：大。悔：過失；災禍。⑤元：大。

【白話】孔子說：「顏淵這個人，差不多接近知幾通達的君子了！有了不好的念頭和行爲，沒有自己不知道的。知道了，他不會再次重犯。《周易》復卦初九爻辭說：『迷途了，走出去還沒有多遠，就能適時回頭猛省，便不至於有太大的災禍，經此警覺，則有大吉。』」

孔子は言われました。「顏淵という者は、およそささやかなことから全てを洞察してしまふ君子に最も近い者でしょう。悪い思いや行いがあると、彼はすぐに察知してしまいます。察知すると、顏淵は二度と犯しません。『周易』の復の卦で九爻の辞はこのように言われました。「道に迷っても、まだ遠く離れていなければ、大きな災いが起こる前に正道に戻るのにまだ間に合います。また、このような警戒心があると、大きな吉が訪れましよう」

【21】才敏過人，未足貴也；博辨①過人，未足貴也；勇決②過人，未足貴也。君子之所貴者，遷善③懼其不及，改惡恐其有餘。（卷四十六 中論）

【註釋】①博辨：從多方面論說；雄辯。辨：通「辯」。辯論。②勇決：勇敢而果斷。③遷善：去惡爲善，改過向善。

【白話】才智敏捷過人，不足為貴；博識善辯過人，不足為貴；勇敢決斷過人，不足為貴。君子最可貴的地方，就是一心向善唯恐不及，改正錯誤唯恐遺漏。

人より鋭く才知を有していても、貴いとは言えません。人より博識で弁才に長けていても、貴いとは言えません。人より勇敢で決断力に長けていても、貴いとは言えません。君子の最も貴重なところは、ひたすら善いことをしようとする姿勢と、過ちを正しそびれていないかと心配になる点です。

22

夫聞過而不改，謂之喪心^①；思過而不改，謂之失體^②。失體喪心之人，禍亂之所及也，君子舍^③旃^④。（卷四十六 中論）

【註釋】①喪心：迷失本心。②失體：迷失天賦的德性。體：稟性，德行。③舍：放棄；捨棄。④旃（zhān / ㄓㄢ）：同「旃」。之，焉。

【白話】知道自己的過錯而不改正，叫做迷失本心；反思自己的過錯而仍不改正，就叫迷失天賦的德性。迷失本心和德性的人，就是災禍降臨的對象，君子是不會這麼去做的。

自分の過ちを知っているのに改めようとしないのは、本心を見失うことです。自分の過ちを思い返しても改めようとしないのは、天賦の徳性を見失うことです。本心と徳性を見失う者こそ、災いが降りかかる対象です。君子はそのようなことをしません。

二、敦親（家族を愛すること）

（一）總論

〔23〕

《易》曰：「家道正，而天下定^①。」由內及外，先王之令典^②也。（卷二十五 魏志上）

〔註釋〕①家道正而天下定：《易·家人》原文爲：「父父，子子，兄兄，弟弟，夫夫，婦婦，而家道正；正家，而天下定矣。」②令典：好的典章制度。

〔白話〕《易經》中說：「家庭的規矩端正了，天下就會安定。」由家內而影響到天下，這是古代明君好的典章法度啊！

『易經』に言われました。「家の規則が正しくあれば、天下は安定します」家の中から天下にまで影響を及ぼすことができるのは、古の名君が定めた素晴らしい經典と法制です。

（二）孝親（親孝行）

〔24〕

立愛惟親，立敬惟長，始于家邦，終於四海。言立愛敬之道。始於親長。則家國並化。終治四海也。（卷二 尚書）

〔白話〕建立仁愛心從侍奉父母做起，建立恭敬心從對待長者做起，這樣愛敬之風起始於家庭 and 邦國，最終必將擴展到整個天下。（要樹立愛敬之道，必得從家中的親人長輩開始，這樣家庭和國家同時都被美德所化，和諧、融洽之風最終必將通達於天下。）

仁愛の心は父母を奉仕することからです。尊敬の心は目上の者への態度からです。このような敬愛の風潮は家庭と国から始まるが、しまいには天下全体に広められましょう。（敬愛の道を築くためには、必ず家の親しい目上の者から始まります。このようにすれば、家庭と国家は共に美徳に感化され、調和の取れた風潮はやがて天下に広まるでしょう。）

〔25〕

是故人道親親，言先有恩。親親故尊祖，尊祖故敬宗，敬宗故收族^①，收族故宗廟嚴，宗廟嚴故重社稷，重社稷故愛百姓^②，愛百姓故刑罰中，刑罰中故庶民安，庶民安故財用足，財用足故百志成，百志成故禮俗刑^③，禮俗刑然後樂。收族，序以昭穆也。嚴，猶尊也。百姓，人之志意所欲也。刑，猶成也。《詩》云：「不^④顯不承^⑤？無^⑥斁^⑦於人斯^⑦。」此之謂也。斁，厭也。言文王之德，不顯乎？不承先人之業乎？言其顯且承之，樂之無厭。（卷七 禮記）

【註釋】①收族：凝聚全體家族成員。②百姓：百官。③刑：成。④不：副詞。表否定。一說通「丕」，大。⑤承：尊奉、繼承。一說通「烝（zheng / ㄓㄥ）」，美好。⑥斁（yì / ㄧˋ）：厭棄。此為《詩經・周頌・清廟》之詩句。《詩經》此字作「射」，當以「斁」字為正。⑦斯：語氣詞。

【白話】由此可見，人倫大道的根本在於親愛自己的父母；親愛自己的父母，所以尊崇祖先；尊崇祖先，所以敬重宗主、敬循宗法；敬重宗主、敬循宗法，所以能以上下、親疏之序團結族人；以上下、親疏之序團結族人，所以宗廟祭禮肅穆莊嚴；宗廟祭禮肅穆莊嚴，所以能以國家社稷為重；以國家社稷為重，就能愛護百官；愛護百官，刑

罰就能公平得當；刑罰公平得當，民眾就能安居樂業；民眾安居樂業，就能使財用充足；財用充足，則君主和民眾各種良善的願望都能達成；君民各種善願都達成，則禮儀風俗就自然形成；禮俗形成了，然後人人都能安樂。《詩經・周頌・清廟》說：「文王的德行難道不光明，難道不能承繼先人的事業？人們永遠熱愛他而沒有人厭棄他啊！」說的正是這個道理。

このことから分かるように、人としての倫理の大本は、自分の父母を敬愛することです。自分の父母を敬愛するから、祖先を崇めます。祖先を崇めるから、一族の族長を敬い、一族の法を守られます。一族の族長を敬い、一族の法を守られるから、上下と親疎の秩序で一族を団結させることができます。上下と親疎の秩序で一族を団結させることができます。祭典が厳かで風格を漂わせるから、社会及び国の利益を最優先に考えられます。社会及び国の利益を最優先に考えられるから、百官を愛護することができます。百官を愛護するから、公正で適当な刑罰を下すことができます。公正で適当な刑罰を下すことができるから、民は楽しく働き、平穩な暮らしができます。民が楽しく働き、平穩な暮らしができるから、国の経済は潤います。国の経済が潤っているから、君主と民の色々な善良な願いは叶えられます。君主と民の色々な善良な願いが叶えられるから、礼儀を尊ぶ風習は自ずとできあがります。礼儀を尊ぶ風習ができあがると、人々は安樂な生活ができます。『詩經・周頌・清廟』に言われました。「文王の行

いは明るく磊落なものではありませんか。彼に先人の残した事業を受け継ぐ資格はありませんか。人々は彼のことをいつも敬愛し、だれ一人彼のことを嫌う者はいませんのに！」まさにこのようなことを言っています。

（三）教子（子を教えます）

〔26〕

夏爲天子十有餘世，殷爲天子二十餘世，周爲天子三十餘世，秦爲天子二世而亡。人性不甚相遠也，何三代之君，有道之長，而秦無道之暴^①也？其故可知也。古之王者，太子迺^②生，固^③舉以禮，使士負之，有司^④齊肅^⑤端冕^⑥，見于天也；過闕^⑦則下，過廟^⑧則趨^⑨，孝子之道也。故自爲赤子^⑩，而教固已行矣。（卷十六 漢書四）

【註釋】①暴：短促。②迺（コナリ／ヲカ）：始，才。③固：副詞，就。④有司：官吏，古代

設官分職，各有專司，故稱。⑤齊肅：莊重敬慎。齊：同「齋」，指莊重；嚴肅恭敬。

⑥端冕：玄衣和大冠，古代帝王、貴族的禮服。⑦闕：宮門、城門兩側的高臺，中間道路，臺上起樓觀。⑧廟：指宗廟的前殿，宗廟是先祖靈位的所在。⑨趨（コ／ク）：同「趨」。古代的一種禮節，以碎步疾行表示敬意。⑩赤子：嬰兒。

【白話】

（賈誼上疏說：）夏朝天子傳了十幾世，殷朝天子傳了二十多世，周朝天子傳了三十多世，秦朝天子傳到第二世就滅亡了。人的本性相差並不很大，爲什麼夏、商、周三代的君主治國有道而長久，而秦朝之君卻無道又突然滅亡呢？那原因是可以知道

的。古代的君王，在太子剛出生時，就用符合禮法的行動來給他示範。讓人背著太子，有關官員則恭敬肅穆、衣冠整齊，拜見上天；經過門闕時就下車步行表示禮貌，經過宗廟時就恭敬地小步疾行，這是孝子所行之道。所以從太子還是嬰孩時，教育就已經在進行了。

夏朝的天子是十余世に、殷朝の天子は二十余代に、さらに周朝の天子は三十余代にまで伝わりました。それなのに、秦朝の天子はわずか二代目で終わりました。人の本性にそれほど大きな差異がないのに、どうして夏・商・周三朝の君主は正道に沿って国を長く治められるのに、秦の君主は途方に暮れていきなり滅亡したのでしょうか。何故なら、古代の君主は継承者である太子が生まれたばかりの頃から、礼法に沿う行いを見本として、太子に見せてきました。太子がまだ人に負んぶされている時から、臣下たちは衣装を正して恭しい態度で彼に接し、天への礼儀も忘れませんでした。大事な門を通す時は、礼を表すために車から降りて太子を歩かせませした。氏寺の前を通る時は、孝子の礼法に沿うように、小走りで素早く通過するようにさせました。そのために、太子がまだ赤子の頃から、その教育は始まっていたのです。

〔27〕凡三王^①教世子^②，必以禮樂。樂所以脩内^③也，禮所以修外^④也。禮樂交錯於中，發形於外。（卷七 禮記）

群書治要 360 3

二、敦親（家族を愛すること）

【註釋】

①三王：指夏禹、商湯、周文王。②世子：天子或諸侯之嫡子中的儲君稱謂。③脩內：指消融其邪慝之氣，增進其內心修養。脩：同「修」。④修外：指陶冶其恭肅之儀，培養其溫潤文雅之象。

【白話】

夏禹、商湯、周文王三王教育世子，都是把禮樂作為必修的課程。樂是陶冶薰修內在心性的，禮是恭肅修治外在言行舉止的。禮與樂的修養交匯於內心，必定會表現於外在的行為。

夏朝の禹王、商朝の湯王、周朝の文王これら三人の賢明な王は世継ぎを教育する際、共に礼法と音楽を必修の科目として取り入れました。音楽は人の内なる心性を薰陶し養い、礼法は人の外見と言葉、行いを正してくれます。礼法と音楽の素養が人の心の中で融合することができれば、必ず外から分かるように、その者の行為にも影響が現れるでしょう。

28

石碯^①諫曰：「臣聞愛子，教之以義方，弗納于邪。驕、奢、淫、佚^②，所自邪也。四者之來，寵祿^③過也。」（後補卷四 春秋左氏傳上）

【註釋】

①石碯（one / ぐい）：春秋時衛國賢臣。衛莊公寵妾所生的兒子州吁有寵而好武，石碯進諫，莊公不聽。石碯之子石厚與州吁交往，石碯禁止，亦不聽從。莊公去世後太子完即位，稱衛桓公，十幾年後，州吁弑桓公而自立為君。因衛國上下都不擁護州吁，石厚便向父親請教安定君位之法。石碯假意建議石厚跟隨州吁去陳國，通過陳桓公朝覲周天子。旋即請陳國拘留兩人，由衛國派右宰醜殺了州吁，又使家宰

獯羊肩殺了石厚。《左傳》稱其「大義滅親」，是一位「純臣」。② 洸（ㄅㄨˋ / ㄏ）：安逸不勞。③ 寵祿：謂給予寵幸和富貴。

【白話】大夫石碯勸諫莊公說：「我聽說真正愛護孩子，就用道義來教育他，不使他步入邪路。驕傲、奢侈、縱欲、放逸，這樣就會走上邪路。這四種惡行的由來，是因為給予寵愛和富貴過度的緣故。」

士大夫の石碯は莊公に勧めました。「子どもを本当に愛護しているのならば、その子が邪道に踏み入れないように、道義で教育するものだといいました。驕ったり贅沢をしたりして、欲望のままに放逸な生活をしているのでは、いずれ邪道に入ってしまうです。これら四つの悪行は、度を過ぎた寵愛と富を子どもに与えたためです」

②

哀^①病困，令世子曰：「汝幼少，未聞義方，早為人君，但知樂不知苦，必將以驕奢爲失也。接大臣，務以禮；雖非大臣，老者猶宜答拜；事兄以敬，恤弟以慈。兄弟有不良之行，當造膝^②諫之；諫之不從，流涕喻之；喻之不改，乃白其母；若猶不改，當以奏聞，並辭國土。與其守寵罹禍，不若貧賤全身也，此亦謂大罪惡耳。其微過細愆，故當奄覆之。嗟乎！小子，慎脩乃身，奉聖朝以忠貞，事太妃以孝敬。閨闈之內，奉令於太妃；閨闈之外，受教於沛王^③。無怠乃心，以慰余靈。」（卷二十六 魏志下）

【註釋】① 哀：曹哀，三國時期曹魏宗室，魏武帝曹操之子，魏文帝曹丕異母弟，母杜夫人。

②造膝：到膝前，指到他身邊。③沛王：曹林，曹操之子，與曹哀同為杜夫人之子。青龍三年，曹哀有疾，明帝遣太妃、沛王曹林同來省疾。

【白話】曹哀病重之時，教令繼承自己王位的兒子說：「你年紀尚小，還不懂得為人處世的道理，過早成為人主，若知道享樂而不知道吃苦，必將會因為驕傲奢侈犯下過失。接待大臣時，務必要遵照禮儀，即使不是大臣，對年老的人也應該回拜；奉事兄長要恭敬，照顧弟弟要慈愛。兄弟有不良的行為，應當到他身邊促膝談心勸諫他；若勸諫不聽，就要流著淚開導他；開導他還不改，那就要稟告他的母親。如果仍然不改，就應當上奏天子，並削奪其封國土地。與其讓他保持著恩寵而遭禍，不如身處貧賤而保全性命。當然這說的是大的罪惡。至於微細的過錯，就應當為他們掩蓋。唉，兒子啊！要謹慎的修養自身，事奉朝廷要忠誠堅貞，侍奉太妃要孝順恭敬。家裡的事應遵從太妃的指令，外面的事要接受伯父沛王的教導。你不要讓心懈怠下來，以此來慰藉我的靈魂。」

重病に侵されていた曹哀は、王位を継ぐ子どもに次のように言いました。「あなたはまだ幼く、世の中の理と人との接し方をまだよく分かっていません。あまりにも早く君主になって、耐え忍ぶことを知らずに栄華ばかりを享受していると、必ずや驕りや贅沢で過ちを犯してしましましょう。大臣に接する時は、必ずや礼儀を守りなさい。相手が大臣でなくても、高齢の方には礼をもつて接するべきです。兄には敬愛の気持ち、弟には慈愛の

〔30〕

關關^①雉鳩^②，在河之洲^③。

興也。關關，和聲也。雉鳩，王雉也。鳥擊而有別，后妃悅樂君子之德，無不和諧，又不淫其色，若雉鳩之有別焉，然後可以風化天下。夫婦有別，則父子親。父子親，則君臣敬。君臣敬，則朝廷正。朝廷正，則王化成也。窈窕^④淑女，君子好仇^⑤。

窈窕，幽閑也。淑，善也。仇，逖也（仇，逖也，作仇，匹也）。后妃有幽閑貞專之善女，宜爲君子仇逖也（仇逖也，作匹逖也）。

（卷三 毛詩）

〔註釋〕

①關關：鳥類雌雄相和的鳴聲，後亦泛指鳥鳴聲。②雉鳩：一種水鳥，傳說此鳥配偶固定，情意專一。③洲：水中的陸地。④窈窕：嫺靜美好。⑤淑：指女子貞靜柔善。

⑥君子：此處指周文王。⑦好仇（hǎo qiu / ㄏㄠˇ ㄑㄧㄡˊ）：美好理想的配偶。仇：同

（四）夫婦

心を忘れないことです。兄弟が良くない行いをしているのであれば、そのそばに行って心を開き、じっくりと話し合いをして諫めるべきです。もし兄弟が聞いてくれないのであれば、涙を流して説得しなさい。説得が無理ならば、母親にこのことを告げるべきです。それでも兄弟が改めてくれないのであれば、天子に報告してその領土を奪うようにしなさい。何故なら、このまま恩寵を驕りに思っていずれ大きな災いに遭うよりも、たとえ貧しくて卑しい境地に陥っても、兄弟には命を守って欲しいものです。勿論、ここで言っているのは大きな罪のことであり、ささやかな過ちのことならば、あなたがそれを補うべきです。ああ、息子よ。慎ましく己の品性を養いなさい。朝廷には忠誠を誓い、あなたの祖母である太妃には恭しく孝行をしなさい。家のことは太妃に伺い、外のことは叔父である沛王のご指導を仰ぎましょう。きつと気持ちを引き締めて、私の魂を慰めてください」

「述」，伴侶；配偶。今本《詩經》作「好述」。

【白話】小島上雙棲的睢鳩相對而唱，發出關關的和鳴。那嫻靜善良的女子，才是君子理想的配偶。（夫婦是人倫之始，娶得有德的女子，然後可以風化天下，所以文王思得賢女幫助治國。）

小島に住まう一对の睢鳩（水鳥）は、クワンクワンと仲良く鳴きあいます。物静かで善良な淑女こそ、君主にとって理想の伴侶です。（夫婦の仲は人としての倫理の始まりです。徳の高い女性を娶ることができれば、天下を教化することができます。そのために、文王は徳の高い淑女を娶り、国造りを助けてもらいました。）

三、反身（自ら反省します）

【31】 吳阪之馬，庸夫統銜^①則爲弊乘，伯樂執轡^②即爲良驥，非馬更異。教民亦然也。故遇禹、湯則爲良民，遭桀、紂則爲凶頑，治使然也。故善治國者，不尤斯民而罪諸己，不責諸下而求諸身。（卷四十七 政要論）

【註釋】①銜：馬嚼子。青銅或鐵製，放在馬口內用以勒馬，控制牠的行止。②執轡（pèi / ㄆㄟˋ）：謂手持馬韁駕車，引申爲駕馭。

【白話】吳阪這個地方的馬，平庸的人來駕馭就是劣馬，伯樂來駕馭就成了良駒，並不是馬

的不同（而是駕馭者不同）。教化人民也是同樣的道理。所以，百姓遇到大禹和湯王這樣的聖君則是良民，遇到夏桀和商紂這樣的暴君則成了凶惡愚頑之民，這就是不同的治理所造成的。所以，一個善於治理國家的君主，不會怪罪自己的百姓，而是反省自己的過失；不會斥責自己的部下，而會反過來要求自己。

吳坂という所の馬は、平凡な人が乗ると駄馬に、伯樂が乗ると名馬になります。馬が違
うのではなく、乗り手が異なるためです。民を教化することにおいても、同じことが言え
ます。そのために、大禹や湯王のような聖君に巡りあえた人は良民になり、夏の桀や商の
紂のような暴君の時代に生きていた人は凶暴で愚劣な民になってしまいました。これは違
う道理に沿った治世が導いた結果です。それゆえ、国を治めるのに長けていた君主は、領
民たちのせいにはせずに、自分の過ちを反省するものです。また、部下を責めることもし
ません。ただ、より良い君主になるように自分に要求します。

〔32〕

君能爲善，則吏必能爲善矣；吏能爲善，則民必能爲善矣。故民之不善，吏之罪也；吏之不善，君之過也。嗚呼！戒之戒之！（卷四十 賈子）

【白話】君主能夠行善，那麼官吏就必定能夠行善；官吏能夠行善，則百姓必定能夠行善。

所以百姓不善，是官吏之罪；官吏不善，是君主的過失。啊！對此要警惕而又警惕啊！

君主が善行を実行することができれば、官吏も必ず善行を実行できましょう。官吏が善行を実行することができれば、民も必ず善行を実行できます。それゆえ、民が善行を実行しないのは、官吏の罪です。また、官吏が善行を実行しないのは、君主の過ちです。ああ。そうならないように、気をつけましょう！気をつけましょう！

【33】愛人者、則人愛之；惡人者、則人惡之。知得之己者、則知得之人。所謂不出環堵之室^①，而知天下者，知反己之謂也。（卷十 孔子家語）

【註釋】①環堵之室：四面土牆。形容居室簡陋貧寒。

【白話】愛別人的人，別人也愛他；憎恨別人的人，別人也憎恨他。知道自己修身有得，就知道能獲得眾人的支持。所謂不出小屋而知天下，就是懂得反回頭來修養自己。

人を愛せる者は、人からも愛されます。人を憎悪する者は、人からも憎悪されます。己の品性を高めることの重要性を知っている者は、人々の支持を得られます。何故なら、小屋から出ることなくして天下を知りえる者と言うのは、己の身をいつも反省して、品性を高めようとしている者です。

【34】古之大君子，修身治人，先正其心，自得而已矣。能自得，則無不得矣；苟自失，則無不失矣。無不得者，治天下有餘。故否則保身居正，終年不失其和；達則兼善天下，物無不得其所。

無不失者，營妻子不足。故否則是己非人，而禍逮乎其身；達則縱情用物，而殃及乎天下。（卷四十九 傅子）

【白話】古代聖明君主，修養自身、治理人民，首先端正自己的思想，使自己保持在正道之中而已。自己能持守正道，那麼做任何事情都能得當；假如自己失去正道，那麼做任何事情都會失當。做事都能守正而得當，治理天下就有餘力。所以時運不通時則保全自身、遵循正道，終年持守中和；時運通達時則兼濟天下，使所有人事物各得其所。假如做事都偏離正道而失當，那麼養妻育子尚且不足。所以（失去正道的君主）時運不通時就會肯定自己、指責別人，導致災禍降臨其身；時運通達時則放縱欲望，揮霍無度，以致殃及天下。

古代の賢明な聖君が己の品性を高め、民を治める時、最初にするのは自分の思想を正し、正道を守るように心を落ち着かせることでした。正道を守られたら、何をするにしても、適当にこなすことができます。もし正道を守られなかったら、何をするにしても、適当にこなせなくなってしまう。そのために、正道を守って物事を運べば、天下を治めるのにも余裕ができます。たとえ運が悪い時でも、己の平安を保全できるから、正道を守り、中庸の心を忘れないことは大事です。そのようにすれば、運がいい時は天下のことも全て上手くいき、何事も順調に運べるでしょう。もし正道を逸してしまうと、妻子を養うことさえも難しくなりましょう。そのために、（正道から逸してしまった君主は）運が悪い時

はひたすら人を責めて、自ら災いと呼んでしまいます。また、運がいい時は欲望に任せて贅沢をするから、天下にまで災いをもたらしましょう。

〔35〕

原^①天命^②，治心術^③，理好惡，適情性^④，而治道^⑤畢矣。原天命，則不惑禍福，不惑禍福，則動靜^⑥脩理^⑦矣；治心術，則不妄喜怒，不妄喜怒，則賞罰不阿^⑧矣；理好惡，則不貪無用，不貪無用，則不以物害性矣（本書不以物害性矣作不害物性）。適情性，則欲不過節，欲不過節，則養性^⑨知足矣。四者不求於外，不假於人，反諸己而已。（卷八 韓詩外傳）

【註釋】①原：參究，推究。②天命：指宇宙自然的規律、法則。③心術：內心。④情性：情感，秉性。⑤治道：這裡指修養自己的方法。⑥動靜：行動與止息。⑦脩理：當代趙善詒先生認為，「脩」為「循」之形訛，「脩理」當作「循理」。今從之。⑧阿（ㄏ／ㄜ）：徇私，偏袒。⑨養性：謂修養身心，涵養天性。

【白話】參究天道自然的規律，修正自己的心念，調理自己的好惡，使自己的情感秉性保持適度，如此治國之道就完備了。參究天道自然的規律，就不會不知道禍福的起因與發展，清楚禍福的起因與發展，那麼行動與止息都能恰當合理；修正自己的內心，就不會胡亂高興或發怒，不胡亂高興或發怒，賞罰就不會偏袒；調理好自己的好惡之情，就不會貪圖無用之物，不貪圖無用之物，就不會因外物而傷害了本性；使自己的情感秉性保持適度，欲望就不會超越節度，欲望不超越節度，便能涵養天性、知道滿足。這四個方面不必向身外尋求，也不必藉助他人，只需反過來要求自己而

已。

天道の自然の規律を研究し、自分の考えを修正して好き嫌いを調整し、気持ちに適宜な状態に保つことができたなら、治国の道は完備されたと言えます。天道の自然の規律を研究すると、禍や福の原因と経過が分らないことはありません。禍と福の原因と経過が分かると、行動を取るにしても休養をするにしても、合理的に計画することができます。また、自分の心を正すことができたなら、みだりに嬉しくなったり、怒ったりしません。気持ちの浮き沈みが落ち着くと、賞罰を下す時が偏ることはありません。自分の好き嫌いを直すことができると、無用な物に未練はなくなります。無用な物に未練がなくなると、それらの物によつて己の本性が損なわれなくなります。己の気持ちと考えを適宜な状態に保つと、度を過ぎた欲望を持ちません。度を過ぎた欲望を持たなくなると、天性を修め、満足を知ることができます。これら四つのことを守るのに、外や他人に助けを求める必要はありません。ただ己のことを律するのみです。

〔36〕傳^①曰：「審好惡，理情性，而王道^②畢矣。」能盡其性，然後能盡人物之性；能盡人物之性，可以贊天地之化。治性之道，必審己之所有餘，而強其所不足。蓋聰明疏通^③者戒於大^④察；寡聞少見者戒於雍蔽^⑤；勇猛剛強者戒於大暴；仁愛溫良者戒於無斷；湛靜^⑥安舒者戒於後時；廣心浩大者戒於遺忘。必審己之所當戒，而齊之以義，然後中和之化應，而巧偽之徒不

敢比周^⑦而望進。（後補卷二十 漢書八）

【註釋】

①傳：《韓詩外傳·卷二》云：「理好惡，適情性，而治道畢矣。」②王道：以德治國之道。③疏通：通達。④大：「太」的古字，表示程度過分。⑤雍蔽：蒙蔽；隔絕。雍：通「壅」，堵塞。⑥湛（chan / ィン）靜：沉著冷靜。湛：「沈」的假借字（後世「沈」字多寫作「沉」）。⑦比周：結黨營私。比：勾結。

【白話】

經傳上說：「審察自己的善惡，調理自己的情性，而王道也就在其中完成了。」（調理情性後）能夠完全開顯、發揮自己的本性，然後就能明瞭及發揮他人和萬物的本性；能明瞭及發揮他人和萬物的本性，就能輔助天地化育萬物。調理情性的方法，一定要分辨自己之餘之處，然後勉力彌補自己的不足。一般說來，聰明通達的人，應戒除過分的苛察；見聞不廣的人，應避免閉塞不通；勇猛剛強的人，應杜絕過於暴烈；寬仁慈愛、溫和善良的人，應警惕不夠果斷；沉著安靜、行動舒緩的人，應防止錯過時機；心胸廣大的人，應戒備遺忘事情。一定要仔細分辨自己應當警戒的地方，並用義理調整自己，這樣才能達到性情中和有度，而巧佞虛偽之徒不敢相互勾結營私，企望晉升。

經伝に言われました。「己の善惡をよく察して、気持ちを整えられると、歩むべき王道も自ずと完成されましょう」（気持ちを整えた後は、）自分の本性が完全に目覚め、發揮できるだけではなく、自然に人や物事の本性にも気付き、適材適所に使えます。人や物事の本性に気付き、適材適所に使えるようになると、天地が万物を育む手助けをすること

ようにすることです。一般的に、賢い者は人の欠点ばかりを見ないようにすることです。見聞の狭い者は、閉鎖的で頑なな考え方にならないように気をつけるべきです。勇猛な猛者は、過ぎた暴行に走らないように己を戒めるべきです。慈愛に満ちた心やさしい者は、優柔不断にならないようにすることです。冷静沈着でいつも落ち着いている者は、時期を逸しないように気をつけるべきです。心の広い者は、物忘れしないように注意することです。自分が注意すべき所を見つけ、道義と倫理で己を整えることができたなら、中庸を守れる、節度の分かる品性を養えましょう。また、ずる賢くて嘘ばかりを言う輩が利用しようとして、近づくこともなくなりましょう。

〔37〕孔子曰：「君子者孟^①也，民者水也。孟方則水方，孟圓則水圓。」上何好而民不從？（卷

三十六 尸子）

【註釋】①孟（ㄇㄥˋ／ㄩˋ）：盛食物或漿湯的容器。

【白話】孔子說：「君王就好像是器皿，黎民百姓就好像是水。器皿是方的，水就呈現方的形狀；器皿是圓的，水就呈現圓的形狀。」領導者有什麼喜好而百姓不效仿趨從的呢？

孔子は言われました。「君主というのはまるで器で、民は水です。器が四角い形をしていれば、水は四角い形になります。器が丸い形をしていれば、水は丸い形になります」

指導者の好みに民が真似して随従しないことはありましようか。

〔38〕

上求材，臣殘木；上求魚，臣乾谷^①；上求楫^②，而下致^③船；上言若錦^④，下言若綸^⑤。上有

一善，下有二譽；上有三衰^⑥，下有九殺^⑦。

衰殺皆喻儉（儉作諭）也。傳曰：「上之所好，下尤（尤作有）甚焉。」故有九殺也。

（卷四十一 淮南子）

〔註釋〕

①谷：山間的水流。②楫（ジ／リ）：船槳，短曰楫。③致：奉獻，獻納。④錦（さかん／さかん）：織絹以細絲入杼。《淮南子》通行本作「絲」。根據下文「下言若綸」，

推斷此處當為「絲」字。《禮記·緇衣》中「王言如絲，其出如綸」可為佐證。⑤

綸（りん／りん）：粗絲線。⑥衰：減少。⑦殺：降等；減少。與「衰」相近，都比

喻節儉。《群書治要》小註為「衰殺皆喻儉」。「天明本」校勘記云「儉作諭」，

是當時校勘者用所搜集的《淮南子》許慎、高誘註本，比對《群書治要》中相應的

小註而記錄的。近代吳承仕先生認為：「等衰隆殺，禮家之常言，過制為奢，降省

為儉，故註以『衰殺喻儉』也。《治要》所引近之。誤『儉』作『諭』，翻其反矣。」

今從吳說。

〔白話〕

領導要用木材，下屬就會毀壞林木；領導要吃魚，下屬就會放乾河谷的水；領導要用船槳，下屬就會獻上整條船隻；領導說的話若像一根細絲，下屬說的話就會像一根粗絲繩。領導有一分善行，下屬就有兩分讚譽；領導奢欲減少三分，下屬就會減少九分。

四、尊賢（賢人を推薦します）

上に立つ者が木材を使うと、下の者は森を壊してしまいます。上に立つ者が魚を食べると、下の者は川を干させてしまいます。上に立つ者が櫓を使うと、下の者は一艘の船をまるごと進呈してしまいます。上に立つ者が一本の細い糸のようなことを言うと、下の者は太い荒縄のようなことを言います。上に立つ者に一分の善行があると、下の者は二分の賞讃をします。上に立つ者が贅沢をする欲望を三分減らすと、下の者は九分も減らします。

〔39〕

古者聖王之爲政，列^①德而尙賢；雖在農與工^②肆^③之人，有能則舉之，高與之爵，重與之祿，任之以事。非爲賢賜也，欲其事之成。故當以德就列，以官服事^④，以勞受賞，量功而分祿。故官無常貴，而民無恆賤，有能則舉之，無能則下之。舉公義，避私怨，故得士。得士則謀不困，體不勞，名立而功成，美章而惡不生。故尙賢者，政之本也。（卷三十四 墨子）

【註釋】①列：列入位次。②工：古時對從事各種技藝的勞動者的總稱。③肆：作坊；店鋪；市集。④服事：承擔公職，爲公家服務。

【白話】古代的聖王治理國政，使有德者列於其位，使賢能者得到尊重；即使是務農和做工經商的人，有德能的就會被選拔舉薦，給他們很高的爵位，給他們很豐厚的俸祿，把政事交付給他們。這並不是因爲他們賢能便賞賜，而是想要通過他們成就事業。所以，應當根據德行擔任職位，根據官職承擔責任爲國服務，論政績接受獎賞，按

群書治要 360 3

四、尊賢（賢人を尊びます）

功勞分得俸祿。所以官吏不會始終尊貴，而百姓也不會終生卑賤，有德能就會得到選拔舉薦，無德能就會被免職。按公義提拔人，而不以私怨罷黜人，所以能獲得賢士。（君王）得到賢才則智謀不會窮盡，身體不會疲勞，名聲樹立且功業成就，美德得到彰顯而邪惡不會產生了。因此說尊重賢才是為政的根本。

古代の聖王が国政を治める時は、徳の高い者を就くべき職位に就かせ、有能な賢人が尊重してもらえように配慮をしました。たとえ農夫や職人、商人でも、徳性と才能があれば、高い職位と俸祿がもらえるように推薦され、政事を任せられます。彼らに褒美が与えられたのは有能であるためではなく、彼らに国の事業を成就してほしいからです。そのために、それぞれの徳性によって職位を与えられ、またそれぞれの職位によって国から政務を与えられるのでした。結果によって褒美を取らせ、功績によって俸祿を与えるために、官吏はいつまでも栄華を極めることなく、民もいつまでも低い身分のままにいることはありません。徳性と才能があれば、推薦の機会がもらえるが、徳性と才能がないと、免職されてしまいます。公の大義で人材を拔擢し、私怨で人を免職したりしないから、有能な賢人を得ることができます。そして、（君主が）賢人を得ると智慧が尽きることはなく、身体も必要以上に疲れることはありません。名声を得られる上に事業を成就できて、美德も宣揚されるから、邪悪なものが生まれる余地はありません。そのために、有能な賢人を尊重することこそ、政事をするこの根本だと言われます。

【40】語曰：「世有亂^①人，而無亂法。」若使法可專任，則唐、虞可不須稷^②、契^③之佐，殷、周無貴伊^④、呂之輔矣。（卷二十五 魏志上）

【註釋】

①亂：治理。②稷（ジ / リ）：唐、虞時代的賢臣。稷，又稱「后稷」，周之先祖。

虞舜命爲農官，教民耕稼。③契（キ / セ）：人名。傳說中商的祖先，爲帝嚳（ニ / ラ）之子。舜時佐禹治水有功，任爲司徒，封於商，賜姓子氏。④伊：伊尹，商湯大臣，名伊，一名摯，尹是官名。輔助成湯征伐夏桀，被尊爲阿衡。湯去世後，歷佐外丙、仲壬二王。後太甲即位，因荒淫失度，被伊尹放逐到桐宮，三年後再迎接悔過的太甲恢復王位。

【白話】

俗話說：「世上有能治理好國家的人才，卻沒有能脫離人的實施而自動治理好國家的法令制度。」如果治理國家可以只依靠法令的話，那麼唐堯、虞舜也就用不著稷、契的輔佐，商王、周王也就不必重視伊尹、呂尚的輔助了。

「この世には国をよく治められる人材がいますが、人の実行なくして勝手に国をよく治められる法令や制度はありません」と言われています。もし国を治めるのに法令さえあればいいのならば、唐堯も虞舜も稷、契ら大臣の輔佐が必要なかったのでしょうか。また、商王や周王も伊尹、呂尚らの助けを必要としなかったのでしょうか。

【41】凡治之道，莫如因^①智；智之道，莫如因賢。譬之猶相馬而借伯樂也，相玉而借猗頓^②也，亦必不過^③矣。（卷三十六 尸子）

群書治要 360 3

四、尊賢（賢人を尊びます）

【註釋】①因：依託；利用；憑藉。②猗頓：戰國時大富商，後以「猗頓」爲富戶的通稱。

③過：過失；錯誤。

【白話】大凡治國之道，莫過於依靠智慧；依靠智慧，莫過於任用賢才。就好像識別良馬一定要藉助伯樂，挑選美玉一定要依靠猗頓一樣，就必定不會有所失誤。

およそ国を治めるための道は、智慧に頼るのに勝るものではありません。智慧に頼るには、有能な賢人を任用するのに勝ることはありません。まるで駿馬を識別するには伯樂の助けが、美しい玉を選別するには猗頓の識別眼が必要であつたように、賢人に頼ると必ず間違いません。

42

絶^①江者託於船，致遠者託^②於驥^③，霸王^④者託於賢。（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①絶：横渡。②託：憑藉。③驥：駿馬。④霸王：成就霸業或王業。霸業指憑藉武力、

刑法、權勢等進行統治的功業；王業指以仁義治天下，達到政治清明、社會安定的功業。

【白話】横渡江河的人要依靠船隻，去往遠方之人要依靠良馬，成就霸業或王業的人要依靠賢臣。

川を渡る者は船に頼ります。遠方に行く者は駿馬に頼ります。大きな事業や王としての功績を成就したい者は有能な臣下に頼ります。

43

夫鳥獸魚猶知假，而況萬乘之主乎，而獨不知比假天下之英雄俊士，與之爲伍，則豈不痛哉！故曰：以明扶明，則升于天；以明扶闇，則歸其人；兩瞽相扶，不觸牆木，不陷井阱^①，則其幸也。（卷八 韓詩外傳）

【註釋】①阱（じりば／りん）：地上挖的陷坑。

【白話】鳥獸游魚尚且知道憑藉他力，何況是擁有萬乘兵車的國主，卻偏偏不知道藉助天下英雄賢士的力量，與他們爲伴，這怎麼不讓人感到痛惜呢！所以說，眼睛明亮的人扶助眼睛明亮的人，就可以登高致遠，直上雲端；眼睛明亮的人扶助失明的人，可以挹失明的人送回家；但是兩個失明的人互相扶持，不撞在牆壁和樹木上、不掉進水井或陷阱裡，就算是幸運的了。

鳥獸や魚介でさえも他者の力を借りることを知っているのに、何万もの軍用車を有する国主が天下の英雄と賢人を仲間にしてその力を借りることを知らないのは、何と残念なことでしょう！そのために、目の明るい者が目の明るい者を助けると、高くまで上り、雲の上まで遠く行けます。目の明るい者が目の見えない者を助けると、相手を家まで送り届けられます。しかしながら、もしお互いに目の見えない同士ならば、壁や木にぶつかったりせずに、井戸や罌に落ちつてしまうことがないだけでも、幸いでしよう。

44

聞賢而不舉，殆也；聞善而不索^①，殆也；見能而不使，殆也；親仁而不固^②，殆也；同謀而

群書治要 360 3

四、尊賢（賢人を尊びます）

離^③，殆也。（卷三十二 管子）

【註釋】①索：尋求；探索。②固：堅定、確定。③離：背離；違背。

【白話】領導者知有賢才卻不舉用，（國家或團體）會危險；聽說有善人而不訪求，（國家或團體）會危險；見到有能人而不任用，（國家或團體）會危險；親近仁德之人而信心不堅定，（國家或團體）會危險；共同謀事而又互相背離，（國家或團體）會危險。

賢人がいると知りながら、採用しないのは（国や団体に）危険をもたらしてしまいます。善人がいると知りながら、尋ねないのは（国や団体に）危険をもたらしてしまいます。有能な人を見かけたのに任用しないのは、（国や団体に）危険をもたらしてしまいます。仁義と道徳を重んじる者に近づきながら、相手を信用しないのは（国や団体に）危険をもたらしてしまいます。共に働きながら、互いに裏切ったりするのは（国や団体に）危険をもたらしてしまいます。

45 孫子^①曰：「人主之患^②，不在於言不用賢，而在於誠不用賢。言用賢者口也，卻賢者行也；

口行反，而欲賢者之進、不肖之退，不亦難乎？」善哉言也！（卷四十六 中論）

【註釋】①孫子：即荀子，名況，字卿，戰國末期趙國人。我國古代著名思想家，文學家，政治家。西漢時因避宣帝劉詢諱，而「荀」與「孫」二字古音相通，故又稱孫卿。

②患：禍害、災難。

46

帝者與師處，王者與交（友交）處，亡主與役處。（卷三十四 鵠冠子^①）

【註釋】①鵠（he / ㄏㄜˊ）冠子：相傳為戰國時期楚國隱士，常常戴著以鵠的羽毛裝飾的帽子，故被稱為鵠冠子。

【白話】成就帝業的君主與老師相處（尊重賢人為自己的老師，恭敬地向賢人學習）；成就王業的君主與朋友相處（把賢人當成自己的朋友，與他們互相切磋）；導致國家滅亡的君主與僕役相處（把他人當成自己的僕役，自高自大）。

帝王としての事業を成就した者は老師とつきあいます（賢人を自分の師として尊重し、恭しく学ぶのです）。王者としての事業を成就した君主は友とつきあいます。（賢人を自

【白話】荀子說：「君主的禍患，不在於口頭上說不任用賢才，而在於不能真心實意地任用賢才。口頭上說任用賢才，行動上拒絕賢才；言行相反而想要賢才到來、不賢的人離去，不是很難嗎？」這番話說得多麼好啊！

荀子は言われました。「君主の禍は、賢者を任用しないと口頭で言うことではありません。心から賢者を信用できないからこそ、任用できずにいけないのです。口では賢者を任用すると言いながら、実際の行動では賢者を拒んでしまいます。このように言葉と行動が一致していないのに、賢者の到来と愚者の消失を望むのは、至難なことではありませんか」なんと素晴らしいことを言うのでしょうか。

分の友として、互いに切磋琢磨します。国を滅亡に導いてしまう君主は僕とつき合います（傲慢で自尊心ばかりが肥大化してしまい、人々を自分の僕として使役します。）

〔47〕師臣者帝，賓^①臣者霸。故武王以大公^②爲師，齊桓以夷吾^③爲仲父^④。（卷二十二 後漢書二）

【註釋】①賓：以客禮相待。②大公：即太公望（呂尚）。姜姓，呂氏，名尚。俗稱姜太公。

③夷吾：管仲，名夷吾。④仲父：「仲」爲管仲之字。父，指齊桓公事管仲如父。

【白話】把臣子當老師一樣對待的能夠稱帝，把臣子當賓客一樣對待的能夠稱霸。所以周武王以姜太公爲師，齊桓公以管仲爲仲父。

臣下を師のように接する者は帝王になります。臣下を賓客のように接する者は霸王になります。そのために、周の武王は姜太公を師として仰ぎ、齊の桓公は管仲を仲父と崇めます。

〔48〕治國安家，得人者也；人，謂賢人也。伊尹赴而湯，甯戚到而齊興。亡國破家，失人者也。微子去而殷滅，伍員奔而楚亡。是以明君賢臣，屈己而

申^①人。（卷四十 三略）

【註釋】①申：伸展；伸張。

【白話】國治家安，是因爲得到了賢人；國破家亡，是由於失去了賢人。因此，明君賢臣哪怕是委屈自己，也要使賢能之人的才華得到施用，心志得到舒展。

国を治めて家を安定させられるのは、賢人の助けを得られたからです。国破れて家が滅んでしまうのは、賢人を失ったからです。そのために、賢明な君主や心の広い臣下はたとえ自分のことを疎かにしても、有能な者の志と才能が発揮できるようにします。

〔49〕

賢人在上位，則引^①其類而聚之朝；在下位，則思與其類俱進^②。故湯^③用伊尹，不仁者遠而衆賢至，類相致^④也。（卷十五 漢書三）

【註釋】①引：薦舉。②進：進仕；出仕。③湯：商朝の開國之君，又稱成湯、成唐、武湯、武王、天乙等。④致：招引；招致。

【白話】賢人居於上位，就會引薦和自己同樣賢德的人聚集在朝廷；賢人身在下位，就會期望與自己同樣賢德的人一起得到任用。所以成湯舉用伊尹，不仁的人遠離，而眾多賢能之人就到來了，這是同類相互感召的結果。

賢人が高い地位にいと、自分と同じように徳の高い賢人を朝廷に推薦し、呼び集めます。賢人が低い地位にいと、自分と同じように徳の高い賢人が任用されてほしいと考えます。そのために、成湯が伊尹を推薦してから、徳のない者は朝廷から離れた代わりに、多くの賢人が集まってきました。これこそ同類が互いを感化し、呼び寄せた結果です。

〔50〕

鄭簡公謂子產曰：「飲酒之不樂，鐘鼓之不鳴，寡人之任也；國家之不入（入疑^父），朝廷之不治，

群書治要 360 3

四、尊賢（賢人を尊びます）

與諸侯交之不得志，子之任也。」子產治鄭，國無盜賊，道無餓人。孔子曰：「若鄭簡公之好樂，雖抱鐘而朝可也。」夫用賢，身樂而名附，事少而功多，國治而能逸。（卷三十六

尸子）

【白話】鄭簡公對子產說：「飲酒時不奏樂，鐘鼓不鳴，這是我的責任；如果國家沒有收入，朝廷得不到治理，與諸侯國交往而不能實現志願，就是你的責任了。」子產治理鄭國，國家沒有盜賊，路上沒有飢餓的人。孔子說：「像鄭簡公那樣喜好音樂，就是抱著鐘鼓上朝也可以啊。」善於任用賢才，就能身享安樂而聲名自然到來，事務少而功績多，國家得到治理而自身也能安逸。

鄭簡公は子産に言いました。「酒を飲むときに音楽を忘れて、鐘と鼓を鳴らさなかったら、私の責任になります。もし国に収入がなく朝廷が上手く統制されておらずに、諸国との外交に困ることがあると、あなたの責任になります」子産が治めた鄭国には盗賊がいなければ、飢えに苦しむ人もいません。孔子は言いました。「鄭簡公ほど音楽を愛する者ならば、鐘と鼓を抱えて朝廷に出てもよかったのです」有能な賢人を上手く使うことができると、楽しく暮らしながらも自然に名声がついてきます。また、少ない仕事で多くの功績を打ち立てることもできます。国が安泰な上に、君主自身も楽しく過ごせます。

五、納諫（諫言を受入れます）

〔51〕

至忠逆於（舊無逆於之於字，補之）耳、倒於心、（倒亦逆也）非賢主、其孰能聽之？（受聽）故賢主之所說^①，不肖主之所誅也。（賢主悅忠言。不肖主反之。）今有樹於此、而欲其美也、人時灌之則惡之、（惡其灌之者也）而日伐其根、則必無活樹矣。

夫惡聞忠言、自伐之精者也。（精猶甚、甚於自伐其根也）（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①說（yue / ヨハ）：後作「悦」。喜悅；高興。

【白話】至忠之言會讓人覺得不中聽、不順心，若不是賢明的君主，有誰能接受呢？所以賢明的君主所喜歡的，正是昏庸的君主所要懲罰誅除的。假如這裡有一棵樹，自己希望它生長茂盛，可是別人按時澆灌它，自己卻討厭澆灌人的行為，並且每天砍伐樹根，那麼這棵樹必定活不了。厭惡聽取忠言，正是最嚴重的自我毀滅的行為啊！

最も忠誠を尽くした言葉は聞いていて気持ちのいいものではなく、人の心を不快にさせます。賢明な君主でなければ、誰がそのような言葉を受け入れられましょうか。そのために、賢明な君主が好むのは、愚かな君主が罰して消そうとするものです。仮にここに一本の木があるとしましょう。木には大きく育ってほしいものです。しかしながら、誰かがいつも決まった時間にその木に水をあげてくれても、自分はそのような行為してくれる者が嫌いで、しかも木の根元を毎日傷つけているものなら、その木は必ず長生きできないでしょう。忠言を聞き入れることを嫌悪するのは、まさに最も大変な自滅行為です。

〔52〕夫明主之聽於群臣，其計可用也，不差其位；其言可行也，不責①其辯。闇主則不然，信所愛習親近者，雖邪枉②不正，不能見也；疏遠卑賤者，雖竭力盡忠，不能知也。有言者窮之以辭，有諫者誅③之以罪。如此而欲炤④海內、存⑤萬方，是猶塞耳而聽清濁，掩目而視青黃也，其離聰明亦遠矣。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①責：要求；期望。②邪枉：邪曲，不合正道。③誅：懲罰；責罰。④炤（zhào / 出么）：同「照」，照耀。⑤存：撫慰；顧恤。

【白話】賢明的君主聽取群臣的建議，如果臣下的策略可用，就不應當因說話人的地位低下而恥於採用；如果臣下的言論可行，就不會責求他們要能言善辯。昏庸的君主就不是這樣，他信任、偏愛平素與自己親近的人，雖然他們姦邪枉法、品行不端，他卻看不見；他疏遠地位卑賤的人，雖然他們竭盡忠誠奉獻才智，他卻不知道。有人進言時，他要追根問底使對方理屈詞窮；有直言規勸的，他就用某種罪名予以懲處。這樣做還想要光耀海內、撫恤天下的百姓，就像是塞著耳朵去聽辨樂聲的清濁、蒙上眼睛卻想看清楚顏色，這樣離耳聰目明也太遠了。

賢明な君主は臣下たちの意見を聞き入れます。もし臣下の策略が使えそうのであれば、提案者の地位が低いからと言って、採用しないことはしません。もし臣下の言論が実行できるものであれば、これ以上の能弁さを要求しません。愚かな君主は違います。愚かな君主は自分と日頃から親しい者を信用して偏愛します。それらの者は濫りに法を犯し、品行

のかけらもないが、君主にはそのような事実が見えません。愚かな君主は地位の低い者を遠ざけます。それらの者が忠を尽くして才能と智慧を捧げて、君主には分かりません。誰かが提案をすると、愚かな君主はつまらない理屈を弄じて相手を閉口させます。直言する者がいれば、何らかの謂われのない罪でその者を罰します。このようなことをしているのに、国内外にその名を轟かせ、民のことを思いやりたいと言うのは、まるで耳を塞いで音楽の良し悪しを分別し、目を隠して色の違いを区別しようとするように、耳と目のいい者のそれとはあまりにも程遠いのです。

53

明主垂寛容之聽，崇諫爭之官，廣開忠直之路，不罪狂狷^①之言。然後百僚在位，竭忠盡謀，不懼後患，朝廷無諂諛之士，元首^②無失道之愆^③。（卷十九 漢書七）

【註釋】①狂狷（*kuang / guan*）：「狂」原指進取於善道，知進而不知退的人；「狷」原指守

節無爲，應進而退的人。兩者各有優點，狂者進取，狷者有所不爲。此文爲當時幾位大臣聯合上書，勸漢成帝不要誅傷諫臣劉輔，故此處指狂妄褻急。②元首：君主。

③愆：罪過，過失。

【白話】聖明的君主能寬容地聽取下邊的諫言，尊敬推崇敢於諫諍的官員，廣開忠誠正直者的進諫之路，不怪罪下屬狂妄褻急的話。這樣才能使朝中百官安居其位，竭盡忠誠與智謀，不害怕有後患，朝廷就不會有諂媚阿諛的人，君主就不會有不合道義的過失。

賢明な聖君は広い心で下々の者の直言を聞き入れられます。勇気をもって進言してくれる官員を尊敬して崇め、忠誠を持つ正直者が進言できるような道を広く作ります。臣下の急進的で狷介な言葉を責めたりしません。このようにするからこそ、朝廷の百官はそれぞれの位に安定し、忠誠と智慧を尽くしてくれます。進言した後のことを心配しなくないから、媚び諂う者は消え、君主にも道義に合わない過ちがなくなります。

54

防^①民之口，甚於防水。水壅^②而潰^③，傷人必多，民亦如之。是故爲水者，決^④之使導；爲民者，宣^⑤之使言。故民之有口，猶土之有山川也，財用於是乎出；猶其有原隰衍沃^⑥也，衣食於是乎^{（舊無出猶至是乎十四字，補之）}生；口之宣^⑦言也，善敗^⑧於是乎興^⑨。夫民慮之心，而宣之口，成而行之。若壅其口，其與能幾何？（卷十一 史記上）

【註釋】

①防：堤壩。這裡用作動詞，堵塞。②壅：堵塞。③潰：決口。④決：排除壅塞，疏通水道。⑤宣：疏通；疏導。⑥原隰（ㄅㄨˊ ㄇㄧˊ）衍沃：「原」指寬闊平坦的土地；「隰」指低下而潮濕的土地；「衍」指低下而平坦的土地；「沃」指有河流灌溉的土地。⑦宣：宣布；傳布；公開說出。⑧善敗：成敗。⑨興：事情的發生或出現。

【白話】

堵塞百姓的口，後果比堵住河流更加嚴重。河水堵塞而蓄積，一旦決口，傷害的人一定會很多，堵塞了百姓的口也是一樣道理。所以治水的人要疏通水道，使水流通暢；治理百姓的人，要開導他們，讓他們講話。因此，百姓有嘴巴，正像大地有山河一樣，於是人類的財物就從這裡產生；又猶如大地有平窪高低各種不同的地形一樣，於是

人類的衣食資源就從這裡產生；能讓百姓盡情說話，國家政事的好壞才能充分顯示。百姓把心裡想的公開說出來，成熟的意見就可以實施。如果堵住百姓的嘴不讓他們說話，這樣做能長久嗎？

民の口を塞ぐのは、川の流れを塞いでしまうよりも酷い結果を招いてしまいます。塞がれた川の堤防が決壊してしまうと、多くの負傷者を出すことになりましょう。民の口を塞いでしまうのも同じことです。そのために、治水する者はまず水の道をよく通し、水の流れを順調にします。民を治める者はまず民を指導し、話ができるようにします。思うように喋れる民は、大地に山と川があるように、そこから財物が生まれます。民が思う存分に喋れると、国の政事の良し悪しが充分に現れます。民が心の中で思うことを公にすることができたら、そのうちに成熟した意見は実行されることでしょう。もし民の口を塞いでしまうと、その国は長く持続しますか。

〔55〕湯曰：「予有言，人視水視形，視民知治不^①。」伊尹曰：「明哉！言能聽，道乃進。君國子民，爲善者在王官^②，勉^③哉勉哉！」（卷十一 史記上）

【註釋】①不：同「否」。②王官：王朝的官員。③勉：盡力；努力。

【白話】湯王說：「我說過，人看水可以照見自己的容貌，看民眾生活情況可以得知政治是否清明。」伊尹說：「這話說得透徹極了！能聽進別人的意見，治國之道才會長進。治理國家，撫育萬民，就得讓賢能的人擔任王朝的重要官職。努力吧，努力吧！」

湯王は言われました。「私は言いました。人は水を通して己の顔が見えます。民の生活を通して政治の清明さが分かります」伊尹は答えました。「まさにその通りです。人の意見を聞き入れられるから、治国の術は進歩します。国を治め、万民を育みたいのであれば、有能な賢人に朝廷の重要な官職についてもらうべきです。頑張りましょう。頑張りましょう」

56

夫子^①語我^②九言曰：「無始亂，無怙^③富，無恃寵，無違同，無敖^④禮，無驕能，以能驕人。無復怒，復，重也。無謀非德，非所謀。無犯非義。」言簡子能用善言，所以遂興也。（卷六 春秋左氏傳下）

【註釋】

①夫子：古代對男子的敬稱。此處指春秋時鄭國正卿游吉。其人年少有儀度，支持子產改革，後繼子產執政。長於外交辭令，多次出使晉、楚大國。②我：此處是晉國大夫趙簡子自稱。趙簡子因善於吸取他人有益之言，而能建功立業。本條選文是游吉去世後，趙簡子親臨哭弔時所追述的游吉曾給他的忠告。③怙（hù / ふ）：依賴；憑恃。④敖：傲慢；驕傲。後通作「傲」。

【白話】

夫子對我說了九句話：「不可成為禍亂的源起，不可依仗錢財權勢，不可依仗寵愛，不可違背大眾共同的意願，不可傲慢對待有禮之人，不可因有能力而驕傲，不可對同一件事再次動怒，不可圖謀不合道德的事，不可觸犯不合正義的事。」

夫子は私に九つの言葉を遺しました。「災いの源になってはいけない。金銭や權勢をだ

六、杜讒邪（陰口と邪念を杜絶えます）

てにしているといけない。寵愛されていることで思い上がってはいけない。大衆に共通している願いに背を向けてはいけない。礼儀正しい者を疎かにしてはいけない。自分に能力があるからと言って驕ってはいけない。同じことに二度と怒ってはいけない。道徳に合わないことを図ってはいけない。正義に合わないことに手を出してはいけない」

〔57〕

否。《象》^①曰：天地不交，而萬物不通；上下不交，而天下無邦也。內陰而外陽，內柔而外剛，

內小人而外君子。小人道長，君子道消也。（卷一 周易）

【註釋】①象（じやう／象）：此處爲否卦的象辭。孔子所作彖辭，統論一卦之義，或說其卦之德，或說其卦之義，或說其卦之名。

【白話】否卦《象傳》說：天地不能通氣，萬物就不能生長；君臣之間不溝通，（上下的觀念就很難達成一致，必然會導致民心離散），政權也就不能存在了。坤代表柔，是內卦；乾代表剛，是外卦。卦象表明：自私自利的小人在位，而賢德的君子在野。象徵小人道長，君子道消的情況。（這是一個國家、團體要衰敗的徵兆。）

否の卦は『象傳』によると、天地の気が巡れなければ、万物は生長できません。君臣の間に意思の疎通ができなければ、（上下の觀念は一致しがたく、民心も離れていつてしまい、）政権は持続できなくなります。坤は柔を意味し、内の卦です。乾は剛を意味し、外

群書治要 360 3

六、杜讒邪（陰口と邪念を杜絶えます）

の卦です。このような卦は次のことを示しています。私利私欲しか考えていない矮小な者が朝廷に在位し、有能で徳性のいい君子は政治の中心から遠く離れた外野にいます。すなわち、矮小な者が力を誇示し、君子が重用されない現象を示している卦です。（これはまた、国もしくは団体が衰退して敗北する兆しとも言えましょう。）

〔58〕

僕臣^①正，厥^②后^③克^④正；僕臣諛，厥后自聖。言僕臣皆正，則其君乃能正。僕臣諛諛，則其君乃自謂聖。后徳惟^⑤臣，弗徳惟臣。君

之有徳，惟臣成之。君之無徳，惟臣誤之。言君所行善惡，專在左右也。爾無昵^⑥于儉人^⑦，充耳目之官，迪^⑧上以非先王之典。汝無親近儉利小子之人，充備侍從，在視聽之官，導君

上以非先王之法也。

〔註釋〕①僕臣：臣屬；臣僚。②厥：代詞，其。③后：君主；帝王。④克：能夠。⑤惟：

介詞，也作「唯」、「維」，相當於「以」、「由於」。⑥昵（*nǐ* / ㄋㄧˋ）：親近；

親昵。⑦儉（*xiān* / ㄒㄩㄢ ˋ）人：小人，姦佞的人。儉：姦佞；邪僻。⑧迪：開導；引

導。

〔白話〕（周穆王任命伯冏為太僕正來領導身邊的侍御人員，策命書中說：）身邊的僕從和

近臣都是中正之士，其君主也會保持中正；僕從和近臣諂媚，君主就會自以為聖明。

君主有徳在於臣下，君主失徳也在於臣下。你不要親近姦佞小人，不要讓他們擔任

充當君王耳目的職位，以免誘導君王違背先王的典制。

（周の穆王は伯冏を太僕正に任命し、側近たちの指導を任せました。官吏を任命する文

59

書の中では次のように記されています。周りの側近と近臣が中正な者でいれば、君主も中正でいられましょう。周りの側近と近臣が媚びへつらう者でいれば、君主は自分のことを賢明な聖君だと勘違いするでしょう。君主に徳があるのは臣下による影響ではありませんが、君主が徳を失ってしまうのも臣下に責任があります。そのために、伯冏よ、卑しい矮小な者に近づいてはいけません。そのような者が君主の耳と目になって、君主が先王の残した儀典と制度に背くようなことがあつてはいけませんのです。

臣聞天下之禍，不由於外，皆興於内。是故虞舜升朝^①，先除^②四凶^③，然後用十六相^④。明惡人不去，則善人無由^⑤進也。（卷二十三 後漢書二）

【註釋】①升朝：上朝，到朝廷議事。②除：驅除；肅清。③四凶：相傳為堯舜時代四個惡名昭彰的部族首領，後世多用以比喻凶狠貪婪的朝臣。④十六相：即十六族。指古代傳說的高陽氏的後代八愷和高辛氏的後代八元，為舜向堯推薦的十六個賢臣。因其各有大功，皆賜氏族，故稱。⑤無由：沒有門徑，沒有辦法。

【白話】（傳變上疏勸諫說：）臣聽說天下的禍患，並不是由外引起的，都是由內產生的。所以虞舜上朝議事，首先驅除四位惡名昭彰的部族首領，然後任用十六位賢臣。表明如果惡人不除去，善人就無法得到進用。

（傳變は帝に上疏して諫めました。）天下の禍は外から引き起こされたのではなく、内か

ら生まれるものだと言いました。そのために、新しく朝廷を興した虞舜はまず、悪名高い四人の部族の首領を駆除しました。それから十六人の有能な臣下を任命しました。何故なら、悪人を一掃しなければ、善人は任用されないのです。

〔60〕

方正之臣得用、則姦邪之臣困^①傷矣。是方正之與姦邪、不兩進之勢也。姦邪之主之側者、不能勿惡之；惟惡之、則必候主間^②而日夜危之。人主弗察而用其言、則忠臣無罪而困死、姦臣無功而富貴。故曰：「忠臣死於非罪、而邪臣起於非功。」（卷三十二 管子）

【註釋】①困：陷在艱難困苦裡，或受環境、條件等因素限制住。②間（かん／かん）：嫌隙，隔閡。

【白話】品行正直の臣子得到進用、那麼姦邪之臣就會困窘而毀敗了。這就是正直之臣與姦邪之臣不能同時進用的形勢。姦邪之臣在君主身邊、就不能不憎惡正直的忠臣；既然憎惡、就必然窺伺君主與忠臣有隔閡的時機而日夜圖謀危害。如果君主不能明察而聽用姦邪之言、忠臣就會無罪而被迫害至死、姦臣就會無功而得到富貴。所以說：「忠臣往往死於無罪、邪臣往往興起於無功。」

正直で潔白な臣下が任用されると、邪な奸臣は囚われて滅亡するでしょう。正直な者と邪な者は両立できないためです。もし邪な奸臣が君主の傍にいと、正直な忠臣のことを憎まずにはいられないでしょう。そして憎いがゆえに、君主と忠臣の間に溝が生まれる時

を伺つて、忠臣に危害を加えようと日夜図るのです。もし君主がこのことに気付かず讒言を聞き入れてしまうと、忠臣は罪がないのに死ぬまで迫害されてしまいます。一方、奸臣は功勞がないのに、富を手に入れてしまいます。そのために、「忠臣は往々にして罪がないのに、亡くなってしまう。奸臣は往々にして功勞がないのに、勢いと榮華を手に入れてしまいます」

〔6〕

世俗之人，聞譽則悅，聞毀則戚^①，此衆人之大情^②。有同己則喜，異己則怒，此人之大情。故佞人^③善爲譽者也，善順從者也。人言是，亦是之；人言非，亦非之。從人之所愛，隨人之所憎。故明君雖能納正直，未必親正直；雖能遠佞人，未必能疏佞人。故舜、禹者，以能用佞人，亦未必憎佞人。語曰：「佞辨惑物^④，舜、禹不能得憎。」不可不察乎！（卷三十七 尹文子）

【註釋】①戚：憤恚，憤怒。②衆人之大情：社會大眾的普遍心理。③佞人：善於花言巧語、阿諛奉承的人。④物：人；衆人。

【白話】世上的一般人，聽到別人讚譽自己就高興，聽到別人批評自己就生氣，這是人之常情。別人的意見與自己的意見相同就高興，不同就惱怒，這也是人之常情。所以佞人都善於說讚美的話，都善於迎合他人。別人說正確，他也說正確；別人說不正確，他也說不正確。迎合別人所愛好的，附和別人所憎惡的。所以賢明的君主雖然能重

用正直無私の人、但不一定願意親近他們；雖然不重用姦邪之人，但不一定願意疏遠他們。因此，即使像虞舜、夏禹這樣賢明的君主，也只能做到不用姦邪之人，卻不一定會憎惡姦邪之人。古話說：「巧辯之人能夠迷惑人心，虞舜、夏禹也做不到很理智地憎惡他們。」對此不能不明察呀！

世の中の一般人は、人から褒められると嬉しくなるし、批判されると怒ってしまいます。いずれも人としてごく当たり前の反応です。他人と自分の意見が同じだと嬉しくなるし、異なると怒ってしまいます。これも人としてごく当たり前の反応です。そのために、言葉巧みに媚びへつらう者は、褒め言葉を言うのに長けているし、他人に迎合するのが上手です。人が何かを正しいと言えば、媚びへつらう者もそれは正しいものだと言います。人が何かを正しくないと言えば、媚びへつらう者もそれは正しくないと言います。すなわち、人の愛好に迎合し、人の嫌悪するところを更に悪く言うのです。そのために、賢明な君主は正直で私欲のない者を重用することはできても、彼らに近づくとは限りません。また、邪な奸臣を重用しないことはできても、彼らから遠のくとは限りません。だからこそ、虞舜、夏禹のような明君でも、邪な者を任用しないのが精一杯で、必ずしもそのような者を憎んでいる訳ではありません。古い言葉にありました。「詭弁を弄ぶ者は人の心を惑わせます。たとえ虞舜、夏禹であっても、冷静に彼らのことを憎むことはできないでしょう」このことについて、明察しなければなりません！

〔62〕

或問：「佞孰爲大？」傳子曰：「行足以服^①俗，辨足以惑衆，言必稱乎仁義，隱其惡心而不可卒見，伺^②主之欲微合之，得其志敢以非道陷善人，稱之有術，飾之有利，非聖人不能別。此大佞也。其次，心不欲爲仁義，言亦必稱之，行無大可非，動不違乎俗，合主所欲而不敢正也，有害之者然後陷之。最下佞者，行不顧乎天下，唯求主心，使文巧辭自利而已，顯然害善，行之不忤^③。」（卷四十九 傳子）

【註釋】①服：使信服；使佩服。②伺：窺伺，窺探，觀察。③忤（*nuo / pe*）：慚愧。

【白話】有人問：「什麼樣的人才算最大的佞臣？」傳子回答：「行爲足以讓社會大眾信服，詭辯足以迷惑眾人，言論必稱仁義，隱藏其險惡之心而人不能一下子看透，窺探君主的欲望暗中巧妙迎合，得志時敢用不道義的方式陷害好人，以一定的策略方法稱歎自己種種善之行，以利益國家爲由掩飾自己害善之舉，若不是聖人則不能識別。這種人是最大的佞臣。其次，內心不想實行仁義，言談卻必稱仁義，行爲沒有讓人引起大的非議的，行動也不違背世俗習慣，迎合君主的私欲而不敢去矯正，有危害自己的人則會加以陷害。最下等的佞臣，是其作爲不顧忌天下人的非議，只求迎合君主心意，言語華美而虛浮不實，以求利己而已，很明顯地殘害賢善之臣，但我行我素，毫不覺得慚愧。」

だれかが尋ねました。「どのような者こそ最も酷い奸臣でしょうか」傳子は答えました。「社会の大衆を信服させるだけの行いをして、詭弁で人々を惑わす者です。自分のす

ることは全て仁義のためだといつも言っているから、その陰悪な心はすぐには見分けられません。また、暗に君主の欲する所を探って巧妙に迎合し、自分が勢いに乗るようになる、不義なやり方で善良な人を陥れようとします。様々な方法で自分の非行を美化し、国のためだと称して自分の非行を隠すのです。聖人でなければ見分けられないこのような者こそ、最大の奸臣と言えましょう。次に奸臣と言えるのは、本当は仁義の考えを実行するつもりがないのに、何をするにしても必ず仁義のためだと口にする者です。このような者は非議されるほどの酷い行いをしてはいませんが、君主にはひたすら迎合するばかりで諫めて正そうともしません。また、自分に害をなす者がいれば、相手を陥れようとします。最後に最も下劣な奸臣は、天下の人々の非議をもとめずに行動し、ひたすら君主に迎合するばかりの者です。このような者は美辞麗句を弄ぶばかりで中身がなく、自分のことしか考えていません。賢明で善良な臣下を明らかに迫害していながら、少しも悔い改める素振りを見せずに、悪行を行い続けるのです」

63

齊桓公問於管仲^①曰：「國何患？」對曰：「患夫社鼠^②。」桓公曰：「何謂也？」對曰：「夫社束木而塗之，鼠因往託焉。熏之則恐燒其木，灌之則恐壞其塗。此鼠所以不可得殺者，以社故也。夫國亦有社鼠，人主左右是也。內則蔽善惡於君上，外則賣權重於百姓。不誅之則爲亂，誅之則爲人主所案據，腹有之^③，此亦國之社鼠也。」（卷四十三 說苑）

【註釋】

①齊桓公問於管仲：事又見《晏子春秋》，問者爲景公，答者爲晏子。②社鼠：社廟中的鼠，比喻有所依恃的小人。社：社壇，祭祀土地神之處。③誅之則爲人主所案據，腹有之：《群書治要》「天明本」斷句爲：「誅之則爲人主所案，據腹有之」。清代王念孫先生校勘《晏子春秋》，認爲「案」字當與下文「據」字連讀爲「案據」，意思是「安定之」。今從之。「腹有之」，《說苑》通行本作「腹而有之」，《韓詩外傳》作「覆而育之」。指保護和養育他們。

【白話】

齊桓公問管仲道：「治理國家所擔心的是什麼？」管仲回答說：「擔心社廟的老鼠。」桓公問：「什麼意思呢？」管仲回答說：「那社廟是用木頭排列後再塗上泥做成的，老鼠便棲身其中。若用煙熏牠，則害怕會燒壞木頭；若用水灌牠，又害怕沖壞了塗在上面的泥。這裡面的老鼠之所以不能被殺死，是因爲社廟的緣故。國家也有社鼠，君主身邊的親信就是。他們在宮內對君主隱瞞一切善惡情況，在宮外就仗勢欺人，壓榨百姓。不誅殺他們就會造成禍亂，要殺掉他們，他們又被君主所庇護，君主保護和養育他們，這些人就是國家的社鼠。」

齊の桓公は管仲に尋ねました。「国を治める上での心配事は何でしょうか」管仲は答えました。「寺院に住まうネズミです」桓公は尋ねました。「どういう意味でしょうか」管仲は答えました。「寺院というのは、木で作った骨子に泥を塗ってできたものですが、ネズミはその中に住んでいます。もし煙でネズミを追いつとすると、骨子の木まで焼いてしまう恐れがあります。水でネズミを駆除しようとしても、表面の泥まで洗い落とされて

しまいかねません。ネズミが殺されないのは、寺院そのものに寄生しているためです。国にも寺院のネズミがあります。君主の周りにいるごく親しい側近たちこそがそうです。彼らは宮殿の中では君主に全ての善悪の実情を隠します。宮殿の外では権力を笠に着て人々を苛め、民を圧搾します。彼らを殺さなければ、禍は起こってしまいます。しかしながら、彼らを殺そうとすると、君主の庇護が邪魔になります。ゆえに、君主に保護されて囲われているこの者たちこそ、国に住まう寺院のネズミです」

七、審斷

64

聖人擇可言而後言，擇可行而後行。偷得利而後有害，偷^①得樂而後有憂者，聖人不爲也。故聖人擇言必顧其累，擇行必顧其憂。（卷三十二 管子）

【註釋】①偷：苟且（只圖眼前，得過且過）。

【白話】聖人選擇可以說的話，然後才說；選擇可以做的事，然後才做。只圖眼前得到利益而將來會有禍害，只圖眼前得到快樂而將來會有憂患的事，聖人是不會做的。所以，聖人選擇說什麼話，一定會考慮到它可能造成的麻煩；選擇做什麼事，一定會考慮到它可能帶來的憂患。

聖人は言葉を慎重に選んでから、口にします。行為を慎重に選んでから、実行します。何故なら、目の前の利益ばかりを気にしていると、将来は必ず禍が起こってしまいます。

また、目の前の快樂ばかりを気にしていると、将来は必ず憂い事に悩まされてしまいます。このようなことを聖人はしないのです。そのために、聖人は言葉を選ぶ時、その言葉によって起こりうる面倒まで必ず考慮に入れています。何かをしようとする時も、その行為によってもたらされうる憂いまで考慮に入れているのです。

〔65〕

上下離而不和，故雖自安，必且危之。故曰：「上下不和，雖安必危。」（卷三十二 管子）
 【白話】臣下不親近他們的國君，百姓不相信他們的官吏，上下離心不相和睦，雖然自認為安定，也必將走向危亡。所以說：「上下不和，雖一時安定，也必將危亡。」

臣下が彼らの君主に近づこうとせず、民が彼らの官吏を信用しないと、上下の心は離れていつてしまい、その関係は不和に満ちて仲良くできなくなります。たとえ安定していると思ひ込んでいても、必ず滅亡の危機に向かってしまひましょう。そのために、「上下が不和になると、たとえ一時安定しているように見えても、必ずや滅亡の危機に向かってしまひましょう」

〔66〕

今不務明其義，而徒設其祿，可以獲小人，難以得君子。君子者，行不苟合^①，立不易方^②，不以天下枉道^③，不以樂生害仁，安可以祿誘哉？雖強縛^{（縛作）}，執之，而不獲已，亦杜口佯愚，苟免不暇。國之安危將何賴^{（賴下有焉字）}？（卷四十六 中論）

【註釋】①苟合：不依道義行事，只知阿諛迎合。②易方：改變做人之常道。方：道理；常規。

③枉道：違背正道。

【白話】（君王）如今若不致力修明仁義，而空設高官厚祿，可以得到小人，但難以得到君子。

所謂君子，不會阿諛迎合而不以道義行事，處世不改變做人之常道，不為世人的喜好而違背道義，不為保全自己的生命而損害仁愛，怎麼可以用高官俸祿去誘惑他呢？即使用強制的手段控制他，也不能讓他屈服，他也只是閉口不言，佯裝愚鈍，苟且讓自己避免傷害都來不及，沒有餘力再幫助國家。（到此地步），國家的安危又將依賴什麼呢？

（君主が）仁義の理を立て直そうとせず、ただ高い官位と高祿を設けるばかりでいれば、矮小な者を得ることはできても、君子を求められないでしょう。君子と言うのは、媚びへつらって迎合するために仁義に悖ることをしません。世の中のことに對しても、君子は人々の愛好のために道義に背こうとしません。自分の命を保全するために仁愛を損なわない君子を、どうして高い官位や高祿で誘惑できると思うのでしょうか。たとえ強制的な手段で君子を制御することはできても、その志までを曲げることはできません。そのような目に遭うと、君子はただ口を閉ざして愚かな振りをするだけでしょう。自分が傷つけられないようにするのに必死な君子にはもう国を助ける余力がありません。（そこまでいくと、）国の安否は何を頼りにしたらいいのでしょうか。

〔67〕

人臣有三罪：一曰導（導下有非字）；二曰阿失^①；三曰尸寵^②。以非先（先作引）上，謂之導；從上之非，謂之阿；見非不言，謂之尸。導臣誅，阿臣刑，尸臣絀^③。（卷四十六 申鑒）

〔註釋〕①阿失：曲從（君上的）過失。②尸寵：謂臣見君非而不諫，徒被寵幸。③絀（チ、イ、メ）：通「黜」，貶退，廢除。

〔白話〕臣子有三種罪：一是引導君主做不正當的事情；二是一意迎合君主的過失；三是不盡忠直之道而取寵。用不正當的言行引導君主稱為導；順從君主做不正當的事情稱為阿；見到不正當的事情不規勸稱為尸。引導君主幹不正當事的臣子應被誅殺，阿意迎合的臣子應當被處罰，在其位而不盡忠勸諫的臣子應當被罷免。

臣下には三つの罪があります。一つ目は、君主が不正なことをするように仕向けることです。二つ目は、君主の過ちにも迎合することです。三つ目は、忠誠と正直を尽さずに、ただ君主に氣に入られようと苦心することです。君主の意のままに不正なことをするのは、阿ることです。不正なことが起こっているのに、見て見ぬ振りしてやめさせようとしなかったのは屍も同然です。君主が不正なことをするように仕向ける臣下には、天誅がくだされるべきです。また、阿ることばかりしている臣下は、罰せられて当然です。その地位にいながら、忠誠を尽して諫めなかった臣下は免職されるべきです。

〔68〕

臧孫曰：「季孫之愛我，疾疢^①也；志相順從，身之害。孟孫之惡我，藥石^②也。志相違戾，猶藥石療疾。美疢不如惡石。夫

群書治要 360 3

七、審斷

石猶生我；也。愈已疾。疾之美，其毒滋^③多。孟孫死，吾亡無日矣。」（卷五 春秋左氏傳中）

【註釋】①疾疚（chen / い）：病害。疚：煩熱；疾病。②藥石：藥劑和砭石，泛指藥物。

③滋：愈益；更加。

【白話】臧武仲說：「季武子喜歡我（志意相投，順從我意），猶如使我沒有痛苦地患上熱病；孟莊子厭惡我（志意相違），猶如治癒我疾苦的藥石。沒有痛苦的熱病不如使人痛苦的藥石。藥石還能治病，使我活下去；患熱病而不知痛苦，它的毒害就更深了。如今孟莊子死了，我離滅亡也沒有多少日子了。」

臧武仲は言われました。「季武子は私のことを気に入っていたので、私たちは意気投合して、彼はいつも私の好きなようにさせてくれて、私はまるで苦しまれることなく、熱病にかかったようなものです。孟莊子は私のことを嫌っていたので、私たちは意見がよく食い違うが、まるで私の苦しみを癒してくれる薬のようなものです。薬は病を治してくれて、私を存続させられます。一方、熱病を罹っているのに、その苦しみを知らないのであれば、その弊害はより深いものになります。今や孟莊子はなくなってしまうました。私も滅亡する日まであと少しでしょう」

69

善善而不能用，惡惡而不能去。彼善人知其貴己而不用則怨之；惡人見其賤^①己而不好^②則仇之。夫與善人爲怨，惡人爲仇，欲毋亡，得乎？（卷四十四 桓子新論）

【註釋】①賤：輕視，鄙視。②好（hao / 好）：喜愛，愛好。

【白話】領導人喜歡善人卻不去任用，憎惡惡人卻不去罷免。那些善人知道他看重自己卻不被任用，就會抱怨他；惡人看到他鄙視自己而得不到他的喜歡，就會怨恨他。與善人結怨，與惡人結仇，想不滅亡，可能嗎？

善人が好きなのに、善人を任用しません。悪人が憎らしいのに、悪人を免職させません。このような指導者がいます。自分のことを大事に思いながら、任用しないことが分ると、善人でも君主の文句を言うようになります。自分のことを卑しく思つて気に入らないことが分ると、悪人は君主のことを恨みます。善人から恨まれ、悪人から仇にされているのに、滅亡したくないなんてありえましょうか。

70 慶鄭曰：「背施^①，無親；幸災^②，不仁；貪愛，不祥^③；怒鄰，不義^④。四德皆失，何以守國。」

（後補卷四 春秋左氏傳上）

【註釋】①背施：背棄恩施。②幸災：因別人遭災而高興。③貪愛，不祥：貪所愛之貨利而不以與人，則禍殃將至。④怒鄰，不義：使鄰國忿怒，不合道義。

【白話】晉大夫慶鄭說：「背棄別人的恩惠就會失去親近自己的人；對別國的災害幸災樂禍就是不仁；貪所愛之貨利而不捨得給人就是不祥；激怒鄰國就是不義。這四種道德都丟失了，靠什麼來保護國家呢？」

晉大夫慶鄭は言われました。「人からの恩恵に背くと、自分に親しくしてくれる者を失ってしまいます。他国の禍をこれ幸いだと思うことは、仁徳に欠けています。愛する物を人に与えたくないのは不祥なことです。隣国を激怒させてしまうのは道義に欠けています。これら四つの道徳を失ってしまうと、何をもって国を守れると言うのでしょうか」

71

陽門^①之介夫^②死、陽門、宋國門也。介夫、甲冑衛士。司城^③子罕入而哭之哀。子罕、樂喜也。晉人之覘^④宋者、反^⑤報於晉侯曰：「陽門之介夫死、而子罕哭之哀、而民悅、殆不可伐也。」覘、窺視也。孔子聞之曰：「善哉，覘國乎！」
善其知微。（卷七 禮記）

【註釋】①陽門：宋國的城門名。②介夫：披甲的衛士。③司城：即司空，主管城郭。④覘（cān / ㄘㄢˊ）：窺看，偵查。⑤反：通「返」。

【白話】宋國陽門有個衛士死了，司空子罕進到靈堂內哭得很悲傷。當時潛伏在宋國的情報人員回去後向晉侯報告說：「陽門有個衛士死了，而子罕哭得很傷心，人民都受他感動，（此時宋國上下一心，）恐怕不能去討伐他們啊！」孔子聽說之後，說：「好啊（能夠見微知著），他真是善於觀察國情啊！」

宋国の陽門である兵士が亡くなりました。城を管理する司城の子罕はその靈堂に入って悲しそうに泣きました。その時、宋国に潜伏していた諜報員は母国に帰って、晋侯に次のように報告しました。「陽門にある兵士が亡くなりましたが、子罕が悲しそうに泣いてい

たので、民はみんな感動させられました。（宋国の上下が心を一つに団結している今、）彼らを討伐するのは恐らく得策ではないでしょう！」このことを聞いた孔子は言いました。「素晴らしい。（微かなことから全体を察知することができるとは、）この諜報員は実に国情の観察に長けていますね！」

式、臣術（臣下としての心得）

一、立節（節操を立てます）

〔72〕忠臣之事主，投命委身，期於成功立事，便國利民。故不爲難易變節、安危革行也。（卷

四十七 政要論）

【白話】忠臣事奉君主，將自己的身心性命都交出去，目的在於能夠成就一番功業，利國利民。所以，他不會因爲事情的難易而改變自己的節操，不會因爲個人的安危而改變自己的品行。

忠臣が主に仕え、自分の心身と命を捧げるのは、功業を成就し、国と民のためになるようなことがしたいからです。そのために、忠臣はこの難しさによつて節操を変えることはなく、個人の安否で自分の品行を変えることもしません。

〔73〕若夫智慮足以圖國，忠貞足以悟主，公平足以懷衆，溫柔足以服人；不誹毀^①以取進，不刻人^②以自入，不苟容^③以隱忠，不耽祿以傷高；通則使上恤其下，窮則教下順其上。故用於上則民安，行於下則君尊。可謂進不失忠，退不失行。此正士之義，爲臣之體也。（卷四十八 體論）

【註釋】①誹毀：詆毀，毀謗。②刻人：傷害他人。刻：傷害。③苟容：屈從附和以取容於世。

【白話】如果智慧謀慮足以治理國家，忠誠堅貞足以啓發君主，公正平等足以懷恤民眾，溫存親和足以使人順服；不詆毀他人以求職位晉升，不傷害他人以求自己被任用，不屈從附和取容於世而失去自己的忠誠之心，不貪圖高官厚祿而損害自己的高貴人格；得志就引導君主體恤臣民，不得志就教化臣民以理智順從君主。這樣的人，被提拔重用時能使百姓安樂，退居於下則能使君主尊貴。可以說是出仕不缺失忠誠，退隱不喪失德行。這是正直之士的義節，是作為臣子應該堅持的基本準則。

國を治めるだけの智慧と謀略。君主を啓蒙するだけの忠誠と忠節。民を思いやれるだけの公正さと平等を重んじる心。人を信服させるだけの優しさと親切さ。人を諂うことで職位の榮進を求めません。人を傷つけることで自分が重用されるようにしません。世の中に流されて自分の忠誠心を失いません。高位と高祿のために自分の高貴な人格を損ないません。君主に重用されると、臣下と民を思いやれるように君主を導きます。君主に重用されない、理性をもって君主に従うように、臣下と民を教育します。このような者は、朝廷に重用されると民を安樂な生活に導き、重用されなくても、そこにいてだけで君主の尊さを知らしめます。出仕すれば忠誠に欠けることなく、隱居すれば徳性を失わないと言えます。これこそ正直な者の忠義と忠節であり、臣下として守るべき根本的な準則です。

〔74〕夫爲人臣，其猶土乎！萬物載焉，而不辭其重；水瀆汚焉，而不辭其下；草木殖焉，而不有

其功。此成功而不處，爲臣之體也。（卷四十八 體論）

【白話】做臣子的，就像土地一樣吧！承載萬物，不因沉重而推辭；即使會被濁水污染，也不拒絕它融入自己；草木在上面繁殖生長，而不據爲己功。這就是成就功業而不居功，這是做臣子的準則。

臣下なる者は、まるで土地のようです！重たいからと言って辞退せずに、万物を載せます。たとえ汚水に汚されそうになっても、汚水が自分の中に溶け込むことを断りません。草木がその上に生え茂っても、自分の功勞にしません。これこそ功業が成就しても自慢しないことであり、臣下の守るべき準則です。

〔75〕

人之事君也，言無小大，無愆也；事無勞逸，無所避也。其見^①識知^②也，則不恃恩寵而加敬；其見遺忘也，則不懷怨恨而加勤。安危不貳^③其志，險易^④不革^⑤其心。孜孜爲此，以沒其身，惡^⑥有爲此人君長而憎之者也？（卷四十五 昌言）

【註釋】①見：用在動詞前面表示被動，相當於被，受到。②識知：識察，知道。③不貳：專一，無二心。④險易：吉凶。⑤革：改變。⑥惡（*bad* / *x*）：疑問代詞，相當於「何」、「安」、「怎麼」。

【白話】臣子事奉君主，奏章言事無論大小都無差錯，做事無論多麼辛勞都不回避推辭。被君主記住並了解，則不依恃恩寵而更加敬業；被君主遺忘，則不會心懷埋怨而更加勤勉。無論自身安或危都不更改志向，無論形勢凶或吉都不改變誠心。勤勉不懈於

此，終身不改，哪有这样還會遭君主與上位者的厭惡呢？

臣下が君主に奉仕する時は、ことの大小を問わずに間違いがないようにして、どれほど大変でも辞退しないことです。君主に覚えられて理解されても、恩寵に驕ることなく、より仕事に励みなさい。君主に忘れられても、心に恨みを抱くことなく、より勤勉に努めなさい。自身が安楽な生活を送ったり、危険な目に遭っても、状態の違いによって志を変えることなく、情勢の吉凶によって誠心を変えないことです。これらのことを怠ることなくしっかりと守り、終身貫くことができれば、君主と上位者から嫌悪されるはずはないでしょう。

〔76〕

位弗期^①驕，祿弗期侈。

貴不與驕期，而驕自至；富不與侈期，而侈自來。驕侈以行己，所以速亡也。

恭儉惟德，無載^②爾僞。

言當恭儉，惟以立德，無行僞也。

（卷二

尙書）

【註釋】①期：邀約；約定。②載：行；施行。

【白話】身居尊位的人沒有與驕縱相約（但不知不覺就有了驕態）；享有福祿的人沒有與奢侈相約（但不知不覺就染上奢侈）。（以驕傲奢侈的態度立身行事，就會招致敗亡。）應當恭謹節儉，才能樹立德業，不要做詭詐虛假之事。

高位にいる者は驕りを招いてはいません。（しかしながら、驕りは知らぬ間に身につけてしまうものです。）福と高祿を持つ者は贅沢を招いてはいません。（しかしながら、贅

沢癖は知らぬ間に身についてしまうものです。（驕りと贅沢な態度で世渡りをして物事に取り掛かっていれば、失敗と滅亡を招いてしまいます。）恭しい態度で節約をすることこそ、徳性と事業を立てられます。詐欺など偽りのことに手を染めてはいけません。

77 子墨子曰：「世之君子，使之一犬一彘^①之宰^②，不能則辭之；使爲一國之相，不能而爲之。

豈不悖哉？」（卷三十四 墨子）

【註釋】①彘（しし／せ）：猪。②宰：膳宰，古官名。猶膳夫。掌宰割牲畜以及膳食之事。

【白話】墨子説：「世上的君子，讓他去當宰殺狗豬的膳夫，如果他不能做就會推辭；讓他任一國的宰相，能力不及卻要照樣承擔。這難道不是很荒謬嗎？」

墨子は言われました。「世の君子は、犬や豚を屠る膳夫になれと言われても、もしできないなら、辞退するものです。同じように、例え一国の宰相になれと言われても、その能力がないのに無理やり引き受けるのは、あまりにも不条理なことではありませんか」

78 柳下惠^①爲士師^②，士師，典獄之官也。三黜^③。人曰：「子未可以去乎？」曰：「直道^④而事人，焉^⑤往而不三黜？苟直道以事人，所至之國，俱當復三黜。枉道^⑥而事人，何必去父母之邦^⑦？」（卷九 論語）

【註釋】①柳下惠：姓展，名獲，字禽，魯大夫，食邑於柳下，有賢名，死後諡爲惠。②士師：古代執掌禁令刑獄的官名。③黜：貶降，罷退。④直道：正直之道。⑤焉：何。⑥枉道：不直之道。⑦去父母之邦：離開父母之國。

⑥ 枉道：違背正道。⑦ 父母之邦：父母所居的本國，即指祖國。

【白話】柳下惠任（魯國）執掌禁令刑獄的官職，無罪而三度被貶職。有人說：「你不可以離開魯國嗎？」柳下惠說：「我以正直之道事奉人君，到哪一個國家不會被三度免職呢？如果我違背正道去事奉人君，又何必離開祖國呢？」

柳下惠は（魯国で）禁令や刑罰、牢獄を司る官職についていますが、無罪なのに、三度も左遷させられていました。ある人が尋ねました。「魯国から離れられないのですか」柳下惠は答えました。「私は正道をもって主君に仕えていますので、どの国に行っても、三度の左遷は免れないでしょう。もし私が正道に背いて主君に仕えているのならば、祖国を離れる必要もなくなりましょう」

79 震中子秉^①，字叔節……每朝廷有得失，輒^②盡忠規諫，多見納用。秉性不飲酒，嘗從容言曰：

「我有三不惑，酒色財也。」（卷二十三 後漢書三）

【註釋】① 中子秉：中子，排行居中的兒子。秉：指楊秉，承傳其父的學問，常隱居教授儒家經典。四十多歲才出仕為官，擔任刺史、二千石後，計算任職的日數接受俸祿，多餘的不入私囊，以廉潔著稱。② 輒（*zhe* / ぜ）：每每，總是。

【白話】楊震的中子楊秉，字叔節……每逢朝廷有得失，他總是盡忠正言勸諫，意見多被採納。楊秉生性不飲酒，曾從容安詳地說：「我不會被三種東西所迷惑，即酒、色、財。」

楊震の息子である楊秉、字は叔節と言います。……朝廷に何か足らぬ所があると、楊秉はいつも忠誠を尽して諫めて、その意見のほとんどは採用されました。楊秉は生来、酒を飲まないものでしたが、安らかにこのように言ったことがあります。「私は三つのものに惑わされません。すなわち酒、色香、財産です」

〔80〕

世祖^①因言次^②謂威曰：「卿清孰如父清？」對曰：「臣不如也。」世祖曰：「以何爲勝邪？」

對曰：「臣父清恐人知，臣清恐人不知，是臣不及遠也。」（卷三十 晉書下）

【註釋】①世祖：晉武帝司馬炎。②言次：言談之間。

【白話】武帝司馬炎在言談間問胡威道：「你和你父親相比，誰更清廉？」胡威回答說：「臣不如父親清廉。」武帝問道：「爲什麼說他勝過你呢？」胡威回答說：「我父親清廉唯恐別人知道，而我清廉卻唯恐別人不知道，這是我遠遠不如父親的地方。」

晉の武帝である司馬炎は、話の途中で胡威に尋ねました。「貴方と貴方の父親と、どちらがより清廉でしょうか」胡威は答えました。「臣下は父ほど清廉ではありません」武帝は尋ねました。「何故父親の方が勝ると言うのですか」胡威は答えました。「父は清廉であることを人に知られるのを恐れていました。それなのに、私は清廉であることを人に知れないのを恐れていました。これこそ、私が父に遠く及ばない理由です」

二、尽忠（忠誠を尽くします）

【81】

民生於三，事之如一。^①三，君、父、師也。如，在君父，爲君父。在師，爲師也。父生之，師教之，君食之。^{食，謂祿也。}唯其所在，則致死焉。

人之道也。（卷八 國語）

【註釋】①如一：不變，沒有差別。②服勤：擔任勤務、勞力等事。

【白話】（晉哀侯的大夫欒共子說：）人之成長受恩於三類恩人，就是君主、父母、老師，對待他們的敬愛是一致的，一生爲他們服務效力。父母生育我們，師長教導我們，君主賜予俸祿恩惠於我們。只要是道義之所在，都要致死相報，這是做人的道理。

（晉哀侯的大夫である欒共子は言いました。）人の成長には三種の恩人が必要になります。すなわち君主、父母、教師です。彼らへの敬愛は一致しており、私たちは生涯、彼らに仕えて力を尽すものです。父母は私たちを生育し、先生は私たちを指導し、君主は私たちに俸祿を与えてくれます。道義のある限り、私たちは死ぬほどの努力をしてその恩義に報いるべきです。これこそ、人としての道理です。

【82】

昔先正^①保衡^②，作^③我先王。^{保衡，伊尹也。作，起也。正，長也，言先世長官之臣也。}乃曰：「予弗克^④俾^⑤厥后^⑥惟^⑦堯舜，其心愧恥，

若撻^⑧于市^⑨。」^{言伊尹不能使其君如堯舜，則心恥之，若見撻于市也。}一夫弗獲^⑩，則曰：「時^⑪予之辜^⑫。」^{伊尹見一夫不得其所，則以爲己罪也。}右^⑬我烈

祖^⑭，格^⑮于皇天。^{言以此道左右^⑯成湯，功至大天。}（卷二 尚書）

【註釋】①先正：亦作「先政」。前代的賢臣。②保衡：伊尹的尊號。又稱「阿衡」。③作：

此處爲使動用法，使興起。④弗克：不能。⑤俾（シ / ス）：使。⑥后：君王。
 ⑦惟：成爲。⑧撻（チ / チ）：鞭打。⑨市：集市。⑩獲：得到，這裡指得到妥善
 的安置。⑪時：通「是」。⑫辜：罪過。⑬右：通「佑」，助。⑭烈祖：指建立功
 業的祖先。古多稱開基創業的帝王。烈：事業，功績。⑮格：至。⑯左右：幫助，
 輔佐。

【白話】從前的賢臣伊尹，使我們先王之業振興，他說：「我若不能使君王成爲堯舜一樣聖
 明的君主，我內心就感到慚愧和羞恥，就像在集市上被人鞭打一樣。」哪怕有一個
 人沒有得到妥善安置，他就說：「這是我的罪過啊！」他就是這樣輔佐我顯赫的先
 祖成湯，功業達於上天。

昔の有能な臣下であつた伊尹は、私たちの先王が事業を興すのを助けてくれました。伊
 尹は言いました。「君主を堯舜のように聖明な君主にすることができなければ、私の心は
 申し訳なささと羞恥でいっぱいになり、まるで市場で人に鞭打たれているようです」たとえ
 一人でも適当に安置されていないと、伊尹は嘆きました。「これは私の罪過ちです！」伊
 尹はこのようにして、我々の名高い先祖であつた成湯を補佐して、その功業をかつてない
 ほど素晴らしいものにしたのです。

83 景公問晏子曰：「忠臣之行，何如？」對曰：「選賢進能，不私乎內。稱身就位，計能受祿。

賂賢不居其上，受祿不過其量。不權君以爲行，不稱位以爲忠，不掩賢以隱長，不刻下以諛上。順即進，否則退，不與君行邪。」（卷三十三 晏子）

【白話】景公問晏子說：「忠臣的行誼應是怎樣的？」晏子答道：「選拔賢德、推薦有才能的人，而不偏向自己的親友。衡量自己的德能來擔任適當的職位，估量自己的能力而接受相應的俸祿。遇到賢人，自己的職位不超越他，接受的俸祿不超過賢者。不權衡君主的好惡去做事，不計量自己的地位去盡忠，不遮蔽賢才而埋沒其長處，不苛刻地對待下屬而奉承、討好上級。君主行事順乎大道就入朝爲官，否則就隱退，不與君主一起做邪惡之事。」

景公は晏子に尋ねました。「忠臣の行いとは、如何なものでしょうか」晏子は答えました。「徳性と有能な者を選抜し、推薦する時は、自分の親友を最優先したりしません。自分の徳性を的確に見計らって、それに見合うだけの職位につき、自分の能力に見合うだけの俸祿をいただきます。賢人に会うと、自分の職位も俸祿も賢人のを超えないようにします。君主の好き嫌いを伺って物事を行いません。自分の地位を気にせずに忠誠を尽します。有能な賢人の邪魔をして、その長所を君主から見えないようにしません。部下に厳しく接して、上司に媚びへつらうことをしません。君主の行いが大道に沿っていれば、朝廷に入って仕えます。そうでなければ引退し、君主と共に悪事に手を染めたりしません」

84

飲^①桓公酒，樂。公曰：「以火繼之。」辭曰：「臣卜其晝，未卜其夜，不敢！」君子曰：「酒以成禮，不繼以淫^②，義也；淫樂。以君成禮，弗納^③於淫，仁也。」（後補卷四 春秋左氏傳上）

【註釋】①飲（yin / 一）：以酒食款待，宴請，行飲酒禮。②淫：過度，無節制，濫。③納：入；使入。

【白話】敬仲請齊桓公飲酒，桓公很高興。（天黑了）桓公說：「點上燈火繼續飲酒。」敬仲辭謝說：「我只占卜過白天宴客的事，沒有占卜夜裡宴客之事，不敢奉命。」君子評議說：「酒是用來幫助完成禮儀的，不能繼續貪杯而過度，這是義；因為和國君飲酒完成了禮儀，而不至於使他陷於過度，這是仁。」

敬仲は齊の桓公に酒をご馳走して、とても喜んでもらえました。（空が暗くなると、）桓公は言いました。「灯りをつけて飲み続けましょう」敬仲は丁寧な辞退しました。「私は昼間の宴席のことを占いましたが、夜の宴席まで占いませんでした。申し訳ございません」ある君子がこの出来事をこのように評しました。「酒は礼儀を完成するための物です。飲みすぎて度を越えてしまわないようにするのは義です。一国の君主と酒を飲んで礼儀を完成させた上に、君主を過度の楽しみから諫められたのは仁です」

三、勸諫（諫言します）

【85】夫諫爭^①者，所以納君於道，矯枉正非，救上之謬也。上苟有謬而無救焉，則害於事，害於事則危道也。（卷四十七 政要論）

【註釋】①爭：通「諍」（zhèng / 争）。直言規勸。

【白話】諫諍，就是爲了讓君主進入正確的治國之道，矯正邪枉、改正缺點，挽救君主的謬誤。如果君主有謬誤之處而沒有人去糾正，就會危害國事；危害國事，就會使國家步入危途。

諫めることは、君主が正しい治国の道に入れるようにするためです。邪や度をすぎてしまったことを正し、欠点を直させて君主の過ちを挽回するのです。も君主に過ちがあるのに誰も正さなかったら、国事に害が及んでしまいます。国事に害が及んでしまうと、国家は危険な道を辿ってしましましょう。

【86】《易》曰：「王臣^①謇謇^②，匪躬^③之故。」人臣之所以謇謇爲難，而諫其君者，非爲身也，

將欲以匡^⑤君之過，矯君之失也。君有過失，危亡之萌也，見君之過失而不諫，是輕君之危亡也。夫輕君之危亡者，忠臣不忍爲也。（卷四十三 說苑）

【註釋】①王臣：志匡王室之臣。②謇謇（jiǎn / 谄）：忠貞；正直。謇：通「蹇」，《易》卦名，六十四卦之一。③匪：同「非」。不，不是。④躬：自身；自己。⑤匡：糾正；

扶正。

【白話】《易經》上說：「有志於匡正王室的臣子剛正忠直，不是爲了自身的緣故。」臣子之所以要剛正忠直，迎難而上勸諫君主，不是爲了自身，而是想要糾正君主的過錯，匡正君主的過失。君主有過失，就是危亡的萌芽，看到君主的過失而不勸諫，就是輕視君主的危亡。輕視君主的危亡，是忠臣所不忍心做的。

『易經』にありました。「王室を正そうと志している臣下は自分のためではなく、真直ぐで曲げることのない性格をしているからです」臣下が真直ぐで曲げたりせず、危険があると知りながらも君主を諫めるのは、自分のためではありません。君主の過ちを正したからです。君主に過ちがあると、危険な滅亡が芽生えてしまいます。君主の過ちを見ていながら諫めないのは、君主の滅亡の危機を軽視しています。君主の滅亡の危機を軽視するのは、忠臣の心が忍びません。

87

子路問事君。子曰：「勿欺，而犯之。」

事君之道，義不可欺，當犯顏諫爭。

（卷九 論語）

【白話】子路問事奉君王之道。孔子說：「必須不欺瞞君王，當君王有不對的地方，也要犯顏諫諍。」

子路が君主に仕える方法について尋ねました。孔子は答えました。「君主を欺いてはいけません。君主に間違ったところがあると、たとえお怒りを買うことになっても、諫める

「ことを辞してはいけません」

〔88〕

《敬之》、群臣進戒嗣王^①也。敬^②之敬之、天維顯^③思^④、命不易哉！無曰高高在上、陟降^⑤厥士^⑥、日監在茲。
顯、光也。監、視也。群臣見王、謀即政之事。故因此時戒之曰：敬之哉！敬之哉！天乃光明、去惡與善、其命吉凶、不變易也。無謂天高又高、在上遠人而不畏也。天上下其事、謂轉運日月、施其所行、日視瞻近在此也。（卷

三 毛詩）

【註釋】①嗣王：繼位之王。②敬：通「警」。警惕；警戒。③顯：明；光明。④思：語助詞。

⑤陟降（ノビ／＼）：升降，上下。陟：由低處向高處走。與「降」相對。⑥士：同「事」。

【白話】《敬之》一詩寫的是群臣進忠言以戒勉即將繼位的周成王。（誠勉的內容是：）要敬慎呀，要敬慎呀，上天有眼是那樣明亮呀，保有天命不容易啊！不要說上天高高在上，上天運行日月，行使自己的職責，明察一切，天天監視著我們。

「敬之」という詩は、間もなく即位する周の成王に対して、群臣が励ましとして進呈した忠言です。（その励ましの内容とは、）「慎みなさい。慎みなさい。天の目はあれほどに明るいものです。天命を保ち続けるのは簡単なことではありません！ 空は高いからと言って、油断してはなりません。天は月日の運行を司り、その責務をもって全てを明察し、私たちを見張っているのです」

四、挙賢（賢能者を推薦します）

〔89〕

推賢讓能，庶官乃和。

賢能相讓，俊又^①在官，所以和諧也。

舉能其官，惟爾之能；稱匪^②其人，惟爾弗任^③。

所舉能脩其官，惟亦汝之功能也。舉非其人，惟亦汝之不勝其任也。

也。舉非其人，惟亦汝之不勝其任也。

（卷二 尚書）

〔註釋〕

①俊又（よ／＼）：德才出眾的人。②匪：同「非」。不，不是。③任：指勝任。

【白話】互相推賢讓能，百官就會和諧。你推薦了賢能的人來擔任官職，這便是你的賢能；你若舉用了不能勝任其官職的人，這也就是你的不稱職。

互いに有能な者を推薦し、官位を賢人に譲ることができれば、百官の仲は睦まじくなります。もし有能な者を官職に推薦したら、この行いはあなたの賢明さと能力に繋がります。もしその官職を勤められない者を推薦したら、あなたの至らぬところになります。

〔90〕

鮑叔既進管仲，以身下之。子孫世祿於齊，常爲名大夫。世不多^①管仲之賢，而多鮑叔能知人也。（卷十二 史記下）

【註釋】①多：稱讚；重視。

【白話】

鮑叔牙向齊桓公推薦了管仲之後，自己位居管仲之下。鮑叔牙的子孫世代都在齊國享受俸祿，有許多成爲齊國著名的大夫。天下人不稱讚管仲的賢德，而稱讚鮑叔牙能夠辨識、舉薦賢才。

叔牙能夠辨識、舉薦賢才。

〔91〕

鮑叔牙は斉の桓公に管仲を推薦した後、管仲の部下として働きました。鮑叔牙の子孫は世代を超えて長い間、斉で俸禄をいただき、有名な士大夫になりました。世の人々は管仲の賢明さと徳性を褒め称えるのではなく、鮑叔牙が有能な者を見分けて推薦できるのを賞賛しました。

夫推讓之風息，爭競之心生矣。孔子曰：「上興讓，則下不爭。」明讓不興，下必爭也。推讓之道興，賢能之人，日見推舉；爭競之心生，賢能之人，日見謗毀。夫爭者之欲自先，甚惡^①能者之先，不能無毀^②也。（卷二十九 晉書上）

【註釋】①惡（忌／＼）：討厭，憎恨。②毀：毀謗，詆毀，詈罵。

【白話】推賢讓能的風氣消失，競爭追逐名利的心就生出來了。孔子說：「在上位者能謙讓，居下位者就不爭奪。」表明謙讓之風如果不興，百姓就必然要互相爭奪。如果謙讓之道興起，賢能的人就會一天天被舉薦上來；競爭、追逐名利之心生起，賢能的人就一天天遭受到毀謗。這是由於競爭者受欲望的驅使想讓自己居先，就嫉恨比自己有賢能的人居先，所以不能不毀謗賢者。

賢人を推薦し、有能な者に職位を譲る風潮が消えると、名利を追い求めて競い合う心は生まれてしまいます。孔子は言われました。「上位にいる者が謙虚に譲ることができたら、下位にいる者は争って奪い合ったりしません」謙讓する風潮が興らないと、民は必ず奪い

合います。もし謙讓の風潮が興れば、有能な賢人は日に日に推薦されてきます。もし名利を追い求めて競争する心が生まれると、有能な賢人は日に日に諂りを受けてしまいます。何故なら、競争者は欲望に駆られて自分を優位に立たせようと考えて、自分より高位にいる有能な賢人のことを恨み、謗るのです。

〔92〕 夫舉無他，唯善所在，親疏一也。（卷六 春秋左氏傳下）

【白話】 舉薦人才沒有別的標準，只要是賢能的人，無論關係親疏，一視同仁。

人材を推薦するには他の標準がありません。有能な賢人でいれば、関係の親しさ問わずに、平等に採用して接するのです。

〔93〕 凡人各賢^①其所悅，而悅其所快。世莫不舉賢，賢其所悅者，而悅其所行之快性（其所行之快性，作其性之所快），（凡人無不舉與己同者，以為賢也。）或以治，或

以亂，非自遁也，求同于己者。遁，失。己未必賢，而求與己同者也，而欲得賢，亦不幾矣！幾，近也。（卷

四十一 淮南子）

【註釋】 ①賢：動詞。意謂認為是好的。下文諸「賢」則指賢人。

【白話】 人們都認為自己喜歡的就是賢才，而所喜歡的又是自己感到痛快的行為。世人沒有不舉薦賢者的，可是有的因此達到國家的治平，有的卻導致了國家的混亂，這不是他們自己故意舉薦有失，而是因為其訪求的是和自己一類的人。自己未必是賢能之

人，卻訪求和自己一類の人，而又希望得到（眞正的）賢才，那便相去甚遠了！

人々は自分の好きな者こそ賢人だと考えています。そして好きになるのは、自分が心地よいと感じることです。世の中の人々は皆賢人を推薦していますが、それで平安になる国家があれば、混乱になる国家もあります。自らわざと間違った推薦をした訳ではありません。ただ、自分と同一ような人間を求めているからです。自分は必ずしも有能な者ではないのに、自分と同じ人間を求めて（本物の）賢人を得たいのであれば、到底叶わないことです！

参、貴德（徳を崇めます）

一、尚道（道を尊びます）

〔94〕文子問「道」。老子曰：「夫道者，小行之小得福，大行之大得福，盡行之天下服。」（卷

三十五 文子）

〔白話〕文子向老子請教「道」。老子回答說：「關於『道』，小小地實行便會得到小福；廣泛地實行便會得到大福；完全按『道』行事，全天下的人都會歸服。」

文子は「道」について尋ねました。老子は答えました。「『道』については、たとえばんの少し実行したとしても、ささやかな福を得られます。もし広く実行していたら、大いなる福を得られます。完全に『道』に従って事を行えば、天下の人々は帰服してくれます」

〔95〕國之所以存者，得道也；所以亡者，理塞^①也。故得生^{（生疑存）}道者，雖小必大；有亡徵^②者，

雖成必敗。國之亡也，大不足恃^③；道之行也，小不可輕^④。故存在得道，不在於小；亡在失道，不在於大。（卷三十五 文子）

〔註釋〕①理塞：謂不行仁義之道。理：道。②徵：跡象，預兆。③恃：依賴；憑藉。④輕：輕視。

〔白話〕國家能夠延續下來的原因，是由於遵循了符合道義的治國之道；國家之所以滅亡的

原因，是由於不行仁義之道。因此，得到國家長存之道，雖然是小國也可以發展壯大；有滅亡的跡象，雖然是強盛的大國也必定會失敗。國家要滅亡，即使強大也足依靠；治國之道得以實行，即使小國也不可輕視。所以國家長存的原因在於得道，而不在於國家弱小；國家滅亡的原因在於失道，而不在於國家強大。

国が持續できるのは、道義に一致する治国の道に従ったからです。国が滅亡してしまうのは、仁義の道に背いたからです。そのために、長くあり続ける方法を得た国はたとえ小国でも、壮大に発展することは可能です。もし滅亡の兆しがあると、たとえ強盛な大国でも、必ず失敗してしまいます。国が滅亡する時は、たとえ強大そうに見えても、頼りにはなりません。治国の道を実践しているのならば、たとえ小さな国でも油断してはなりません。国が長くあり続けられる原因は治国の道を得ることにあり、国の小ささと弱さではありません。また、国が滅亡してしまう原因は治国の道に背いたからであり、国の強大さではありません。

96

桀紂行惡，受天之罰；禹湯積德^①，以王天下。因此觀之，天德無私親，順之和^②起，逆之害生。此天文地理人事之紀也。（卷十八 漢書六）

【註釋】①積德：指積累仁政或善行。②和：王念孫先生認為是「利」字書寫之誤。他說：「『和』當為『利』，草書之誤也。順逆、利害，皆對文，若作『和』，則與『害』」

不相對矣。《漢紀》作『和』，亦後人以誤本漢書改之。《文選》永明十一年策秀才文註，引此正作『利』。」

【白話】夏桀和商紂作惡，受到上天的懲罰；夏禹和商湯積德，因仁義受百姓擁護而稱王。由此來看，上天的恩德是沒有偏私偏愛的。順應天道，利益就會興起；違背天道，禍害就會發生。這就是天文地理人事的準則啊！

夏の桀と商の紂は悪事をしたから、天から罰せられました。夏の禹と商の湯は徳を積んだから、仁義をもって民から擁護されて王になりました。このことから分るように、天の恩恵と徳には臆厭や偏愛はありません。天の道に従っていれば、利益は興ります。天の道に背いていると、禍は起ります。これこそ天文地理と人事の準則ですぞ！

97

人之情，欲壽而惡夭，欲安而惡危，欲榮而惡辱，欲逸而惡勞。四欲得，四惡除，則心適矣。四欲之得也，在於勝理^①；勝理以治身，則生全^②矣，生全則壽長矣。勝理以治國，則法立矣，法立則天下服。服於理也。故適^也心之務，在勝理。（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①勝理：依循事理。勝等於「任」。②生全：保全生命。

【白話】人的常情都是希望長壽而厭惡夭折，希望平安而厭惡危險，希望榮耀而厭惡屈辱，希望安逸而厭惡勞累。以上四種願望能實現，四種厭惡能消除，心情就會安適了。四種願望的實現，在於依循事理；依循事理來修身養性，生命的本性就得以保全；生命的本性得以保全，那就能享有長壽了。依據事理來治理國家，那麼法度就能建

立起來；建立了法度，則天下之人就會順服。所以使心情安適的關鍵在於依循事理。

人の常は長寿でいることを望み、夭折することを嫌います。また平安でいることを望み、危険を嫌います。榮耀を望み、屈辱を嫌います。そして安逸を望み、疲労を嫌います。これら四つの願いが実現すると、四つの嫌悪は消え、心も安らぎます。これら四つの願いを実現するためには、事の理に従うことです。事の理に従って心身を修養すれば、天性は守られます。天性が守られると、長寿になります。また、事の理に従って国を治めると、法律と制度は打ち立てられます。法律と制度が打ち立てられると、天下の人々は信服します。そのために、心を安らげる鍵は事の理に従うことです。

98

妖^①由人興也。人無釁^②焉，妖不自作。人棄常，則妖興。（後補卷四 春秋左氏傳上）

【註釋】①妖：指反常、怪異的事物。②釁（クニ／ヒ）：過失，罪過，缺陷。

【白話】（申繻回答魯莊公說：）反常怪異之事物的產生是由於人造成的。人若自己沒有罪過，反常怪異之事物不能自己興起。人丟棄了常道，反常怪異之事物就會產生。

（魯莊公に答えて、申繻は言いました。）普通ではない怪異なことが起こるのは人のせいです。もし人に罪や過ちがないと、普通ではない怪異なことは自ら起こせません。人が常道を捨てたから、普通ではない怪異なことが起こるのです。

99

無惻隱^①之心，非人也；無羞惡之心，非人也；無辭讓之心，非人也；無是非之心，非人也。

言無此四者，當若禽獸，非人之心也。

惻隱之心，仁之端^②也；羞惡之心，義之端也；辭讓之心，禮之端也；是非之心，

智之端也。

端者，首也。人之有是四端也，猶其有四體也。有是四端，而自謂不能者，自賊者也；自賊害其性，

使爲不善。

謂其君不能者，賊其君者也。

謂其君不能爲善，而不匡正者，賊其君使陷惡者也。

（卷三十七 孟子）

【註釋】

①惻隱：同情，憐憫。②端：開端，開始。

【白話】

如果一個人沒有同情憐憫的心，就不能算作是人；對惡行沒有羞恥厭惡之心，就不能算作是人；沒有謙遜謙讓的心，就不能算作是人；沒有明辨是非的心，就不能算

作是人。同情憐憫心是仁的開端；羞恥厭惡心是義的開端；謙遜謙讓心是禮的開端；辨別是非心是智的開端。人有這四個善良的開端，如同人有四肢一樣，都是生來便具備的。有這四個善良的開端，而認爲自己不能行善，就是賊害自己本善的天性，

自暴自棄；作爲臣子，認爲自己的君王不能行善，不勸諫君王改正，就是賊害自己的國君，陷國君於不義。

もし他人を憐憫する同情心がないと、その者は人とは言えません。もし悪行を嫌悪する羞恥心がないと、その者は人とは言えません。もし謙遜に譲る心がないと、その者は人とは言えません。もし是非を分別する心がないと、その者は人とは言えません。憐憫する同情心は仁の始まりです。嫌悪する羞恥心は義の始まりです。謙遜に譲る心は礼の始まりで

す。是非を分別する心は智の始まりです。これら四つの善良さはまるで人に四肢があるように、生まれた時から持っているものです。これら四つの善良さの始まりを持っているのに、自分が善行をすることはできないと考えるのは、自分の善良な本性を害する自暴自棄の行為です。臣下として、自分の君主に善行をすることはできないと考えて諫めないのは、自分の君主を不義に陥れて害する行為です。

100 昔者聖人之作《易》也，將以順性命之理也。是以立天之道，曰陰與陽。立地之道，曰柔與剛。立人之道，曰仁與義。（卷一 周易）

【白話】以前聖人畫卦作《易經》，是順應著大自然的規律而作的。（六十四卦，每一卦有六個爻，六爻裡面包含天、地、人三才，第一爻、二爻代表地，三爻、四爻代表人，五爻、六爻代表天。爻的位置定下後，天、地、人三者都有各自的道。）立天之道，是陰與陽（第五爻爲陽，最上一爻爲陰）。立地之道，是柔與剛（初爻爲陽，爲剛；第二爻爲陰，爲柔）。立人之道，是仁與義（第三爻爲陽，爲義；第四爻爲陰，爲仁）。（人生長在天地之間，應具備天地陰陽剛柔的德，表現出來就是仁義。）

昔の聖人は卦を書いて『易経』を作りましたが、大自然的の規律に沿って考えられたものです。（六十四の卦があります。一つの卦には六つの爻がありますが、六つの爻は天、地、人の三才を意味しています。第一、第二の爻は地を表します。第三、第四の爻は人を表し

ます。そして第五、第六の爻は天を表します。爻の位置が決まると、天、地、人それぞれに守るべき道が決まるのです。）天を立てる道は、陰と陽です。（第五の爻は陽、第六の爻は陰です。）地を立てる道は、柔と剛です（初の爻は陽、すなわち剛です。第二の爻は陰、すなわち柔です。）人を立てる道は、仁と義です。（第三の爻は陽、すなわち義です。第四の爻は陰、すなわち仁です。）（人は天地の間にて生長し、天地の陰陽と剛柔の徳を兼ね備えているはずです。その実践こそ、仁義となつて現れるものです。）

101

君臣父子，上下長幼，貴賤親疏，皆得其分曰治。愛得分曰仁，施得分曰義，慮得分曰智，動得分曰適^①，言得分曰信。皆得其分而後爲成人。（卷三十六 尸子）

【註釋】①適：恰當，得當。這裡指行爲合度，相當於「禮」。

【白話】君臣、父子、上下、長幼、貴賤、親疏都合於本分，就稱作「治」。愛心切合自己的本分叫做仁，施捨切合自己的本分叫做義，思謀切合自己的本分叫做智，行動切合自己的本分叫做適，言論切合自己的本分叫做信。各方面都切合自己的本分，然後才稱得上是「成人」。

君臣、父子、上下、長幼、貴賤、親疎など全てが本分に見合っていれば、「治」と言えます。自分の本分に見合うだけの愛は「仁」と言えます。自分の本分に見合うだけの施しは「義」と言えます。自分の本分に見合うだけの謀略は「智」と言えます。自分の本分に

見合うだけの行動は「適」と言えます。自分の本分に見合うだけの言論は「信」と言えます。様々な方面において自分の本分に見合っているからこそ、「成人」と呼べます。

102

夫天地至神^①也，而有尊卑先後之序，而況人道乎！明夫尊卑先後之序，固有物之所不能無也。宗廟^②尚^③親，朝廷尚尊，鄉黨^④尚齒，行事^⑤尚賢，大道之序也。言非但人倫之所尚也。（卷三十七 莊子）

【註釋】①至神：猶至道，道家多指最玄妙精深的道理。②宗廟：古代帝王、諸侯祭祀祖宗的廟宇。③尚：尊崇，重視。④鄉黨：泛稱家鄉。周制，一萬二千五百家爲鄉，五百家爲黨。⑤行事：行爲，事蹟。

【白話】天地是最神聖玄妙的，尚且存在尊卑、先後的秩序，何況是人呢！宗廟尊重親族，朝廷敬重尊長，鄉里尊重老人，辦事尊重賢能，這是天地大道所體現的秩序。

最も神聖にして玄妙な天地にしても、まだ尊卑、前後の秩序があるのに、人の世界は尚更です！宗廟は親族を尊重し、朝廷は尊い長老たちを敬重します。故里では年配の者を尊重し、物事の進行上では有能な賢人を尊重します。これこそ天地の大道を体現している秩序です。

103

天地之道，貞觀^①者也。明夫天地萬物，莫不保其貞以全其用也。日月之道，貞明^②者也。天下之動，貞夫一者也。（卷一

周易）

【註釋】①貞觀：指守正則被人崇敬瞻仰。貞：正，常。②貞明：謂日月能固守其運行規律而常明。

【白話】天地爲我們表演出來的道理是，公正平等的覆蓋照顧、滋養承載萬物，天地因爲能夠守持正道，平等無私地對待萬物，所以受到人們的尊敬瞻仰。日月爲我們表演出來的道理是公正平等的照耀萬物，因爲能平等如一的照耀萬物，才能給這個世界帶來普遍的光明。天下一切動作營爲，都是歸於端正專一，精誠無欲，才能有所成就。

天地が私たちに示してくれた理は、万物を公正かつ平等に世話をして守る事です。私欲のない天地は正道を守って、平等に萬物に接することができるから、人々から尊敬されて慕われるのです。日月が私たちに示してくれた理は、万物を公正にして平等に照らしているから、この世に光を遍くもたらしてくれることができるのです。天下の全ての行いは、正しく雑念のないものこそ、誠実にして欲のない状態を保ち、素晴らしい成就を成し遂げられるのです。

104

子曰：「履，徳之基也。基所蹈也。謙，徳之柄也。復，徳之本也。恆，徳之固也。固不傾移也。損，徳之修也。益，徳之裕也。能益物者，其徳寛大也。困，徳之辯也。」困而益明。（卷一 周易）

【註釋】①辯：通「辨」。辨別；區分。

【白話】孔子說道：「履卦，天在上，澤在下，上下有分，尊卑有序，這就是履踐禮，所以履是德行的初基。謙卦，山在地下，有禮讓的意思，是德的柯柄，必須一直持著，

不可以忘失。復卦，修養德行以恢復明德爲根本，所以復爲德之本。恆卦，修養德行，能夠堅守道德，始終不變，所以恆是德之固。損卦，能夠懲止瞋心，窒塞貪欲，就是在修養德行，所以損是德之修。益卦，君子能夠遷善改過，德行就會愈來愈充裕，所以益是德之裕。困卦，坎險在下，兌悅在上，遭遇險阻困頓的時候，能夠辨別怎麼做才是符合道德的，經得起考驗，最終能以和悅的心態克服困難，所以困是德之辨。」

孔子は言われました。「履の卦とは、天が上にあり、沢は下にあります。上下に分かれて、尊卑の秩序を示しているこの卦は履踐の礼を示しています。そのために、履とは徳性の基礎だと言えます。謙の卦とは、山は地面にあり、謙讓の意味があります。これは徳性の根本であり、忘れずにいつまでも守り続けるべきです。復の卦とは、徳性を修めて本来の明德を回復させることです。そのために、復は徳性の根本になります。恒の卦とは、徳性を修める時、道徳を堅守し、終始変わらないことです。そのために、恒は徳性の固めです。損の卦とは、慢心を懲戒し、貪欲を抑止します。そのために、損は徳性の修めです。益の卦とは、君子がますます善行に精を出して、過ちを改めることです。徳性はますます豊かになりますから、益は徳性の豊かさを示しています。困の卦とは、下に坎險があり、上に兌悦があります。険しい困り事に出くわした時、どうすれば道徳の道に沿っていられるのでしょうか。このように試練を乗り越えて、最終的に和やかな気持ちで困難を解決できるから、困は徳性を分別する方法です」

105

隨。《象》曰：澤中有雷，隨。君子以向晦^①入宴息^②。澤中有雷，動悅之象也。物皆悅隨，可以無爲，不勞明監。故君子向晦入宴息也。（卷一 周易）

【註釋】①向晦：傍晚，天將黑。向：面臨；將近。晦：晚上，夜。②宴息：休息。

【白話】隨卦的《象傳》說：澤中有雷，便是隨卦的現象。君子效法它的精神（隨自然規律而運作，言語、行爲使人民悅服，人民對君子的德行既仰慕又願意向他學習，因而君子可以無爲而治，不必任何事都親自過問），臨近黃昏時便入室休息。

隨の卦は『象伝』によると、「沢の中に雷があるのは、隨の卦の現れです。君子はその精神を見習います。（自然の規律に従って過ごしているから、君子の言語も行爲も、民にとつて喜んで服従できるものです。民は君子の徳性と行爲を慕いで見習いたいから、君子は特に何もなくても、何も自ら気にしなくても万事を治められます。）夕暮れが近づくと、部屋に入つて休みます」

106

爲道者日損，損，華也。損之又損之，以至於無^①爲，無爲而無不爲也。華去而朴全，則雖爲而非爲也。天地有大美^②而不言，

四時有明法而不議，萬物有成理而不說。此孔子之所云：子欲無言。至人無爲，任其自爲而已。大聖不作，唯因任也。觀於天地

之謂也。觀其形容，象其物宜，與天地無異者。（卷三十七 莊子）

【註釋】①無爲：並非無所作爲，而是按「道」行事，不隨個人習性或主觀想法胡作妄爲。

②大美：謂大功德、大功業。

【白話】修養道德的人，一天天減少貪求詐偽的習氣，減少再減少，最後達到「無爲」的境界。「無爲」因而「無不爲」。天地具備最大的美德卻不言語，四季有明顯的規律而不

議論，萬物有固定的規律卻不稱說。得道的至人順應宇宙人生的規律，偉大的聖人從不隨己意行動，這就是他們觀察天地萬物，效法天地自然的緣故。

道德を修める者は、貪欲で偽りを言う悪い習慣を日に日に減らします。減らしに減らし、最後には「無為」の境地に至ります。「無為」ですから、「為さないことはありません」。天地で最も大きな美德を備えていながら、語りません。四季には明らかな規律があるのに、議論しません。万物には一定の規律があるのに、妄りに話しません。道德を心得た者は宇宙と人生の規律に従い、偉大な聖人はいつも自分の気持ち一つで動きません。これこそ、彼らが天地万物を観察し、天地自然を見習うゆえんです。

107

所謂無爲者，非謂其引之不來，推之不往，迫而不應，感而不動，堅滯而不流，捲握^②而不散也。謂其私志不入公道，嗜欲不枉正術，循理而舉事，因^①資而立功，推自然之勢也。（卷三十五

文子）

【註釋】②捲握：拳握。比喻凝滯，不流動。①因：憑藉。

【白話】所謂無爲，不是說招他他不來，推他他不去，逼迫他而沒有反應，觸動他而不被打動，固執不通，拘泥不化。而是說不以個人的感情與見解混同在公理之中，不以個人的嗜欲歪曲正確的法則，依照道理行事，憑藉現有的條件來建功立業，按照自然形勢而行。

いわゆる無為と言うのは、呼ばれても来ず、押されても行かず、迫られても動じず、触れられても心を動かない等々、自分の考えを固執して、道理の分らない者のことではありません。それどころか、無為とは自分の感情と見解を公理と混同せずに、個人の嗜好と欲望のために正しい法則を曲げたりしない者のことを言っています。このような者は道理に従って物事を進行し、現にある条件で功績と事業を築き上げ、自然の情勢に沿って物事を進めるのです。

二、孝悌

108

樂正子春^①下堂而傷其足，數月不出，猶有憂色。門弟子曰：「夫子之足瘳^②矣，數月不出，猶有憂色，何也？」曰：「吾聞諸曾子^③，父母全而生之，子全而歸之，可謂孝矣；不虧其體，不辱其身，可謂全矣。故君子跬步^④弗敢忘孝也。今予忘孝之道，予是以有憂色也。」（卷七 禮記）

【註釋】①樂正子春：春秋時魯國人，曾參的弟子。②瘳（chōu / イヌ）：病癒。③曾子：即曾參，春秋魯國武城人，字子輿，孔子弟子，年紀比孔子小四十六歲。事親至孝，作《孝經》，後世尊稱為「宗聖」。④跬步：半步。跨上一足曰跬，連跨兩足為步。

【白話】樂正子春有一次從堂上走下來，不慎扭傷了腳，好幾個月沒有出門，一直面有愁容。他的門下弟子便問道：「老師您的腳不是好了嗎？您好幾個月不出門，到現在還面

帶憂愁，這是爲什麼呢？」樂正子春說：「我從前聽我的老師曾子說過，『父母完完整整地生下我們，我們死時也得將這個身子完完整整地歸還給父母，這才可以稱得上孝順；沒有損毀父母給我們的這個身體，沒有辱沒了爲人一世的善名，這才是完完整整的歸還給父母。因此君子即使邁出半步路，都不敢忘了對父母的孝道。』」這回我竟然忘了孝道，所以我才有愁容啊。」

樂正子春はある日、堂から降りる時に足を捻挫してしまいましたが、あれから数ヶ月も家から外出せずに、困りそうにしていました。弟子は彼に尋ねました。「先生の足は治ったではありませんか。なのに、何ヶ月も家から外出せずに、困りそうにしているのは何故ですか」樂正子春は答えました。「私はその昔、師匠の曾子から聞いたことがあります。『父母は私たちをきれいに生んでくれたから、私たちが死ぬ時もこの身体をきれいなままに父母に返さなければなりません。これこそ親孝行と言えます。父母からいただいたこの身体を傷つけずに、人としての名誉を汚していいことこそ、きれいに父母に返すと言えます。そのために、たとえ半歩の道を歩いても、君子は父母への孝を忘れません』それなのに、今回私は孝を忘れてしまいました。だからこそ、困っているのです」

109 人之生也，百歲之中，有疾病焉。故君子思其不可復者，而先施^①焉。親戚既沒，雖欲孝，誰爲孝乎？年既耆艾^②，雖欲悌，誰爲悌乎？故孝有不及，悌有不時，其此之謂與^③！（卷

三十五 曾子

【註釋】①施：謂設施，即措置；籌劃。此處指盡孝悌之道。②者（コト／シ）艾：五十曰艾，六十曰耆，亦泛指老年人。③與（ヨ／リ）：語氣詞。表感嘆。

【白話】人生在世，百年之中，難免會有疾病。因此君子考慮到生命不可再來，而要趁早盡孝悌之道。若父母親人已過世，縱然想盡孝道，又將孝順誰呢？（自己）年紀已老，縱然想敬愛兄長，又將敬愛誰呢？所以孝順父母有來不及的，敬愛兄長有失掉時機的，大概說的就是這種情形吧！

人生がこの世にある百年ほどの間で、病にかかるのは致し方ないことです。そのために、君子は二度とない命のことを考えて、早いうちから孝と悌を尽すものです。もし父母や親族が亡くなってしまうと、たとえ孝を尽したくても、誰に尽したらいいでしょうか。また、（自分が）歳を取ってしまうと、たとえ兄や姉を敬愛したくても、誰を敬愛すればいいでしょうか。親孝行が間に合わず、兄や姉への敬愛が時機を逃してしまったと言うのは、このようなことでしょう。

110 子曰：「武王、周公，其達孝矣乎！夫孝者，善繼人之志，善述^①人之事者也。」（卷七 禮記）

【註釋】①述：遵循；繼承。

【白話】孔子說：「武王、周公真正是通達了為人子應有的孝道啊！所謂孝順的人，就是指善於繼承先人志向、善於繼承先人事業的人啊！」

孔子は言われました。「武王、周公は人の子として尽すべき孝に実に精通しています！孝行ができる者というのは、先人の志向や先人の事業を受け継ぐのに長けている者です。らー！」

111

子曰：「昔者明王，事父孝，故事天明；盡孝於父，則事天明。事母孝，故事地察；盡孝於母，能事地，察其高下，視其分察也。長幼順，故上下治。卑事於尊，幼順於長，故上下治。天地明察，神明彰矣。事天能明，事地能察，德合天地，可謂彰也。故雖天子，必有尊也，言有父也；

雖貴爲天子，必有所尊。事之若父，三老の是也。必有先也，言有兄也。必有所先，事之若兄，五更の是也。（卷九 孝經）

【註釋】①彰：明顯，與隱微相對。②三老：指國三老，多以致仕三公任之。③五更（*geng* / *geng*）：古代官名，以年老致仕的官員充任，受朝廷禮遇。古代設三老五更之位，

天子以父兄之禮養之。更：指年老致仕而經驗豐富的人。

【白話】孔子說：「古時聖明帝王奉事父親能盡孝，所以奉事上天能夠明察（即了解並順應天道）；奉事母親能盡孝，所以奉事大地能夠明察（即了解並順應大地之理）；家中長輩和晚輩的關係順暢合禮，所以君臣上下的關係也井井有條。能夠明察天地的道理，就會感動神明，獲得明顯的福佑。所以，即使是貴爲天子，他必定還有應該尊崇的人，奉事他們就像奉事父親一樣，這說的是『三老』；他必定還有應該恭敬的人，奉事他們就像奉事兄長一樣，這說的是『五更』。」

孔子は言いました。「昔の聖明な帝王は父親に対して孝を尽せるから、天を祀る時も天

の理を明察（して理解し、適応）することができました。母親に対しても孝を尽せるから、大地を祀る時も大地の理を明察（して理解し、適応）することができました。家の中の違う世代の関係が順調であるから、君臣の間にある上下関係も秩序を守られます。天地の理を明察することができると、神を感動させて、明らかな福と庇護を得られます。そのために、たとえ尊い天子でも、必ずやまだ父親のように崇めるべき者がいます。すなわち、『国の三長老』です。また、天子にとつて兄や姉のように恭しく尊敬すべき者も必ずいます。すなわち『五更』という高齢で経験の豊かな官員です」

112

父母怨咎^①人不以正，已審^②其不然，可違而不報也；父母欲與人以官位爵祿，而才實不可，可違而不從也；父母欲爲奢泰侈靡，以適心^③快意，可違而不許也；父母不好學問，疾子孫之爲之，可違而學也；父母不好善士，惡子孫交之，可違而友也；士友有患故，待己而濟，父母不欲其行，可違而往也。故不可違而違，非孝也；可違而不違，亦非孝也。好不違，非孝也；好違，亦非孝也。其得義而已也。（卷四十五 昌言）

【註釋】①怨咎：埋怨，責備。②審：知道、明白、清楚。③適心：謂使心情平和快樂。

【白話】父母沒有按正理埋怨怪罪別人，做子女的知道父母這樣不對，可違背父母之命而不去報復；父母要給人官位爵祿，可是這人的才能實難勝任，可違背父母之命不聽從；父母想追求奢侈靡費的生活以使自己舒適快樂，可違背父母之命不予答應；父母不

喜好學問，從而反對子孫求學問，可違背父母意願而去學習；父母不喜歡賢良之士，不喜歡子孫和這些人交往，可違背父母之命與這樣的人交朋友；朋友遇到憂患等著自己去幫助，父母反對前去，可違背父母之命前去幫助。所以不應該違背的卻違背了，這是不孝；應該違背的卻不違背，也是不孝。一味地喜歡盲目遵從父母之命，這是不孝；一味地喜歡違背父母之命，也是不孝。這都要看是否符合道義啊！

父母が正しい道理に従わずに人のことを恨んでいたら、子どもは父母の命に背いて相手を報復しなくていいです。父母が人に官位や爵位、俸禄を与えたいが、相手の才能は到底その仕事を全うできないのであれば、子どもは父母の命に背いて従わなくていいです。父母が心地よく過ごせるように、贅沢で豪華な生活を追い求めたくても、子どもは父母の命に背いて応じなくていいです。父母が学問を嫌い、子孫が学問を修めるのを反対するのであれば、子どもは父母の命に背いて学習していいです。父母が善良な賢人を嫌い、子孫にそのような者と付き合うなどと言っても、子どもは父母の命に背いてそのような者と付き合ってもいいです。友達が困難に遭って自分の助けを待っているのに、父母が行くなどと言っても、子どもは父母の命に背いて助けに行ってもいいです。背いてはならない父母の命に背くのは不孝なことです。背くべきなのに、背かないのも不孝なことです。盲目にひたすら父母の命に従うのは不孝です。ひたすら父母の命に背くのも不孝です。全ては道義に見合うかどうかで決めるのです。

【113】曾子曰^①：「君子立孝，其忠之用也，禮之貴也。故為人子而不能孝其父者，不敢言人父不能畜^②其子者；為人弟而不能承^③其兄者，不敢言人兄不能順^④其弟者；為人臣而不能事其君者，不敢言人君不能使其臣者。故與父言，言畜子；與子言，言孝父；與兄言，言順弟；與弟言，言承兄；與君言，言使臣；與臣言，言事君。君子之孝也，忠愛以敬，反是亂也。」（卷三十五 曾子）

【註釋】①曾子曰：選文與《大戴禮記·曾子立孝第五十一》相關內文基本相同。近年出版的《上海博物館藏戰國楚竹書（四）》，有一篇題名為《內禮》的文獻，其開篇內容與此段選文非常相似。有學者判斷，《大戴禮記》這段內文應當是根據《內禮》篇改寫而來。《內禮》開篇文字如下：「君子之立孝，愛是用，禮是貴。故為人君者，言人之君之不能使其臣者，不與言人之臣之不能事其君者。故為人臣者，言人之臣之不能事其君者，不與言人之君之不能使其臣者。故為人父者，言人之父之不能畜子者，不與言人之子之不孝者。故為人子者，言人之子之不孝者，不與言人之父之不能畜子者。故為人兄者，言人之兄之不能慈弟者，不與言人之弟之不能承兄者。故為人弟者，言人之弟不能承兄者，不與言人之弟之不能順兄者。故曰：與君言，言使臣；與臣言，言事君；與父言，言畜子；與子言，言孝父；與兄言，言慈弟；與弟言，言承兄。反此，亂也。」②畜（ヌ / ト）：養育。③承：敬奉。④順：有「愛」的意思。

【白話】曾子說：「君子立身行孝，是內心誠懇的流露，同時重視合乎外在的禮節。因此，

作爲子女而不能孝順父母的人，就不敢對他說父母不撫育其子女的事；作爲弟弟而不能敬奉哥哥的人，就不敢對他說兄長不能教導弟弟的事；作爲人臣而不能事奉君主的人，就不敢對他說君主不能任用臣下的事。因此君子與身爲父親之人談話，就談養育子女之道；與身爲人子之人談話，就談孝順父母之道；與身爲人兄之人談話，就談愛護弟弟之道；與身爲弟弟之人談話，就談敬順兄長之道；與身爲人君之人談話，就談以禮任用臣子之道；與身爲人臣之人談話，就談事奉君主之道。君子的孝道，體現在對一切人的忠愛和莊敬上（因爲誠懇地愛一切人，所以與人交往時，會以恭敬的態度，盡力協助對方圓滿自己應盡的本分，獲得幸福人生）。如果不是這樣，那麼社會的人倫秩序就會混亂了。」

曾子は言われました。「君子が立身して孝を實行するのは、本当の気持ちの心の中から溢れ出たからであり、また外面において礼節に合うかどうかを気にしているからです」そのため、子どもとして親孝行のできない者は、君子に対して親の無責任さを言い付けられません。弟として兄を敬うことのできない者は、君子に対して兄の指導力のなさを言い付けられません。人臣として君主に仕えられない者は、君子に対して君主の力不足を言い付けられません。そのために、君子は父親でいる者と話をする時は、子どもの養育について話します。人の子でいる者と話をする時は、親孝行について話します。人の兄でいる者と話をする時は、弟を愛護する術について話します。人の弟でいる者と話をする時は、兄に

恭しく服従する術について話します。君主でいる者と話をする時は、礼をもって臣下に接する術について話します。人臣でいる者と話をする時は、君主に仕える術について話します。君子の孝道は、全ての者への忠誠心と愛情、そして敬意に表れています。（全ての者を心から愛しているから、人と付き合う時は恭しい態度で相手をできるだけ助けて、幸せな人生を手に入れるように手伝うのです。）そうでなければ、社会の人倫と秩序は失われてしまいます」

114

夫孝，置之而塞乎天地，敷之而橫乎四海，施諸後世而無朝夕。《詩》云：「自西自東，自南自北，無思不服。」此之謂也。（卷七 禮記）

【白話】孝道，樹立起來就會充滿天地之間，普及起來就會遍及四海，傳承於後世就會無時不在。《詩經》說：「從西到東，從南到北，沒有不遵從的。」說的正是這種情形。

孝道は、打ち立てられると天地の間に充滿し、普及すれば四海に遍く広まり、後世に受け継がれればいつまでもあり続けるものです。『詩經』で言われました。「西から東まで、南から北まで、守らない者はいません」まさにこのような状況です。

115

常棣^①之華，萼不^②煒煒^③。承華者曰萼。不當作附，附，萼足也。萼足得華之光明，煒煒然也。興者喻弟以敬事兄，兄以榮覆弟。恩義之顯，亦煒煒然也。凡今之人，莫如兄弟。人之恩如兄弟之最厚。鵲鵲，雍渠也。飛則鳴，行則搖，不能自舍爾。急難，言兄弟之相救於急難矣。每有良朋，況也永歎。況，茲也。永，長也。良，善也。當

急難之時，雖有善同門來，茲對之長歎而已。

兄弟鬩于牆^⑤，外禦其侮。

鬩，狼也。禦，禁也。兄弟雖內鬩，外猶禦侮也。

（卷三 毛詩）

【註釋】

①常棣（ヒノキ / カ）：木名，即棠棣。

②萼不（ヒノキ / ヒノキ）：花萼，即襯托花瓣之綠色小片。不：當作「跗」，通「柎」。

指花萼房。③煒煒（ヒノキ / ヒノキ）：鮮明貌。

④鵲鵲（ヒノキ / ヒノキ）：水鳥名，又名雍渠。「鵲鵲在原」，言失其常處也。

⑤鬩（ヒノキ / ヒノキ）于牆：謂兄弟相爭於內。鬩：爭吵、爭鬥。

【白話】

棠棣花朵盛開，花萼在花朵的輝映下同樣鮮明（好比弟弟恭敬對待兄長，兄長的榮耀也庇護著弟弟）。如今世上的眾人，都不如兄弟親近。猶如水鳥鵲鵲不幸流落平原而不捨同伴，遇到急難，兄弟必定會出力支援。平日雖有好友，如今卻只能報以長歎。兄弟在家中儘管有紛爭，但遇到外部欺凌時一定會同心抵禦。

ハネズの花が咲き乱れると、花の萼も花びらの華やかさで同じく鮮やかに見えます。（まるで弟が恭しく兄に接することができたら、兄の栄光もまた弟を庇護するように。）今、世の中の人々が兄弟のように親しく付き合うことは稀です。まるで水鳥のセキレイのように、たとえ不幸にも平原に流されてしまっても仲間を見捨てたりせず、もし急難がある

と、兄弟は必ず支援に駆けつけてくれます。しかしながら、日頃の友達はただ嘆くばかりで、実際に助けてはくれません。兄弟は家の中で争うことはあっても、外からの侵略やいじめには必ず心一つにして抵抗するものです。

116

惠伯曰：「喪，親之終也。雖不能始，善終可也。史佚有言曰：『兄弟致美。』」各盡其美，救乏，義乃終。

賀善、吊災、祭敬、喪哀，情雖不同，毋絕其愛。親之道也。」（後補卷四 春秋左氏傳上）

【白話】惠伯勸說襄仲說：「辦喪事，是親人的最後一件事。雖然您倆開頭關係不好，現在

友好地終結是可以做得到的。史佚說過這樣的話：『兄弟之間各盡自己的美德。』（兄弟間）救濟貧乏，祝賀喜慶，吊問災禍，遇到祭祀則助其祭祀以致敬，遇到喪事則致哀。兄弟之間雖然內心可能因事而不能和睦同心，但不要斷絕彼此的友愛，這是親人間相互親近之道。」

惠伯は襄仲を慰めました。「葬式をするのは、親族としての最後の仕事です。あなた方の関係は初め、あまりよろしくなかったが、友好的に終わらせるのは今でもできることです。史佚はこのようなことを言いました。『兄弟は互いに自分のなすべき美德を尽すものです』（兄弟の間で）貧しい方を助けて、祝うべき慶事には祝福します。災難に遭った時は相手を慰問し、祭祀のある時は儀式の手助けをして敬意を表します。葬式のある時は悲しみを伝えます。何かで心を一つにすることはできなくても、兄弟は互いへの友愛を断絶してはなりません。これこそ、親族の仲をより緊密なものにするための方法です」

三、仁義

117

仁者愛人，義者修（修作）理。（卷三十八 孫卿子）

118

【白話】仁慈的人是愛護人的，道義的人是遵循正理的。

慈悲のある者は人を愛します。道義の分る人は正しい理に従います。

孟子曰：「三代之得天下也以仁，其失天下也以不仁。國家（無家字）之所以廢興^①存亡者亦然。天子不仁，不保四海之內（無之內二字）；諸侯不仁，不保社稷^②；卿大夫^③不仁，不保宗廟^④；士庶人不仁，不保四體^⑤。今惡死亡而樂不仁，猶惡醉而強酒。」（卷三十七 孟子）

【註釋】①廢興：盛衰；興亡。②社稷：古代帝王、諸侯所祭的土神和穀神。舊時亦用為國家的代稱。③卿大夫：卿和大夫。後借指高級官員。④宗廟：祭祀祖先之宮室。⑤四體：指人的四肢，用以代稱全身。

【白話】孟子說：「夏、商、周三代能得到天下，是因為施行仁政；他們喪失天下，是因為不施行仁政。諸侯各國的衰落與興盛、生存與滅亡也是同樣的道理。天子沒有仁德，就保不住天下；諸侯沒有仁德，就保不住國土；卿大夫沒有仁德，就保不住家族的祠堂；士人和百姓沒有仁德，就不能保全自己的生命。如今厭惡死亡卻喜好殘暴，就好比厭惡喝醉卻勉強喝酒一樣。」

孟子は言われました。「夏、商、周これら三つの時代が天下を得られたのは、仁政を実行したからです。彼らが天下を失ったのも、仁政を実行しなかったためです。諸侯と各国の衰退と繁栄、生存と滅亡もまた同じ理です。天子に仁徳がないと、天下を守ることはで

きません。諸侯に仁徳がないと、国土を守ることができません。卿や大夫など高級官僚らに仁徳がないと、家族の祠を守ることができません。士人と民に仁徳がないと、自分の命を守ることはできません。今や死を嫌うのに残虐を好むという風潮も、まるで酔いを嫌うのに無理して飲酒しているようです」

119

昔者聖人之崇仁也，將以興天下之利也。利或不興，須仁以濟天下。有不得其所，若己推而委^①之於溝壑然。夫仁者，蓋推己以及人也。故己所不欲，無施於人；推己所欲，以及天下。推己心孝於父母，以及天下，則天下之爲人子者，不失其事親之道矣；推己心有樂於妻子，以及天下，則天下之爲人父者，不失其室家之歡矣；推己之不忍於飢寒，以及天下之心，含生無凍餒^②之憂矣。此三者，非難見之理，非難行之事，唯不內推其心，以恕乎人，未之思耳，夫何遠之有哉？（卷四十九傳子）

【註釋】①委：捨棄，丟棄。②餒（rei / 3ゑ）：同「餓」。飢餓。

【白話】從前，聖人崇尚仁政，是用以爲天下人興利的。如果利民之事未能興辦，就必須以仁政普濟天下。若有不得其所的人，就如同是自己把他們丟棄到溝壑一般。仁愛的人，都將心比心對待人，所以己所不欲，不施於人；想到自己之所求，就會設身處地推廣到天下人。願將自己孝順父母之心，遍及天下之人，那麼，天下的子女就不會喪失侍奉雙親的準則；願將自己與妻兒相處的快樂，遍及天下之人，那麼，天下

做父親的人就不會失去家庭的歡樂；用自己忍受不了飢寒的心情去推想天下人飢寒的心情，天下生靈就不會有飢寒交迫之憂。這三點不是難懂的道理，也不是難以辦到的事情，只是不能推己之心以恕道待人，沒有用心去思考罷了，哪裡真的是很遙遠而不能辦到的呢？

昔、聖人が仁政を推奨したのは、天下の人々の利益を上げようとしたためです。もし民のためになることができていなかったら、仁政でそれを天下に実現させるべきです。聖人にとつて、居場所のない者がいることは、まるで自分が彼らを深い溝に陥れたようなことです。仁愛の心を持っている者は、相手の気持ちを思いやって接することができません。そのために、自分がしてほしくないことは、人にもしません。自分がしてほしいことは、何とかしても天下の人々もしてもらえようにするのです。自分が父母を孝行する時の心を天下の人々に普及することができたら、世の中の子女たちも両親に尽す時の準則を失いません。自分が妻子という時の楽しさを天下の人々にも分ってもらえたら、世の中の父親は家庭の楽しさを見失いません。自分が飢えを耐えられない気持ちをもって天下の人々の気持ちを推し量ることができたら、飢えと寒さに苦しむ者も世の中から消えます。これら三つのことは分りにくい理ではなく、実行するのが困難なことでもありません。ただ心から相手の気持ちを思いやって許したり、助けたりできていないのであり、難しくてできないことではありません。

【120】解。《象》曰：雷雨作^①，解。君子以赦^②過宥^③罪。（卷一 周易）

【註釋】①雷雨作：指解卦下坎爲水，上震爲雷，猶雷雨並作。②赦：放免，寬免罪過。③宥：寬宥，寬恕。

【白話】解卦《象傳》講道：上面是雷，下面是雨，雷雨交作，陰陽和暢，百物鬆解潤澤，這是解卦的象徵。君子以解卦的義理放免別人的錯誤，寬恕別人的罪過。

解の卦について、『象伝』ではこのように言われました。「上は雷、下は雨。雷雨互いに響き鳴り降り続ける様は、陰陽の調和が取れているためです。万物もくつろいで潤うことができます。これは解の卦の象徴です。君子はこの象徴の義理から、他人の罪と過ちを許すべきです」

【121】膳夫^①掌王之食飲、膳羞^②。大喪^③則不舉^④，大荒則不舉，大札^⑤則不舉，天地有災則不舉，

邦有大故^⑥則不舉。大荒，凶年也。大札，疫癘也。天災，日月晦食也。地災，崩動也。大故，刑殺也。《春秋傳》曰：「司寇行戮，君爲之不舉。」（卷八 周禮）

【註釋】①膳夫：古官名，掌宮廷的飲食。②膳羞：美味的食品。東漢鄭玄先生註：「膳，牲肉也；羞，有滋味者。」羞：後多作「饈」。③大喪：指天子、皇后、世子之喪。

④不舉：古代逢大的天災人事，皆除去盛饌（指不殺牲），偃息聲樂，稱作「不舉」。

⑤大札（*big / せ*）：瘟疫。⑥大故：指的是敵軍來犯、對犯罪者處以死刑等事。

【白話】膳夫，掌理天子所用的飯食、飲料、牲肉和菜肴。遇到天子、皇后、世子的喪事不殺牲，遇有大的災荒年不殺牲，瘟疫流行的時候不殺牲，有天災地變不殺牲，國家有敵軍

來犯或罪犯行刑不殺生。

膳夫は天子が食べるごはん、飲料、肉や菜食を司りますが、天子や皇后、世子の葬式に遭うと、殺生しません。大きな災厄がある年は殺生しません。疫病が流行っている時は殺生しません。天災地変があると殺生しません。敵軍が国を侵略したり、罪人が処刑されたりする時も、殺生しません。

122

仲春之月，養幼小，存諸孤。助生氣也。命有司，省囹圄^①，去桎梏，毋肆^②掠^③；順陽氣也。省，減也。肆，謂死刑暴尸。毋竭川澤，毋灋^④陂池^⑤，毋焚山林。順陽養物。（卷七 禮記）

【註釋】①囹圄（Ling yu / カンゴ）：監獄。②肆：死刑後陳屍示眾。③掠：拷打；拷問。

④灋（fa / カ）：使乾涸，竭盡。⑤陂（bei / ヒ）池：池塘。陂：池塘湖泊。

【白話】春季的第二個月，要特別保養幼小的孩童，撫恤可憐的孤兒。要命令掌管司法的官吏減少牢獄中關押的囚犯，除去他們的腳鐐和手銬，不可執行死刑及陳屍示眾、拷打犯人；不可放乾河川湖泊中的水；不可使池塘乾涸；不可放火焚燒山林（順應生生不息的陽氣，長養萬物）。

春の二つ目の月では、幼い子どもを特に守り、かわいそうな孤児らを思いやることです。また、司法を司る管理には牢獄で拘留されている囚人を減らすように命ずるのです。囚人らの足枷と手枷をはずし、死刑や死体の見せしめ、拷問を禁ずるべきです。河や湖の中の

水を空になるまで放出してはなりません。池を枯らしてはなりません。山林に火をつけて燃やしてはなりません。（めぐり続ける陽気に従い、万物を養育させるためです。）

123

國君春田^①不圍澤，大夫不掩^②群，士不取驪卵^③。生乳之時，重傷其類。（卷七 禮記）

【註釋】①田：同「畋」，打獵。②掩：指盡取，全部捕殺。③驪（リ／リ）卵：幼獸和鳥卵。驪：幼鹿，此處泛指幼獸。

【白話】諸侯國君在春天舉行田獵時，不可包圍整個獵場；大夫不可捕殺整群的禽獸；士人不可掠取幼獸或鳥卵（動物生育和哺乳的時候這樣做，會嚴重地傷害動物的族類）。

諸侯と国君が春に田獵をする時は、獵場をまるごと囲ってはいけません。大夫は獸の群れを丸ごと撲殺してはいけません。士人は幼獸や鳥の卵を掠め取ってはいけません。（動物が生育と哺乳している時にそのようなことをすると、動物を酷く傷つけてしまうからです。）

124

子曰：「仁有三，與仁同功而異情。利仁強仁，功雖與安仁者同，本情則異也。與仁同功，其仁未可知也；與仁同過，然

後其仁可知也。仁者安仁，智者利仁，畏罪者強^①仁。」功者，人所貪。過者，人所避。（卷

七 禮記）

【註釋】①強（qiáng／ㄑㄧㄤˊ）：勉強；強迫。

【白話】孔子說：「行仁道有三種情況（安仁、利仁、強仁）：利仁、強仁的功效雖然與安

仁相同（都能利益他人、利益社會），但其存心是不同的（安仁是無所求而安於行仁，利仁是為獲得利益而行仁，強仁是畏懼刑罰而行仁）。這三者施行仁愛，從功效看是相同的，難以判斷是否真正以仁德之心行事；但施行仁愛遭遇到利害相關的事情時，可從不同的反應中看出是否真正仁德之人。真正的仁者基於自己的本性而安適自在地行仁；智者知道行仁對自己有利，所以行善以求福；害怕犯罪受罰的人是勉強地行仁。」

孔子は言われました。「仁の道を実行するには、三つの状況があります。（安仁、利仁、強仁）：利仁と強仁の効果は安仁と同じではありませんが（共に他人と社会に益することができます）、その心積もりは違います（安仁は何も求めずに仁の実行を楽しんでいます。利仁は利益を得るために仁を実行しています。強仁は刑罰を恐れるために仁を実行しています）。これら三者が仁愛を実行する時、効果の面から見ると同じですから、本当に仁徳の心からの行いなのかは判別しにくいです。しかしながら、仁愛を実行する時に利害にかかわることが起こると、それぞれ違う反応から、本当に仁徳を備えている者かどうか分ります。本当の仁者は自分の本性に基づいて、自在に安らいで仁を実行し続けます。智者は仁の実行は自分にとって有益であることを知っているから、福のために仁を実行します。罪を犯して罰せられるのを恐れる者は無理に仁を実行しているように見えます」

125

景公問晏子曰：「謀必得，事必成，有術乎？」對曰：「有。」公曰：「其術何如？」晏子曰：「謀度^①於義者必得，事因^②於民者必成。反義而謀，背民而動，未聞存者也。昔三代之興也，謀必度於義，事必因於民；及其衰也，謀者反義，興事傷民。故度義因民，謀事之術也。」（卷三十三 晏子）

【註釋】①度（zhai / 宅）：同「宅」，居。（根據王念孫先生校勘解釋。）②因：順；順應。

【白話】景公問晏子說：「要使謀劃的事一定實現，所做的事一定成功，有這樣的方法嗎？」

晏子回答說：「有。」景公問：「那方法是什麼？」晏子答道：「謀劃的事與道義相合就肯定能實現，做事順應民心就肯定能成功。違反道義來謀劃，違背民意來行事，從未聽說過能長久的。以前，夏、商、周三代興盛之時，謀劃必定考慮是否符合道義，做事必會依照人民的意願。到他們衰敗的時候，所謀劃的策略違背道義，所興辦的事情又傷害人民。所以符合道義、依照民意，是謀劃和做事的正確方法。」

景公は晏子に尋ねました。「計画していることを必ずや実現させて、やろうとしていることを必ずや成功させたいのですが、何か方法はありませんか」晏子は答えました。「あります」景公は尋ねました。「何と言う方法でしょうか」晏子は答えました。「計画していることと道義が一致していれば、必ず実現できます。民の心に順応することができれば、なすことは必ず成功できます。道義に背いて計画し、民意に背いていて長く続けられる政権は、聞いたことはありません。その昔、夏、商、周これら三つの時代が繁栄していた時

126

に、その計画は道義に合うかどうか、実行の仕方が民の願いに沿っているかどうか必ず問われました。そして、これら三つの時代が衰えていた時は、練っていた策略が道義に背き、なすことも民を傷つけてしまったからです。そのために、道義に一致し、民意に従うことこそ、計画と実行の正しい仕方です」

夫君子者，易親而難狎^①，畏禍而難劫^②，嗜利而不爲非，時動靜（字無靜）而不苟作。體雖安之，而弗敢處，然後禮生焉；心雖欲之，而弗敢言，然後義生焉。夫義節欲而治，禮反情而辨者也。

（卷三十四 鵬冠子）

【註釋】①狎：輕慢。②劫：用威嚇的手段脅迫。

【白話】君子這樣的人，容易親近，但不會讓人因親近而產生輕慢；害怕災禍，但難以用脅迫來讓他屈服；喜愛利益，但不會爲此去做違背道義的事；時局動盪，也不會不依正道苟且作爲。雖然外物或境況讓自身感到安適，但不敢處於這種安逸之境，這樣之後禮節由此產生；內心雖然想要某種合乎心意的事物，但不敢放任自己隨意求取，這樣之後正義由此產生。正義，通過節制欲望而達到自我的完善；禮節，通過規範性情而可以明辨事理。

君子と言う者は親しみやすいが、親しみやすさから怠慢されることはありません。君子は禍を恐れるが、脅迫して屈服させることは難しいです。利益を愛するが、利益を求める

ために道義に背いたことをしません。たとえ動乱の時代でも、正道から逸していい加減なことをしません。外部の物質や環境に安らぎを感じつつも、そのような安逸の環境に長居することをしないから、礼節は自ずと君子の中に生まれます。心のうちでは何か欲しい物はあっても、思いのままに妄りに求めることをしないから、正義は自ずと君子の中に生まれます。正義とは、欲望の節制を通して自己の完善を完成させることです。礼節とは、性格の規範によって理を理解し、分別できるようにすることです。

〔127〕天災流行，國家^①代^②有。救災恤^③鄰，道也。行道有福。（後補卷四 春秋左氏傳上）

【注釋】①國家：古代諸侯的封地稱國，大夫的封地稱家。②代：更迭；交替。③恤：周濟，救濟。

【白話】天災流行，總在各個地方交替發生。救援受災地區，周濟鄰國，這是道義。按道義行事者有福。

天災の流行は、どのような場所でも常に代わる代わるに起こっています。被災地を救援し、隣国を助けることは道義です。道義に従う者には福が訪れます。

四、誠信

128

君子之養其心，莫善於誠。夫誠，君子所以懷萬物也。天不言而人推高焉，地不言而人推厚焉，四時不言而人期焉。此以至誠者也。（卷四十八 體論）

【白話】君子修養身心，沒有比「誠」更重要的了。誠，是君子所用來包容萬物的。天不言語，可是人們推崇它的高遠；地不言語，可是人們推崇它的厚重；四季不言語，可是人們期盼它的來臨。這是因為它們是至誠的。

君子が心身を修養する時において、「誠」より重要なことはありません。誠とは、君子が万物を受け入れる根本です。天は語らないが、人々はその高遠さを崇めています。大地は語らないが、人々はその厚重さを崇めています。四季は語らないが、人々はその到来を待ち望んでいます。全ては「至誠」であるためです。

129

蓋天地著^①信，而四時不悖；日月著信，而昏明有常；王者體信，而萬國以安；諸侯秉^②信，而境內以和；君子履^③信，而厥^④身以立。古之聖君賢佐，將化世美俗，去信須臾，而能安上治民者，未之有也。（卷四十九 傅子）

【註釋】①著（しる／出）：顯明；顯出。②秉：操持。③履：執行；實行。④厥：代詞，他的。

【白話】天地顯現其誠信，四季運行就不違背常規；日月顯現其誠信，黑夜白晝就交替正常；

君王依循於誠信，各個諸侯國就會安定；諸侯秉持誠信，諸侯國內就會和平；君子踐行誠信，就能在社會上立足。古代的明君賢臣，要教化世人、美化風俗，如果片刻離開誠信，卻能安定國家、治理好百姓，這是從未有過的事。

天地がその誠信を現すと、四季の運行は常軌から逸しません。日月がその誠信を現すと、深夜と白昼の交代は正常に行われます。君主と帝王が誠信に従うと、諸侯の国々も安定します。諸侯が誠信を心を持っていると、その国内は平和になります。君子が誠信を実行すると、社会でそれなりの地位を得られます。古代の明君と賢明な臣下世の人々を教化し、風俗を美化しようとします。しかしながら、少しでも誠信から離れると、相変わらず国家を安定させて民をよく治めたことは、未だかつてありませんでした。

130

曾子妻之市，其子隨而泣。其母曰：「汝還^①，顧^②反，爲汝殺彘。」妻道（道作適）市來，曾子欲捕彘殺之，其妻止之曰：「特^③與嬰兒戲也。」曾子曰：「嬰兒者非有知也，待父母而學之者也。今子欺之，是教子欺也。母欺子，子而不信其母，非所以成教也。」遂殺彘。（卷四十 韓子）

【註釋】①還：回家。②顧：等待。③特：僅；只是。

【白話】曾子的妻子要到集市上去，她的兒子哭著要跟隨著一起去。母親對兒子說：「你回家去，等我回來，給你殺豬吃。」曾子的妻子從集市回來，曾子就準備捉豬去殺，

〔131〕

恕者，以身爲度者也。己所不欲，毋加諸人。惡諸人，則去諸己；欲諸人，則求諸己。此恕也。

（卷三十六 尸子）

【白話】恕，就是以自身的情況設身處地爲他人考慮。自己不希望接受的事情，也不要強加到別人身上。如果厭惡別人的習氣毛病，就要先去除自己身上的習氣毛病；希望別人做到的，就要自己先做到。這就是恕。

五、正己（己を正します）

曾子の妻は市に行こうとしたが、息子がついて行くと泣いていました。母親は息子に言いました。「家で待っていてなさい。お母さんが帰ってきたら、豚を殺してご馳走にしてあげるわ」曾子の妻が市から帰ってくると、曾子は豚を捕まえて殺す用意をし始めたので、妻は止めました。「子どもとただの冗談よ」曾子は言いました。「子どもは何も分らずに、ただ親について学ぶものだ。子どもに今嘘をつくのは、子どもに嘘をつけと教えることになる。母親が子どもに嘘をつくとき、子どもは母親を信用できなくなってしまうさ。そんなの、教育の仕方ではない！」そして、曾子は豚を殺しました。

妻子阻止他說：「只是和孩子開玩笑的。」曾子說：「孩子是不懂事的，是跟著父母學習的。現在妳欺騙他，就是教孩子欺騙。母親欺騙孩子，孩子就不相信自己的母親，這不是用來教育孩子的方法！」於是曾子便動手殺了豬。

恕とは、己の状況と同様に他人を思いやることです。自分がしてほしくないことは、無理に他の人に押し付けません。他人の習慣や癖を嫌うのでしたら、まずは自分の習慣と癖を正すべきです。他人にしてほしいことは、まずは自分が率先してできるようにします。これこそ恕です。

〔132〕事親而不爲親所知，是孝未至者也；事君而不爲君所知，是忠未至者也；與人交而不爲人所

知，是信義未至者也。（卷四十五 昌言）

【白話】侍奉雙親而不被雙親了解，是孝道沒有行圓滿；事奉君主而不被君主了解，是忠義沒有行圓滿；與人交往而不被人了解，是信義沒有行圓滿。

両親に奉仕しているのに、両親から理解されないのは、孝道が円満に行われていないからです。君主に仕えているのに、君主から理解されないのは、忠義が円満に行われていないからです。人と付き合いながら、人から理解されないのは、信義が円満に行われていないからです。

〔133〕君子在位可畏，施舍可愛，進退可度，周旋可則，容止可觀，作事可法，德行可象^①，聲氣可樂，

動作有文，言語有章，以臨其下，謂之有威儀也。（卷五 春秋左氏傳中）

【註釋】①象：效法，仿效。

【白話】君子在位令人敬畏，施惠於人令人愛戴，進退揖讓可作為法度，交際往來可作為準則，儀容舉止值得人觀摩，處事施政值得人學習，道德品行可以讓人效法，聲音氣度讓人愉悅，動作典雅有修養，說話清晰有條理，這樣來對待下屬，就叫做有威儀。

君子は職位につくと人から敬畏され、人に施しをすると、人から愛されます。その進退は法律の尺度に、人との付き合い方は準則になれます。その容姿と振る舞いは参考にされ、物事への接し方も人から見習われます。その道德と品行は人から学ばされ、声と器の大きさは人を喜ばせます。その動作は優雅にして教養があり、話し方も明瞭で条理があります。このような接し方で部下と接することができると、自ずと威儀も備わります。

134

非漠眞（漢眞作淡漠）

無以明德，非寧靜無以致遠，非寬大無以並覆^①，非平正無以制斷^②。（卷

三十五 文子）

【註釋】①並覆：廣為覆庇、包容。②制斷：專斷；裁決。

【白話】不能淡泊名利，就無法彰明自身的性德；不能清靜寡欲，就無法到達高遠的境界；沒有寬廣博大的胸懷，就無法包容天下萬物；沒有公平正直的作風，就無法做出正確的決斷。

名利に淡泊でなければ、自身の徳性を明らかにすることはできません。欲望を減らして

清浄な心でいることができなければ、高遠な境地に達することはできません。広くて深い懐がないと、天下の万物を受け入れることはできません。公平にして正直なやり方でない
と、正しい決断をすることはできません。

135

大人不唱^①游言。

游、猶浮也。不可用之言也。

可言也，不可行，君子弗言也；可行也，弗可言，君子弗行也。則

民言不危行，而行不危言矣。

危、猶高也。言不高於行，行不高於言，言行相應。

（卷七 禮記）

【註釋】

①唱：倡導；發起。後作「倡」。

【白話】身居高位的人不可倡導和鼓勵講一些浮而不實之言。可以說而做不到的，君子是不會去說的；可以做而不可堂堂正正說的，君子是不會去做的。能夠這樣，百姓就不會言過其實，也不會去做不可告人的行爲。

高位にいる者は浮ついた不実の事柄を言うのを提唱し、励ましてはいけません。言えるのにできないことを、君子は言いません。できるのに正々堂々と言えないことも、君子はしません。このようにすることができたら、民も浮ついたことを言わず、人に言えないことをしません。

六、度量

〔136〕

上不天，則下不偏^①覆；心不地，則物不畢載。大山^②不立好惡，故能成其高；江海不擇小助，故能成其富。故大人^③寄形^④於天地，而萬物備；措心於山海，而國家富。（卷四十 韓子）

【註釋】①偏：「徧」的誤字。徧，指普遍。②大（トビ / チカ）山：泰山。大：「太」的古字，

通「泰」。③大人：猶言王者。④寄形：猶言託身。指以天地般廣大的胸懷來治理。

【白話】君主不效法蒼天，就不能保護所有的人民；君主心胸如果不像大地那樣寬廣，就不能承載所有萬物。泰山對土石沒有好惡之心，所以能夠形成它的高大；江海對細流不加選擇，所以能夠形成它的壯闊。所以君主寄託形體於天地，似天之遍覆，地之遍載，因此萬物豐饒；心之運用如大山不讓微塵，江海不擇細流，因而國家富足。

君主が天を見習わないと、全ての民を守ることではできません。もし君主の懷が大地のように広くなないと、全ての万物を受け入れることはできません。泰山は土や石に対して好き嫌いがなければ、あれほどの高大さになります。江海は細い分流を選ばないから、あれほどの壮大さになります。そのために、君主も天地を見習い、天のように遍く覆いかぶさり、地のように遍く受け入れると、万物は豊饒になります。また、心を泰山や江海のようにして、広く相手を受け入れられると、国は自然に豊かになります。

〔137〕

王賞鬬辛、王孫由于、申包胥、鬬懷。皆從王有
大功。子西曰：「請舍懷也。」以初謀殺
王故。王曰：「大德滅小

怨，道也。

終從其兄，免王大難，是大德也。

（卷六 春秋左氏傳下）

【白話】楚昭王賞賜了鬬辛、王孫由于、申包胥、鬬懷等人。子西說：「請您不要賞賜鬬懷。」

（因為當初他曾想殺死昭王。）昭王說：「他對我有大恩德，就可以消除以前小的怨恨了，這是合乎道義的。」

楚の昭王は鬬辛、王孫由于、申包胥、鬬懷らに褒美を与えました。子西は言いました。

「どうか鬬懷に褒美を与えないでください」（何故なら、鬬懷は昭王を殺そうとしました。）昭王は言いました。「彼は私に大きな恩恵があります。これで前の恨みは帳消しになれるから、道義に合っています」

七、謙虚

138

人之情，服於徳，不服於力。故古之聖王，以其言下人，以其身後人，即天下推而不厭，戴而不重。此徳有餘，而氣順也。故知與之爲得（得作取），知後之爲先，即幾①道矣。（卷三十五

文子）

【註釋】①幾：將近；幾乎。

【白話】人的心理，是順服於道德，而不順服於威力。所以古代的聖明君王，處處言語謙卑，事事行在人後，天下人都推重他而不厭煩他，擁戴他在人民之上而人民並不感到有重壓。這就是德高有餘而氣順於道。因此，懂得「給予」就是「得到」，懂得甘居

人後實際上是站在了人前，這就接近於「道」了。

人の心は道德に従うもので、威力には従いません。そのために、昔の聖明な君王は言葉を謙虚にして、何事も人に遅れてするようにしました。そのような君王は民の上にいても、民に重圧を与えないから、天下の人々は彼を尊重して嫌いません。これこそ、高い徳性によつて自然に物事が順調に進められることです。ゆえに、「与えること」「こそ」「得ること」、人に遅れることは実は人より前に進んでいるのだとわかると、「道」に近づけられます。

139

夫學者損其自多，以虛受之。天道成而必變。凡持滿而能久者，未嘗有也。故曰：自賢者，則天下之善言，不得聞其耳矣。（卷十 孔子家語）

【白話】爲學之人應當不斷減損自己的驕傲自滿，永遠以謙虛的心接受一切人事物給予的啓發。大自然的法則是：萬事萬物的發展一旦達到極致，就會向相反的方向轉變。因此凡是抱持自滿態度而能長久的人，從未有過。所以說，自認爲了不起的人，天底下有益的善言，他就再也聽不進了。

學問を求める者は自分の傲慢さをすり減らし続けて、いつもでも謙虚な心で全ての人と物事からの啓発を受け入れるべきです。大自然の法則は、万事万物がその極みに達すると、相対する方向へと変化するのです。そのために、現状に満足して驕った態度の者が長く続いたことは、一度もありませんでした。ゆえに、自分のことは偉いと思う者の耳に、天下

のどんな有益な言葉ももう入れないでしょう。

140

不自見，故明；聖人因天下之目以視，故能明達。不自是，故彰；聖人不自爲是而非人，故能彰顯於世。不自伐，^①故有功；聖人德化流行，不自取其美，故有功於天下也。不自矜^②，故長。聖人不自貴大，故能長久不危也。夫唯不爭，故天下莫能與之爭。此言天下賢與不肖，無能與不爭者爭。（卷三十四 老子）

【註釋】①伐：自吹自擂，誇耀自己。②矜：恃己之能。

【白話】不執著自己的主觀成見（而從天下人的角度看事物），所以對事物看得分明；不自以爲是（而吸取天下人的正確看法），所以盛德顯現於外；不自我誇耀，所以能成就功業；不自恃己能、自高自大，所以長久不危。正因爲不與人爭，所以天下沒有誰能與他相爭。

自分の主觀的な見方にこだわらずに（天下の人々の視点から物事を見れるから）、物事がはつきりと見えます。思いつがらないで（天下の人々の正しい見方を吸収しているから）、大いなる徳性は自ずと現れてきます。自分のことを誇示しないから、功業を成就できます。自分の能力に驕つたりせず、に自慢しないでいられるから、長く危機に悩まされません。人と争わないから、天下で誰も彼と争えないのです。

141

君子務脩諸内，而讓之於外；務積於身，而處之以不足。（卷四十八 體論）

【白話】君子致力於對内修養自身，而對外謙讓（讓位於賢，讓功於眾，讓名於上）；致力

於積累自身的德行、智慧、能力，而時刻以自己還很不足來自處。

君子は内に対して自身の修養を高めるのに力を注ぎ、外に対しては謙虚でいます（賢人に職位を譲り、大衆に功勞を譲り、上位者に名声を譲ります）。自身の徳性と智慧、能力を積み重ねるのに力を注ぎながらも、まだまだ足りないのだと自分を戒めるものです。

142

謙。《象》曰：地中有山^①，謙。君子以裒^②多益寡，稱^③物平施。多者用謙以爲裒，少者用謙以爲益，隨物而與，施不失平也。（卷一

周易）

【註釋】①地中有山：指謙卦下艮爲山，上坤爲地，猶山在地之中。②裒（pou / ㄆㄡˋ）：減少。

③稱：權衡。

【白話】謙卦《象傳》說：謙卦的卦象是艮（山）下坤（地）上，爲高山隱藏於地中之表象，象徵高才美德隱藏於心中而不外露，所以稱作謙。君子總是損多益少，衡量各種事物，然後取長補短，使其平均。

謙の卦は『象伝』によると、謙の卦は艮（山）が下に、坤（地）が上にあります。高い山が大地の中に隠れているように見えるので、高い才能と美德を心の中に隠して見せびらかさないということを象徴しており、謙と言われます。君子はいつも多くの損失をしてわずかな利益を得るが、様々なことを考慮して、十分すぎるほどあるところから取って、足りないところを補っているから、均衡が取れます。

〔143〕

夫謙徳之光，《周易》所美；滿溢之位，道家之^①所戒。故君子福大而愈懼，爵隆而益恭。遠察近覽，俯仰有則，銘諸机^②杖，刻諸槃杆^③，矜矜業業^④，無殆無荒。如此，則百福是荷^⑤，慶流無窮矣。（卷二十二 後漢書二）

【註釋】①之：此字爲衍文。比「天明本」更早的「元和本」並無此字。②机：通「几」。

几案，小桌子。用以擱置物件或倚靠。③槃杆（*yu / er*）：盤與孟的並稱。用於盛物。古代常將銘言或功績刻於盤孟，以爲法鑒。槃：古代承水器皿。籀文爲「盤」，後世多用「盤」。杆：通「孟」。盛湯漿的器皿。④矜矜業業：謹慎戒懼貌。矜矜：戒懼；小心謹慎。業業：危懼。⑤荷（*he / e*）：承受。

【白話】謙虚仁徳の光彩，是《周易》大力稱美的；過滿則溢的位置，是道家引以爲戒的。所以君子福愈大愈驚懼，官愈高愈謙恭。觀察古人和今人，一舉一動都有準則，將銘文刻在几案和拐杖上，刻在盤和孟上，兢兢業業，不敢怠慢。這樣，就能承載百福，福澤綿長。

謙虚と仁徳の光彩は、『周易』で大いに賞賛されています。度を過ぎて溢れ出てしまうのは、道家が強く戒めているものです。そのために、君子は福が大きくあればあるほど恐れをなし、官位が高ければ高いほど謙虚でいます。古今の者を観察して、一挙手一投足にも準則があります。それを銘にして机と杖、そして皿と器に刻み込ませて、戦々恐々として疎かにしないことです。そのようにすれば、百年もの長い福をいただけます。

144

凡趣舍^①之患，在於見可欲而不慮其敗，見可利而不慮其害，故動近於危辱。昔孫叔敖三相楚國，而其心愈卑，每益祿而其施愈博，位滋高而其禮愈恭。正考父偃僂^②而走，晏平仲辭其賜邑。此皆守滿以沖，爲臣之體也。（卷四十八 體論）

【註釋】①趣舍：取捨。趣：通「取」。②偃僂（ユウ 1 ヱ / ヱ カヌ）：恭敬貌。偃：曲背；彎腰。僂：使身體彎曲，表示恭敬。

【白話】一般人在進退、取捨時常患的毛病是，只看到自己的欲望可以滿足而不考慮失敗，只看到可以獲得利益而不考慮其帶來的危害，所以稍有行動就接近於危險恥辱。過去孫叔敖三次做楚國宰相，而其內心更爲謙卑，每次增加了俸祿，他的施捨就更爲廣泛，地位愈高，他待人就愈加謙恭。孔子的先祖正考父謙卑恭敬地行走，晏嬰推卻不受君王封賞的城邑，他們都是以淡泊謙遜的態度身居顯位、保守基業，這是作爲臣子應該具備的基本品質。

一般の人が進退し、取捨する時によくする悪い癖は、自分の欲望ばかりに目が眩んで、失敗した時のことを考えないことです。また、利益の獲得ばかりに目が眩んで、それに伴う危害を考えないこともよくあります。そのために、少しでも行動に出ると、危険や羞恥に近づけることになってしまいます。その昔、孫叔敖は三度も楚国の宰相になったが、前よりも謙虚な心でいました。俸祿が増える度に、孫叔敖の施しの範囲はより広まり、地位が高くなる度に、より謙虚に人と接しました。孔子の祖先である正考父はいつも謙虚に歩

いていました。晏嬰は君王から与えられた城を辞退しました。彼らはみな淡泊にして謙虚な態度で高位にいるから、元となる大いなる事業を守られるのです。これこそ、臣下として備えるべき品性です。

八、謹慎（慎重）

145

舜戒禹曰：「鄰哉，鄰哉！^①」言慎所近也。周公戒成王曰：「其朋，其朋！^②」言慎所與也。

（卷二十五 魏志上）

【註釋】①鄰哉鄰哉：出自《尚書・虞書・益稷》，原文是：「帝曰：『吁，臣哉，鄰哉！

鄰哉，臣哉！』」②其朋其朋：出自《尚書・周書・洛誥》，原文是：「周公曰：

『……孺子其朋，孺子其朋！其往。』」

【白話】虞舜告誡夏禹說：「鄰哉，鄰哉！」就是說要慎重選擇所親近的大臣。周公告誡成王說：「其朋，其朋！」意思是說要慎重選擇所交往的人。

虞の舜は夏の禹を戒めました。「隣哉！ 隣哉！」すなわち、親しくなる臣下を慎重に選びなさいと言うことです。周公は成王を戒めました。「其朋！ 其朋！」すなわち、付き合う人を慎重に選びなさいと言うことです。

146

孔子曰：「臨事而懼，希^①不濟。」《易》曰：「若履虎尾，終之吉。」若群臣之衆，皆戒慎^②恐懼，若履虎尾，則何不濟^③之有乎？（卷三十六 尸子）

【註釋】①希：少有、不多，通「稀」。②戒慎：警惕謹慎。③濟：成就；成功。

【白話】孔子說：「處理事情能保持戒慎恐懼之心，就很少有辦不到的事。」《易經》說：「如果做事能像踩在老虎尾巴上一樣戰兢惕厲，並且始終如此，就能得到吉祥順利。」假如國家所有官員，對待工作都能夠保持警惕謹慎的態度，就如同踩在老虎尾巴上，那麼又有什麼事情辦不好呢？

孔子は言われました。「物事を処理する時に、恐れ多く慎む心を保ち続けられれば、できないことは少ないです」『易経』は言われました。「もし物事を進行させる時に、トラの尾を踏むように、終始戦々恐々として謹むことができたなら、順調に終わられましょう」、「もし国中の官員たちが仕事に対して、まるでトラの尾を踏むように、謹んで警戒する態度を保ち続けられたら、できないことはないでしょう」。

147

是故君子敬孤獨，而慎幽微。雖在隱翳，鬼神不得見其隙，況於遊宴乎？（卷四十六 中論）

【白話】君子孤身獨處時恭敬莊重，在隱約細微之處也小心謹慎。即使在無人能見的隱蔽之處，心念都不會偏斜，因而鬼神都看不到他的過失，更何況是遊樂飲宴之時呢？

君子は一人でいる時でも莊重さを失わずに恭しくいられて、隠れた小さなところでさえ

も慎重に接します。たとえ誰から見えない隠れたところでも、君子の心が傾くことはないから、鬼神はその過ちを見つけれません。遊樂の宴では尚更見つけれないでしょう。

148

居寵思危，罔弗惟畏，弗畏入畏。

言雖居貴寵，當常思危懼，無所不畏。若乃不畏，則入可畏之刑。

（卷二 尚書）

【白話】處在貴寵的位置，要想到危險而有所畏懼，沒有一件事不敬畏，如果什麼都不怕，就會墜入可畏的困境。

珍重にされて寵愛された立場にいても、危険を思い浮かべて恐れるべきです。何事も敬畏していないと、恐るべき苦境に落ちつてしまいます。

149

君子之於己也，無事而不懼^①焉。我之有善，懼人之未吾好^②也；我之有不善，懼人之必吾惡也；見人之善，懼我之不能脩^③也；見人之不善，懼我之必若彼也。（卷四十六 中論）

【註釋】①懼：警戒恐懼。②好：喜愛，愛好。③脩：同「修」。學習。

【白話】君子對於自身，沒有不警戒恐懼的事情。自己有善行美德，則戒懼別人未必就喜歡自己；自己有不善，則戒懼別人肯定會厭惡自己；看見別人的善行美德，則戒懼自己不能學到；看見別人的不善，則戒懼自己（若不提高警覺，反省、改過）必定會像他那樣。

君子は自分について、警戒して恐れないことはありません。自分に善行や美德があると、人が必ずしも好いてくれるとは限らないと己を戒めます。自分に不善があると、人は必ず自分を嫌うのだと己を戒めます。人の善行や美德を目にすると、自分が学べないのではないかと恐れます。人の不善を目にすると、自分も（警戒して反省しないと、）必ずそのようになってしまうと恐れます。

150

目妄視則淫，耳妄聞（聞作聽）則惑，口妄言則亂。三關者，不可不慎守也。（卷四十一 淮南子）

【白話】眼睛胡亂觀看就會失去節制，耳朵胡亂聽受就會產生迷惑，信口胡亂言談就會導致禍亂。這三道關口，不能不謹慎地守住。

目は妄りに見ていると、節制を失ってしまいます。耳は妄りに聞き入れると、困惑が生じてしまいます。口は妄りに喋っていると、禍を招いてしまいます。これら三つの関所は、謹んで守らなければなりません。

151

善爲政者，知一事之不可闕也，故無物而不備；知一是之不可失也，故衆非與之共得。其不然者，輕一事之爲小，忽而闕焉，不知衆物與之共多也；睹一非之爲小也，輕而蹈焉，不知衆是與之共失也。（卷四十七 劉廙政論）

【白話】懂得治理政事的人，知道每一項工作都不可缺少，所以沒有一件物品不準備好的；

知道正確的意見一條也不可遺漏，所以許多不正確的意見都要與之同時聽取。不懂治理的人，看輕了一件事認為它很小，疏忽了它而造成缺漏，不知道眾多的事物有了它才能變得完整；認為一個錯誤很小，輕忽了它而貿然去做，卻不知道總體正確的東西會因一次小錯誤而全盤皆失。

政事に長けている者は、全ての仕事一つでもなくてはならないことを知っているから、何一つ用意していない物はありません。正しい意見は一つでも漏らしてはいけないことを知っているから、多くの正しくない意見をも同時に聞き入れるのです。政事に疎い者は、一つのことを小さいだと軽視するから、それを疎かにして綻びを生じさせてしまいます。多くのことはその小さなことがあるからこそ、完全でいられるのだと知らないためです。また、一つの過ちは小さいと軽視して、後先考えずにしてしまうことがあります。全体として正しいものでも、一つの小さな過ちで全てを失ってしまうことがあるのを知らないからです。

152

頤。《象》曰：山下有雷，頤。君子以慎言語，節飲食。

言語飲食，猶慎而節之，而況其餘乎。

（卷一 周易）

【白話】頤卦《象傳》說：頤卦的卦象是震（雷）下艮（山）上，為雷在山下震動之表象。引申為咀嚼食物時上顎靜止、下顎活動的狀態，因而象徵頤養。頤養必須堅守正道，所以君子應當言語謹慎、節制飲食。（這樣才能培養美好的品德，同時也能讓周遭的人受到好的影響；才能養護健康的身體，同時也能讓大自然中的動物得到安養。）

153

頤の卦は『象伝』によると、頤の卦は下に震（雷）で上に艮（山）、すなわち、雷が山の下で震動しているように見えます。その意味をより深く考えると、食べ物を咀嚼する時に、上顎が静止し、下顎が活動している状態であり、頤養すること象徴しています。頤養には正道をしっかりと守ることが必要ですから、君子は言葉を謹んで、飲食を節制するべきです。（そのようにすれば、良好な品性と徳性を育てられると同時に、周りの者にもいい影響を与えます。また、健康な身体を養護しながら、大自然の動物たちも安らげるのです。）

文學^①防輔^②遂共表稱陳衰^③美。衰聞之大驚懼，責讓^④文學曰：「修身自守，常人之行耳，而諸君乃以上聞，是適所以增其負累也。且如有善，何患不聞？而遽^⑤共如是，是非益我。」其誠慎如此。（卷二十六 魏志下）

【註釋】①文學：官名。漢代於州郡及王國置文學，或稱文學掾，或稱文學史。三國魏沿襲東漢官制，亦有此官名。②防輔：三國魏官名。設於諸王之國中，以監察諸王之行動。③衰（sun / ㄙㄨㄣˊ）：曹衰，三國時期曹魏宗室，魏武帝曹操之子，魏文帝曹丕異母弟。④責讓：斥責；譴責。⑤遽（jù / ㄐㄩˋ）：疾速。

【白話】文學侍從和防輔之官於是一同上表稱述曹衰的美德。曹衰聽說後，大為驚恐，責備文學說：「修養身心、保持操守，不過是平常人的行為罷了，而諸位卻將此上報給

朝廷，這恰恰會爲我增加負擔。再說，如果我有好的行爲，何必擔心別人不知道？而你們卻急著一起這樣做，這並不是對我好啊。」他的警惕謹慎就像這樣。

文学という官職の侍従と防輔という官員は共に皇帝に対して、曹褒の美德を褒め称えました。このことを聞きつけた曹褒は大いに驚き、恐れをなして文学を責めました。「心身を修養し、節操を保持するのは、常人の行いに過ぎません。それなのに、皆様はこのことを朝廷に報告し、私の負担を増やしてしまいました。さらに、もし私にいい行いがあれば、人に知られない心配をする必要がありますでしょうか。それなのに、皆様は急いで共にこのようなことをなさって、私にとって全然いいことではないと言うのに」曹褒の警戒と慎みはこれほどのものでした。

九、交友

154

君子慎其所去就。與君子游，如長日加益而不自知也；與小人游，如履薄冰，每履而下，幾何而不陷乎哉？（卷三十五 曾子）

【白話】君子對朋友的取捨須非常謹慎。與君子交往，就像白晝變長的季節，德行不斷增長而自己不知不覺；與小人交往，就像踏在薄冰之上，每踏一下，便更加危險，能有幾個人不陷落水中呢？

君子は友達の取捨について非常に慎重です。君子と付き合うと、まるで白昼が長くなっていく季節のように、知らぬ間に徳性と善行が絶えず成長していきます。仁徳のない者と付き合うと、まるで薄氷の上を踏みしめるように、歩む度に危険が増していくから、水の中に落ちつてしまわない者は何人いるでしょうか。

十、学問

155

孔子曰：「生而知之^①者，上也；學而知之者，次也；困^②而學之，又其次也；困，謂有所不通也。困而不學，民斯爲下矣。」（卷九 論語）

【註釋】①生而知之：即天性仁厚的意思。之：這裡指的不是一般的知識技能方面的學問，而是道德學問的範疇。②困：有所不通，心智不開。

【白話】孔子說：「生下來就知道事理的，那是上等資質的人；學習後就能知道的，那是次一等資質的人；心智不開、有所不通然後苦學的，那是又次一等的人；天資愚鈍、心智不開而依然不學，是資質最差的了。」

孔子は言われました。「生まれながらにして理の分る者は、上等な資質を持っている者です。学習してから分るようになる者は、その次の資質を持っています。何か分らないことがあつて、苦学の末に分るようになる者は、更にその次の資質になります。生まれなが

です。学習してから分るようになる者は、その次の資質を持っています。何か分らないことがあつて、苦学の末に分るようになる者は、更にその次の資質になります。生まれながらにして愚鈍で、分らなくても学ぼうとしないのは、最も酷い資質です」

156

蓋聞君子恥當年而功不立，疾沒世而名不稱。故曰：「學如不及，猶恐失之。」是以古之志士，悼年齒^①之流邁^②，而懼名稱之不建也，故勉精厲操，不遑^③寧息^④。且以西伯^⑤之聖，姬公^⑥之才，猶有日昃^⑦待旦^⑧之勞，故能隆王道^⑨，垂名億載，況在臣庶，而可以已乎？（卷二十八 吳志下）

【註釋】

①年齒：年齢。②流邁：猶流逝。③遑（huāng / 慌）：閒暇。④寧息：安定休息。

⑤西伯：指周文王，姓姬，名昌，商朝末年為西伯侯。⑥姬公：指周公，姬姓，名旦。文王之子，武王之弟。⑦日昃（nè / 仄）：太陽偏西，約下午二時左右。指文王太陽偏西還顧不上吃飯，形容專心致志，勤於政事。語出《尚書》：「（文王）自朝至于日中昃，不遑暇食，用協和萬民。」昃：指日西斜。⑧待旦：即坐以待旦，坐著等待天明，表示勤謹。語出《孟子》：「周公思兼三王，其有不合者，仰而思之，夜以繼日；幸而得之，坐以待旦。」⑨王道：以德治國之道。

【白話】

聽說君子以年富力強而功業未能建立為羞恥，憂慮人在將死之時名聲還未能顯揚。所以（孔子）說：「一開始求學的時候，好像追人，而有追不上的感覺；勤學有得以後，必須溫習，猶如得了一物生怕遺失一樣。」因此古代的有志之士，傷感於時

光的流逝，而害怕功名不能建立，所以精勤奮勉，砥礪節操，無暇安閒休息。況且憑著文王的聖明、周公的才能，還有忙碌到日頭偏西還顧不上吃飯、勤於政事而坐等天明的辛勞，才可以使王道興隆，美名流傳億萬年，更何況普通的臣民，難道可以止步不前嗎？

君子はそれなりの富みと力を持つていながら、功業を打ち建てられないことを恥とし、死のうとする時にまだ名声を上げられないのではないかと心配するものだと思いました。そのために、（孔子は）言いました。「学問の道を始めた頃は、まるで人を追いかけていのに、追いつかない気がします。勉強して心得があつてからは、復習することが必要になるから、まるで得た何かを失うの恐れているような気持ちになります」ゆえに、昔の志士たちは、時の流れを感嘆します。功名を立てられないことを恐れているから、一生懸命に努力して節操を磨き、安らいで休息を取る暇ありませんでした。それに、文王の聖明さや周公の才能があつても、夕暮れまでご飯が食べられずに、空が明けるまで政務に勤しむ大変さがあつてこそ、王道を興し、美名を億万年も伝え続けられるのに、普通の臣下や民がいつまでも前進しない道理がありましようか。

157

子夏^①曰：「孔子弟子
卜商也。事父母能竭其力，事君能致其身，
盡忠節，不愛其身也。與朋友交，言而有信。雖曰未學，

吾必謂之學矣。」（卷九 論語）

【註釋】①子夏：姓卜，名商，孔子弟子。

【白話】子夏說：「侍奉父母能盡心竭力，事奉君上能盡忠職守（崇尚道義超過對自己身體的愛惜），與朋友交往能誠信無欺。這樣的人，即使他說自己沒有學問，我必定說他已有學問了。」

子夏は言われました。「父母に対して気持ちと力を尽くし、君主に対して忠誠を尽して職務に忠実でいられて（自分の身体を可愛がるよりも、道義を崇めること）、友達との付き合いには誠実さと信用を重んじます。このような者は、たとえ自分のことを無学だと言っても、私は必ず既に学問がおりですと言います」

158

善學者，假先王以論道；善囚者，借外智以接物。故假人之目以視，奚適^①夫兩見；假人之耳以聽，奚適夫兩聞；假人之智以慮，奚適夫兩察。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①奚適：猶言奚啻。何止；豈但。

【白話】善於治學的人，藉助古聖先王來闡明道理；善於憑藉外力的人，藉助他人的智慧來應對萬事萬物。所以藉助別人的眼睛來看，何止能看清楚兩方面的事物；藉助他人的耳朵來聽，何止能聽到兩方面的聲音；藉助別人的智慧來思考審察，何止能明察兩方面的事理。

學問を求めるのに長けている者は、いにしえの聖人や先王の助けを借りて道理を明らかに

159

にします。外力を借りるのに長けている者は、他人の智慧を借りて万事万物に対応するのに長けています。そのために、人の目を借りて見えるのは、ただ二つの見方ができただけではありません。人の耳を借りて聞くのは、ただ二つの声が聞こえただけではありません。人の智慧を借りて思考し審査するのは、ただ二つの理が分るようになるだけではありません。

夫《易》、聖人之所以極深而研幾^①也。唯深也，故能通天下之志；唯幾也，故能成天下之務；

極未形之理，則曰深。適動微之會，則曰幾也。

唯神也，故不疾而速，不行而至。（卷一 周易）

【註釋】①極深而研幾：極深，是由宇宙的萬象，深入觀察到宇宙人生的本體。研幾，是觀察自心初動的一念，及時警覺，讓它保持清明，不使它流入昏昧。極深的功夫是從研幾得到的。

【白話】《易經》，是聖人用於「極深研幾」的一門大學問。正因其深入洞徹宇宙人生，所以能通達天下人的心志；正因其讓人保持念頭清明，就永遠向吉背凶，所以就能夠成天下一切事務；正因其與宇宙大道神妙感通，故不需急疾，而事速成，不需主觀行動，而達目標。

『易經』は、聖人が「己の最初の心念を観察することから応用して、万象を通して宇宙と人生の本質について深く観察する」のに用いる奥深い学問です。宇宙と人生について深

く洞察しているから、天下の人々の気持ちと考えに通ずることができます。人の思いを明朗にしてくれるから、いつも吉に向かわせて凶から背くようにしてくれて、天下の全てのことを達成できます。また、宇宙の大いなる神妙な道理と通じているから、精通するようになると、己が急がなくても、為そうとする目標は自然にはやく実現できます。

160

人莫不知學之有益於己也，然而不能者，嬉戲害之也。人皆多以無用害有用，故知不博而日不足。以鑿觀池之力耕，則田野必闢^①矣；以積土山之高脩隄^②防，則水用必足矣；以食狗馬鴻鴈之費養士，則名譽必榮矣；以弋獵^③博奕^④之日誦《詩》、《書》，則聞識必博矣。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①闢（*pi* / *ㄅㄧˋ*）：開墾。②隄：同「堤」。擋水的堤壩。③弋（*yì* / *ㄧˋ*）獵：射獵；狩獵。④博奕：下棋之類的遊戲。

【白話】沒有哪個人不懂得學習對自己是有益處的，然而卻不能好好地學習，這是貪圖玩樂害了他。人們大都是以無用之事來妨礙有用之事，所以智慧不廣博並且時間不夠用（因為虛度光陰）。如果用挖掘供觀賞的池塘的力氣去翻土犁田，那麼田野一定會被開墾出來；如果用堆積土山修高台的工夫去興修堤防，那麼用水就一定會很充足；如果用餵養狗、馬、鴻、雁所花的費用來奉養士人，那麼名聲一定榮耀；如果用射獵博奕的時間去誦讀《詩經》、《尚書》等經典，那麼學問一定會廣博。

学習が自分にとって有益であることが分らない人はいないが、きちんと学習できないのは、戯れることにばかり心を奪われるからです。人々は大抵、無用なことで有用なことの邪魔をするから、智慧はなかなか広まらないし、時間はいつも足りません（光陰を虚しく過ごしているためです）。もし観賞用の池を掘るほどの力で田んぼを耕していたら、必ず開墾できます。もし高台を築くために土山を積み上げるほどの気力で堤防を建てることのできたら、水源は必ず十分にあります。もし犬や馬、鳥を飼育する費用を士人を育てるのに使えたら、必ず名声を大いに上げられます。もし狩猟や囲碁などの時間を『詩経』、『尚書』などの經典を読むのに使えたら、学問は必ず高められます。

161

子曰：「徳之不修，學之不講，聞義不能徙也，不善不能改也，是吾憂也。」夫子常以此四者，爲憂也。（卷九 論語）

【白話】孔子説：「品德不加修養，學問不深入講究，聽到合宜的道理不能遷徙，缺點不能改正，這都是我所擔憂的。」

孔子は言われました。「徳性を養わずに、学問を深く探求しません。合理的な道理を聞いたのに改めることができずに、欠点を正せないのは、みな私が心配していることです」

十一、有恆（根氣）

162

聖人貴恆。「恆者徳之固也^①」。「聖人久於其道，而天下化成^②」。未有不恆而可以成徳，無徳而可以持久者也。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①恆者徳之固也：出自《易經・繫辭傳下》。②聖人久於其道，而天下化成：出自《易經・恆卦》。

【白話】聖人貴有恆。「只有長久堅持才能使徳行堅固」。「聖人長久堅持徳教，天下的教化才可成功」。沒有不長久堅持而可以成就徳教的，也沒有無徳而可以長治久安的。

聖人は恒久を尊いとしします。「恒久にこだわり続ける者こそ、徳性と行いを確かなものにすることができます」。「聖人が徳育を長くこだわって続けてこそ、天下の教化は成功できます」。長くこだわらずに徳育を成就できたためしはなく、徳がないのに国が長く安泰に治められるためしありません。

163

猶（猶上恐脱
聖人二字）

十五志學，朋友講習，自強不息，徳與年進，至于七十，然後心從而不踰矩^①。況於不及中規^②者乎？而不自勉也！（卷四十五 昌言）

【註釋】①矩：原指畫方形或直角的用具，即曲尺。引申為法度、常規。②中規：原指同圓規相符。引申為合乎準則、要求。

【白話】聖人尚且十五歲就專心求學，與志同道合的人在一起講議研習、切磋學問，自強不息，

164

十二、処世

兼服^①天下之心：高上尊貴，不以驕人；聰明聖智，不以窮人；齊給^②速通，不爭先人；剛毅勇敢，不以傷人；不知則問，不能則學，雖能必讓。（卷三十八 孫卿子）

【註釋】①兼服：讓所有人信服。兼：全部，整個。服：信服，佩服。②齊給：敏捷。齊：通「齎」（じ／＼）。

【白話】可以讓天下人都心悅誠服的做法是：居於高位，身分尊貴，但不以此而傲視別人；聰明睿智，無所不通，但不以此使人困窘；言辭敏捷，反應迅速，但不以此與人爭先；剛強果決，勇敢大膽，但不以此去傷害人；自己不知道的就去請教，自己不會的事情就去學習，雖然有能力，也一定時刻保持謙遜恭讓。

品德隨年齡增長而不斷提升，到七十歲才順從心之所欲而不踰越法度。何況言行還不能合乎規範的人呢？能不自我勉勵嘛！

たとえ聖人でも二十歳の頃からすでに学問を志し、同じ志を持つ友と共に講義を研修し、切磋琢磨しています。その品行と徳性は年齢と共に絶えず高められ、三十歳になってようやく心のままに生きていながら、法律の尺度を越えないようにすることができます。聖人でもこれほどですから、言行が規範に合わない者は如何でしょう。己を励まして努力しなくていいはずがありませんか！

天下の人々を心から喜んで従わせる方法とは、高位にいて尊い身分でありながらも、このことで人を軽視しないことです。賢く叡智を有して、全てに精通していながらも、このことで人を困らせないことです。言葉が鋭く、反応が迅速でありながら、このことで人と競争しないことです。剛胆果敢で勇敢にして大胆でありながら、このことで人を傷つけないことです。自分の知らないことは教えを乞い、自分のできないことは勉強します。たとえ能力があっても、いつでも謙虚で恭しい態度を保ち続けることです。

165

爲善與衆行之，爲巧與衆能之，此善之善者，巧之巧者也。故所貴聖人之治，不貴其獨治，貴其能與衆共治也；所貴工倕^①之巧，不貴其獨巧，貴其與衆共巧也。（卷三十七 尹文子）

【註釋】①倕：又作「垂」，古巧匠名。一說是堯時巧匠，被召主理百工，故稱工倕；一說是黃帝時巧匠，是農具的創造者。

【白話】自己行善而能使大眾與自己一起行善，自己做工精巧而能使大眾的技藝也變得精巧起來，這才是善中之善、巧中之巧啊！所以聖人治理國家的可貴之處，不在於聖人能獨立治理國家，而在於聖人能與眾人共同來治理；巧匠倕的可貴之處，不在他個人做事精巧，而在於他能協同眾人共做精巧之物。

自分が善行をするのみならず、大衆をも自分と共に善行をするようにします。自分が巧みな細工ができるのみならず、大衆の腕をも巧みなものにします。これこそ善の中の善で

166

あり、巧みさの中の巧みさです！ そのために、聖人が国を治めることの貴重さは、聖人一人で国を治められることではなく、大衆と共に治められることです。高名な匠であった俵が貴重であつたのも、彼一人の腕の巧みさではなく、人々と協力しながら巧みな物を作り出せるからです。

「同人、先號咷^①而後笑。」子曰：「君子之道，或出或處，或默或語。二人同心，其利斷金。同人終獲後笑者，以有同心之應也。夫所況同者，豈係乎一方哉？君子出處默語，不違其中，則其跡雖異，道同則應也。」（卷一 周易）

【註釋】①號咷（たう／ちん）：放聲大哭。咷：大哭。

【白話】同人卦の九五爻辭說：「同人九五，在居尊得位，在天下和同之先，本有艱難，故號咷大哭，以至誠感人，終至天下和同，故後快樂而笑。」孔子申論說：「君子之道，或出而服務天下，或隱處而獨善其身，或沉默，或言語。如二人同心，其鋒利足以截斷堅硬的金屬。同心的意思，是說二人精誠團結，心意齊同，其中的味道，猶如蘭花的芬芳。」

同人の卦の九五の爻辭は言われました。「同人の九五は、居所にて高位を得られます。天下にて統一を得るのは元々難しいことではあるから、声をあげて大いに泣きました。ようやく至誠な心で人を動かし、天下統一を達成できて楽しく笑えるようになりました」孔子は答えました。「君子の道は、天下のために奉仕すること、或いは隱居して己の身一つ

を善処することです。沈黙であつたり、言葉であつたりします。まるで二人で心一つにしたように、その鋭さは堅い金属をも断ち切れます。そして同心とは、二人が実に団結し、心一つにすることです。その香りは、まるで蘭の芳香のようです」

167

不以口譽人^①，則民作忠。故君子問人之寒則衣^②之，問人之飢則食^③之，稱人之美則爵之。

皆爲有言，不可以無實也。

（卷七 禮記）

【註釋】①譽人：讓人高興。譽：歡愉、安樂。②衣（ユ／＼）：謂給人穿上衣服。③食（シ

／＼）：拿東西給人吃。

【白話】君子不用空話討人好感，那麼人民就會興起忠實的風氣。君子慰問別人的寒冷，就會拿衣服給他穿；慰問別人的飢餓，就會送食物給他吃；稱讚別人品德高尚、辦事完美，就會授予他相應的官位。

君子は上辺だけの言葉で人に好いてもらおうとしないから、民の間にも忠実な風習ができます。君子は人が寒くないかと心配する時は、衣服を直接に送ります。人が飢えに苦しんでいないかと心配する時は、食べ物を通じて送ります。人の品行と徳性が高尚で仕事も完璧だと褒める時は、それ相応の官位を与えます。

168

有人乗船而遇大風者，波至而恐，自投水中。非不貪生而畏死，惑^①於恐死而反忘生也。故人

之嗜欲亦猶此也。故達道之人，不苟得^②，不讓^③福；其有不棄，非其有不索也；恆盈而不溢，常虛^④而易足。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①惑：昏亂。②苟得：苟且求得；不當得而得。③讓：清代俞樾先生認為當為「攘」。

攘：推卻；不接受。④虛：指無欲無為的境界。

【白話】有一個人坐船而遇到大風，見到波浪襲來就恐懼，自己投入水中淹死了。他並非不貪生怕死，他是被怕死的念頭嚇昏了頭，反而忘記還有生的機會。所以人有嗜欲，也是像這個樣子。所以通達道理的人，不苟且取得，不推讓福分；該保有的不放棄，不該擁有的絕不索取；常常充實盈滿而不會漫溢，永久清淨無欲而容易滿足。

ある人は船に乗っていたが、大風で波が襲ってくるのを見て、恐れをなした彼は自ら海に飛び込んで水死してしまいました。彼は生を惜しまずに死を恐れないのではなく、むしろ死を恐れるあまりに混乱して、まだ生きる機会があることを忘れてしまったのです。人の欲望についての態度も、このようなものです。そのために、道理に通じている者は、不当に過ぎた分量を取得しようとしませんが、受取るべき福を譲ったりもしません。持つべき物をあきらめずに、持たないべき物を決して貰い受けようとしなから、いつも充実しているがら溢れ出ることはなく、清浄にして無欲で、満足しやすいものです。

169 大禹聖者，乃惜寸陰；至於衆人，當惜分陰^①，豈可逸遊^②荒醉^③？生無益於時，死無聞於後，

是自棄也。（卷三十 晉書下）

【註釋】①分陰：謂極短的時間。陰：日影。②逸遊：放縱遊樂。③荒醉：沉湎於酒。

【白話】（陶侃常常對人說：）大禹是位聖人，尚且珍惜每一寸光陰；對於一般人，更應當愛惜每一分光陰，怎麼可以放縱遊樂、沉湎於酒呢？活著的時候對當時的國家社會沒有貢獻，死後湮沒無聞，沒有美名流傳於後世，這是自甘墮落啊！

（陶侃はいつも人に言いました。）「大禹は聖人でいたが、それでも全てのささやかな光陰を大事にしていました。一般の人にとつて、光陰はより愛惜すべきであり、どうして遊樂に没頭して酒に溺れていられましょうか。生きている時に、当時の国や社会に貢献できずに、死後、誰からも知られることなく埋没され、美名が後世に伝わらないのは、自ら墮落していることです！」

170

夫著作書論^①者，乃欲闡弘^②大道，述明聖教，推演事義，盡極情類，記是貶非，以為法式，當時可行，後世可修。（卷四十七 政要論）

【註釋】①書論：古代文體名，書與論。②闡弘：闡揚光大。

【白話】撰寫書論的目的，在於闡揚光大世間正道，闡述說明聖賢教化的道理，推論演繹事情背後的義理，極盡幽微地洞察人情，記述真理，針砭錯誤，以此作為標準和法度，不僅可以在當時實行，也可以讓後世的人修習。

書と論を編著する目的は、世の中の正道を広く知らしめるためです。聖賢が教化するのに用いた道理を説明し、物事の裏の義理を推論して解釈します。できるだけ人情について細かく洞察し、真理を記述して過ちを指摘します。これらを標準と法律の尺度にすれば、当時で実行するのに使えるのみならず、後世の人々にとっても学習の対象になります。

肆、為政

一、務本（本を務めます）

[171]

上綱苟直，百目皆開；德行苟直，群物皆正。正也者，正人者也。身不正，則人不從。是故不言而信，不怒而威，不施而仁。有諸心而彼正，謂之至政。（卷三十六 尸子）

【白話】一張網如果上面的主繩提直了，網上的眾多網孔都會張開。一個人如果德行端正，

身邊的人事物都會隨之而正。所謂政治，它的實質是端正人的品行，為政者如果自身不端正，那麼別人就不會相從。因此，不用言語就讓人信服，不用發怒就有威嚴，不用施惠就有仁德，為政者有這樣的端正之心，人們就會隨之而正，這就稱為最完美的政治。

網の主な縄が真直ぐに伸ばされると、多くの網目も張り詰めて開きます。もしある者の徳性と品行が正しければ、その周りの人や物事もつられて正しくなります。政治と言うものの本質は、人の品行を正すことです。もし執政者自身が正しくないと、人からはついてこられることなく、従ってもらえません。そのために、言葉を使わずにして信服してもらえる、起こらずにして威厳を持てる、施しをせずにして仁徳を兼ね備える。このような正しい心があれば、人々はついてきて、正しくなれます。これこそ、最も完璧な政治と言えますよう。

172

一天下者，令於天下則行，禁焉則止。桀、紂令天下而不行，禁焉而不止，故不得臣也。目之所美，心以爲不義，弗敢視也；口之所甘^①，心以爲非義，弗敢食也；耳之所樂，心以爲不義，不敢聽也；身之所安，心以爲不義，弗敢服^②也。然則令於天下而行，禁焉而止者，心也。故曰：「心者，身之君^③也。」天子以天下受令於心，心不當，則天下禍；諸侯以國受令於心，心不當，則國亡；匹夫以身受令於心，心不當，則身爲戮矣。（卷三十六 尸子）

【註釋】①甘：以爲甘美。②服：使用。③君：主宰。

【白話】統一國家，就是整個國家能夠有令則行，有禁則止。夏桀、商紂在位時，有令不行、有禁不止，所以不能統屬民眾。眼睛覺得美麗的東西，自己內心認爲看了不合道義，就不敢去看；嘴巴覺得美味的食物，自己內心認爲吃了不合道義，就不敢去吃；耳朵覺得悅耳的聲音，自己內心認爲聽了不合道義，就不敢去聽；身體覺得安適的東西，自己內心認爲用了不合道義，就不敢享用。可見，能使天下有令就行、有禁就止，是人心在起作用。所以說：「心，是自身言行的主宰。」君王以自己的存心治理國家，如果存心不正，國家就會遭到禍殃；地方長官以自己的存心治理行政區域，如果存心不正，所治理的地區就會敗亂；個人以自己的存心立身處事，如果存心不正，就會惹來殺身之禍。

國家を統一することは、国全体に行き渡るような法令と禁則ができるということです。夏桀や商の紂が在位していた時は、法令や禁則があっても実行できていなかったから、

民を統べることができませんでした。目で見て美しいと感じたものでも、心では道義に合わない物だと思うと、見ないようにします。口で美味しいと感じたものでも、心では道義に合わない物だと思うと、食べないようにします。耳で聞いて心地良いと感じたものでも、心では道義に合わない物だと思うと、聞かないようにします。身体では気持ち良いと感じる物でも、心では道義に合わない物だと思うと、享受しないようにします。このことから分るように、天下の法令と禁則が実行できるのは、人の心に働きかけているからです。ゆえに、「心とは、自分の言行の主宰です」とも言われています。君主は自分の心積もりで国を治めているから、もしその心が正しくないと、国は禍に遭ってしまいます。地方の長官は自分の心積もりでその地域を治めているから、もしその心が正しくないと、地域は衰退して混乱になります。個人は自分の心積もりで立身処世しているから、もしその心が正しくないと、殺生の禍を招いてしまいます。

173

夫改政移風，必有其本。《傳》曰：「吳王好劍客，百姓多癰^①瘡^②；楚王好細腰，宮中多餓死。」長安語曰：「城中好高髻，四方高一尺；城中好廣眉，四方且半額；城中好大袖，四方用匹帛。」斯言如戲，有切事實。（卷二十一 後漢書一）

【註釋】①癰（ban / ム）：創口或瘡口愈合後留下的痕跡。②瘡（chuang / イセ）：創傷；創口。

【白話】改變風氣習俗，必須抓住根本。《左傳》中記載說：「吳王喜歡精於劍術的人，老百姓就多有創傷；楚王喜歡細腰，宮女們多有餓死的。」長安城中的諺語說：「城裡的人喜歡束高髮髻，四處鄉下的百姓髮髻就高達一尺；城裡的人喜歡畫寬眉，鄉下的百姓就將眉毛畫到半額寬；城裡人喜歡長衣袖，鄉下的百姓就用整匹布來做衣袖。」這些雖似笑話，但卻切中事實。

風習を変えるためには、まず根本を見つけることからです。『左伝』にこのような記載があります。「吳王は劍術の達人を好むから、多くの民に傷跡ができました。楚王は柳腰を好むから、宮女の多くが餓死しました」長安城の諺ですが、「城内の人は髻を高く結わえることを好むから、周りの田舎の者は髻を一尺もあるほど高くしました。城内の人は太い眉を好むから、田舎の者は眉を額の半分もあるほど太く書きました。城内の人が長袖を好むから、田舎の者は布を一反ほど丸ごと袖につかいました」これらのことは冗談のように見えますが、事実を的確に言い当てています。

174

明主在上位，則官不得枉法，吏不得爲私。民知事吏之無益，故貨財不行於吏；權衡^①平正而待物，故姦詐之人，不得行其私。故曰：「有權衡之稱者，不可欺以輕重也。」（卷三十二）

管子

【註釋】①權衡：稱量物體輕重的器具。權：秤錘。衡：秤桿。

群書治要 360 3

一、務本（本分を務めます）

【白話】賢明な君主居於上位，官員就不能枉法，官吏就不能營私。百姓知道事奉官吏沒有利益，所以就不用財物去賄賂官吏。君主能做到像秤錘秤桿一樣公平正直地對待他人，那麼姦詐的人就不能營私舞弊了。所以說：「有秤錘秤桿的稱量，就無法在輕重上欺騙人。」

賢明な君主が上位にいますと、官員は法律を無視することができずに、官吏も私欲のために働けません。民が官吏をおだてでも利益の得られないことを知ると、財物で官吏を賄賂することもなくなります。君主が量りのように公平にして正直に人と接することができたら、邪に詐欺する者は私欲のために弊害を進めることができなくなります。ゆえに、「量りがあれば、軽重で人を騙すことはできなくなります」

175

公^①曰：「子之教寡人備矣，敢問行之所始？」孔子曰：「立愛自親始，教民睦也；立敬自長始，教民順也。教以慈^②睦，而民貴有親；教以敬長，而民貴用命^③。民既孝於親，又順以聽命，措諸天下，無所不行。」（卷十 孔子家語）

【註釋】①公：指魯哀公。本段節錄自《孔子家語・哀公問政》篇。此篇開頭哀公問孔子治國之道，夫子總結歷史經驗：人存政舉，人亡政息，故為政在於得人。而得人前提，是領導者以仁義修身，就是從事親、尊賢做起。然後夫子引出了五達道、三達德和治國九經的論述，及九經的實行在於「誠」。接下來哀公詢問從何做起，即是本段選文。事又見《禮記・祭義》。②慈：指對父母的愛敬、孝敬。③用命：執行命令；

聽從命令。

【白話】哀公說：「您這樣來教導我，已經很完備了，請問從哪裡開始做起呢？」孔子說：「培養愛心要從侍奉自己的父母雙親開始，可以教給百姓和睦；培養恭敬心要從服務自己的長輩開始，可以教給百姓和順。（領導以身作則）用愛敬、和睦來教化，百姓就會注重孝養父母；（領導以身作則）用尊敬長輩、師長來教化，百姓就樂意聽從命令。百姓既孝敬父母，又能恭順聽從命令，用這種道理施行於天下，便沒有行不通的。」

哀公は言われました。「このように指導してくださり、もう十分ですが、どこから実行すれば良いのでしょうか」孔子は答えました。「愛の心を育てるには、まず自分の両親を奉仕することからです。それから民に和睦を教えられます。恭しい敬意の心を育てるには、自分の目上の者たちに服従することからです。それから民に平和と順服を教えられます。（人を導く者が自分の行動を模範として、）愛敬や和睦で教化すれば、民は父母に孝行をして養うことを重視するようになります。（人を導く者が自分の行動を模範として、）目上の者や先生のことを尊敬すれば、民も喜んで教化されて、その命令に従います。民は父母に孝行をするようになるだけではなく、恭順に命令に従うようになります。このようなやり方を天下に広められたら、できないことはありません」

群書治要 360 3

一、務本（本分を務めます）

176

子曰：「上好禮，則民莫敢不敬；上好義，則民莫敢不服；上好信，則民莫敢不用情^①。情，情以實應也。夫如是，則四方之民，襁負其子而至^②矣。」（卷九 論語）

【註釋】

①用情：指以誠相待。②襁（qiāng / くち）負其子而至：用布將小兒束負於背上，形容百姓扶老攜幼紛紛前來歸附。襁：背負嬰兒用的寬帶。

【白話】

孔子說：「在上位者好禮，民眾就不敢不敬；在上位者好義，民眾就不敢不服從；在上位者好信，民眾就不敢不以誠相待。在上位的為政者若能如此，四方民眾自然就會背著他們的孩子來歸附。」

孔子は言いました。「上位にいる者が礼節を好むと、民は失敬しようとしません。上位にいる者が義理を好むと、民は反抗しようとしません。上位にいる者が信用を好むと、民は不実な態度でいようとしません。上位にいる執政者がこのようにできていたら、四方の民は自然に子どもをつれて帰順します」

177

君子無德即下怨，無仁即下爭，無義即下異^{（異作）}，無禮即下亂。四經不立^①，謂之無道。無道而不亡者，未之有也。（卷三十五 文子）

【註釋】

①四經不立：德、仁、義、禮四種準則不能樹立。經：常道，指常行的義理、準則。【白話】君主缺乏德行，百姓就會怨恨；君主缺乏仁愛，百姓就會紛爭；君主沒有正義，百姓就會叛亂；國家沒有禮制，百姓就會混亂無序。這四項準則不確立，就是無道。無道而不滅亡，這是從未有過的。

178

君主に徳性と品行がないと、民は恨みます。君主に仁愛がないと、民は紛争を起こします。君主に正義がないと、民は叛乱します。国に礼儀と制度がないと、民は混乱して秩序を失います。これら四つの準則が確立できていないと、すなわち無道です。無道にして滅亡しないことは、未だかつてありませんでした。

凡人未見聖，若弗克^①見；既見聖，亦弗克由^②聖。此言凡人有初無終也。未見聖道，如不能得見。已見聖道，亦不能用之，所以無成也。爾其戒^③哉！爾惟風，下民惟草。汝戒勿爲凡人之行也。民從上教而變，猶草應風而偃，不可不慎也。（卷二 尚書）

【註釋】①克：能。②由：用；依從。③戒：警惕。

【白話】（成王令周公之子君陳繼其父之後在洛邑監治殷頑民，對君陳說：）普通人未見聖人之道時，覺得好像不能見到；及至見到聖人之道，卻又不能依從。你要以此爲戒啊！因爲你是風，民眾是草。（草隨風動，所以須慎重地按聖人之道行事。）

（周公の子どもの君陳に、父親の後を継いで洛邑で殷の頑民たちを監視して治めると命令した時、成王は言いました。）「普通の人は聖人の道をまだ見ていない時は、見えないものだと思います。ようやく見えても、それに従うことはできません。このことを肝に銘じてください！ 何故なら、あなたは風で、民は草のようなものです。（草は風に吹かれて動くから、慎重に聖人の道に従って行動すべきです。）」

179

兵者所以討暴也，非所以爲暴也；樂者所以致和^①也，非所以爲淫也；喪者所以盡哀也，非所以爲僞也。故事親有道矣，而愛爲務；朝廷有容^②矣，而敬爲上；處喪有禮矣，而哀爲主；用兵有術矣，而義爲本。本立而道行，本傷而道廢矣。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①致和：使人獲得和諧心境。②有容：指君臣儀容威盛。

【白話】軍隊是用來討伐並非平息暴亂的，不是用來製造暴亂的；音樂是用來培養和諧心境的，不是用來使人產生邪思、放縱無度的；服喪是用來充分表達哀悼之情的，不是用來裝模作樣的。所以，事奉父母有孝道，而以真心敬愛爲要務；在朝議政有禮儀，而以敬而無失爲上；居喪有禮節，而發自內心的哀悼是主要的；用兵有策略，而以正義爲根本。根本確立以後，道才能順暢施行；根本受到破壞，道就會被廢棄。

軍隊は暴乱を討伐して鎮めるためであって、暴乱を作り出すものではありません。音楽は穏やかな気持ちを育てるためであって、人に邪な思いを起こさせて放蕩させるものではありません。喪に服するのは哀悼の気持ちを十分に表すためであって、かっこつけるためではありません。そのために、父母に奉仕する時は孝道を心に、真心を込めての敬愛を最も優先にすべきです。朝廷で政治について議論する時は礼儀を忘れずに、失礼のないよう敬意を最も優先にするべきです。喪に服する時は礼節を守り、心からの哀悼を最も優先にすべきです。兵を用いる時は策略をめぐらしながら、正義を根本とします。根本が樹立してからこそ、道は順調に通行できます。根本が破壊されると、道も荒廃してしまいます。

180

聖人南面^①而聽天下，所且先者有五，民不得與焉。且先，言未遑餘事。一曰治親，二曰報功，三曰舉賢，四曰使能，五曰存愛^②。功，功臣也。存，察也。察有仁愛者。五者一得^③於天下，民無不足，無不贍^④。五者一物絀繆^⑤，民不得其死^⑥。物，猶事。絀，猶錯也。五事得則民足。一事失則民不得其死，明政之難也。聖人南面而治天下，必自人道始矣。人道謂此五事也。（卷七 禮記）

【註釋】

①南面：古代君主之位坐北朝南，故稱「南面」。②存愛：明查有仁愛之心的人。

③一得：指統統做到。一：全、滿。④贍（shān / ㄕㄢˋ）：豐裕。⑤絀繆（chū miù / ㄔㄨˊ ㄇㄧㄡˋ）：錯誤。⑥不得其死：不能夠壽終正寢。此處的「死」指人的正常死亡，

即自然衰老盡其天壽，無疾而終。

【白話】

聖明的人南面稱王治理全國，必將先做好五件事情，而一般民事還不在其內。這五項是：一是依禮法端正親屬之間的關係，確定長幼尊卑的名分；二是封賞有功之臣；三是舉薦和選拔賢德之人；四是任用有才能的人；五是明察和獎勵民間有善心善行的人。這五件事如果能統統做到，全國的百姓將沒有匱乏，無不豐裕。如果這五項有一項乖錯失道，那麼民眾就不能安享天年。聖明的天子治理國家，一定從人倫之道（指上面說的五件事）做起。

昔の聖明な人は、南に面して座するという帝王の座について国を治める時、必ずまず五つのことをしましたが、このうちに一般的な民事は入りません。これら五つのこととは以下の通りです。一、礼法に従って親族の間の関係を正し、長幼と尊卑の名分を確かめること。

二、功勞のある臣下に地位と褒美を与えること。三、徳性のある賢人を推薦し、拔擢すること。四、才能のある人を任用すること。五、善心と善行のある民間人を明察し、奨励すること。これら五つのこと全てができたなら、国中の民は困ることなしに、みな豊かな生活を送れます。もしこれら五つのうちに一つでも間違つて道を逸してしまうと、民は安らかに寿命を終えられません。聖明な天子が国を治める時は、必ず人倫の道（すなわち、前述した五つのこと）から始めるものです。

181

凡爲治之大體^①，莫善於抑末而務本，莫不善於離本而飾^②末。夫爲國者，以富民爲本，以正學爲基。民富乃可教，學正乃得義；民貧則背善，學淫^③則詐僞；入學則不亂，得義則忠孝。故明君之法，務此二者，以爲太平基也。（卷四十四 潛夫論）

【註釋】①大體：大要，綱領。②飾：修治。③淫：奢華，浮華。

【白話】治理國家的大政方針，沒有比抑制末業而致力於根本更好的了，沒有比捨棄根本而修治末業更糟的了。治理國家的君主，以使百姓富裕爲根本，以施行正確的教育爲基礎。百姓富足才可以進行教化，教育的理念和內容正確才能夠懂得道義；百姓貧窮就會背棄善行，教學內容浮華就會滋長巧詐虛僞；接受了教育就不會是非混淆，懂得了道義就會盡忠盡孝。因此明君治國的方法，就是用心致力於富民、正學這兩方面，以此作爲國家太平的基礎。

182

夫隨俗樹化，因世建業，慎在務三而已。一曰擇人，二曰因民，三曰從時。時移而不移，違天之祥也；民望而不因，違人之咎^①也；好善而不能擇人，敗官之患也。三者失，則天人之事悖^②矣。夫人乖^③則時逆，時逆則天違。天違而望國安，未有也。（卷四十七 蔣子）

【註釋】①咎：過失，罪過。②悖：背謬，行不通。③乖：背離，違背，不和諧。

【白話】根據風俗來教化人民，依據時勢來建功立業，應該慎重地做好三方面的事情：一是選拔德才兼備的人才，二是傾聽人民的意願，三是隨順時勢。時勢變化而不能夠隨順，這是違背自然規律的凶災；人民的願望我們不去順從，這是違背民意的罪過；

国を治める大政の方針に、工芸や商業などの末業を抑えて、農業などの根本的な事業に力を注ぐのに勝るものではありません。また、根本的な事業を捨てて、末業に苦心するより酷いことはありません。国を治める君主は、民の富みを根本にしながら、正しい教育を基礎として施行すべきです。民は豊かになってから教化できて、教育の理念と内容が正しく伝わり、道義が分るようになるのです。貧困でいれば、民は善行に背いて、教学の内容も浮ついて嘘偽りを言うことを助長してしまいます。教育を受けると、是非を混同することがありません。道義が分ると、忠誠と孝行を尽すことができます。そのために、明君が国を治める方法は、民を豊かにして教学を正すという、この二つの面に心を砕いて力を注ぎ、国の太平の礎とすることです。

群書治要 360 3

一、務本（本分を務めます）

喜好善事而不能選用有德之人，這是敗壞官場風氣的禍患。這三方面出現失誤，則天時和人事就會悖亂。人心不和諧就會呈現時勢逆轉，時勢逆轉則天道與人事相違。違背天道而希望國泰民安，這是不可能的事情。

風俗によつて民を教化し、時勢によつて功業を立てるには、三つのことを慎重に行うべきです。一、徳性と才能が兼ね備えている人材を選抜すること。二、民の願いに耳を傾けること。三、時勢に適應すること。時勢が変化しているのに、適應できないのは、自然の規律に背く災いです。民の願いに従わないのは、民意に違反する過ちです。自分の好みでことを進め、有徳の者を任用しないのは、朝廷の風習を乱す禍です。この三つのことで過ちが見えたと、天の時機と人事は乱れ、人の心は不和になつて情勢が逆転してしまいます。情勢が逆転してしまうと、天道と人事はすれ違つてしまいます。天道に背いて国の安泰と民の平安を求めるのは、ありえないことです。

183

昔仲弓^①季氏^②之家臣，子游^③武城^④之小宰^⑤，孔子猶誨以賢才，問以得人^⑥。明政之小大，以人爲本。（卷二十一 後漢書一）

【註釋】①仲弓：春秋魯國人，冉氏，名雍，字仲弓，孔子的學生，以德行著稱，曾任季氏宰。②季氏：季桓子，即季孫斯，春秋時魯國卿大夫。③子游：姓言，名偃，字子游，亦稱「言游」、「叔氏」，春秋末吳國人，孔子的弟子，孔門十哲之一。④武城：

184

指武城縣，位於山東省西北邊陲，魯西北平原，現隸屬山東省德州市。⑤小宰：邑宰，縣邑的長官，即縣令。⑥得人：謂得到德才兼備的人。亦謂用人得當。

【白話】從前仲弓是季氏的家臣，子游是武城的縣官，孔子尚且教誨他們要任用賢才，詢問是否用人得當。說明政事無論大小，皆以用人為根本。

その昔、仲弓は季氏の家臣で、子游は武県の知事でしたが、孔子は彼らに賢才を任用するように教えました。正しい人事について、いつも人の意見を気にすることも教えました。政事の大小問わずに、ただ人事を全ての根本とするのです。

臣聞，上古堯舜之時，不貴爵賞，而民勸善^①；不重刑罰，而民不犯。躬^②率以正，遇^③民信也。末世貴爵厚賞，而民不信也。夫厚賞重刑，未足以勸善而禁非，必信而已矣。是故因能任官，則分職治；去無用之言，則事情^④得；不作無用之器，即賦斂省；不奪民時，即百姓富；有德者進，無德者退，則朝廷尊；有功者上，無功者下，則群臣逡^⑤；罰當罪則姦邪止；賞當賢則臣下勸。凡此八者，治之本也。（卷十八 漢書六）

【註釋】①勸善：勉力為善。勸：勤勉；努力。②躬：親自。③遇：對待。④事情：事物的真相；實情。⑤逡（qūn / くん）：退讓，退避。

【白話】（公孫弘上疏說：）我聽說上古堯舜的時代，不重視封爵、賞賜，而人民都能努力向善；不崇尚施用嚴刑重罰，而人民卻不輕易犯法。這是因為堯舜自身以無私公正

之心領導臣民，對待人民有信義。到了後世重視封爵，厚加賞賜，可是人民卻並不信任。豐厚的賞賜、嚴厲的刑罰，不足以勉勵人們向善、禁止人們為非，必須對百姓有信義才行。所以，按照能力任用官員，則各自分配的職務就能治理得當；去除無用的言詞，就能了解事物的真相；不製作無用的器物，就能減少稅賦；不耽誤農時，百姓就能富足；有德行的人予以進用，無德行的人予以斥退，朝廷就能樹立起威信；有功勞的人得到提拔，無功勞的人給予降職，群臣就能明白退讓的道理；處罰的輕重適合其罪行，姦邪之人就會止步；獎賞的多少適合其賢能程度，臣下就會得到勉勵。總括這八點，是治國的根本。

（公孫弘は上書しました。）古の堯舜の時代は、爵位と俸禄を重視せずに、民もみな善良でいることに努めていたと聞きました。厳しい刑罰を推奨しないのに、民は妄りに罪を犯さないのは、堯舜自身が私欲のない公正な心で臣下と民を導き、信用と道義があつたからです。後世では爵位と俸禄を重視して厚く与えるが、民からの信用を得られません。豊かな俸禄も、厳しい刑罰も、人が善行をする励ましになれません。人が悪行をしないようにするには、民に対しての信用と道義が必要です。そのために、能力によつて官員を任用すれば、それぞれ与えれた職務を全うすることができます。無駄な言葉を省ければ、物事の真相が見えてきます。無用な器物を作らなければ、課税を減らせます。農作業の時機に邪魔をしなければ、民は豊かになれます。徳性と品行のある者を任用し、そうでない者を

185

退けると、朝廷は威信を打ち立てます。功労のある者を抜擢し、功労のない者を降職させれば、群臣は譲り合うことの道理が分るようになります。処罰の重さを犯した罪に見合わせれば、邪な者は犯罪をやめます。奨励の多少が有能さの程度に適していれば、臣下は励まされます。これら八つのことは、治国の根本です。

故先王見始終之變，知存亡之機^①，是以牧民^②之道，務在安之而已。天下雖有逆行之臣，必無響應之助矣。故曰「安民可與行義，而危民易與爲非」，此之謂也。（卷十一 史記上）

【註釋】①機：事物的關鍵；樞紐。②牧民：治民。

【白話】所以古代聖王能洞察事物演變的規律，知道什麼是國家存亡的關鍵，因此治理人民的方法，關鍵就在使他們過上安定的生活。這樣，天下即使出現圖謀叛亂的臣子，也必然沒有人響應參與。所以說「處於安定狀態的人民可以引導他們共同行仁義，而處於危難之中的人民就容易一起做壞事」，說的就是這個道理。

ゆえに、昔の聖王は物事が變化する規律を洞察して、何が国家存亡の鍵になるのかが分ります。民を治める方法の鍵は、彼らに安定した生活を送らせることです。このようにすれば、たとえ天下に叛乱を企てる臣下が現れても、誰もそれに呼応して参加しないでしょう。そのために、「安定した状態にいる民は、共に仁義を実行するように導けます。危難にいる民は、共に悪事を働くようになります」とは、このことを言っています。

二、教化

186

聖人行不言之教^①。

任其自行，斯不言之教也。

道不可致^②也。

道在自然，非可言致也。

失道而後德，失德而後仁，失仁而後義，

失義而後禮。（卷三十七 莊子）

【註釋】

① 不言之教：指上位者以德化民，不待言詞訓誡，而天下平治。② 致：求取；獲得。

【白話】聖人施行的教化不依靠語言，而是以德政感化人民。大道是沒有辦法通過語言求得的。失「道」之後，只好據「德」來治天下；失「德」之後，只好依「仁」來治天下；失「仁」之後，只好行「義」來治天下；失「義」，最後只能以「禮」治天下了。

聖人が施行している教化は言葉によらずに、徳性で民を感化しています。大道は言語によつて求められるものではないからです。「道」を失つてからは、「徳」で天下を治めるしかありません。「徳」を失つてからは、「仁」で天下を治めるしかありません。「仁」を失つてからは、「義」で天下を治めるしかありません。「義」を失つてからは、「礼」で天下を治めるしかありません。

187

《語》曰：「既富矣，又何加焉？曰：教之。」教之以徳，齊^①之以禮，則民徙義^②而從善。莫不入孝出悌^③，夫何奢侈暴慢^④之有乎？（卷四十二 鹽鐵論）

【註釋】

① 齊：整，整飭，整治。② 徙義：移向義，謂見義即改變意念而從之。③ 入孝出悌：

在家孝敬父母，出門嚴守長幼禮義。④ 暴慢：凶暴傲慢。

188

道行於世，則貧賤者不怨，富貴者不驕，愚弱者不懼^①，智勇者不矜^②，足於分也。法行於世，則貧賤者不敢怨富貴，富貴者不敢凌^③貧賤，愚弱者不敢冀^④智勇，智勇者不敢鄙愚弱。此法之不及道也。（卷三十七 尹文子）

【註釋】①懾（shè / へ）：恐懼。②矜：驕傲；誇耀。③凌：侵犯；欺侮。④冀：企圖；非分地謀求。

【白話】如果道義能在世間施行，那麼貧窮卑微的人就不會有怨言，富裕尊貴的人就不會驕橫，愚笨軟弱的人就不會恐懼害怕，聰明勇敢的人就不會盛氣凌人，這是因為大家各守本分的緣故。如果良好的法令制度能在世間施行，那麼貧窮卑微的人就不敢怨恨富

【白話】《論語》上說：「百姓已經富裕了，還要怎麼辦呢？孔子回答說：要教育他們。」用道德教化他們，用禮儀規範他們，百姓明理了就會改變意念依從正義和善道，人人都能在在家孝敬父母、在外遵守長幼之禮。這樣哪裡還有什麼揮霍浪費、凶暴傲慢的現象呢？

『論語』は言われました。「民はもう豊かになっているのに、何をすればいいのでしょうか。孔子は答えました。彼らを教育するのです」道德で教化し、礼儀で規範すれば、理が分るようになった民は考えを変えて正義と善の道に従います。人々は家では父母に孝行をして、外では長幼の礼を守ります。このようになれば、どこに贅沢や狂暴、傲慢の現象が見られましょうか。

裕尊貴の人，富裕尊貴の人也不敢欺凌貧窮卑微の人，愚笨軟弱の人就不敢企盼超過聰明勇敢の人，聰明勇敢の人也不敢鄙視愚笨軟弱の人。這就是「法治」不如「道治」的地方。

もし道義を世の中で施行できたら、貧しくて卑しい者に怨み言は生まれず、豊かで尊い人は傲慢になりません。また、愚かで弱い者が恐れ戦くことはなく、賢く勇敢な者が威張って人をいじめることもありません。何故なら、みなそれぞれの本分を守られるからです。もし良い法令と制度を世の中で施行できたら、貧しくて卑しい者は豊かで尊い者を怨もうとせずに、豊かで尊い者も貧しくて卑しい者を苛めようとしません。また、愚かで弱い者は賢くて勇敢な者を出し抜こうとせずに、賢くて勇敢な者も愚かで弱い者を苛めようとしません。これこそ「法治」が「道治」におよばない所以です。

189

天道之大者在陰陽。陽爲德，陰爲刑。刑主殺，而德主生。是故陽常居大夏，而以生育養長爲事；陰常居大冬，而積於空虛不用之處。以此見天之任德不任刑也。天使陽出布施^①於上，而主歲功^②。使陰入伏於下，而時出佐陽。陽不得陰之助，亦不能獨成歲也。王者承天意以從事，故任德教而不任刑。刑者不可任以治世，猶陰之不可任以成歲也。（卷十七 漢書五）

【註釋】①布施：猶普施，謂普遍施予。②歲功：一年農事的收穫。

【白話】天道主要講的是陰陽。陽代表德，陰代表刑。刑主殺，德主生。因此陽常常處於盛夏，

以生育長養爲職事；陰常常處於隆冬，積聚在空虛不用的地方。從這裡就可看出，上天是任用德教而不輕用刑罰的。上天使陽氣上升，在上普遍施予萬物，主管一年的農業收成；讓陰氣隱藏於地下而按時出來輔助陽氣。陽氣如果得不到陰的輔助，也不能單獨成就豐年。王者順承上天的意旨來行事，所以任用德教而不輕用刑罰。刑罰不能單獨用來治理天下，猶如不能只靠陰氣而成就豐年一樣。

天道は主に陰陽について言っています。陽は徳を表し、陰は刑を表しています。刑は殺しを司り、得は生を司ります。そのために、陽はいつも盛夏にあつて、生育と育てることを職務としています。陰はいつも隆冬、虚しくて使われないところにあります。このことから分るように、天は徳教によつて運行し、刑罰を軽々しく使つたりしません。天は陽氣を上昇させて、上から遍く万物に行き渡るようにして、一年間の農業の收穫を操りました。また、陰氣を地下に隠させて、一定の時間になると、地面から出てきて陽氣の補助をするようにしました。もし陰の補助がないと、陽氣も独りでに豊年を成就できません。王者は天の意思に従つて物事を進めるから、徳性を用いて軽々しく刑罰を使つたりしません。刑罰もただで天下を治められません。ちやうど陰氣だけで豊年を成就することはできないのと同じです。

〔190〕大治之後，有易亂之民者，安寧無故^①，邪心起也；大亂之後，有易治之勢者，創艾^②禍災，

樂生全^③也。刑繁而亂益甚者，法難勝避，苟免^④而無恥也；教興而罰罕用者，仁義相厲^⑤，廉恥成也。（卷四十五 仲長子昌言）

【註釋】①無故：指沒有發生非常的變故。②創艾（ニ／ハ）：因受懲治而畏懼，戒懼。艾：通「乂」（ニ／ハ）。儆戒，戒懼。③生全：保全生命。④苟免：苟且免於損害。

⑤相厲：互相勸勉。厲：後人寫作「勵」，勸勉。

【白話】長治久安之後，會有作亂的百姓，這是因為安定太平沒有動盪，人們就會萌生邪惡之心；大亂之後，有容易治理的趨勢，這是因為百姓飽受災禍的傷害而畏懼，渴望保全生命。刑罰繁多但混亂卻更加嚴重，這是因為法網太密，難以躲避，於是人們就會免於受罰苟且遵從法律，但不再有羞恥之心（一旦法律有漏洞，人們就會犯法）；教化興起後刑罰很少被使用，這是因為以仁義相勸勉，人們的廉恥之心形成了緣故。

長い平和な日々が過ぎると、叛乱する民が現れてくるものです。安定した太平の世の中に動乱がないから、人々に邪な心が芽生えるからです。大乱の後、治めやすくなる傾向があるのは、禍に深く傷つけられて恐れる民たちが、命の保全を渴望しているからです。刑罰は多くあるのに、混乱はますます酷くなるばかりなのは、法律の網目が密すぎて逃れられないからです。人々は罰を受けないように何とか法律を守るが、廉恥の心を失ってしまいます。（法律の網に漏れがあると、すぐに犯そうとします。）教化が興した後、刑罰は

あまり使われなくなりました。人々の廉恥の心が形成されて、仁義で互いを誠めるからです。

〔191〕

夫上之化下，下之從上，猶泥之在鈞^①，唯^②甄者^③之所爲；陶人作瓦器謂之甄。猶金之在鎔^④，唯冶者^⑤之所鑄。「綏^⑥之斯徠^⑦，動之斯和」，此之謂也。（卷十七 漢書五）

【註釋】①鈞（jun / くん）：製陶器所用的轉輪。②唯：聽憑，任隨。③甄（zhen / ちゃん）者：製陶工人。④鎔：熔鑄金屬的模具。⑤冶者：鑄造金屬器物的人。⑥綏（sui / ずい）：安，安撫。⑦徠：通「來」。

【白話】在上位的君主教化下面的臣民，下面的臣民服從君主，猶如陶土放在製陶器的轉輪上，任憑陶藝師傅拉坯成形；又如同金屬在模具裡，任隨鑄造技工鑄造。「以仁政安民，則遠方之人就會前來歸附；以樂教感動人民，則百姓就會和睦喜悅」，說的就是這個道理。

上位にいる君主が臣下や民を教化し、臣下や民が君主に服従するのは、まるで土をろくろの上に置いて、職人の思うがままに形作られるもののようにです。また、金属が型に嵌められたように、職人の思うがままに形作られるものでもあります。「仁政で民を安らげられれば、遠方の人々は帰順しにやってくる。樂教で民を感動させられれば、民は睦まじく喜びに満ち溢れます」古人が言っているのは、まさにこの通りです。

群書治要 360 3

二、教化

【192】以身教者從，以言教者訟。（卷二十二 後漢書二）

【白話】（第五倫上疏說：）自己以身作則來教化，別人就會聽從；只用言論教育別人（自己不做），就會有爭論。

（第五倫という官員は上書しました。）自分の行いをもつて教化すれば、人は聞き入れて従ってくれます。しかしながら、ただ言論だけで人を教育しようとして、（自分は何もしないのであれば、）議論が起こります。

【193】朝廷者，天下之楨幹^①也。公卿大夫相與循^②禮恭讓，則民不爭；好仁樂施，則下不暴；上^③義

高節，則民興行^④；寬柔和惠，則衆相愛。四者，明王之所以不嚴而成化也。何者？朝有變色之言^⑤，則下有爭鬥之患。上有自專之士，則下有不讓之人；上有克勝^⑥之佐，則下有傷害之心；上有好利之臣，則下有盜竊之民。此其本也。今俗吏^⑦之治，皆不本禮讓，而上克暴，或伎害^⑧好陷人於罪，貪財而慕勢。故犯法者衆，姦邪不止，雖嚴刑峻法，猶不爲變。此非其天性，有由然也。（後補卷二十 漢書八）

【註釋】①楨幹（zhēn gān / ㄓㄣ ㄍㄢ）：即「楨幹」，古代築牆時所用的木柱，豎在兩端的叫「楨」，豎在兩旁的叫「幹」。後用以指重要的、起決定作用的人或事物。②循：順。③上：通「尚」，尊崇，重視。④興行：因受感發起而實行。⑤變色之言：使臉色改變的話。多指爲爭論是非曲直而衝動發怒時說的話。⑥克勝：妒忌刻薄而好勝。

⑦俗吏：才智凡庸的官吏。⑧忮（zhī / 止）害：忌刻殘忍，嫉忌陷害。忮：嫉妒；忌恨。

【白話】

（匡衡上疏說：）朝廷，是支撐天下的梁柱。公卿大夫之間相互遵循禮節，恭敬謙讓，那麼百姓就不會互相爭鬥；大臣們愛好仁義，樂於施捨，那麼百姓就不會使用暴力；百官重視高尚的節操，那麼百姓就會因受感發起而實行；執政者寬緩和柔，溫和仁惠，那麼百姓就會相互親愛友好。以上四點，是聖明的君主之所以能夠不施行嚴刑峻法而完成教化的原因。這是為什麼呢？因為朝廷上有衝動無理的爭論言行，臣民就有爭鬥的禍患；上面有獨斷專權的人，下面就會有不謙讓的人；上面有妒忌刻薄而好勝的輔佐大臣，百姓就會有相互傷害之心；上面有貪財好利之臣，下面就會有偷盜行竊之民。這是造成社會風氣變化的根本原因。當今才智凡庸的官吏治理國家，都不根據禮敬謙讓的原則，而推崇峻刻暴虐的政策，有的殘忍嫉忌，喜好陷害他人，蒙受不白之冤，貪取財利傾慕權勢，因此犯法的人很多，姦邪之行不能得到制止，即使用嚴厲的刑法，仍然不能改變這種狀況。這不是他們的天性，而是由於當政者沒有教化好。

（匡衡は上書して言いました。）朝廷とは、天下を支える棟梁です。公卿や大夫たちが互いに礼節に従って、恭しく謙虚な態度でいれば、民は相争いませぬ。大臣たちが仁義を愛好し、施すことを楽しんでいるのであれば、民は暴力を使いません。百官が高尚な節操を

重視するのではあれば、民は感化されてそのような節操を実行します。執政者が優しくて広い心を持ち、知恵と仁愛に満ちた態度でいれば、民は互いを愛し、友好な関係でいられます。これら四つのことは、聖明な君主が厳刑や厳しい法律を使わずにして、民を教化できた原因です。何故でしょうか。朝廷に衝動的で無理のある争いや言論があると、臣下や民の間に闘争の禍が起こります。上に独断的かつ専制的な者がいると、下には不遜な者がいます。上に心が狭く、嫉妬に駆られて負けず嫌いな補佐の大臣がいると、民には互いを傷つける心が生まれます。上に財利を貪欲に欲する臣下がいると、下には盗みを働く民がいます。これが社会の風習を変える根本的な原因です。今は才知の乏しい凡庸な官吏が国を治めているが、彼らは礼節や謙譲の原則に従わずに、厳しくて暴虐な政策を推奨しています。その中に残忍で嫉妬深い者もいて、彼らは他人を陥れて濡れ衣を着せ、財利を貪って権勢に傾きます。そのために、民の間では法を犯した者は非常に多く、たとえ厳刑をもつてしても、邪な行為が抑止されることはなく、このような状況を変えられません。これは民たちの天性のせいではなく、執政者がよく教化しなかったためです。

194

文子^①曰：「周諺有言：『察見淵魚者不祥，智料隱匿者有殃。』且君欲無盜，莫若舉賢而任之，使教明於上，化行於下。人有恥心，則何盜之爲？」於是用隨會知政，而群盜奔秦焉。

用聰明以察是非

者、群詐之所逃；用少（少作先）識以攝姦伏者、衆惡之所疾。智之爲患、豈虛也哉。

（卷三十四 列子）

【註釋】①文子：趙文子，即趙武。嬴姓，趙氏，諱武，諡號曰「文」。春秋時晉國卿大夫。戲劇「趙氏孤兒」的歷史原型。

【白話】趙武回答晉侯說：「周人的諺語有這麼一句話：『能看清深潭中游魚的人不吉利，以智巧料知隱匿事物的人會遭殃。』您要想使晉國沒有盜賊，不如選拔賢良並予以任用，使朝廷中政教清明，百姓中好風氣流行。人們有了羞恥之心，哪還會去做盜賊呢？」於是晉侯任用隨會主持有關政務，眾多盜賊便逃往秦國去了。

趙武は晋侯に答えました。「周の人の諺にこのような言葉があります。『深い湖の中の魚が見える者是不吉です。知恵で隠し事を予想できる者は禍に遭います』晋国から盜賊をなくそうとお考えのであれば、優秀な賢人を選抜して任した方がいいです。そのようにすれば、朝廷では清明政治が行われ、民の間ではいい風習が広まります。人々に羞恥の心があれば、どうして盜賊なぞすることがありましょうか」それで晋侯は随会を任用して関連する政務を任せたが、多くの盜賊は秦国へ逃げていきました。

195 所貴聖人者，非貴其隨罪而作刑也，貴其防亂之所生也。是以至人^①之爲治也，民有小罪，必求其善以赦其過；民有大罪，必原其故以仁輔化。是故上下親而不離，道化流而不蕩^②。（卷四十八 體論）

【註釋】①至人：指思想或道德修養最高超的人。②蕩（yún / 云）：古同「蘊」，聚積；

積滯。

【白話】尊崇聖人的原因，不在於他能根據人民所犯的罪行而制定刑律，而在於他能事先防止禍害的產生。道德修養最高明的人這樣治理國家：百姓如果犯有小罪，一定從中尋求他的善意之處來赦免他的過失；百姓犯有大罪，一定找出犯罪的原因，然後用仁德來輔助教化他。因此上下親近而不乖離，道德教化普施而不滯礙。

聖人を崇める原因は、聖人が民の犯した罪によって刑罰と法律を制定できるからではなく、禍を事前に防止できるからです。最も高い道德の修養を有する者はこのように国を治めています。もし民が小さな罪を犯したら、必ずその善意を見つけ出して、その過ちを赦します。もし民が大きな罪を犯したら、必ずその原因を見つけ出して、仁徳で教化します。そのために、上下の関係は親しく乖離しません。道德による教化も滞ることなく広められます。

196

聖人無常心，聖人重改更，貴因循，若自無心也。以百姓心爲心。百姓心之所便，因而從之。善者吾善之，百姓爲善，聖人因而善之。不善者吾亦善之。百姓爲不善，聖人化之使信也。信者吾信之，百姓爲信，聖人因而信之。不信者吾亦信之。百姓爲不信，聖人化之使信也。（卷三十四 老子）

【白話】聖人沒有主觀的成見，根據百姓的需要和心理狀態，怎樣適合便怎樣做。善良的人，我善待他；不善良的人，我也善待他（這樣可使人人向善）。守信的人，我信任他；不守信的人，我也信任他（這樣可使人人守信）。

198

爲國家者，見惡，如農夫之務去草焉，芟夷^①蘊崇^②之，絕其本根，勿使能殖，則善者信^③矣。
 （後補卷四 春秋左氏傳上）

【註釋】①芟（shān / ㄕㄢ）夷：除草；割除。芟：除草。夷：鎗平；削平。②蘊（yùn / ㄩㄣˋ）

197

善人者，不善人之師也；人之行善者，聖人即以爲人師也。不善人者，善人之資^①也。資，用也。人行不善，聖人教道使爲善，得以爲給用。（卷三十四 老子）

【註釋】①資：給用、資材。

【白話】善人，是不善人的老師；不善的人，是善人的資材。（聖人教化導正他們，使他們回頭向善，就可以發揮他們的作作用。）

善人とは、不善な者の先生です。不善な者は、善人の資材です。（聖人は彼らを教化して導くが、改めて善へ向かわせることができましたら、彼らの作用を發揮させられます。）

聖人には主観的な意見はなく、ただ民の需要と心理状態によつて、最も適した方法を実行しているだけです。善良な者には、善良に接します。そうでない者にも、善良に接します。（このようにすれば、人々は善を目指すようになります）。信用を守れる者のことを、私は信用します。そうでない者のことを、私は信用します。（このようにすれば、人々は信用を守れるようになります。）

崇：積聚，堆積。蘊：積聚；蓄藏。崇：聚積。③信（shen / ㄣ）：同「伸」。舒展。

【白話】治理國家的人，見到惡行，就像農夫致力於除草一樣，除掉它將它堆積起來，挖掉它的老根，不要使它再生長，那麼善行就能得到伸展。

國家を治める者は悪行を見つけると、まるで農夫が除草に力を注ぐのと同じように、それを取り除くことに尽力します。その古い根元を取り除き、二度と生えないようにすることができたら、善行は発揚されます。

三、知人（人を知ります）

199

當堯之時，舜爲司徒^①，契爲司馬^②，禹爲司空^③，后稷爲田疇^④，夔爲樂正^⑤，倕爲工師^⑦，伯夷爲秩宗^⑧，皋陶爲大理^⑨，益掌驅禽。堯不能爲一焉。堯爲君，而九子者爲臣，其何故也？堯知九職之事，使九子各受其事，皆勝其任以成功，堯遂乘成功（本書乘成功作成厥功）以王天下。是故知人者主道也，知事者臣道也。主道知人，臣道知事，毋亂舊法，而天下治矣。（卷四十三 說苑）

【註釋】①司徒：官名。掌管國家的土地和人民的教化。②司馬：官名。掌軍旅之事。③司空：官名。掌管工程。④田疇：田官。⑤樂正：古時樂官之長。⑥倕（chui / ㄔㄨㄟ）：古

代傳説中の巧匠名。⑦工師：古官名。上受司空領導，下爲百工之長。專掌營建工程 and 管教百工等事。⑧秩宗：禮官。古代掌宗廟祭祀的官。⑨大理：掌刑法的官。

【白話】堯帝當政之時，舜做司徒掌管教化，契做司馬掌管軍事，禹做司空掌管工程，后稷做農官掌管耕作，夔做樂官掌管音樂，倕做工師掌管工程和管教百工，伯夷做禮官掌管宗廟祭祀，皋陶做大理掌管刑法，益掌管山澤主管驅逐禽獸。堯不能擔任其中的任何一項職務。但是堯做君主，其他九位卻做臣子，那是什麼緣故呢？堯知道這九種職務的性質和內容，讓九個人各負責一項適任的工作，九個人都能勝任而完成任务，堯於是憑藉他們的功績成就了治理天下的大業。所以知人善任是做君主之道，知情辦事是做臣子之道。爲君之道要知人善用，爲臣之道要知事善辦，不要亂了舊有的典章制度，天下就太平了。

堯帝が執政していた時、舜は司徒として教化を司り、契は司馬として軍事を司り、禹は司空として工程を司り、后稷は農官として工作を司り、夔は樂官として音楽を司り、倕は工師として工程と多くの職人を監督し、伯夷は礼官として宗廟の祭祀を司り、皋陶は大理として刑法を司り、益は獣たちの駆除を司っていました。堯はこれらの職務の一つも担うことはできないが、君主になりました。そして他の九人はその臣下になりました。何故でしょうか。堯はこれら九つの職務の性質と内容を知っており、九人それぞれの素質と能力に適した仕事を任せたから、それぞれに仕事を上手く全うできました。堯は彼らの功績に

よって、天下を治めるといふ偉大な事業を成就できたのです。そのために、人をよく知ってよく使うことは君主の道であり、仕事をよく知ってよく全うするのは臣下の道です。君主が人をよく知ってよく使い、臣下が仕事をよく知ってよく全うし、旧来の典章や制度を乱すことがなければ、天下は太平になります。

200 自古人君莫不願得忠賢而用之也。既得之，莫不訪之於衆人也。忠於君者，豈能必利於人？苟無利於人，又何能保譽於人哉？故常願之於心，而常先^①之於人也。非願之之不篤而失之也，所以定之之術非也。（卷四十七 劉廙別傳）

【註釋】①先：當是「失」的誤字。

【白話】自古以來，君主沒有不希望得到忠誠賢明之士而予以任用的。任用之後，（因懷疑其是否忠誠賢明）又沒有不派人去向眾人探訪調查的。忠誠於君主的人，豈能事事有利於他人呢？假若無利於人，又怎能在所有人面前保有好的聲譽呢？所以，君主心中常常希望得到忠賢之人，卻常常失去他們。不是君主希望得到忠賢之人心不誠而失去人才，而是判定忠賢之才的方法不對啊。

201

夫孝行著於家門，豈不忠恪^①於在官乎？仁恕稱於九族，豈不達^②於爲政乎？義斷^③行於鄉黨，豈不堪於事任乎？（卷二十五 魏志上）

【註釋】①恪（こく／うご）：恭敬；恭謹。②達：通曉；明白。③義斷：秉公斷事。

【白話】如果一個人的孝行彰顯於家族之中，一旦爲官怎麼會不忠誠恭敬呢？如果一個人的仁厚寬容在九族之中廣受讚揚，一旦爲官怎麼會不善於施政呢？如果一個人能在鄉里秉公斷事，一旦爲官怎麼會不勝任其職務呢？

もしある人の孝行が家族の中で目立っていたら、出仕した時に恭しく忠誠を尽さないわけがありませんか。もしある人の仁厚で広い心が親族の間で評判になったら、出仕した時に政事に長けていないわけがありませんか。もしある人が故里で公正に物事を解決す

昔から、忠実で賢明な人材を欲しくない君主はいません。任用した後、（その者が忠実で賢明であるかどうかを疑うから、）人々にその者のことについて暗に調査しなかった君主もいません。しかしながら、君主に忠実でいる者が、何事も人の利益になるようにすることがありましようか。また、もし人の利益になるようなことをしなかったら、全ての人からいい評判をもらえはるはずがありましようか。そのために、君主は心の中で忠実で賢明な人材を欲していながらも、よく彼らを失ってしまいます。忠実で賢明な人材を欲する君主の気持ちに偽りがないが、人材を判定する方法に間違いはありません。

ることができたら、出仕した時にその職務を全うできないわけがありませんか。

202

富貴者，觀其有禮施^①；貧窮者，觀其有德守^②；嬖寵^③者，觀其不驕奢；隱約^④者，觀其不懼。其少者，觀其恭敬好學而能弟；其壯者，觀其潔廉務行而勝其私；其老者，觀其思慎、彊^⑤其所不足而不踰^⑥。父子之間，觀其慈孝；兄弟之間，觀其和友；君臣之間，觀其忠惠；鄉黨之間，觀其信誠。設^⑦之以謀，以觀其智；示之以難，以觀其勇；煩之以事，以觀其治；臨之以利，以觀其不貪；濫之以樂，以觀其不荒。喜之以觀其輕，怒之以觀其重，醉之以觀其失，縱之以觀其常，遠之以觀其不貳，昵^⑧之以觀其不狎。復徵^⑨其言，以觀其精；曲省其行，以觀其備。此之謂觀誠。（卷八 周書）

【註釋】①施：施惠。②德守：道德操守。③嬖（ひ）寵（く）：寵：受君主寵愛。④隱約：困厄，儉約。⑤彊（qiang / ぐ）：同「強」。勉力；勤勉。⑥踰：當作「偷」。苟且之意。⑦設：設置，安排。⑧昵：同「暱」。親近；親昵。⑨徵：證明；證驗。

【白話】富貴之人，要看他是否舉止有禮而好施惠；貧窮之人，要看他是否有德行操守；備受寵幸之人，要看他是否不驕不奢；處於困厄之人，要看他是否不膽小怕事。年輕人，要看他有無恭敬好學的態度和尊重長上之心；壯年人，要看他是否廉潔務實而且能克制私欲；老年人，要看他的思惟是否謹慎，勤勉努力彌補自己的不足而不苟且度日。父子之間，看他是否慈愛或孝順；兄弟之間，看他是否和睦與友愛；君臣

之間，看他是否忠義或仁愛；鄉黨之間，看他是否誠實守信。讓他施行某種謀劃，以此來觀察他的智慧；將困難擺到他面前，以此來觀察他的勇氣；派他處理煩雜的事務，以此審視他的治理能力；讓他面對某種利益，以此觀察他是否不貪；讓他沉浸於享樂的環境中，以此觀察他是否不縱欲迷亂。使他歡悅，看他是否輕佻；激他發怒，看他是否穩重；讓他喝醉，看他是否會失去恭慎的儀態；任其行事，看他是否還遵從一貫的行為準則；疏遠他，看他是否忠誠不貳；親近他，看他是否輕慢失禮。反覆地驗證他前後說過的話，看他是否有真實的學問；詳盡地察訪他的行為，看他德行是否完備。這些歸結起來就稱作「觀誠」（洞察實情）。

裕福な者については、正しい行いで施すことを好むかどうかを観察します。貧しい者については、徳行と節操があるかどうかを観察します。非常に寵愛されている者については、怠らずに贅沢しないかどうかを観察します。苦境にいる者については、臆病で面倒くさがりであるかどうかを観察します。若者については、謙虚で好学な態度と、目上の者を尊重する心があるかどうかを観察します。壮年の者については、清廉で堅実な態度と、私欲を制御できるかどうかを観察します。年配の者については、ただ無為に日々を過ごすのではなく、慎ましい考えで自分の足りない所を懸命に補おうとしているかどうかを観察します。親子の間については、慈愛もしくは孝行の心と行動ができているかどうかを観察します。兄弟の間については、互いを愛護し、睦まじく友好的な仲であるかどうかを観察しま

す。君臣の間については、忠義もしくは仁愛の心と行動ができていのかどうかを観察します。郷党の間については、誠実に信用を守れるかどうかを観察します。何かの計画を立てさせて、その智慧を観察します。困難に遭わせて、その勇気を観察します。煩雑なことを処理させて、その能力を観察します。利益に向かわせて、その清廉さを観察します。彼を享樂的な環境の中に置くことによって、惑わせられて欲望のままになることはないかを観察します。彼を喜ばせて、軽い人にならないかを観察します。彼を怒らせて、穏やかでいられるかを観察します。彼を酔わせて、恭しくて慎ましい態度を失わないかを観察します。彼の好きなようにさせて、それでもいつもの準則を一貫して守れるかどうかを観察します。彼を遠ざけて、それでも忠誠が揺らぐことはないかを観察します。彼に近づけて、彼があなどつて礼節を失わないかを観察します。彼の言ったことを繰り返し検証し、彼に真実の学問があるかどうかを観察します。彼の行為を詳しく調査することによって、彼の徳行が完璧であるかどうかを観察します。これらのことはまとめると、「観誠」（実情を洞察すること）と言えます。

203 蓋有非常之功，必待非常之人，故馬或奔踴^①而致千里，士或有負俗之累^②而立功名。夫泛駕^③之馬，跼弛^④之士，亦在御之而已。其令州郡察吏民有茂材異等可爲將相及使絕國者。（後補卷十三 漢書一）

204

夫陰陽和，歲乃豐；君臣同心，化乃成也。其刺史太守以下，拜除^①京師，及道出洛陽者，宜皆召見，可因博問四方，兼以觀察其人。諸上書言事，有不合者，可但報歸田里，不宜過加喜怒，以明在寬也。（卷二十二 後漢書二）

【註釋】

①奔踉（ヒ／カ）：奔馳踢人。不受羈勒之馬，乘時即奔跑，立時則踢人。踉：踢。

②負俗之累：因不諧於流俗而受到的譏議。負俗：與世俗不相諧。③泛駕：翻車。亦喻不受駕馭。④踞（トノ／チヤ）弛：放蕩不循規矩。

【白話】

（漢武帝下詔說：）大凡要建立不同尋常的功業，必須等待不同尋常的人才。所以有的馬會狂奔踢人，卻可以奔馳千里；有的士人會因與世俗不相諧而被譏論，卻能建功立名。那不受駕馭的馬，以及放蕩不羈的人，關鍵在如何使用而已。現特責成全國各州縣地方官，要留心考察推薦官民中有特殊才幹，能做將相和出使外國的人。

（漢の武帝は命を下しました。）おおよそ尋常ではない功業を築こうとするならば、尋常ではない人材を待たなければなりません。人を蹴飛ばす馬がいるが、千里をも馳せまします。世の中と相容れないから笑われる士人がいるが、功名をなせます。制御されない馬でも、放蕩にして不羈な者でも、鍵はどのように使うことです。今、全国各州県の知事によくよく言います。官民の中に特殊な才能があつて、將軍と宰相や外国への使者になれそうな人材がいたら、心に留めてよく考察して推薦しなさい。

群書治要 360 3

四、任使（任命して使いこなします）

【註釋】①拜除：拜授官職。

【白話】（第五倫上疏說：）陰陽調和，就會有豐收之年；君臣同心同德，教化才能有成效啊！對刺史、太守以下的官員，任命為京官，以及從國都洛陽外派的官吏，陛下都應召見，可藉此了解四方的情況，同時觀察本人的品行能力。各位官員上書議事有不合事實的，可讓他們回歸家鄉，不應過分地以自己的喜怒而處罰，以明示施政寬厚。

（第五倫は上書して言いました。）陰陽が調和すれば、豊年になります。君臣が心と徳行を一つにしているからこそ、教化に成果は見られます！刺史や太守以下の官員が京官に任命された時、また、国都の洛陽から他の都道府県に任命された官吏についても、陛下は召見するべきです。これで四方の状況が分ると同時に、本人の品行と能力を観察できるからです。官員の上書に事実にあわない所があれば、故郷に帰らせたらいいです。あまりにもご自分の喜怒で賞罰することをせずに、寛大な心で執政しているのだと民々に示しなさい。

四、任使（任命して使いこなします）

205

以天下之目視，以天下之耳聽，以天下之智慮，以天下之力爭，故號令能下究，而臣情得上聞，百官脩通^①，群臣輻湊^②。喜不以賞賜，怒不以罪誅，法令察而不苛，耳目通^{（通作）}（聰）而不暗，善否之情，日陳於前而不逆，賢者盡其智，不肖者竭其力，近者安其性，遠者懷其德，用人

之道也。（卷三十五 文子）

【註釋】①脩通：逐級上達，通於君主。脩：同「修」。循，依次。②輻湊：車輻條集中於軸心。【白話】用天下人的眼睛觀察，用天下人的耳朵傾聽，用天下人的智慧來思考，用天下人的力量來爭取天下人的幸福，所以號令能貫徹到底，民情得以上達，百官逐級上傳、通於君主，群臣擁護君主如同車輻條集中於車輪軸心。君主不因爲高興就行賞賜，不因爲憤怒就給予責罰，法令昭著卻不苛煩，視聽明達而不暗昧，好壞情況每天稟報上來而不抗拒、牴觸，使賢能者可竭盡其智慧，平凡之人能竭盡其能力，身邊的人能安定地生活，遠方的人感念君主的恩德，這是因爲他掌握了用人之道的結果。

天下の人々の目で觀察し、天下の人々の耳で傾け、天下の人々の智慧で考え、天下の人々の力で人々の幸せを求められれば、号令は徹底に執行されます。民間の実情は上まで届き、それを百官がまた上に伝えれば、君主のところまでに届きます。まるで車輪を維持する木杵が軸心に集中するように、群臣は君主のことを擁護するのです。明君は嬉しいからと言って褒美を与えず、怒っているからと言って刑罰を下しません。実行した法令は分りやすく広く伝わっており、妄りに厳しくて煩わしくありません。その聴視は明達で愚鈍ではなく、状況の良し悪し問わずに日々報告されても嫌な気持ちになりません。賢者ができるだけその智慧を発揮できるように、そして凡人ができるだけその力を発揮できるようにするのです。その周りにいる者は安定に生活できて、遠方にいる者でもその恩恵と徳性に感激しています。何故なら、このような君主は人を使う道を確かに掌握しているのです。

群書治要 360

3

四、任使（任命して使いこなします）

206

子曰：「無爲而治者，其舜也與？夫何爲哉？恭己正南面而已矣。」言任官得其人。故無爲也。（卷九 論語）

【註釋】①與：語氣詞，表感嘆。②南面：古代人君聽政之位居北，其面向南，故後指居人君之位。

【白話】孔子說：「能夠無爲而治的人，那就是舜吧？他做些什麼呢？只是對一切人、事心存恭敬，坐鎮於天子之位罷了。」（這是說舜能夠知人善任，用人而不自用，所以孔子以無爲而治來讚美他。）

孔子は言いました。「無為にしてよく治めた者といえば、舜でありましょう。彼が何をしたと言うのでしょうか。いいえ。ただ全ての人や物事に対して恭しい態度でいるから、天子の座に座っていられたのです」（すなわち、舜は自分の偏見に偏ることなく、人を知つてよく使えるから、無為の治を実行できたのだと、孔子は褒めています。）

207

周公戒于王曰：「文王罔攸兼于庶言、庶獄、庶愼，惟有司之牧夫。」

所當愼之事，惟愼擇有司牧夫而已。勞於求才，逸於任賢。

（卷二 尚書）

【註釋】①罔攸：無所。②兼：兼知。③庶言：群言，輿論。④庶獄：諸凡刑獄訴訟之事。

⑤庶愼：眾所當愼之事，即各種敕戒（警誡，教誡）。⑥有司：官吏。古代設官分職，各有專司，故稱。⑦牧夫：古代管理民事的地方官。

【白話】周公勸誡成王說：「文王在位時並沒有兼管社會輿論、各種獄訟案件及各種教誡警誡之事，均由有關部門的主管官員裁決。」

文王無所兼知於毀譽衆言，及衆刑獄，衆

208

周公は成王を諫めました。「文王は在位していた時に自分で社会の与論や各種の訴訟事件、教化と警告などの管理をしていませんでした。全ては関連する部門の主任官員の裁断に任せられていたのです」

明王之使人^①有五：一曰以大體^②期之，二曰要^③其成功，三曰忠信不疑，四曰至公無私，五曰與天下同憂。以大體期之，則臣自重；要其成功，則臣勤懼；忠信不疑，則臣盡節；至公無私，則臣盡情^④；與天下同憂，則臣盡死。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①使人：用人。②大體：重要的義理，有關大局的道理。③要：期望。④盡情：盡心盡力。

【白話】明君用人有五個要點：一是以識大體相期許，二是希望臣子建功立業，三是信任臣子而毫不懷疑，四是君王能大公無私，五是能與天下百姓同憂愁、共患難。以識大體相期許，臣子就會謹言慎行；希望他建功立業，臣子就會勤奮戒懼；對臣子堅信不疑，臣子就會竭盡志節效力；大公無私，臣子就會盡心竭力；與天下百姓同憂愁、共患難，臣子就會以死效忠。

明君が人を使う時には五つの要点があります。一、互いに大局が分るような者でいること。二、功業を築いてくれること。三、臣下のことを信用して少しも疑わないこと。四、大局を優先にした君王に私欲がないこと。五、天下の民たちと共に思い悩み、難関を乗り

越えられること。互いに大局が分るようなものであれば、臣下は言行を慎みます。功業を築くことを望んでいるのならば、臣下は戦々恐々と努めます。臣下のことを堅く信じて疑わなかったら、臣下は忠節を尽して力を捧げてくれます。大局を最優先にして私欲がないようにすれば、臣下は心を尽してくれます。天下の民たちと共に思い悩み、困難を乗り越えられたら、臣下を死をもって忠誠を誓ってくれます。

209

夫唯信而後可以使人。昔者齊威王，使章子將而伐魏，人言其反者三，威王不應也。自是之後，爲齊將者，無有自疑之心，是以兵強於終始也。（卷五十 袁子正書）

【白話】 只有信任人，然後才可以任用。過去，齊威王任章子爲大將討伐魏國，別人多次說章子會造反，齊威王都沒有聽信。從此之後，做齊國大將的人就不會有被懷疑的後顧之憂了，所以齊國軍隊始終很強大。

人を信用する者こそ、人を上手く使いこなせます。その昔、齊の威王は章子を魏国討伐の大將に任命しました。ほかの人が何度も章子は謀反すると言っても、威王は聞き入れませんでした。それから、齊で大將になる人は謀反の疑いをかけられる心配がなくなったために、齊の軍隊はいつも強かったです。

210

賢主之用人，猶巧匠制木^①，大小脩短^②，皆得所宜；規矩方圓，各有所施^③；殊形異材，莫不

可得而用也。天下之物，莫凶於奚毒^④，奚毒，附子。然而良醫橐^⑤而藏之，有所用也。是故竹本草莽^⑥之材，猶有不棄者，而又況人乎！（卷四十一 淮南子）

【註釋】

①制木：裁取木料。②脩短：長短。脩：同「修」。長。③施：用。④奚毒：附子的別名，又名烏頭。根莖塊狀有毒，可作鎮痛藥。⑤橐（たの／ちん）：用口袋裝。

⑥莽：叢生的雜草。

【白話】

賢德的君主任用人才，就像技藝高超的工匠裁取木料，無論大小長短，都各盡其用；用圓規、矩尺量取方圓，都用得恰到好處；就是形狀奇異、質地特殊的木材，也沒有不能用的。天下的植物，沒有比附子毒性更強的，然而良醫卻將它用袋子裝著收藏起來，因為它有用處。因此，竹木野草之類，尚且不被拋棄，更何況是人呢！

賢明な君主が人材を任用する時は、まるで凄腕の匠が材木を裁断するように、どのような大きさや長さでも、それぞれの適した使い道を見つけ出せます。円規や定規で方形もしくは円形を測つても、ちょうどいい大きさになります。たとえ奇妙な形状や変わった材質の木材でも、賢君にとって使えないものではありません。天下の植物の中で、トリカブトより毒性の強いものはありませんが、良医がそれを袋に入れて大事に持っているのは、それに使い道があったからです。竹木や野草の類でさえも捨てられることはないと言うのに、人なら尚更でしょう。

【211】夫有不急^①之官，則有不急之祿，國之蟬賊^②也。明主設官，使人當於事。人當於事，則吏少而民多。民多則歸農者衆，吏少則所奉^③者寡。使吏祿厚則養足^④，則無求於民。無求於民，姦軌^⑤息矣。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①不急：不切需要。②蟬（*ming* / *chan*）賊：吃禾苗的兩種害蟲。亦喻壞人。③奉：供養。④養足：供養充足。⑤姦軌（*gan* / *gui*）：即姦宄。指違法作亂的事或人。軌：通「宄」。作亂或盜竊的壞人。

【白話】有不必要的官職，就會有不必要的俸祿，這是國家的害蟲。英明的君主設置官職，使人數和政事相稱。人數和政事相稱，就會讓官吏減少而百姓增多。百姓多，從事農業勞動的就多；官吏少，拿俸祿的人就少。使官吏俸祿多則足以供給家用，這樣官吏就不會再向民間索求。不向民間索求，違法作亂的事就停息了。

必要のない官職があると、必要のない俸祿が支出されて、国にとつての害虫になります。英明な君主が官職を設置する時は、人数と政事が釣り合うようにします。人数と政事が釣り合っているれば、官吏は少なくなつて民は多くなります。民が多くなれば、農業の労働に従事する者は増えます。官吏が少なくなれば、俸祿をいただく者は少なくなります。官吏の俸祿が家族を養えるほど多いのならば、官吏は民を強請らなくなります。官吏が民を強請らなくなると、混乱を引き起こす違法事件もなくなります。

〔212〕凡官民材，必先論之。論，謂考其德、辨、謂考問其行、道藝也。論辨然後使之，辨，謂考問其秩次。位定然後祿之。（卷七 禮記）

【白話】凡是從庶民中選用人材為官，須先考定其品德才能。評定了品德才能之後，即可分派他擔任一定的職務。能夠勝任所分派的職務，才正式給他授予品位。品位確定之後，才給予相應的俸祿。

凡そ庶民の中から人材を選び出して任官させたかったら、まずその品行と徳性を評定しなければなりません。品行と徳性を評定してから、一定の職務を任せられるのです。任せられた職務を全うすることができてから、正式に品位を与えます。品位が確定してから、相應しい俸祿を与えるのです。

〔213〕凡使賢不肖^①異。使不肖以賞罰，不肖者喜生惡死，則可使也矣。使賢以義。唯義所在，死生一也。故賢主之使其下也，必以義，

必審賞罰，然後賢不肖盡為用也。（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①不肖：不賢、不材的人。

【白話】大凡任用賢徳之人和不賢之人，方法不同。任用不賢之人依靠獎懲，任用賢徳之人依靠道義。所以賢明的君主任用臣下必定合乎道義，必定慎重地進行獎賞和懲罰，然後賢徳之人和不賢之人皆能為君主所用。

凡そ徳性のある賢人とそうでない者を任用する時、違う方法を取ります。そうでない者

は奨励懲罰をもって動かし、徳性のある賢人は道義をもって任用します。そのために、賢明な君主が臣下を任用する時は必ず道義に合うようにして、慎重に奨励と懲罰を行います。ゆえに、徳性のある賢人でもそうでない者でも君主に使われます。

214

古者工^①不兼事，士不兼官。工不兼事則事省^②，事省則易勝^③。士不兼官則職寡，職寡則易守。故士位可世^④，工事可常。古之宰物^⑤，皆用其一能，以成其一事。是以用無棄人，使無棄才。若乃任使於過分之中，役物於異便之地，則上下顛倒，事能淆亂矣。（卷三十七 慎子）

【註釋】①工：古時對從事各種技藝勞動者的總稱。②省：簡；少。③勝：能夠承受，禁得起。

④世：代代相傳。⑤宰物：謂從政治民，掌理萬物。

【白話】古時候，工匠不兼做其他事情，士人不兼任其他官職。工匠不兼做其他事情，事情就不多，事情不多就容易勝任。士人不兼任其他官職，職責就少，職責少則容易做到盡忠職守。所以士人的職位可以世代相承，工匠的職業可以長久不變。

昔、匠はほかのことを兼任せずに、士人もほかの官職を兼任しませんでした。匠がほかのことを兼任しないと、仕事が多くなることはなく、簡単に今ある務めを全うすることができます。士人がほかの官職を兼任しないと、責任は少なくなり、簡単に忠誠を尽して本分を守れます。そのために、士人の職位は世代を超えて受け継げられ、匠の職業も長く変わることはありませんでした。

215

夫事積久，則吏自重；吏安，則民自靜。《傳》^①曰：「五年再閏^②，天道乃備。」夫以天地之靈，猶五載以成其化，況人道哉！（卷二十二 後漢書二）

【註釋】①傳（shuan / 𦉑）：解釋經義的文字、書籍。此處指解釋《周易》的《易傳》，

又稱《十翼》。《易傳》共七種十篇，它們是：《彖傳》上下篇、《象傳》上下篇、

《繫辭》上下篇、《文言》、《序卦》、《說卦》、《雜卦》。②再閏：農曆五年

設置兩個閏月，謂之再閏。《易·繫辭上》：「五歲再閏。」

【白話】官吏任事時間久了，自然會自珍自愛；官吏安於其位，那老百姓也就安靜無擾。《易傳》上說：「五年有兩個閏月，天道才運行完備。」即使是天道，還要歷經五年的時間才完成其變化，何況人間的事情呢？

官吏が職位について久しくなると、自然に自重して自愛するようになります。官吏がその職位に満足していれば、民も邪魔されることなく安らげます。『易伝』にありました。「五年ごとに二つの閏月があるから、天道の運行は完備されます」たとえ天道でも、五年の時間を経てようやくその変化を完成させることができます。人間のことなら、尚更でしょう。

216

人之愛人，求利之也。今吾子^①愛人，則以政^②，以政與之。猶未能操刀而使割也，其傷實多。多自傷。子之愛人，傷之而已，其誰敢求愛於子？子於鄭國，棟也，棟折榱^③崩，僑^④將厭焉，敢不盡言？

群書治要 360 3

四、任使（任命して使いこなします）

子有美錦，不使人學製。製。裁。大官、大邑，身之所庇也，而使學者製焉。其為美錦，不亦多乎？言官邑之重，多於美錦。僑聞學而後入政，未聞以政學者也。若果行此，必有所害。譬如田獵，射御貫則能獲禽。貫，習也。若未嘗登車射御，則敗績厭覆是懼，何暇思獲？（卷五 春秋左氏傳中）

【註釋】

①吾子：對對方的敬愛之稱。一般用於男子之間。這裡指當時鄭國的當國正卿子皮（姬姓，罕氏，名虎，字子皮）。②椽（cui / ちゑ）：屋椽。③僑：子產自稱。姬姓，國氏，名僑，字子產，又字子美，諡成，又被稱為公孫僑、公孫成子、東里子產、國子、國僑、鄭喬，是春秋末期鄭國的政治家、思想家、改革家。子產執政期間，改革內政，慎修外交，極受鄭國百姓愛戴，後世對其評價甚高，將他視為中國歷史上宰相的典範。

④厭（en / ー）：指被壓。

【白話】

（鄭國當國子皮想讓尹何做自己封邑的長官，尹何年紀太輕經驗不足，故子產對子皮說：）喜愛一個人，總是希望有利於他。現在您喜愛一個人，就把政事交給他，就像一個人不會用刀就讓他去宰割，多半會割傷他自己。您喜愛他，不過是傷害他罷了，這樣誰還敢求得您的喜愛？您對於鄭國，是棟梁。棟梁折斷，椽子會崩塌，我也將會被壓在底下，我怎敢不把話都說出來？比如您有漂亮的織錦，是不會給別人學著裁製衣服的。重要的官職、大的封邑，是自身賴以庇護的東西，反而讓學習的人去治理，它比起漂亮的織錦不是重要得多嗎？我只聽說學習好後才能從政，沒聽說通過做官來學習的。如果最終這樣做，必定有害處。好比打獵，射箭駕車熟練了，才能獵獲禽獸，如果還不曾登車射過箭駕過車，那麼只怕車子毀壞翻覆、人被碾壓，哪有心思顧到獵物？

（鄭国の高官であつた子皮は尹何を自分の領地の長官に任命しようと思いました。しかしながら、尹何は若すぎて経験が足りなかつたために、子産は子皮に言いました。）誰かを愛すると、その者の役に立てるようにしたいと思うものです。今、あなたはある者を気に入って政事を任せようとお考えですが、まるで刀の使えない者に切り刻ませるように、彼は恐らく自分のことを傷つけてしまひましょう。このような愛は、ただ相手を傷つけているにしかすぎません。これでは誰があなたの愛を求める勇氣がありましようか。あなたは鄭国にとつて、棟梁です。棟梁が折れてしまうと、屋根の骨子は崩れてしまひ、私もその下に押しつぶされましよう。ならば、どうして本音を言えないでいられましようか。もしあなたにきれいな錦織があつたら、あなたもそれを裁縫の練習教材として人を与えないことでましよう。重要な官職も、大きな領地も、あなた自身の庇護になるものなのに、勉強中の者にその政事を任せるとは。きれいな錦織よりも遙かに重要だというのに。よくよく勉強してから政事に携えるようになれると聞いたことはあるが、政治に携えながら勉強するとは、聞いたこともありません。もし最終的にそのように実行すれば、必ず弊害が起こります。例えば狩猟は、弓矢や車の操作が熟練してから、ようやく獸を捕まえられるのです。もしまだ車に乗つたことがなく、弓矢を使つたこともなかつたら、ただ車の転覆と人が押しつぶされやしないかと心配するばかりでましよう。どこに獲物のことを考える余裕がありましようか。

群書治要 360 3

四、任使（任命して使いこなします）

〔217〕智如原泉^①，行可以爲表儀^②者，人師也。智可以砥礪^③，行可以爲輔檠^④者，人友也。據法守職^⑤，而不敢爲非者，人吏也。當前快意^⑥，一呼再諾者，人隸也。故上主以師爲佐，中主以友爲佐，下主以吏爲佐，危亡之主以隸爲佐。欲觀其亡，必由其下。故同明者相見，同聽者相聞，同志者相從，非賢者莫能用賢。故輔佐左右所任使^⑦，有存亡之機，得失之要也，可無慎乎！（卷八 韓詩外傳）

【註釋】①原泉：源泉，即有源之水。原：「源」的古字。②表儀：表率，儀範。③砥礪：磨鍊，鍛鍊。④輔檠（qing / ㄑㄩㄥˋ）：相互矯正。檠：矯正，多指矯正弓弩。商務本此處校勘記云：「檠作弼（bi / ㄅㄧˋ）」。弼：輔佐，輔助。⑤守職：忠於職守。⑥當前快意：在人面前投合對方的心意。⑦任使：差遣，委用。

【白話】智慧像有源頭的泉水一樣永不枯竭，行爲可以作爲眾人表率的人，是人之師。智慧可以互相磨鍊提升、行爲可以互相矯正的人，是人之友。依據法規做事、恪守職責、不爲非作歹的人，是人之吏。在人前投合對方的心意，對方一呼喚，連聲應諾，是人之奴。所以有道的明君以人師作爲他的輔佐，中等才德的君主以人友作爲他的輔佐，下等的君主用人吏作爲他的輔佐，使國家危亡的君主用人隸作爲他的輔佐。要看一位君主是否會滅亡，一定先觀察他的下屬。所以眼光同樣敏銳的人能相互看見，耳朵同樣靈敏的人能相互聽到，志趣相投的人能相互跟隨，不是賢君就不能任用賢臣。所以君主對於左右輔佐大臣的委用，其中就隱藏著國家存亡的機兆、政治得失的關鍵，怎麼可以不謹慎對待呢？

218

親民授業，平理百事，猛以威吏，寬以容民者，令長^①之職也。然則令長者最親民之吏，百姓之命也。國以民爲本，親民之吏，不可以不留意也！（卷四十九 傅子）

【註釋】①令長：秦漢時治萬戸以上縣者爲令，不足萬戸者爲長。晉隋因之。後因以「令長」泛指縣令。

智慧が水源のように涸れることなく湧き出て、行いが衆人の模範になれるような者は、人の師です。互いに智慧を磨き上げ、行いを矯正しあえる者は、人の友人です。法規に従って物事を進め、己の本分と職責を守る者は、人の官吏です。人前では相手の気持ちに投合し、相手が呼べばすぐに何度も応える者、人の奴隷です。そのために、治世の道が分る明君は人の師を補佐にします。中の才徳を持つている君主は友人を補佐にします。下の才徳しか持たない君主は官吏を補佐にします。国を存亡の危機に陥れる君主は奴隷を補佐にします。一人の君主が滅亡するかどうかを知りたいのであれば、その部下をまず観察するべきです。何故なら、同じように目が鋭い者は互いのがよく見えます。同じように耳が敏い者は互いのがよく聞こえます。同じ志を持つている者は互いについていきます。賢明な君主でなければ、賢明な臣下を任用できません。そのために、君主が補佐に選ぶ左右の大臣の任命には、国の存亡の兆しや政治の変わり目が隠されています。どうして慎重に観察しなくていいのでしょうか。

【白話】愛護民眾授予田業，公平處理各項民事，嚴肅以使下級官吏有敬畏之心，寬大以使人民得到包容蓄養，這是縣官的職責。縣官是最接近人民的官吏，關係到人民的性命。國家以人民為根本，對直接親近人民的官吏不能不關注啊！

民を愛護して畑仕事を与えて、民に関する様々なことを公平に処理します。また、下級の官吏たちには厳しく接して敬畏の気持ちを抱かせるが、民には寛大に接して心身共に安らげるようにするのは、県長の勤めです。県長は民に最も近い官吏であり、民の命に深くかわっています。そのために、民を根本としている国にとって、民と直接に親しくする官吏のことを気にしないわけにはまいりません！

五、至公

219

公私之分明，則小人不嫉賢，而不肖者不妒功。故三王以義親^①，五伯以法正諸侯，皆非私天下之利也。今亂世之君臣，區區然皆欲擅一國之利，而蒐^{（蒐作）}一官之重，以便其私，此國之所以危也。（卷三十六 商君子）

【註釋】①故三王以義親：清末陶鴻慶先生認為，「以義親」下當有「天下」二字。今從之。

【白話】公私能夠分明，那麼小人就不會妒忌賢德之人，無能之輩也不會妒忌有功之臣。所以三王以道義來親和天下，五霸以法度來匡正諸侯，他們都不是把天下的利益據為己有。當今亂世的君臣，都得意地企圖獨佔一國之利或掌管一官之權，來滿足自己

的私欲，這就是國家危亡的原因。

公私が明白に分かれたら、器量の小さい者は徳性のある賢人のことを妬みません。無能な輩も功績のある臣下のことを怨みません。そのために、三王は道義で天下の人々の仲を親しくさせて、五霸は法規と制度で諸侯を正します。いずれも天下の利益を自分の物だとは考えておりません。今、乱世の君臣はみな、得意げに国の利益や官員としての権利を把握しようと企んでいます。自分の私欲を満足させるための一連の行為は、国が滅亡する原因です。

220

天無私覆也，地無私載也，日月無私燭^①也，四時無私爲也，行其德而萬物得遂長焉。遂，成。庖人

調和而不敢食，故可以爲庖。若使庖人調和而食之，則不可以爲庖矣。伯王^②之君（本書伯王作王伯，下同）

亦然。誅暴而不私，以封天下之賢者，故可以爲伯王。若使王伯之君誅暴而私之，則亦不可

以爲王伯矣。誅暴有所私枉，則不可以爲王伯。（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①燭：照亮；照見。②伯（ボウ／フ）王：應作「王伯」，成就王霸之業。伯：通「霸」。

作諸侯聯盟的首領；稱霸。

【白話】天的覆蓋沒有偏私，地的承載沒有偏私，日月照耀四方沒有偏私，四季的運行沒有

偏私。它們各自施行它們的恩德，所以萬物才得以生長。廚師烹調食物不敢擅自食

用，所以才可以當廚師。如果廚師烹製食物卻擅自食用，那就當不了廚師。能夠成

就王霸之業の君主也是如此，誅滅暴虐の諸侯而不為私利，以其土地分封給天下賢者來治理，所以可以為王為霸。如果誅滅暴虐而私自佔有其土地及財富，那也就不可能為王為霸了。

天の覆い隠すところにも、大地の積載するところにも、偏りはありません。また、日月が四方を照らし、四季が運行するのにも偏りはありません。それぞれにそれぞれの恩徳を実施しているから、万物は生長できます。料理人は料理を調理しながら自分で食べようとはしないから、料理人になれます。もし料理人が作った料理を勝手に食べたなら、その仕事を全うできません。霸王の偉業を成し遂げられる君主もそうです。暴虐な諸侯を消滅させるのは私利のためではありません。また、その土地を天下の賢人たちに分け与えて政事を任せられるから、王者や覇者になれます。もしそれらの土地や富をただ自分の物だと独り占めしていたら、王者や覇者にはなれないでしょう。

221 治天下者、當用天下之心為心、不得自專快意而已也！上之皇天^①見譴、下之黎庶^②恨怨。（卷

十九 漢書七）

【註釋】①皇天：對天及天神的尊稱。②黎庶：黎民；百姓。

【白話】（鮑宣上疏勸諫皇帝：）治理天下的人，應當以天下人之心為心，千萬不能孤行己見，恣意妄為啊！如果那樣，就會上遭天譴，下為百姓所怨。

天下を治める者は、天下の人々の心をわが心だと思ふべきです。決して自分一人の考えだけで物事を決めて、好き勝手をしてはいけません！そのようなことがあれば、上からは天罰を食らわされ、下からは民の恨みを買つてしまひましよう。

222

因^①井中視星，所視不過數星；自丘上以視，則見其始出，又見其入。非明益也，勢使然也。夫私心，井中也；公心^②，丘上也。故智載於私，則所知少；載於公，則所知多矣。（卷三十六 尸子）

【註釋】①因：依託，憑藉。②公心：公正之心。

【白話】從井中看星，所看到的不過幾顆星；從山丘上看星，那就能看到星星從天邊開始升起，又看到它們落下。這不是由於視力增加了，而是所處的地勢不同所造成的。遇事而本著私心，就好像處在井中；本著公心，就好像站在山丘之上。因此，智慧存在於具有私心的人身上，他所能知道的就少；存在於具有公心的人身上，他所能知道的就多。

井戸の中から星を見上げると、見えるのはわずか数個の星です。山の丘から見上げると、星が空高く上りつめ、また落ちていく姿が見えます。視力が良くなったわけではなく、立っている場所が違います。物事を決める時、私心だけに従うのはまるで井戸の中にいるようなものです。公のことを思いやれる心があれば、まるで山の丘に立っているようにな

れます。そのために、私心しか持っていない者に智慧があっても、その者の知りえることは少ないです。公のことを思いやれる者に智慧があると、その者は多くのことを知りえます。

223

唯至公，故近者安焉，遠者歸焉。枉直取正，而天下信之。唯無忌心，故進者自盡^①，而退不懷疑，其道泰然，浸潤^②之譖^③，不敢干也。（卷四十九 傅子）

【註釋】①自盡：竭盡自己的智慧和力量。②浸潤：逐漸滲透。引申為讒言漸進，積久而使人聽信。③譖（zen / り）：讒毀；誣陷。

【白話】只有無比公正，所以才能使近處的人安定，遠方的人歸附。對於是非曲直都以公正的態度面對，就會得到天下人的信任。唯有沒有猜忌之心，所以入朝者能竭盡自己的智慧和力量，退朝後不存疑慮，其治國之道安定無憂，想不斷進讒言的人也不敢造次。

この上なく公正でいる態度だけ、近くににいる者を安定させ、遠くににいる者を帰順させられます。物事の理非曲直に公正な態度で立ち迎えられたら、天下の人々の信頼を得られます。猜忌の心がないから、朝廷に仕えている者たちはその後のことを心配することなく、自分の智慧と力を思う存分に發揮できます。その治国の道は安定して悩みがなく、讒言しようとする者も変なことをしなくなります。

224

公道行，即邪利無所隱矣。向公即百姓之所道者一，向私即百姓之所道者萬。一向公，則明不勞而姦自息；一向私，則繁刑罰而姦不禁。故公之爲道，言甚約而用之甚博。（卷五十 袁子正書）

【白話】公正之道得以施行，則偏邪的私利就沒有藏身之地了。（所以君主之心）向公，百姓也會方向一致一心向公；（君主之心）挾私，那麼百姓追求的私欲就千差萬別。一心爲公，則明主不必操勞，而觸犯法令之事自然止息；一心向私，縱使刑罰繁多，姦邪的事也無法禁絕。所以公正作爲治國之道，言語很簡約，但作用很大。

公正の道を実行できたら、邪な私利に隠れるところはなくなります。そのために、君主の心が公正の道に向かっていると、民も方向を一致にして公正の道を目指すようになります。君主の心に私欲が混じっていると、民の追い求める私欲は千差万別でさらなる混乱になります。そのために、一心に公正の道を目指しているのならば、明君は疲れることなく、法令に抵触するようなことも自然に止みます。もし一心に私利を求めているのならば、たとえ多くの刑罰があっても、邪な悪事を禁絶することはできません。そのために、公正は国を治める道として、簡単な言葉ではあるが、非常に大きな作用を及ぼします。

225

利人者天下啓^①之，害人者天下閉之。天下非一人之天下也，取天下若逐野獸，得之而天下皆有分肉^②。若同舟而濟^③，濟則皆同其利，舟敗皆同其害。然則皆有啓之，無有閉之矣。（卷

三十一 六韜

【註釋】①啓：開；打開。②分肉：根據現存《六韜》版本可知「分肉」下應有「之心」二字。

③濟：渡河。

【白話】爲人民謀福利的人，天下人都會開門歡迎他；殘害百姓的人，天下人都會對他閉門不納。天下並非一個人的天下，取得天下，就像追捕野獸一樣，得到了，天下人就會有分享獵物的心。又像同船渡河一樣，抵達彼岸，大家就同蒙其益，舟壞了則同受其害。能與天下人同其利害，那麼天下之人都會支持他，而沒有抗拒他的。

民のために福利を求めようとする者は、天下の人々から大いに歡迎されます。民を殘害する者は、天下の人々から背を向けられてしまいます。天下は一人のものではありません。天下を取るのは、獸を追いかけて捉えるようなことです。手に入ると、天下の人々には獲物を分かち合おうとする心が生まれます。また、同じ一艘の船で河を渡るように、向こう側に着くと、皆して同じ利益を得られます。船が壊れてしまうと、皆して同じ被害を蒙ります。天下の人々と利害を共にすることができたら、その者は天下から支持されて、誰一人から断られないでしょう。

六、愛民

226

子曰：「民以君爲心，君以民爲體。心莊則體舒，心肅則容敬。心好之，身必安^①之；君好之，

民必欲之。心以體全，亦以體傷；君以民存，亦以民亡。」（莊，齊莊也。）（卷七 禮記）

【註釋】①安：對某種環境、事物感到安適或習慣。

【白話】孔子說：「人民以君主為心臟，君主以人民為軀體。心境莊重則身體安詳，心境肅正則外表恭敬。心所愛好的事物，身體就必然對它們感到安適和習慣；君主所喜好的事物，人民必然也想得到。心因為有身體而得以保全，也會因為身體有缺陷而受傷；君主因有人民而存在，也會因人民背棄而滅亡。」

孔子は言われました。「民は君主を心臓とし、君主は民を身体とします。心が落ち着いていれば、身体は安らげます。心が厳かであれば、外見は恭しく礼節を守れます。心が愛好することは、身体もそれに安らぎを感じて慣れ親しみます。君主の好むものも、民たちには必ず思いつけられます。心は身体があるから守られているが、身体に欠陥があると、心も傷つけられてしまいます。君主は民がいるから存在し、民から見捨てられると滅亡してしまいます」

227

財須民生，強賴民力，威恃民勢，福由民殖，德俟^①民茂^②，義以民行。六者既備，然後應天受祚^③，保族宜邦。《書》曰：「衆非后^④無能胥以寧，后非衆無以辟四方。」推是言之，則民以君安，君以民濟^⑤，不易之道也。（卷二十七 吳志上）

【註釋】①俟：等待。②茂：引申為昌盛，豐碩。③受祚：接受天地神明的降福。④后：上

古稱君主。⑤濟：成功，成就。

【白話】

（駱統上疏說：）財富需要百姓來創造，強盛要依靠百姓的力量，威勢要依憑百姓的勢力，福祉要由百姓來增加，德行有待百姓來興盛，仁義要憑藉百姓來實行。這六方面的條件具備了，然後就能順應天意，接受天地神明的福佑，保全宗族、造福國家。《尚書》上說：「民眾沒有君主，就不能都得到安寧；君主沒有民眾，就不能開闢四方。」由此推論，百姓憑藉君主而得以安定，君主依靠百姓而成就大業，這是永恆不變的真理。

（駱統は上書して言いました。）国の富みは民がいるからこそ創り出せるものです。強盛は民の力によって支えられます。威勢は民の勢力によって高められます。福祉は民によって増やされます。徳性と品行は民の参与によって興されます。仁義は民の実行によって実践されます。これら六つの条件が揃えば、天意に従って天地神明の庇護を受けて、宗族を保全し、国に福をもたらせます。『尚書』にありました。「民に君主がいないと、民は安らぎを得られません。君主に民がいないと、君主は四方を開けません」このことから分るように、民は君主によって安定を得られて、君主は民のお蔭で大業を成し遂げられます。これこそ永久に変わることのない真理です。

228

哀公問於有若曰：「年飢^①，用不足，如之何？」對曰：「盍徹^②乎？」

盍，何不也。周法什一而稅，謂之徹也。曰：

「二^③，吾猶不足，如之何其徹也？」二，謂什二而稅。對曰：「百姓足，君孰與不足？百姓不足，君孰與足？」（卷九 論語）

【註釋】①年飢：一年中穀物收成不好。飢：通「饑」。②徹：周朝的稅法，規定農民繳十分之一的稅，稱為「徹」。③二：指抽取十分之二之稅。

【白話】魯哀公問有若說：「年成不好，費用不足，應該怎麼辦？」有若回答說：「為什麼不實行原來的十分之一的稅制呢？」哀公說：「徵十分之二之稅，我尚感不足，怎麼能恢復十分之一的稅制呢？」有若說：「只要百姓的用度足，君王怎麼會不足？如果百姓用度不足，君王又怎能求自足？」

魯の哀公は有若に尋ねました。「年収が悪くて費用が足りないが、どうしたらよろしいでしょうか」有若は言いました。「どうして元の十分の一の税制を実行しなかったのでしょうか」哀公は答えました。「十分の二の税を徴収していても、私には物足りなく感じました。どうして十分の一の税制を回復していいのでしょうか」有若は言いました。「民にとって充分であれば、どうして君主にとっては物足りないのでしょうか。もし民にとって十分であれば、どうして君主は自分のことを考えていられますようか」

229

夫至人精誠^①内形，德流四方。見天下有利，喜而不忘^②；見天下有害，憂若有喪。夫憂民之憂者，民亦憂其憂；樂人之樂者，人亦樂其樂。故樂以天下，憂以天下，然而不王者，未之

有也。（卷三十五 文子）

【註釋】①精誠：真心誠意；至誠。②忘：玩忽、怠忽。

【白話】至德之人內心永保至誠，而恩德流布天下。他們看到天下人得到利益，雖高興卻不會懈怠（懂得居安思危）；見到天下人受到損害，就會憂心忡忡，好像有喪事一樣。以百姓之憂為己憂的人，百姓也以他的憂為己憂；以百姓之樂為己樂的人，百姓也以他的樂為己樂。所以，以天下之樂為樂、以天下之憂為憂，做到這樣而不能成就治國大業，是從來沒有過的事。

至德を備えた者の心はいつでも至誠でいられて、その恩徳は天下に広まります。天下の人々が利益を得たのを見ると、彼らは嬉しくなるが、仕事が疎かになることはありません。天下の人々が損害を蒙ると、彼らはまるで喪に服しているように、悩みに暮れてしまいます。民の憂い事をわが憂いとしているから、民もそのような者の憂い事をわが憂いとし、民の樂しみをわが樂しみとすれば、民もそのような者の樂しみをわが樂しみとします。このような境地に達していながら、国を治める大業を成し遂げられなかった者は、未だかつていませんでした。

230 父母之所畜^①子者，非賢強^②也，非聰明也，非俊智^③也，愛之憂之，欲其賢己也，人利之與我利之，無擇^④也，此父母所以畜子也。然則愛天下，欲其賢己也，人利之與我利之，無擇也，

則天下之畜^⑤亦然矣。此堯之所以畜天下也。（卷三十六 尸子）

【註釋】①畜（ヌ / ト）：養育。②賢強：有德行有勇力。③俊智：智慧過人。④無擇：沒有區別。⑤畜（ヌ / ト）：治理。

【白話】父母所養育的兒女，不一定有德行有勇力，不一定聰明，也不一定智慧過人，但父母都一樣疼愛，為兒女憂心，只是希望孩子將來能超過自己，不管是別人有益於孩子，還是自己有益於孩子，都是一樣，這就是為人父母養育孩子的用心。那麼，（君王）愛護天下人民，也是希望人民都能超過自己，至於是別人有益於他們，還是自己有益於他們，並不去區別，那治理天下也和父母養育子女是一樣的。堯帝就是這樣來治理天下的。

父母が養育する子どもは、必ずしも優れた徳性や勇氣を持っているわけではありません。また、必ずしも賢くて、人より勝る智慧を持っているわけではありません。しかしながら、父母は同じように子どもを可愛がり、子どものために心配し、ただ子どもがいつか自分を越えられることを夢見ています。人が子どもに利益をもたらしても、自分が子どもに利益をもたらしても、父母にとっては同じです。これこそ、父母が子どもを養育する時の苦心です。では、（君主が）天下の民を愛護する時も、民が自分を越えられることを夢見ています。人が民に利益をもたらしているのか、もしくは自分が民に利益をもたらしているのかを、君主は特に区別しません。ならば、君主が天下を治めるのは、父母が子どもを養育するのと同じです。堯帝はこのようなして天下を治めています。

231

誠愛天下者得賢。奚^①以知其然也？弱子有疾，慈母之見秦醫^②也，不爭^③禮貌；在囹圄，其走大吏也，不愛資財。視天下若子，是故其見醫者，不爭禮貌；其奉養也，不愛資財。故文王之見太公望也，一日五反；桓公之奉管仲也，列城有數。此所以其僻小，身至穢污^④，而爲正於天下也。（卷三十六 尸子）

【註釋】①奚：何。②秦醫：原指扁鵲，後泛指良醫。③爭：力求得到。④穢污：此處指桓公德行污穢。《說苑・尊賢》記載桓公殺兄而立等事。

【白話】真心愛護天下的人會得到賢才。何以知道是這樣呢？孩子生病了，慈母求見良醫，顧不得自己的尊嚴禮節；愛子陷入監獄，父母奔走求救於大官之間，也不會吝惜錢財。一個人把天下人看做自己的孩子，那麼尋找治理天下的良醫時，就不會計較禮貌，奉養他們也不會吝惜錢財。所以周文王拜見姜太公時，一天五次往返；齊桓公奉養管仲，將幾座城池都分封給了他。這就是爲什麼文王的國家雖然偏僻弱小，桓公的行爲雖然污穢不潔，卻能夠爲政於天下的原因所在。

心から天下を愛護する者は賢才を得られます。どうして分るのでしょうか。子どもが病にかかったら、慈愛な母はいい医者に見てもらおうと、尊厳も礼節も構っていられなくなりません。愛する子どもが牢獄に繋がれていたら、父母は大官に助けてもらおうと奔走し、金銭を惜しみません。天下の人々を自分の子どもだと見なしている者は、天下を治めるいい医者を探す時も、細かい礼節を気にしません。また、これらの賢才を奉養するの

233 弗作無益害有益，功乃成；弗貴^①異物^②賤^③用物^④，民乃足。遊觀^⑤爲無益，奇巧爲異物。言明王之道，以德義爲益，器用爲貴，所以化俗生民^⑥。（卷二 尙書）

【註釋】①貴：重視。②異物：奇特罕見之物。③賤：輕視。④用物：日常應用的用品。⑤

子路が政事を行う時の方法について尋ねました。孔子は答えました。「自分が率先して模範となり、徳性と品行で人々を勤勞であるように導きなさい」子路はさらに詳しく説明するように、孔子にお願いをしました。孔子は言われました。「私が今言ったことを実行して、決して怠らないことです」

232 子路問政。子曰：「先之，勞之。」孔子弟子仲由也。先導之以徳，使人信之，然後勞之。《易》曰：悅以使民，民忘其勞。請益。曰：「毋倦。」子路嫌其少，故請益。曰：無倦者，行此上事無倦則可矣。（卷九 論語）

【白話】子路問爲政之道。孔子說：「自己用徳行帶頭去引導，以身作則，然後教導人民要勤勞。」子路請孔子再說詳細些。孔子說：「按照上面所說去行，不要懈怠。」

に使う金銭をも惜しみません。そのために、周文王が姜太公に拝見した時は、一日に五回も往復しました。斉桓公が管仲を奉養する時も、いくつもの城を彼に分け与えました。これこそ、文王の国は辺鄙で弱小であっても、また、桓公の行いが穢れていて汚くても、天下を治められたゆえんです。

遊觀：遊逛觀覽。⑥生民：使民生，養民。

【白話】不要做無益的事去耽誤、妨害了有益的事，這樣才能成就治國大業；不看重奇異之物、不輕視實用之物，百姓才能富足。（賢明君主治國之道，以道德仁義為有益，以實用為貴，一切都是為了教化和養育人民。）

無益なこととで有益なことの邪魔をしてはなりません。そのようにしてこそ、治國の大業は成し遂げられます。奇異な物を重視せずに、実用な物を軽視しないからこそ、民は豊かな生活を送られます。（賢明な君主の治國の方法は、道徳と仁義を有益なものだとして、実用性を尊いものだとするが、全ては民を教化して養育するためです。）

234

《詩》曰：「凱^①悌^②君子，民之父母。」今人有過，教未施，而刑已加焉，或欲改行為善，而道無由至，朕甚憐之。夫刑，至斷支體、刻肌膚，終身不息^③，何其刑之痛而不德也！豈稱為民父母之意哉？（卷十四 漢書二）

【註釋】①凱：和樂，歡樂。②悌：溫和平易。③息：滋息，生長。

【白話】（漢文帝下詔：）《詩經》上說：「和樂平易的君子啊，是人民的父母。」如今人們有了過失，還沒有施以教化，而刑罰已經加到了他們身上，有的人想改過行善，卻沒有這樣的機會了，朕非常憐憫他們。刑罰能達到截斷肢體、刺刻肌膚，一生都不能再生長復原，這樣的刑罰是多麼令人苦痛而又不合道德！難道這符合為民父母的本意嗎？

235

（漢文帝は詔書を下しました。）『詩経』にありました。「穏やかで近づきやすい君子は、民の父母です」しかしながら、今や教化されるよりも前に、過ちを犯した人々の身には刑罰が降りかかっています。その中に過ちを改めて善行をしたい人がいても、彼らにはもうそのような機会がありません。朕は彼らのことが非常に不憫です。刑罰は肢体を切断して肌を切り刻み、二度と元通りに復元することはありません。このような刑罰はどれほど苦しくて不道德なものでしょうか！まさかこれが民の父母としての本意に一致していると言うのでしょうか。

《詩》云：「樂只^①君子，民之父母。」民之所好好之，民之所惡惡之，此之謂民之父母。言治民之道無他，取於己而已。

好人之所惡，惡人之所好，是謂拂人之性，災必逮^②夫身。逮，猶逮也。（卷七 禮記）

【註釋】①只：語氣助詞。②逮（*de* / *ㄉㄞˋ*）：及、及至。③俛（*fu* / *ㄈㄨˇ*）：牴觸、違逆。

【白話】《詩経》上説：「和樂的君主呀！就像我們老百姓的父母。」老百姓喜歡的事情君主也喜歡，老百姓厭惡的事情君主也厭惡，這就可以算作是老百姓的父母了。喜歡做眾人都厭惡的事，而厭惡眾人都喜歡的事，這就叫違逆人性，災禍一定會降臨到他的身上。

『詩経』は言いました。「穏やかで近づきやすい君主は、我々民らの父母のようです！」民の好むことを君主も好み、民の嫌うことを君主も嫌うなら、これは民の父母と言えます

しょう。皆の嫌うことを好み、皆の好むことを嫌うのは、人性に背くことです。禍は必ず彼の身に降りかかりましょう。

七、綱紀

236

太上^①使民知道，其次使民知心，其下使民不得爲非。使民知道者，德也；使民知心者，義也；使民不得爲非者，威禁^②也。威禁者，賞必行、刑必斷之謂也。此三道者，治天下之具也。欲王而王，欲霸而霸，欲強而強，在人主所志也。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①太上：最上，最高。②威禁：法令，禁令。

【白話】最高的境界是讓人民通曉天地及人世的大道；其次是讓人民懂得仁愛之心；最下的是讓人民不做壞事。讓人民通曉天地人世的大道，靠的是領導者的德行；讓人民懂得仁愛之心，靠的是領導者的道義；讓人民不做壞事，靠的是領導者施行法令。所謂法令，就是有功必賞，有罪必罰。這三個原則，是治理天下的手段。（奉持這三者）想成就王業就能成就王業，想成就霸業就能成就霸業，想國家強盛就能強盛，這就要看君主的志向了。

最高の境地は、民が天地及び世の中の大道について精通できるようにすることです。その次は、民に仁愛の心を分らせることです。最も下なのは、民が悪事に手を出さないよう

237

子曰：「導千乘之國^①，導謂爲之政教也。敬事而信，爲國者舉事必敬慎，與民必誠信也。節用而愛人，節用，不奢侈也。國以民爲本，故愛養之。使民以時。」
不妨農務也。（卷九 論語）

【註釋】①千乘（shèng / ㄔㄥˋ）之國：能出動千輛兵車的諸侯國。乘：車子。春秋時多指兵車，包括一車四馬。

【白話】孔子說：「治理一個擁有千輛兵車的諸侯國，國事須用真心恭敬謹慎處理，對人民要誠信；節省費用，愛護百姓；使用民力，要選擇農事閑暇之時。（不妨礙農事生產活動。）」

孔子は言われました。「千台の兵車を有する諸侯の国を治めたいのであれば、真心で国事を慎重に、恭しく処理しなければなりません。民には誠意と信用を持って接しなさい。

にすることです。民に天地及び世の中の大道を精通してもらうのには、指導者の徳性と品行が必要です。民に仁愛の心を分らせるのには、指導者の仁義が必要です。民が悪事に手を出さないようにするには、指導者が法令を執行することが必要です。いわゆる法令というのは、功労があれば褒美を与え、罪があれば必ず罰することです。これら三つの原則は、天下を治めるための手段です。（これら三つの手段を持つてさえすれば、）王業を成就したかったら王業を成就できるし、覇業は成就したくても覇業を成就できます。また、国の強盛も思いのままです。全ては君主の志向に任せられます。

費用を節約して民を愛護しなさい。民の力を借りる時は、農事の休閑の時期を選びなさい（農業の生産活動の邪魔にならないためです。）」

238

定公^①問：「君使臣，臣事君，如之何？」定公，魯君諡。孔子對曰：「君使臣以禮，臣事君以忠。」（卷九 論語）

【註釋】①定公：姬姓，名宋，為春秋時期魯國君主之一，昭公之弟，哀公之父。孔安國先生註：「定公，魯君諡。時臣失禮，定公患之，故問之。」

【白話】魯定公問：「君王指揮臣子，臣子奉事君王，應當如何呢？」孔子回答說：「君王指揮臣子要依國家的禮法規矩，臣子奉事君王要盡忠職守。」

魯の定公は尋ねました。「君王が臣下を指揮し、臣下が君王に仕える時は、どのようにすれば良いのでしょうか」孔子は答えました。「君王が臣下を指揮する時は国家の礼法と規則に従うべきです。臣下が君王に仕える時は忠義を尽して職責を全うするべきです」

239

治國有四：一曰尚^①德，二曰考^②能，三曰賞功，四曰罰罪。四者明則國治矣。夫論士不以其德，而以其舊^③，考能不以其才，而以其久，而求^④下之貴上，不可得也。賞可以勢求，罰可以力避，而求下之無姦，不可得也。（卷五十 袁子正書）

【註釋】①尚：重視。②考：考核。③舊：故交，老交情。④求：責求。

【白話】治國有四個要點：一是崇尚道德，二是考校人才，三是賞賜有功，四是懲罰犯罪。四者嚴明了，國家就太平了。如果選拔官員不是著眼於他的德行而是看彼此的交情，考量人才不是以他的才能而是以他在位時間的長短，而要求下級尊重上級，那是辦不到的；獎賞可以依靠權勢取得，刑罰可以靠權勢逃避，卻希望臣下沒有姦邪的行為，那是辦不到的。

國を治めるには四つの要点があります。一、道德を推奨すること。二、人材を評価すること。三、功労のある者に褒美を与えること。四、犯罪を懲罰すること。これら四つのことが厳しく明朗に実行されると、国は太平でいられます。もし官員を選抜する時はその徳性と品行に着眼するのではなく、互いの仲の良さで評価し、その才能ではなく、在位している時間の長さで評価しているのならば、下級から上級への尊敬を要求するのは、とうてい無理のある話です。奨励が権勢によつて得られ、刑罰が権勢によつて逃れられると、臣下に邪な行爲がないように望むのは、無理のある話です。

〔240〕先王爲禮，以達人之性理，刑以承禮之所不足。故以仁義爲不足以治者，不知人性者也，是故失教，失教者無本也。以刑法爲不可用者，是不知情僞者也，是故失威，失威者不禁也。故有刑法而無仁義，久則民忽，民忽則怒也；有仁義而無刑法，則民慢，民慢則姦起也。故曰：本之以仁，成之以法，使兩通而無偏重，則治之至也。夫仁義雖弱而持久，刑殺雖強而速亡，

自然之治也。（卷五十 袁子正書）

【白話】古代先王制定禮法來實現人們本性的仁義，調整刑罰來彌補禮制的不足。所以認為仁義不足以治國，是不懂得人性本善，於是就缺乏教化，缺乏教化的治理就失去了根本。認為刑罰不可以治國的，是不了解人習性的偽詐，於是就失去威懾，失去威懾就不能禁止惡行。所以有刑法而沒有仁義，時間久了百姓就會疏忽道義，百姓疏忽道義就會發生叛亂；有仁義而沒有刑法，百姓就會怠慢，百姓怠慢，就會作姦犯科。所以說，以仁義為根本，以法律為佐助，使兩者結合而不偏重，這是治理國家的最高境界。仁義教化雖不顯著，但是效果持久；刑罰效果顯著，（過分依賴）卻會加速國家的滅亡。這是治理國家的自然之道啊。

昔の先王たちは礼法を制定して、人の本性である仁義を実現させようとした。そして、刑罰を調整することによって礼法と制度の不足を補おうとしました。そのため、仁義では国を治められないと思うのは、人性は本来善良なものだという道理をまだよく分っていないからです。教化が足りないがために、治理は根本を失ってしまいます。刑罰では国を治められないと思うのは、人の譎詐する習性をまだよく分っていないからです。そのために、威厳を失ってしまい、悪行を阻止できなくなります。ゆえに、刑法はあっても仁義がないと、時間が経つと民は道義を疎かにしてしまいます。そして叛乱が起こります。仁義があっても刑法がないと、民は怠慢になり、悪事に手を染めてしまいます。従って、仁

義を根本にして、法律を補佐にすることです。両者を結びつけて、どちらにも偏ることがなかったら、国を治めるのに最高の境界です。仁義による教化は目立たないが、長い効果があります。刑罰は顕著な効果があるが、（依頼しすぎると、）国の滅亡を加速してしまいます。これは国を治める上の自然の理です。

241

古者篤教^①以導民，明辟^②以正刑。刑之於治，猶策^③之於御也。良工^④不能無策而御，有策而勿用也。聖人假法以成教，教成而刑不施。（卷四十二 鹽鐵論）

【註釋】①篤教：竭誠於教化。②明辟：嚴明法律。辟：法，法度。③策：驅趕騾馬役畜的鞭棒。④良工：古代泛稱技藝高超的人。

【白話】古時候，聖人竭誠用孝悌仁義的教化來引導百姓，把法令宣講清楚以依法執行刑律。用刑律來治理國家，就像用馬鞭駕車一樣。技藝再高的駕車者也不能沒有馬鞭駕車，而是拿著馬鞭但不輕易使用罷了。聖人藉助於法令來做好教化工作，教化成功了，也就不需要實行刑罰了。

昔、聖人は心を尽して考悌仁義で民を教化し、導こうとしました。そして、法令をよく宣伝してから、法に従って刑律を執り行っていました。刑律で国を治めるのは、鞭で馬車を御するようなものです。どれほど腕のいい御者でも、鞭がなくては馬車を乗りこなせないが、軽々しく使わないようにしているだけです。聖人も法令の助けを借りて教化の仕事

をよくしています。教化が浸透したら、もう刑罰を実行する必要はなくなります。

242

臣聞咎繇^①戒帝舜曰：「亡敖^②佚欲^③有國^④，兢兢業業，一日二日萬幾^⑤。」……箕子^⑥戒武王曰：「臣無有作威作福，亡有玉食；臣之有作威作福玉食，害於而^⑦家，凶於而國，人用側頗辟^⑧，民用僭慝^⑨。」（後補卷二十 漢書八）

【註釋】①咎繇：亦作「咎陶」，即皋陶，舜之賢臣。咎：通「皋」。以下咎繇勸誡之言引自《尚書・皋陶謨》。②亡敖：不要讓，不要使。亡：通「毋」、「無」。表禁止。敖：當為「教」。《尚書》通行本原文為：「無教逸欲有邦，兢兢業業，一日二日萬幾。」③佚欲：謂貪圖安樂，嗜欲無節。佚：同「逸」。④有國：指成為有封地的諸侯。⑤萬幾：同「萬幾」，謂當戒懼萬事之微，後指帝王日常處理的紛繁的政務。機：同「幾」，微。⑥箕子：商紂之叔父，封於箕。因紂王不聽其諫，乃披髮佯狂為奴，為紂王所囚，後歸於周。以下箕子勸誡之言引自《尚書・洪範》。⑦而：你，你的。⑧側頗辟：謂邪枉不正。側：傾斜。頗僻：偏邪不正。當代吳璦先生則認為：「此三字同義，古書未有此例，當衍一字。乃係旁註而闌入正文者。當曰：『人用頗側』。』可備一說。⑨僭慝（*te / ちて*）：謂越禮踰制，懷有貳心。慝：通「忒」。疑貳，指因疑慮而生貳心。

【白話】

（王嘉進上密封的奏疏說：）臣聽說咎繇告誡舜帝說：「不要使縱樂貪欲的人成為諸侯（即不讓他們得勢），必須要天天戒慎恐懼，來處理成千上萬的國事。」……

箕子告誡武王說：「一般的官吏是沒有獨攬賞罰大權、沒有享受美食的；如果一般官吏也能行使賞罰之權、享受美食，那將有害於您的家族，有害於您的國，（權歸於臣，則官員和百姓就逢迎趨附），國人會因此偏邪不正，百姓都會踰越禮法，懷有貳心了。」

（王嘉が秘かに上書した内容にありました。）咎繇が舜帝をこのように戒めたと聞きました。「樂しむことばかりを考えて貪欲な者に、諸侯にならせてはなりません。（すなわち、彼らに勢いをつけさせられてはいけません。）日々、慎み深い戦々恐々な態度で、千百の国事を執り行わなければなりません」……箕子は武王に戒めました。「一般の官吏は賞罰の大権を独り占めにしたり、美食を享受したりしていません。もし一般の官吏でも賞罰の権利を行使し、美食を享受することができたら、あなた様のご家族と国に害を及ぶことでしょう。（権力が臣下の方にあると、他の官員と民はその者に迎合して媚びるからです。）国民たちはこれで邪な正しくない人間になってしまい、民も礼法を越えて不誠実になってしまいます」

243

以八柄^①詔^②王馭^③群臣：一曰爵，以馭其貴；二曰祿，以馭其富；三曰予，以馭其幸^④；四曰置，以馭其行；五曰生^⑤，以馭其福；六曰奪^⑥，以馭其貧；七曰廢，以馭其罪；八曰誅^⑦，以馭其過。

柄，所秉執以起事者也。詔，告也。助也。爵，謂公侯伯子男卿大夫士也。祿，所以富臣下也。幸，謂言行偶合於善，則有以賜與之勸後也。生，猶養也。賢臣之老者，王有以養之也。奪，謂臣有大罪，沒入家財者也。誅，責讓也。

（卷八 周禮）

【註釋】①柄：權柄，權威。②詔：告。這裡指幫助。③馭：統治，治理。這八項都是驅群臣向善的方法，所以用「馭」字。④幸：褒賞。⑤生：養。⑥奪：沒收家財。⑦誅：指責，責備。

【白話】（太宰）以八種權柄輔佐君主統禦群臣使大家向善：一是封給爵位，使臣下尊貴；二是給予俸祿，使臣下富有；三是給予賞賜，使臣下感受到君主的關愛器重；四是委任官職，以使臣下提升品行；五是供養厚待立下大功勳之功臣，使其得福；六是沒收財產，使犯罪的臣下貧窮；七是罷黜官職，流放邊疆，以懲戒臣下罪行；八是問責，以追究臣下失職之過失。

（太宰は）八つの權利で君主を補佐し、皆が善良になれるように群臣を統御します。一、爵位を与えることによって、臣下を尊い身分にします。二、俸祿を与えて、臣下が豊かになれるようにします。三、褒美を与えて、臣下が君主からの関心と重視を感じられるようにします。四、官職を与えて、臣下の品行と徳性が上昇できるようにします。五、大きな功勞を立てた功臣を厚くもてなし、福を得られるようにします。六、財産を没収して、罪を犯した臣下が貧しくなるようにします。七、官職を免職させて辺境に流すことによって、臣下の罪を懲罰します。八、責任を問い、臣下が失職した過ちについて追求します。

244 明君如身，臣如手；君若號^①，臣如響。君設^②其本，臣操其末；君治其要，臣行其詳；君操其柄，臣事其常。爲人臣者，操契^③以責^④其名。名者，天地之綱，聖人之符^⑤。張天地之綱，

用聖人之符，則萬物之情^⑥，無所逃^⑦之矣。（卷三十六 申子）

【註釋】①號：高叫。②設：謀劃。③契：符節、憑證、字據等信物。古代契分為左右兩半，雙方各執其一，用時將兩半合對以作徵信。④責：要求；期望。⑤符：古代憑證，符券、符節、符傳等信物的總稱。⑥情：實情，情況。⑦逃：指藏，隱匿。

【白話】英明的君主好比是身體，臣下就如同手臂；君主好比喊聲，臣下就如同回聲。君主謀劃根本大計，臣下操辦具體細節；君主治理關鍵問題，臣下實施詳細措施；君主掌握國家權柄，臣下從事日常事務。作為臣子，手握符契（任職憑證），就要以此要求自己名實相符。名，是天地的綱紀，是聖人（做事）的符節。伸張天地的綱紀，使用聖人的符節，那麼萬事萬物的情況，就無所隱瞞了。

英明な君主はまるで身体のように、臣下はその手です。君主が呼び声ならば、臣下はそのこだまです。君主が根本の大計を計画しているのならば、臣下は具体的な細かいところを処理します。君主が鍵となる問題に取り掛かっているのならば、臣下は詳細な行動を実行します。君主が国の権力を握っているのならば、臣下は日常的な事務を行います。臣下として、手に符契があつて出仕しているのならば、職名に見合うだけの仕事をするように自分を要求するべきです。名は天地の綱紀で、聖人が物事を行う時の符節です。天地の綱紀を発揚し、聖人の符節を使えたら、万事万物の状況に見えないことはありません。

245 富者奢侈羨溢^①，貧者窮急^②愁苦，而上不救，則民不樂生。民不樂生，尚不避死，安能避罪

③？此刑罰之所以繁，而姦邪不可勝者也。故受祿之家，食祿而已，不與民爭業，然後利可均布，而民可家足也。此上天之理，而太古之道。天子之所宜法以爲制，大夫之所當循以爲行也。

（卷十七 漢書五）

【註釋】①羨溢：富裕，豐足。②窮急：窮困急迫。③避罪：避免獲罪，懼怕獲罪。

【白話】（董仲舒回答策問說：）富有的人生活奢侈，豐裕過度，貧窮的人窮困急迫、愁苦不堪，而在上位者不去治理救助，那麼人民就會感覺到活著沒有樂趣。人民如果不樂意活著，那就連死都不會躲避，又怎能懼怕犯罪呢？這就是刑罰繁多但姦邪仍然制止不了的緣故。所以享受俸祿的人家，以俸祿爲生就行了，不應當再與人民爭奪產業，然後利益就可以普遍分布，而百姓也可滿足家用了。這是上天的公理，也是遠古的治國之道，天子應該效法作爲制度，大夫也應當遵循作爲自己的行爲準則。

（董仲舒は策問という試験に対して、このように答えました。）「裕福な者が豪華な生活をして、過ぎた贅沢をしていながら、貧しい者が貧困な生活に迫られて、この上なく苦しまれています。なのに、上位にいる者が正して助けようとしなければ、民は生きていても楽しくないと感じます。もし民が生きることを楽しさを見出せないのならば、死から避けようとしませんでしょう。だとしたら、犯罪を恐れるわけがありませんか。これこそ、いくら刑罰が複雑で多くあっても、邪な悪行を止められない理由です。そのために、俸祿をいただいている家は、生活できるだけの俸祿をいただければ、それで充分です。民

とそれ以上の産業を争つてはいけません。そのようにすれば、利益は遍く広まり、民も家族を養えます。これは天が決めた公理であり、また、遠い昔から伝わる治国の方法でもあります。天子はこれを見習つて制度にするべきです。大夫もこれを自分の行為の準則にするべきです」

246

凡法令更，則利害易；利害易，則民務變；民務變，謂之變業。故以理觀之，事大衆而數^①搖之，則少成功；藏大器^②而數徙之，則多敗傷；烹小鮮^③而數撓^④之，則賊其宰^⑤；治大國而數變法，則民苦之。是以有道之君貴虛靜，而重變法。故曰：「治大國者，若烹小鮮。」（卷四十 韓子）

【註釋】①數（shù / 数）：屢次。②大器：寶器。③小鮮：小魚。④撓（nǎo / ㄋㄠˇ）：擾動；攪亂。⑤宰：古代掌管膳食的小吏；廚師。

【白話】凡是法令變更，利害情況就跟著改變；利害情況改變了，民眾就會改變其所從事的工作；從事的工作改變，就稱為改行。所以從這個道理來看，讓大眾做事業如果頻繁地變動他們，就少有成功；收藏珍貴器物假如經常遷移，就會多有毀壞；烹煮小魚如若經常攪動，就會有損廚師的烹飪之功；治理大國要是政策經常朝令夕改，那麼百姓就會深受其苦。因此懂得治國之道的君主最重清虛恬靜，而對於變更法令很慎重。所以說：「治理大國，就像烹飪小魚一樣。」（不能夠反覆翻攪）。

凡そ法令が変更すると、利害情勢もつられて変わってしまいます。利害情勢が変わると、民も従事する仕事を変えてしまいます。従事する仕事が変わることは、転職と言います。このことから見ると、大衆の事業をよく変えさせると、その事業が成功することはめったにありません。貴重な器物を所蔵する時も、もしよく移動させたりすると、壊れてしまうことが多々あります。小魚を料理する時も、もしよく攪拌したりすると、料理人の腕前が損なわれてしまいます。大国を治める時、もし政策がよく朝令暮改な状態であれば、民は安定しない生活に大いに苦しまれることになります。そのために、治国の方法が分る君主は安らかで落ち着いたやり方を最も大事にして、法令の変更にはいつも慎重です。ゆえに、「大国を治めるのは、小魚を調理するようなことです」とも言われています。（繰り返して攪拌してはならないように、朝令暮改の状態にしてはいけません。）

247

上人^①疑、則百姓惑；下難知^②，則君長勞。難知，有姦心也。故君民者，章^③好以示民俗，慎惡以御^④民之

淫^⑤，則民不惑矣。淫，貪侈也。《孝經》曰：「示之以好惡，而民知禁也。」（卷七 禮記）

【註釋】①上人：居於上位の人，指君主。②難知：指心懷欺詐，難知其心。③章：通「彰」，

彰明。④御：治理，控制。⑤淫：貪逸奢侈。

【白話】居上位の人好悪不明，就會使人民疑惑而無所適從；居下位の人心懷欺詐，難知其心，就會使上位者格外操勞。因此治理人民的領導者，應該表彰優良的道德規範，以引

導社會的風俗人情；慎重懲處罪過，以防止人民流於貪奢放逸的風氣，這樣人民就不會陷於迷惑了。

上位にいる者の好みがよく分らないと、民は困惑してどのようにすればいいのかわからなくなってしまう。下位にいる者が不誠実な心でいると、その真意を知るのは難しく、上位にいる者は特に疲れます。そのために、民を治める指導者は、優良な道德規範を表彰し、社会の風俗と人情を牽引するようにするべきです。そして、民が豪奢で放逸な風潮に流されないように、罪や過ちには慎重に懲罰を与えます。このようにすれば、民が困惑することはなくなります。

八、礼楽

248

先王制禮也以節事^①，

^{勸反本}

脩樂以導志^②也。

^{勸之善}

故觀其禮樂，而治亂可知。

^{亂國禮慢而樂淫也。}

（卷七 禮記）

【註釋】

①節事：謂行事有節制，使合乎準則。②反本：復歸本源或根本。本：孔穎達先生說，得民心之事為禮之本。

【白話】

古聖先王制定禮儀制度是為行事有所節制（一切政治舉措不離為民造福這一根本），制定音樂來勉勵自己向善的志向（使行善不倦）。因此觀察禮樂的情況，便可了解這個國家的治亂（亂國禮節輕忽怠慢，音樂放縱而無節制）。

古の聖人や先王が礼儀制度を制定したのは、物事を行う時に節制できるようにするためです。（全ての政治的な行いは民の幸せのために、という根本から離れません。）音楽を制定したのは、自分が善良を目指す志を励ますためです。（善行を怠らないようにするためにです）。そのために、礼法と音楽の状況を観察すれば、この国がきちんと治められているかが分ります。（乱れた国の礼節は疎かにされて、音楽は妄りに節制がありません。）

249

子張問聖人之所以教，孔子曰：「師^①乎，吾語汝。聖人明於禮樂，舉而措^②之而已。」子張又問，孔子曰：「師，爾以爲必布几筵^③，揖讓升降^④，酌獻^⑤酬酢^⑥，然後謂之禮乎？爾以爲必行綴兆^⑦，執羽籥^⑧，作鐘鼓，然後謂之樂^⑨乎？言而可履，禮也；行而可樂，樂也。聖人力此二者，以恭己^⑩南面^⑪，是故天下太平，萬國順服，百官承事，上下有禮也。」（卷十 孔子家語）

【註釋】①師：即子張。姓顓孫，名師。事又見《禮記・仲尼燕居》。②措：施行。③几筵（yu / hī - ざ）：猶几席，爲古人憑依、坐臥的器具。几：古人坐時憑依或擱置物件的小桌。筵：以竹篾、枝條和蒲葦等編織成的席子。古代用來鋪地做坐墊。④揖讓升降：均指接待賓客之禮。揖讓：作揖謙讓，古代賓主相見的禮儀。升降：上升與下降。迎送賓客的禮儀。⑤酌（zhuo / せ）獻：酌酒獻客。酌：斟酒。⑥酬酢（chou

NUO / イヌメ）：主客相互敬酒，主敬客稱酬，客還敬稱酢。指朝聘應享的禮儀。⑦
綴兆：古代樂舞中舞者的行列位置。⑧羽籥（YUE / ヲ）：古代祭祀或宴饗時，文
舞舞者所持的舞具和樂器。羽：指雉羽。籥：一種編組多管樂器。⑨樂：使其歡樂。
⑩恭己：恭謹以律己。⑪南面：古代以坐北朝南為尊位，故帝王諸侯見群臣，或卿
大夫見僚屬，皆面向南而坐，因用以指居帝王或諸侯、卿大夫之位。

【白話】子張向孔子請教君王如何實施教化治理政事，孔子說：「子張啊，我來告訴你。聖
王通曉『禮』和『樂』，把它們交互施用罷了。」子張進一步請教，孔子說：「子張，
你認為一定要大擺宴席，賓主拱手相讓上座下座，相互斟酒敬獻，這樣才叫做『禮』
嗎？你認為一定要舞者排列好行列和位置，手拿雉羽和樂器，擊鳴鐘鼓，這樣才叫
做『樂』嗎？說出的話可以踐行，就是『禮』；施行起來能夠使大家歡樂，就是『樂』。
聖王能勉力做到這兩點，以恭敬律己的態度居於帝位，因此天下得以太平，各國順
服，百官盡職盡責，上上下下都有禮節。」

君主はどのようにすれば教化を實行して政事を執り行えるのかと、子張は孔子に教えを
請いました。孔子は言われました。「子張よ、お教えしましょう。聖王は『礼』と『樂』
によく精通しているが、ただこれらを代わる代わるに實行しているだけです」子張がさら
に尋ねると、孔子は言われました。「子張、盛大な宴で賓客が互いにかしこまって席を譲
り合い、酒を注ぎ合うことだけが『礼』だと思つていますか。それとも、踊り子が行列を

作って位置につき、手にキジの羽と楽器を持って鐘と鼓を鳴らすことだけが『楽』だと思っ
ていますか。実は、言ったことが実践できたら、『礼』です。その実践によって皆が楽し
くなれば、『楽』です。聖王は力を尽してこの二つのことを達成しようとして、恭しく自
分律するという態度で帝位に座しているから、天下は太平でいられました。各国も恭順な
態度でいて、百官は責任を持って職務を全うしました。上から下まで皆礼節を守
れたのです」

250

簡子^①曰：「敢^②問，何謂禮？」對曰：「吉^③也聞諸先大夫子產，曰：『夫禮，天之經，

經者，道之常也。地之義，義者，利之宜也。民之行。行者，人所履也。天地之經，而民實^④則^⑤之。則天之明，日月星辰，天之明也。因地之性，

高下剛柔，地之性也。生其六氣^⑥，陰陽風雨，晦明。用其五行。金木水火土也。氣爲五味，酸鹹辛苦。發爲五色，青黃赤白黑，發見也。章爲五聲，宮商角徵羽。

淫^⑦則昏亂，民失其性。滋味聲色，過則傷性也。是故爲禮以奉^⑧之。』」（卷六 春秋左氏傳下）

【註釋】①簡子：趙簡子，即趙鞅。嬴姓，趙氏，原名鞅，後名志父，諡號簡。春秋後期晉

國卿大夫，六卿之一，晉定公時執政晉國十七年之久。②敢：謙詞。猶冒昧。③吉：

春秋時鄭國正卿游吉，姬姓，游氏，名吉，字子太叔。④實：通「寔」(shí/尸)。

清代惠棟先生說：「案古文《孝經》『實』作『是』，『是』即古『寔』字，見《尚

書·秦誓》及《詛楚文》。鄭氏《詩箋》云『趙魏之東寔、實同聲』，故此傳文又

作『寔』。』⑤則：效法，作爲準則。⑥六氣：自然氣候變化的六種現象，指陰、陽、

風、雨、晦、明。⑦淫：過度、無節制。⑧奉：猶保全。

【白話】趙簡子說：「敢問什麼叫禮？」子太叔回答說：「我曾聽先大夫子產說：『禮，是上天的常道、大地的法則、人們行事的依據。天地的常道，人們以此為準則來制禮、守禮。（聖王）效法日月星辰常明之義，依循大地高低剛柔、恆常的性質（而制禮），衍生了上天的六氣，運用大地的五行。五行之氣入人之口為五種味道，顯露於眼為五種顏色，顯示在耳為五種聲調。滋味聲色過度則會使人迷惑混亂，人們就會因此而迷失本性。所以要制定禮來幫助人們守持本性。』」

趙簡子は言われました。「敢えて礼とは何かと問いましょう」子太叔は答えました。「私は先代の大夫である子産から聞いたことがあります。『礼とは、天の常に変わらない真理や、大地の法則、人々が物事を行う時の抛り所です。天地の常に変わらない真理を準則にして、人々は礼を制定し、守りました。（聖王は）日月や星が常に輝いているように、変わることもない大義を見習います。また、大地の高低や剛柔などの性質に従って、礼法を制定しました。そして天にある六つの気と、大地を巡る五行を用いました。五行の気は人の口に入ると、五つの味になります。人の目にはいると、五つの色になります。人の耳に入ると、五つの声調になります。味も声音も度が過ぎると、人を混乱させて戸惑わせてしまい、本性を失わせてしまいます。そのために、人が本性を守れるように礼法を制定します。』」

251

周監^①二代，禮文^②尤具，事爲之制，曲^③爲之防，故稱禮經三百，威儀三千^④。於是教化浹洽^⑤，民用和睦，災害不生，禍亂不作，囹圄空虛，四十餘年。（卷十四 漢書二）

【註釋】①監：通「鑑」。借鑑，參考。②禮文：指禮樂制度及其具體規定。③曲：細事，小事。④禮經三百，威儀三千：指各種行禮的儀式有三百條，禮儀的細節有三千條。

《禮記・中庸》及《大戴禮・衛將軍文子》均作「禮儀三百」。⑤浹洽（jiàn qià）
／リョウリョウ）：普遍沾潤。

【白話】周朝借鑑夏、商兩代，禮制儀文尤其完備，大事上定有制度，小事也都有防範，所以說禮節儀式有三百條，禮儀細節有三千條。於是教化遍及百姓，人民之間和睦相處，災害不發生，禍亂也不出現，全國的監獄連續四十多年沒有收押過一個犯人。

周朝は夏、商ら二つの治世を見習ったが、特に礼制と条文は完備されていました。大きな事柄には制度が設けられ、小さなことにも規定がありました。そのために、礼儀の法制は三百条あまりで、さらに細かい条目は三千にも及ぶと言われました。ゆえに、多くの民を遍く教化できて、民と民の間は仲睦まじく、災いも動乱も起こりません。全国の監獄は四十年も一人の犯人を収容したことがありませんでした。

252

傳子曰：「能以禮教興天下者，其知大本之所立乎！」夫大本者與天地並存，與人道俱設，雖蔽^①天地，不可以質文損益變也。大本有三：一曰君臣，以立邦國；二曰父子，以定家室；

三曰夫婦，以別内外。三本者立，則天下正；三本不立，則天下不可得而正；天下不可得而正，則有國有家者亟亡，而立人^②之道廢矣。（卷四十九 傅子）

【註釋】①蔽：蒙蔽；壅蔽。②立人：立身，做人。

【白話】傅子說：「能夠用禮義教化而興旺國家的，是知道治理國家的大根本大啊！」大根本，是與天地同在的，是與人倫相互依存的。即使天地被蒙蔽了，大根本的形式有所增減，但實質從未改變。根本有三：一是君仁臣忠，這是安邦定國之本；二是父慈子孝，這是安家立業之本；三是夫義婦德，這是區分内外之本。這三種根本關係的道義確立了，則天下歸於正道；反之，天下就不能歸於正道。天下不能歸於正道，有國的諸侯、有家的卿大夫會很快衰亡，立身做人的準則也會廢棄。

傅子は言われました。「礼と義の教化で国を興せる者は、治国の大いなる根本を知っている者です！」大いなる根本は、天地と共にあり、人倫と互いに依存しているものです。たとえ天地が覆い隠されて、大いなる根本の形式に変わりがあっても、その實質はいつも変わりませんでした。根本は三つあります。一、仁愛な君主と忠実な臣下。これは国を安定させるための根本です。二、慈愛な父母と親孝行な子ども。これは家を安定させるための根本です。三、仁義を重んじる夫と徳性の優れた妻。これは内外を分けるための根本です。これら三つの根本的な関係の道義が確立されれば、天下は正道に戻ります。逆にでき

なかつたら、天下は正道に戻られません。天下が正道に戻れなかつたら、国を持つ諸侯や家を持つ卿大夫はすぐに衰退して滅亡してしまいます。立身処世のための準則も廢れてしまいます。

253

先王之制法也，因民之所好，而爲之節文^①者也。因其好色，而制婚姻之禮，故男女有班^②；因其好音，而正雅頌^③之聲，故風俗不流^④；因其寧室家樂妻子，教之以孝^{（孝作順）}，故父子有親；因其喜朋友，而教之以悌，故長幼有序。然後脩朝聘，以明貴賤；鄉飲習射^⑤，以明長幼；時蒐^⑥振旅^⑦，以習用兵；蒐，簡車馬也。入學庠序^⑧，以脩人倫。此皆人所有於性，而聖人所匠成^⑨也。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①節文：謂制定禮儀，使行之有度。②班：區別。③雅頌：《詩經》内容和樂曲分類的名稱。雅樂爲朝廷的樂曲，頌爲宗廟祭祀的樂曲。④流：向壞的方面轉變。⑤習射：鄉射禮中演習射箭。⑥蒐（sou / su）：檢閱車馬；閱兵。⑦振旅：整頓部隊，操練士兵。⑧庠（xiang / tie）序：古代的地方學校，即鄉學，後亦泛稱學校。庠：古代的學校，特指鄉學。《孟子・滕文公上》：「夏曰校，殷曰序，周曰庠，學則三代共之，皆所以明人倫也。」⑨匠成：培養造就。

【白話】先王制定法令、禮儀，都是依據人們的喜好來制定典章制度，使行之有度。根據人們有情欲的習性而制定婚姻禮法，所以男女界限分明；根據人們喜愛音樂而創作純

正の雅樂、頌樂，所以風俗不會變壞；根據人們珍惜家庭安寧、妻兒快樂，而用孝順和睦之道教化人民，所以父子間有了親情；根據人們喜歡交友，而用敬順尊長的禮儀教導人民，所以長幼之間有次序。做到這些之後，再制定朝拜天子、出使諸侯國的禮節，以顯明地位尊卑的區分；制定鄉飲酒禮和習射禮，來顯明長幼之間的次序；適時檢閱車馬、整頓軍隊，以訓練軍事；讓人們進入地方學校學習，以明瞭及實踐倫理道德。這些都是（根據）人本有的特性，而經由聖人的培養造就讓人得以完善人格。

先王が法令や礼儀を制定する時、全ての典章と制度は人々の好みに従って制定されたから、その実行も節度あるものでした。人々の情欲の性質に従って婚姻礼法を制定したから、男女の境目は明らかでした。人々が音楽を好むことから正しい雅樂や頌樂を創ったために、風俗が乱れることはありませんでした。人々が家の安寧と妻子の快樂を大事にするために、孝行と和睦の方法をもって民を教化し、親子の間に絆を持たせました。人々が友達付き合いを好むことから、目上の者に恭しく従うような礼儀を民に教え、長幼の間に秩序をもたらししました。これらのことができてから、臣下が天子に礼拝し、また天子から諸侯国に使者を出す礼節を制定し、地位の高低を明らかにしました。飲酒や射礼などの規則を制定して、長幼の間の秩序を明らかにしました。また、適時に車や馬を検査し、軍隊を整頓して軍事についての練習をさせました。人々には地方の学校に入らせて、倫理と道德に

ついて理解し、実践できるように学習させました。これらのことは人が元々持っている特性に従いながら、聖人の培養によつて完璧な人格を作るための方法です。

254

子曰：「禮者何也？即事之治也。治國而無禮，譬猶瞽^①之無相^②與，偃偃^③乎其何之？譬如終夜有求幽室^④之中，非燭何以見之？若無禮，則手足無所措，耳目無所加，進退揖讓^⑤無所制。是故以之居處，長幼失其別，閨門^⑥三族^⑦失其和，朝廷官爵失其序，軍旅武功失其制，宮室失其度量，喪紀失其哀，政事失其施，凡衆之動失其宜。」（卷七 禮記）

【註釋】①瞽：盲人。②相（xiāng / ㄒㄩㄥˋ）：扶助者，導引盲者的人。③偃偃（chāng / ㄔㄨㄥˋ）：茫茫然無定向而行。④幽室：暗室。⑤揖讓：作揖謙讓，古代賓主相見的禮儀。⑥閨門：宮苑、內室的門。借指宮廷、家庭。⑦三族：有幾種說法，此處採鄭玄先生所說，指父、子、孫。

【白話】孔子說：「禮是什麼呢？禮就是做事的準則和規矩。如果治理國家而沒有禮，就好像盲人沒有扶助者，茫茫然會走向何處？又好比整夜在暗室裡摸索，沒有燈燭怎麼能找見東西呢？若是沒有禮，那麼手、腳都不知道該怎麼放，耳、目也不知道該聽什麼看什麼，前進後退、行禮謙讓，處處不知道該以什麼準則去做。所以說，若在沒有禮可遵循的狀況下，日常生活中，長輩和晚輩就失去尊卑區別了；在家族中父、子、孫三代就會失去和睦；在朝廷裡，官職和爵位的秩序就會紊亂；軍隊行軍打仗就會失去紀律的法則；宮室建築就會不合法度規模；喪事中悲哀輕重就會失去標準；

政事便會因混亂無序而得不到實施，所有的行為舉措都會失去其應有的分寸。」

孔子は言われました。「礼とは何でしょうか。礼とは物事を行う時の準則と規則です。もし国を治める時に礼がないと、まるで支えてくれる者のいない盲目の者で、わけも分らずにどこへ向かえばいいのでしょうか。また、まるで闇夜に暗室の中で模索しているようなものです。灯りなくして、どうして物が見えましょうか。もし礼がないと、私たちは手足をどこに置けばいいのか分らなくなり、耳も目も何を聞いて何を見ればいいのか、分らなくなってしまうます。前進後退や物腰の柔らかさなど、何もかもが依拠すべき準則を失ってしまいます。そのために、もし守るべき礼がないと、日常生活の中で目上の者と目下の者は尊卑の区別を失ってしまいます。家族の中では父親、子ども、孫これら三つの世代が和睦を失ってしまいます。朝廷では官職と爵位の秩序が乱れてしまいます。軍隊では戦争の時に紀律の法則を失ってしまいます。宮廷の建築は法で定められた規模に合わなくなってしまうます。喪に服す時は、哀しみの軽重が度を超えてしまいます。政事も混乱で無秩序な状態のために、実施できなくなってしまうます。全ての行いが守るべき本分を逸してしまうのです」

255

先王之立禮也，有本有文。忠信，禮之本^①；義理^②，禮之文。無本不立，無文不行。言必外内具也。（卷七 禮記）

【註釋】

①忠信，禮之本：孔穎達先生說：「忠者，内盡於心也；信者，外不欺於物也。内盡於心，故與物無怨；外不欺物，故與物和諧也。」②義理：孔穎達先生解爲合宜得理。

【白話】

古聖先王創立的禮，既有根本精神，又有外在文飾（制定形式的原則）。忠信，就是禮的根本精神；合宜得理，是禮的外在文飾。沒有忠信這一根本精神，禮就無法成立；沒有合宜得理的形式，禮就無法在現實中推行。

昔の聖人や先王が創立した礼には、根本となる精神が備わっている上に、文書による記録もありました（形式を制定するための原則です）。忠信とは、すなわち礼の根本となる精神です。理になつてゐることこそ、礼の外在的な文書による記録です。忠信という精神がなければ、礼は成り立ちません。理になつた形式がないと、礼は現実の中で実行できません。

256

相^①鼠有皮，人而無儀。

相，視也。儀，威儀也。視鼠有皮，雖居高顯之處，偷食苟得^②，不知廉恥，亦與人無威儀者同也。

人而無儀，不死胡爲^③。

人以有威儀爲貴，今反無之，傷化敗俗，

不如其死無所害也。相鼠有體^④，人而無禮。

體，支體也。人而無禮，胡不遄^⑤死。

（卷三 毛詩）

【註釋】

①相（xiāng / 相）：看，觀察。②苟得：不當得而得。③胡爲：何爲，爲什麼。④體：肢體。⑤遄（chuān / 遄）：迅速。

【白話】

看那老鼠身上只有一張皮，有人雖然是人卻不知廉恥不講禮節。（老鼠有皮蓋著全身，但即使處在高聳突出的地方，偷取食物、獲得不當得到的東西，不知廉恥，也與不

講禮節の人一樣，雖處高貴顯赫之位，行爲卻昏暗，空有一副人的皮囊。）如果做人不講禮節，不死又爲什麼呢？看那老鼠空有肢體，有人卻不講禮義。人沒有禮義如同行屍走肉，爲何還不趕快去死？

ネズミの身には一枚の皮しかなく、まるで人であるのに、廉恥と礼節を知らないような人です。（ネズミの身には皮がまとっているが、たとえ高いところにいるても、ネズミはただ食べ物を盗み取り、不当に物を得ようとしています。まるで廉恥と礼節を知らない人のようです。そのような者は高貴な地位にしながらも、公には言えないような行爲ばかりをしているから、まるで人の外見をした皮をもてあましているようです。）もし人に生まれながら、礼節のことを気にしなければ、どうして死なずにいられますようか。まるでネズミのように精神がなく、肢体だけがあります。礼節と忠義のことを気にしない人間もそうです。もし人間に礼節と忠義がなければ、まるで生きた屍でしょう。どうして早く死なずにいられますようか。

257 有子曰：「禮之用，和爲貴。先王之道斯爲美。小大由之，有所不行。知和而和，不以禮節之，亦不可行也。」人知禮貴和而每事從和，不以禮爲節，亦不可行也。（卷九 論語）

【白話】有子說：「禮的運用，就是以和爲貴。古聖先王的爲政之道就是制禮用和，以用和爲最美。無論小事大事都用禮而不用和，則於事有所不行。知道『和』的可貴而一

味求和，不用禮來節制，那也是不可行的。」

だれかが言いました。「礼の運用は、和をもつて尊いといいます。昔の聖人や先王が施政する方法は、礼法を制定して和を用いました。和を最も尊いものとして、ことの大小問わずに、何でも温和にして仲良くすることを重視しました。それでも無理のある時があります。すなわち、『和』の尊さを知っているから和ばかりを追い求めて、礼で物事の進行を節約しないのは、いけないことです」

258

情發^①於聲^②，聲成文^③，謂之音。

發，猶見也。聲，謂宮商角徵羽。聲成文者，宮商上下相應也。

治世之音，安以樂^④，其政和；亂世之音，

怨以怒，其政乖^⑤；亡國之音，哀以思，其民困^⑥。故正得失，動天地，感鬼神，莫近於詩。

先王以是經^⑦夫婦，成孝敬，厚人倫，美教化，移風易俗。（卷三 毛詩）

【註釋】

①發：顯現；顯露。②聲：指古代五聲音律，宮商角徵羽。③成文：形成樂章、文采、文辭、禮儀等的總稱，這裡指組成一定的旋律。④安以樂：安詳而歡樂。以：而且。

⑤乖：違背；不合。⑥困：困厄危難。⑦經：調理。

【白話】

情志透過宮商之聲流露出來，五聲音律聲聲相應而成韻律便叫做「音」。太平盛世的音樂安詳而歡樂，反映當時政治平和；亂世的音樂怨恨而憤怒，反映當時政治乖戾僻違；滅亡或瀕於滅亡的國家的音樂哀傷而憂愁，反映當時的百姓流離困苦。所以要矯正政治得失、震動天地、感動鬼神，沒有什麼比詩歌更近於能實現這個目標。前代君王就是以詩來調理夫婦的關係，培養孝敬的行爲，敦厚人倫常道，使教化美

善，以及改變風氣和習俗。

感情と志は音の高低からにじみ出ています。五つの音律が互いに呼応して成せた韻律は「音」と呼ばれます。太平盛世の音楽は安らいで楽しいもので、当時の政治の平和さを反映しています。乱世の音楽は怨みと怒りに満ちており、当時の政治が正道に背いていることを反映しています。滅亡した、もしくは滅亡する寸前の国の音楽は哀切にして憂いに満ちたものです。当時の民が流離の苦に悩まされていることを反映しています。そのために、政事の得失を正し、天地を震動させて鬼神を感動させたいのであれば、詩歌に勝るものはありません。前代の君王は詩で夫婦の関係を整い、親子の関係を築いてきました。音楽はまた、人倫と常道を強化させることができます。民を良い方向へと教化させて、風習と習俗を変えられます。

九、民生

259

農，天下之大本也，民所恃以生也，而民或不務本而事末^①，故生不遂。（後補卷十三 漢書一）

【註釋】①末：非根本的，次要的事，此處指工商業。與爲「本」的農業相對。

【白話】（漢文帝下詔說：）農業是天下的根本產業，是百姓賴以生存的基礎，如果大部分的民眾拋棄最根本的農民生產去從事工商業，糧食就會匱乏，國民生活就不能得到保障。

（漢の文帝は令を下して言いました。）「農業こそ天下の根本となる産業であり、民の命綱の基礎です。もしほとんどの民が最も根本的な産業であるはずの農業をやめて、商業に従事するようになったら、食糧は不足し、国民の生活は保障されません」

260 國以民爲根，民以穀爲命；命盡則根拔，根拔則本顛^①。（卷四十五 崔寔政論）

【註釋】①顛：傾覆；滅亡。

【白話】國家以百姓爲根本，百姓以糧食爲性命；糧食不足則百姓就不能生活，百姓生存不下去則國家就會被顛覆。

國は民を根元としており、民は食糧を命としています。命である食糧が尽きると、根元である民は生きることができません。民が生きられなくなると、国は転覆させられています。

261 民財暴賤，而非常暴貴；非常暴貴，則本竭而未盈；未盈本竭，而國富民安，未之有矣。（卷四十九 傅子）

【白話】農產品價格很便宜，而非必需品價格卻很高；非必需品價格很高，農業就會衰竭，商業就會過度發展；商業過度發展、農業衰敗卻能國富民安，這是從來沒有的。

農産品の価格が非常に安いのに、非日常用品の価格が非常に高くなることがあります。非日常用品の価格が非常に高くなると、農業は廃れて、商業は過度に発展してしまいます。商業が過度に発展してしまうと、農業は廃れてしまいます。そのような状態で国が豊で民が安らいだ生活を送れるなんてことは、かつて一度もありませんでした。

262

夫珠玉金銀，飢不可食，寒不可衣，然而衆貴之者，以上用之故也。其爲物輕微易臧^①，在於把握，可以周海內，而無飢寒之患。此令民易去其鄉，盜賊有所勸，亡逃者得輕資^②也。粟米布帛生於地，長於時，聚於力，非可一日成也。數石之重，中人^③不勝，不爲姦邪所利^④，一日弗得，而飢寒至。是故明君貴五穀而賤金玉。（卷十四 漢書二）

【註釋】①臧（cáng / ちん）：「藏」的古字。收藏，隱藏。②輕資：便於攜帶的財物。③中人：中等的人，常人。④利：貪愛；喜好。

【白話】珠寶美玉和金銀，飢餓時不能吃，寒冷時不能穿，然而大眾卻認爲它們很貴重，這是因爲君主使用它們的緣故。金銀珠寶這些物品，輕便小巧容易收藏，拿在手中，可以走遍天下而不會有飢寒的憂患。這樣就使得人民容易離開家鄉，盜賊受到鼓勵，犯罪逃亡的人有了便於攜帶的財物。粟米布帛產生於田地中，隨時令而生長，凝聚了人力在其中，不是一日之間就能長成的。幾石重的糧食，一般的人難以拿動，也不被姦邪之人所貪圖，然而一天得不到就會感到飢寒。所以，英明的君主重視五穀而輕視金玉。

美しい珠玉と金銀は、飢えてゐる時は食べられず、寒い時も着れません。しかしながら、大衆はこれらの物を非常に貴重だと思つてゐます。何故なら、君主がこれらの物を使つてゐるからです。これら金銀珠玉は軽くて小さいから、収納しやすいのです。手中に納めれば、天下を踏破しても飢えと寒さに苦しまれる憂いはありません。そのために、民は易々と故郷を離れてしまひます。また、盗賊は励まされたようになります。罪を犯して逃亡していても、携帯しやすい財物の目処がつくからです。穀物や布は田んぼの中に生えており、時の流れと共に成長しているが、同時に人の力も必要で、一日にして收穫できるように成長できるものではありません。また、いく石の重さもある食糧は、普通の人には持ち運びにくいので、邪な者に狙われることもあります。しかしながら、これらの作物は民にとつて、一日得られないだけで飢えと寒さに苦しまれることになります。そのために、英明な君主は五穀を重視して金銀と珠玉を軽視します。

263 欲民務農，在於貴粟，貴粟之道，在於使民以粟爲賞罰。今募天下，入粟縣官，得以拜爵，得以除罪。如此，富人有爵，農民有錢，粟有所渫矣。夫能入粟以受爵，皆有餘者也，取於有餘，以供上用，則貧民之賦可損。所謂損有餘補①不足，令出而民利者也。順於民心，所補者三：一曰主用足，二曰民賦少，三曰勸農功②。（卷十四 漢書二）

【註釋】①補：裨益、好處。②農功：農事。

【白話】

（晁錯上疏說：）想要讓人們從事於農業生產，關鍵是要重視糧食，其方法在於用糧食作為決定賞罰的條件。現在號召天下人民，只要向官府交納糧食，就可以得到爵位，或免除一定的罪過。如此，富人就會擁有爵位，農民也會得到錢財，糧食也能有所分散流通了。凡能交納糧食來取得爵位的，都是有餘糧的人。從富餘者那里取一部分來供政府使用，那麼貧窮百姓的賦稅就可以減少了，這就叫做減少富餘的來補充不足的，政令一出人民就會得到利益。此舉順應人民的意願，有三個方面的好處：第一是政府的需用充足，第二是人民的賦稅減少，第三是可以鼓勵農業生產。

（晁錯は上書しました。）人々に農業に従事してほしいのであれば、鍵になるのは食糧を重視することです。方法として、まず食糧を賞罰の条件にしましょう。そして民に宣告するのです。官庁に食糧を納めれば、爵位を得られたり、もしくは一定の罪が免除されたりすると。そのようにすれば、裕福な者は爵位が手に入り、農民は金銭を得られて、食糧も分散させて流通されるようになります。食糧を納めて爵位を得られるような者は、およそ余分な食糧を持っている者です。これら裕福な者のところから一部の食糧を政府が徴用すると、貧しい民に課せられている税金は軽減されます。すなわち、裕福な者の持ち分を減らして、不足している者の懷を補うことです。このような政令が出されれば、民は利益を得られます。この行いは民の気持ちに順応しており、三つのいいことをもたらしてくれます。一、政府の需用が充足するようになります。二、民の税金が軽減されます。三、農業の生産を励まします。

群書治要 360 3

十、法古（古いものに見習います）

264

抱朴子曰：「民財匱矣，而求^①不已；下力極矣，而役不休。欲怨歎之不生，規其寧之惟永，猶斷根以續枝，剜背以裨^②腹，刻目以廣明，割耳以開聰也。」（卷五十 抱朴子）

【註釋】①求：索取。②裨（bi / ㄅㄧˋ）：彌補，補助。

【白話】抱樸子說：「人民的財力已經很匱乏了，還在搜刮不止；人民的力氣已經用到極點了，還在役使不停。還想使老百姓不生怨恨傷嘆的情緒，幻想實現永久的安寧，這就好像截斷樹根來接長樹枝、剜割後背上的肉來補肚子、割開眼眶來開闊視野、割掉耳朵來增強聽力一樣。」

抱朴子は言われました。「民の財力はもう非常に欠如しているのに、まだ筆り取ろうとする者がいます。民の気力はもう極限まで使い果たしてしまったのに、まだ使役しようとする者がいます。しかも民に怨みと嘆きの気持ちを抱かせないで、永遠の安らぎを実現できると夢を見ているとは。これはまるで樹木の根元を切断して継ぎ木しようとしているようなものです。もしくは背中の肉を切り取ってお腹のくぼみを補ったり、目を切り開いて視野を開こうとしたり、耳を削いで聴力を向上させようとするようなものです」

十、法古（古きを見習います）

265

齊桓公問管子曰：「吾念有而勿失，得而勿忘^①，爲之有道乎？」對曰：「勿創勿作，時^②至而隨。無以私好惡害公正，察民所惡，以自爲戒。黃帝立明臺^③之議，堯有衢室^④之問，舜有

告善之旌^⑤，禹立諫鼓^⑥於朝，湯有總街之庭^⑦，以觀民誹也。此古聖帝明王所以有而勿失、得而勿忘者也。」（卷三十二 管子）

【註釋】①忘：通「亡」。喪失，失去。②時：時機，機會。③明臺：傳說為黃帝聽政之所。

④衢（云 / く）室：相傳為唐堯徵詢民意的處所。⑤告善之旌：為獎勵人臣進諫而設的旗幟。⑥諫鼓：設於朝廷供進諫者敲擊以聞的鼓。⑦總街之庭：通衢大道旁的亭舍。指商湯聽取民意之處。

【白話】齊桓公問管仲說：「我想擁有天下而不失去，得到權力而不喪失，做到這一點有方法嗎？」管仲回答說：「不要刻意創新，時機來臨就隨之行事。不要以個人的好惡來損害公正，了解人民所討厭的事，以便自己引以為戒。黃帝建立了明臺的議政制度，堯帝設有衢室的諮詢制度，舜帝設有獎勵人們進諫的旌旗，夏禹在朝廷上設立進諫之鼓，商湯設有通途大道旁的亭舍，用來了解百姓的批評意見。這就是古代聖君賢王所以擁有天下而不失去、得到權力而不喪失的方法。」

齊の桓公は管仲に尋ねました。「私は天下を擁して失わずに、権力を手に入れて失いたくありません。どうすればよろしいのでしょうか」管仲は答えました。「わざと新しいことをしようとしなことです。時機が来れば、様子を伺って対応するべきです。個人の好き嫌いで公正を損なつてはいけません。民の嫌うことを理解して、自分を戒めなさい。黃帝は明臺の議政制度を設立し、堯帝は衢室という民のための相談制度を設けました。舜帝

は人々が諫言を進呈するのを奨励する旌旗（せいぎ）を設け、夏朝の禹は朝廷に諫言の鼓を設置しました。また、商朝の湯は民の批評と意見を知るために、往来の大道のそばに亭舎を作りました。これらこそ昔の聖君や賢明な帝王が天下を擁して失わずに、権力を手に入れて失わなかった方法です」

266

湯^①降^②不遲^③，聖^④敬日躋^⑤。昭^⑥假^⑦遲遲^⑧，上帝^⑨是祗^⑩。帝命式^⑪于九圍^⑫。

不遲，言疾也。躋，升也。九圍，

九州也。降，下也。假，敬也。式，用也。湯之下士尊賢甚疾，其聖敬之德日進，然而能以其聰明，寬暇天下之人遲遲然。言其急於已而緩於人也。天用是故愛敬之，天於是又命之，使用事於天下，言王之。

不競^⑬不綖^⑭，不剛不柔。

敷政^⑮優優^⑯，百祿^⑰是適^⑱。

綖，急也。優優，和也。適，聚也。

（卷三 毛詩）

【註釋】

①湯：商朝の開國之君。②降：指禮賢下士。③不遲：謂湯王禮賢下士非常急切。

④聖：古之王天下者。亦為對於帝王或太后的極稱。⑤躋（じ／＼）：升。⑥昭：

光明，明亮；明顯，顯著。⑦假：通「暇」，從容。⑧遲遲：舒緩，從容不迫的樣子。

⑨上帝：天帝。⑩祗（zhī / ㄓ）：敬。⑪式：用，施行。⑫九圍：九州。⑬競：

爭競，指為名利而爭逐奔走。亦泛指互相爭勝。⑭綖（cǐn / ㄘ）：急躁。⑮敷政：

布政，施行教化。⑯優優：寬和貌。⑰百祿：指多福。⑱適：聚合；聚集。

【白話】

湯王禮賢下士非常急切，聖王誠敬之德與日俱增。他嚴以律己而寬以待人，對上天心懷恭敬。於是上天派他來治理天下，為天下人做最好的榜樣。從不爭強好勝急於求成，既不剛強暴戾也非柔弱不禁。施政溫和而且寬厚，才有這千祥雲集百福駢臻。

湯王は下々の士人を礼遇することに非常に心を砕いていたから、聖王としての誠意と敬意からなる徳性は日に日に増すばかりです。湯王は自分には厳しく、人には寛大に接していて、天には恭しく敬意のある態度でいました。そのために、天下の人々の模範になれるように、天下を治める者として天から遣わされました。湯王は無理して勝ことを好まず、成功を急ぐこともしません。また、我が強くて暴虐を振るうことがなければ、困難に耐えられない程の軟弱者でもありません。その執政は至って温和にして寛大であつたから、これほどの盛世が見られます。

267

古者天子諸侯有事，必告^①於廟（廟下有朝字^②）。有二史，右史記事（事字作動），左史記言。事（事字作動）爲《春秋》，言爲《尚書》。君舉^③必記，臧否^④成敗，無不存焉。下及士庶，苟有茂異^⑤，咸在載籍。或欲顯而不得，欲隱而名章。得失一朝，榮辱千載。善人勸焉，淫人懼焉。故先王重之，以副賞罰，以輔法教。宜於今者，官以其方，各書其事，歲盡則集之於《尚書》。各備史官，使掌其典。（卷四十六 申鑒）

【註釋】①告：禱告；祭告。②廟下有朝字：此「朝」字應與下文「有二史」連讀爲「朝有二史」。③舉：言行；舉動。④臧否（zāng pǐ / パウキ）：善惡；得失。⑤茂異：德才出眾。亦指德才出眾的人。

【白話】古代天子、諸侯遇到大事的時候，一定祭告宗廟。朝中設有兩名史官，右史官記錄

天子或諸侯の行動，左史官記錄天子或諸侯の言論。所記之事結集爲《春秋》，所記之言結集爲《尚書》。凡天子或諸侯の一言一行，一定會被記錄下來，其善惡成敗，沒有不存錄的。往下延伸到官吏平民，若德才出眾，都載入典籍。有人想顯揚卻不能，有人想隱藏反而名聲顯著。得失只是一時的事，但光榮或恥辱卻流傳千年。善良的人得到鼓勵，作惡的人有所畏懼。所以前代帝王重視編纂史書，用它來配合獎賞懲罰，用它來輔助法制教化。對於適宜於當今社會的，各官衙部門可沿襲這方法，各自記錄他們的事情，年終時就集合在《尚書》之中。各部門可以自設史官，讓他們掌管他們的典籍。

昔の天子や諸侯は大きな事件があると、必ず祭典をあげて宗廟に報告しました。廟には二名の史官がいました。右の史官は天子や諸侯の行動を記録し、左の史官は天子や諸侯の言論を記録しました。記されたことは『春秋』に、言葉は『尚書』に集結されました。およそ天子や諸侯の一言一行は必ず記録されて、その良し悪しや成功するか否かも、何一つ記録されないことはありません。このことはさらに官吏や平民にまでも及びます。もし群を抜いた徳性と才能があれば、全て典籍に載せられました。己の名を知らしめようとしてできない者がいる反面、隠れようとして逆に有名になってしまった者もいます。得失は一時のことにすぎないが、光榮や羞恥は千年も伝えられてしまいます。善良な者は励まされ、悪事を働く者は畏怖するようになります。そのために、先代の帝王は史書の編纂を重視し

268

ていました。史書と奨励や懲罰を併せて、法制による教化を補助します。今の社会にも適応できるように、各官僚の部門はこの方法を踏襲してもいいです。それぞれのことを記録し、年末は『尚書』に集まります。各部門は自分の史官を擁して、それぞれの典籍の官吏を任せることもできます。

曾子^①曰：「人之將死，其言也善。」恭王之謂也^②。孔子曰：「朝聞道，夕死可矣。」於是以後嗣，覺來世，猶愈沒身不寤者也。（卷四十二 新序）

【註釋】①曾子：即曾參，字子輿，春秋末期魯國南武城（今山東省平邑縣）人，孔子的弟子，世稱「曾子」。②恭王之謂也：楚恭王就是這樣。本段上文講到，楚恭王平時不喜歡與勸諫他的侍從筮（*seura* / *せん*）蘇相處，而喜歡一直順從討好他的申侯伯。臨終時，則下令賜予筮蘇很高的爵位，同時趕快驅逐申侯伯。

【白話】曾子曾經說：「人將要死去的時候，說出來的話也是善意的。」楚恭王就是這樣。孔子也曾說過：「假如一個人早上聽聞了仁道，即使晚上就死去了，也就沒白來人間一趟。」楚恭王的做法可以啓發後人，警惕來世，總比那些至死還不覺悟的人強得多了。

かつて曾子は言われました。「人が亡くなろうとしている時、その言葉でさえも善意に満ちています」楚の恭王はまさにそうでした。孔子も言われました。「もしある者が朝の

うちに仁道を聞いたのならば、たとえその夜に亡くなっても、もう後悔はないでしょう」楚の恭王のやり方は、来世のことについて警戒するように後世の人たちを啓発できます。死ぬまでも覚悟できない者たちより遥かに良かったです。

十一、賞罰

269 先王重於爵位，慎於官人。制爵必俟^①有德，班祿^②必施有功。是以見其爵者昭其德，聞其祿者知其功。（卷四十八 典語）

【註釋】①俟：等待。②班祿：分等級制定俸祿。

【白話】《易經》說：「聖人之大寶，在於有崇高地位（因為擁有地位可以更好地利益人民）。怎樣保守其位？在於仁愛的美德。」所以上古賢明君王對爵位很重視，對授予官職很謹慎。賞賜爵位必定授予賢德的人，頒發俸祿必定施與有功的人。所以看到官員的爵位就明白他的德行，聽說官員的俸祿就知道他的功勞。

『易經』にありました。「聖人の大いなる宝は、その崇高な地位です。（地位があれば、民たちにより多くの利益をもたらせるからです。）」そのために、昔の賢明な君王は爵位のことをとても重視して、官職を与えることにもとても慎重でした。爵位は必ず賢明にして徳性の高い者に与えました。俸祿も必ず功勞のある者に与えたものです。ゆえに、官員

の爵位を見れば、その徳性と品行の良さが分かり、俸禄の額を聞けば、その功劳が分かります。

〔270〕

昔者魯周公，使衛康叔^①往守^②於殷^③，戒之曰：「與殺不辜，寧失^④有罪。無有無罪而見誅，無有有功而不賞。戒之，封^⑤，誅賞之慎焉。」（卷三十一 鬻子）

【註釋】①衛康叔：姬姓，名封，又稱康叔、康叔封。周文王第八子，武王、周公之弟。因獲封畿内之地康國，故稱康叔，後改封於衛國。②守：治理，管理。③殷：指殷商故都。④失：錯過，放過。⑤封：指康叔封。

【白話】從前，魯周公派衛康叔去治理殷地，告誡他說：「與其妄殺無辜的人，不如放過有罪的人。不要讓無罪的人被妄殺，也不要讓有功的人得不到賞賜。你要警戒啊！誅殺和賞賜要慎重啊！」

その昔、魯の周公は殷を治めるように衛康叔に命じて、このように戒めました。「妄りに無辜な者を殺してしまうよりも、有罪者を見逃してしまいなさい。罪のない者が殺されることのないように、また、功労のある者が奨励を得られないようにしてはなりません。警戒しなさい。誅殺するにしても、褒美を与えるにしても、よくよく慎みなさい！」

十二、法律

271 人之性有仁義之資^①，非聖王爲之法度，不可使向方^②也。因其所惡以禁姦，故刑罰不用，威

行如神矣。因其性，即天下聽從；拂^③其性，即法度張^④而不用。（卷三十五 文子）

【註釋】①資：稟賦。②向方：歸向正道。方：義方。③拂（フ）：違背。④張：設立。

【白話】雖然人性具有仁義的稟賦，但沒有聖明君王制定相應的規章制度加以約束，就不能使其歸向正道。依據人民認爲惡的來禁絕姦邪，這樣刑罰不必動用，而威勢就暢行如神明一樣。順應人的天性，就能夠使天下人順服；違背人的天性，即使法度建立也難以發揮作用。

人性には仁義の資質が備わっているとはいえ、聖明な君王がふさわしい規則と制度を制定しておらず、約束していないのであれば、人を正道に導くことはありません。民が悪いと思うことに沿って邪な行為を禁ずれば、刑罰を使う必要がなくなり、制度も神の威光がかかっているかのように順調に実行されましよう。人の天性に適応すれば、天下の人々を順服させられます。人の天性に背くと、たとえ法制度を作っても、その効果を發揮しにくいのでしよう。

272

爲政者，不可以不知民之情，知民然^{（然上恐脱情字）}後民乃從令。己所不欲，不施之於人，令安得不從乎？故善政者，簡而易行，則民不變；法存身而民象^①之，則民不怨。（卷四十八 體論）

【註釋】①象：效法，仿效。

【白話】治理政事的人不能不了解民情，了解民情然後百姓才會聽從命令。自己不想要的，不強加給他人，百姓怎麼會不聽從命令呢？所以善於治理政事的人，政令簡明容易推行，百姓就不生變亂；以身作則遵守政令而百姓效法，那麼百姓就不會埋怨。

政事を治める者は民情について分からなくてはなりません。民情が分かつてこそ、民は命令に従えます。自分のしてほしくないことを人にも押し付けないのであれば、民が命令を聞かない訳がないでしょう。そのため、政事进行处理するに長けている者が出した政令は、分かりやすく普及しやすいです。民が混乱して紛争を起こすこともありません。また、自ら模範となつて率先に政令を守るから、民もそれに見習つて恨み言を言いません。

273

法令者、民之命也、爲治之本也、所以備民^①也。智者不得過、愚者不得不及。名分不定、而欲天下之治、是猶欲無饑而去食^{（去食下舊無欲字・補之。）}，欲無寒而去衣也、其不幾^②亦明矣。一兔走、而百人追之、非以兔爲可分以爲百、由名之未定也。夫賣兔者滿市、盜不敢取、由名分之定也。

（卷三十六 商君子）

【註釋】①備民：猶言保民。②不幾：沒有希望；不可希求。幾：通「冀」。

【白話】法令，是天下百姓的命脈，是治理國家的根本，其目的是用來保護人民的。聰明的人不能超越它，愚昧的人也不能不遵守它。名分不確定，而希望天下太平，就如同

不想挨餓卻拋棄食物，不想受凍卻丟掉衣服一樣，這樣做達不到目的，是很明顯的了。一隻兔子在跑而上百人去追，並不是因為這隻兔子可以分成一百份，而是由於這隻兔子到底屬於誰，這個名分還沒有確定。賣兔子的入滿集市都有，而盜賊不敢奪取，是因為兔子的名分已經確定了。

法令とは、天下の民の命脈であり、国を治めるための根本でもあります。その目的は民を守ることです。賢い者は法令を越えられず、愚かな者もそれを守らなければなりません。名分が不確かなのに、天下の太平を望むのは、飢えに苦しまれたくないのに食べ物捨てたり、凍えたくないのに衣服を捨てたりするのと同じで、それでは目的を達成できないのは明らかです。一匹のウサギを何百もの人が追いかけるのは、そのウサギで百人分の食事ができるからではありません。ウサギが一体だれの物なのか、まだ名分が不確かなためです。ウサギを売る者は市のどこにでもいるが、盗賊が奪い取ろうとしないのは、ウサギの名分がすでに確定されていたからです。

274

故夫名分定，勢治之道也；名分不定，勢亂之道也。故勢治者不可亂也，勢亂者不可治也。夫勢亂而欲治之，愈亂矣；勢治而治之，則治矣。故聖人治治，不治亂也。聖人爲民法，必使之明白易知，愚智遍能知之，萬民無陷於險危也。（卷三十六 商君子）

【白話】所以名分確定，是勢所必治的方法；名分不確定，是勢所必亂的途徑。因此，勢所

必治就難以讓它混亂，勢所必亂就無法治理。勢所必亂而想去治理，往往會更加混亂；勢所必治再加以治理，則社會安定太平。所以聖人在勢所必治的情況下治國，而不是在勢所必亂的情況下整治。聖人爲百姓制定法律，一定要使它明白易懂，讓愚人和智者都能夠理解它，那麼天下百姓就不會（因爲不知法）陷於危險的境地。

そのために、名分を確定させることは世の中を治めるのに必然な方法です。名分が不確かであれば、世の中は必ず乱れてしまいます。世の中を治めるのに必然な方法で国を治めれば、国は混乱になりにくいです。世の中が必ず乱れる方法で国を治めれば、往々にしてさらに混乱を招いてしまいます。世の中が必ず制御される状態でさらに治めれば、社会は安定して太平になります。ゆえに、聖人は世の中が制御された状態で国を整い、治め始めるのであり、世の中が混乱している状態ではありません。聖人が民のために法律を制定したのならば、愚か者にとっても賢人にとっても、必ず分かりやすいものにしなさい。そのようにすれば、天下の民が（知らない間に）法を犯して、危険に陥ってしまうことがありません。

〔275〕天下之事，以^①次爲爵祿，以次進士，君子以精德顯。夫德有次則行修，官有次則人靜，事有次則民安。農夫思其疆畔^②，百工思其規矩^③，士君子思其德行，群臣百官思其分職^④。上之人思其一道^⑤，侵官^⑥無所由，離業無所至。夫然，故天下之道正而民壹。（卷五十 袁子正書）

【註釋】

①以：按。②疆畔：田界，引申為農田。③規矩：規和矩，校正圓形、方形的兩種工具。④分職：職分。⑤一道：指一以貫之的治理方法。⑥侵官：超越權限而侵犯其他官員的職權。

【白話】

治理天下，要按法度授予爵位俸祿，要按法度招賢納士，這樣具有美好德行的士人君子就會得以彰顯。進德有法度，士人就會致力於修身；晉升官位有法度，官員就安守本分；辦事有法度，人民就會安定。農夫想的是他們的農活，工匠想的是他們的手藝，士人、君子想的是自己的德行，群臣百官想的是自己的職分，君主想的是以一貫之的治國方法，超越權限而侵犯其他官員職權的事就不會出現，摒棄正業的事也不會發生。只有這樣，天下的治理才能走上正道，百姓才能用心專一（沒有非分之想）。

天下を治めるには、法度に従って爵位と俸祿を与えて、賢人や有能な者を招くべきです。このようにすれば、いい徳性と品行を持つ士人や君子はさらに精進するでしょう。徳性の精進に法度があれば、士人は一生懸命に修身します。官位の昇級に法度があれば、官員は本分を守れます。物事の進行に法度があれば、民は安定します。農夫が考えているのは農作業であり、職人が考えているのは腕前です。士人や君子が考えているのは自分の徳性と品行です。群臣や百官が考えているのは自分の職分であり、君主が考えているのは一貫した治国の方法です。もしこれらのことが実現すれば、権限を越えてほかの官員の職権を犯

すようなことは起らないでしょう。正しい道を捨てるようなことも起りません。この方法だけが、天下の治理を正道に歩ませられます。また、民たちには余計な雑念を持たせずに、一心不乱に本分を尽くさせられます。

276 法出而不正，是無法也；法正而不行，是無君也。（卷五十 袁子正書）

【白話】法律頒布而不能做到公正，等於沒有法律；法律公正但是不能施行，等於沒有君王。

法律を頒布したのに、公正さを守れないのは、法律がないのに等しいことです。法律は公正なのに、実行されないのは、君主や帝王がいないのに等しいことです。

277 公之於法，無不可也，過輕亦可，過重亦可；私之於法，無可也，過輕則縱姦，過重則傷善。

今之爲法者，不平公私之分，而辯①輕重之文，不本百姓之心，而謹奏當②之書，是治化在身而走求之也。（卷四十八 體論）

【註釋】①辯：通「辨」。辨析。②奏當（*daug / カウ*）：審案完畢向皇帝奏聞處罪意見。當：判罪。

【白話】以公心執法，沒有什麼不可以的，（只要出於公心，）用法輕一點也行，用法重一點也行（人民都會心服）；以私心執法，都是不可以的，用法太輕就會縱容姦邪，用法太重就會傷害善良。今天那些執法者，不平衡公私的區分，卻來辨析法律輕重

的條文，不以民心為出發點，而只謹慎於使上奏判罪的文書得當，這就好像治理教化之道本在自身卻跑去別處尋求一樣。

公を思いやる心で法を執行しているのならば、してはならないことはありません。公を思いやる心があれば、法の執行がすこし厳しかったり、もしくは優しくかったりであっても、民は分かってくれて順服します。私の心で法を執行しているのならば、何をしてもいいけません。法の執行が優しくすぎると、犯人を見逃してしまいます。厳しすぎると、善良な者までもが傷つけてしまいます。今の執行者たちは公私の区別をつけずに、ひたすら条文の軽重を分析しようとしています。民の心を思いやらずに、上役に提出する判決書の文書の正しさばかりを気にしています。まるで教化の根本は己にあるのに、よそに行って探そうとしているようなものです。

278

非佞^①折獄^②，惟良^③折獄，罔非在中。

非口才可以斷獄，惟平良可以斷獄，無非在中正也。

哀敬^④折獄，咸庶^⑤中正。

當矜下民之犯法，敬斷獄之害人，皆庶幾

必得中正之道也。

（卷二 尚書）

【註釋】

①佞：善辯；口才好。②折獄：判決訴訟案件。③良：良善。④哀敬：憐恤，同情。

⑤庶：庶幾。將近，差不多。

【白話】

不是靠巧言善辯能夠斷案，只有善良公正可以斷案，目的無非是使判決公正。要懷著憐憫體恤的心審判案件，那麼幾乎所判的案件都可以公正了。

279

巧みな言葉では訴訟を決められません。ただ善良さと公正さだけが訴訟を決められます。その目的は公正な結果を出すことにほかなりません。そのために、相手を思いやって憐れむ気持ちで訴訟を審理しなさい。そのようにすれば、ほとんどの訴訟は公正な結果を得られましょう。

非患鋤^①鋤^②之不利，患其舍草而芸苗也；非患無準平^③，患其舍枉而繩直也。故親近爲過不必誅，是鋤不用也；疏遠有功不必賞，是苗不養也。故世不患無法，而患無必行之法也。（卷四十二 鹽鐵論）

【註釋】①鋤（yāo / 一𠂔）：大鋤。②鋤（chū / 一𠂔）：鋤草翻地的農具。③準平：測量平面的儀器。

【白話】不必擔心鋤頭不銳利，要擔心的是拿鋤頭的人放過了雜草卻鋤掉了禾苗；不必擔心沒有水準器，要擔心的是拿水準器的人不去糾正彎的卻去糾正直的。所以執政者對親近的人做了壞事不一定加以懲處，這就如同不使用鋤頭除草；疏遠的人有了功勞不一定予以獎賞，這就如同不養育禾苗。所以對社會來說，不怕沒有法律，就怕有了法律卻存在不一定依照執行的情況。

鋤が鋭くないことを心配しないでください。心配すべきのは、鋤を持っている者が雑草を見過ごして苗を筆り取ってしまうことです。計量器のないことを心配しないでくださ

い。心配すべきのは、計量器を持っている者が歪みを正さずに、真直ぐなものを正してしまふことです。執政者は悪事をした親しい者を必ずしも罰するとは限らないが、まるで鍬を持つてゐるのに除草しないようなものです。また、疎遠にしている者が功勞を立てても、必ずしも褒美を与えないが、まるで苗を育てないようなものです。そのために、社会にとつて、法律のないことは怖くありません。法律があるのに、きちんと執行されないことの方が怖いのです。

280

凡聽五刑之訟^①，必原^②父子之親、立君臣之義，以權^③之；意論輕重^④之序、慎測淺深之量，以別之；悉其聰明、致其忠愛，以盡之。（卷十 孔子家語）

【註釋】

①凡聽五刑之訟：本段亦見於《禮記・王制》。五刑之訟：墨、劓（*yī* / *ゝ*）、剕（*qī* / *ㄟ*）。砍腳，也就是後來的刖刑）、宮、大辟（*pī* / *ㄊ*）。五種罪行的案件。

②原：推究；考究；研究。③權：衡量。④意論輕重：依據其意念而斷定其犯罪之輕重。

【白話】

凡是判決「五刑」之列的重大案件，一定要從體諒父子親情、君臣恩義的角度，來進行權衡（考慮其是否出於忠愛而犯法）；要根據意念考慮犯罪的輕重程度、審慎地評估犯罪的深淺分量，來區別對待；要竭盡自己耳聞目察的辨析能力、加以自己誠懇仁愛的同情心，盡最大力量弄清並處理好案件。

281

およそ「五刑」に処せられる重大な訴訟は、必ず親子の仲や君臣の恩義を思いやる立場から考えるべきです（その犯行は忠愛のために犯されたものなのかどうか）。犯人の心境から罪の重さを考慮し、罪の深さを慎重に評定し、区別して接するべきです。そして、耳が聞こえて、目が見える限りの分析能力を尽くしながら、懇切にして仁愛に満ちた同情心で、できるだけ真実を見いだして判決を下しなさい。

仲弓曰：「古之禁何禁？」孔子曰：「析言破律^①，巧賣法令者也。亂名改作，變易官與物名。執左道^②，以亂政者，

殺。左道。邪道。作淫聲^③，淫逸惑亂之聲。造異服，非人所常見。設奇伎奇器，以盪^④上心者，殺。怪異之伎，可以眩曜人心之器。盪，動也。行偽而堅，

行詐偽而堅等。言偽而辨，學非而博，順非而澤^⑤，順其非而滑澤之。以惑衆者，殺。假於鬼神時日卜筮^⑥，以疑民者，

殺。此四誅者，不待時，不以聽^⑦。不聽於棘木之下也。（卷十 孔子家語）

【註釋】①析言破律：謂巧說詭辯，曲解律令。②左道：歪門邪道。③淫聲：淫邪的樂聲。

④盪：移動、搖動。⑤順非而澤：順從邪惡之事，還要曲加粉飾。⑥卜筮（shì /

shì）：古時預測吉凶，用龜甲稱卜，用著（shì / 乂）草稱筮，合稱卜筮。⑦聽：

指在棘木之下（古代審案之地）再加審理。

【白話】仲弓問道：「古代的禁令都禁止什麼？」孔子說：「用好聽的言語鑽法律空子，變

亂名義篡改法度，用歪門邪道淆亂國政的人，殺。創作淫亂的音樂歌謠，製作奇裝異服，以各種異術和罕見的器物，來動搖君主心志的人，殺。行為詭詐且頑固不化，

言辭虛偽且善於巧辯，所學習的並非正道卻很淵博，順從邪惡之事還要曲加粉飾，用以迷惑民眾的人，殺。假借鬼怪神靈、天時變化、占卜算卦，來惑亂民心的人，殺。對這四類罪犯的處決，不必等待規定的處決時間，也不必廣泛的聽取意見就可以實施了。」

仲弓は尋ねました。「昔の禁令は何を禁止していましたか」孔子は言われました。「綺麗な言葉で法律の抜け穴をかいぐり、名義を変えて法を変更してしまい、邪な方法で国政を乱す者は、殺してしまいなさい。淫らな音楽や歌謡を創作し、奇をてらった衣服を作り、様々な奇術と珍しい物で主君の志を揺るがそうとする者は、殺してしまいなさい。怪しい行いを頑固に繰り返し、嘘の言葉を操って詭弁に長けています。博識ではあるが、正道を学んだわけではありません。また、邪悪なことに従事しているのに、事実を歪曲して粉飾し、民を惑わそうとする者は、殺してしまいなさい。鬼神を騙り、天候の変化、占いなどを利用して、民心を惑わそうとする者は、殺してしまいなさい。これら四つの罪を犯した犯人に対しては、所定された時間を待たず、広く意見を聞き入れることもなしに処刑してしまえてよいのです」

282

誦先王之書，不若聞其言；聞其言，不若得其所言；得其所言者，言弗能言也。故「道可道者，非常道也；名可名者，非常名也。」故聖人所由曰道，所爲曰事。道由金石^①，壹調不可更；事猶琴瑟，每^{（每作）}終改調。故法制禮樂者，治之具也，非所以爲治也。（卷

三十五 文子

【註釋】①金石：指鐘磬一類樂器。

【白話】讀誦古代聖王的書，不如聽古代聖王所說的話；聽他們說的話，不如得到他說這些話的根本；得到他所說話的根本，就是得到那不可用言語表達的「道」。因此說，「道」如果可以講述，就不是永恆不變的道；「名」如果可以稱說，就不是永恆不變的名。所以聖人所遵從的被稱為「道」，所做的被稱為「事」。道如同鐘磬一樣，音調確定後就不能再更改了；事如同琴瑟一樣，每曲終了就可改調。法律、制度、禮儀和音樂，是治國的工具，並非治國的根本。

昔の聖王が残した書物を読み上げるよりも、彼らの言葉に耳を傾けるべきです。聖王の言葉に耳を傾けるよりも、何故彼らはそのような言葉を発したのか、その根本について理解するべきです。その根本について理解ができれば、言葉では言い表せない「道」を得られましょう。そのために、もし言葉で伝えられるようであれば、それは永久にして変わらぬ「道」ではありません。もし言葉で伝えられるようであれば、それは永久にして変わらぬ「名」ではありません。ゆえに、聖人が従って守ることは「道」と呼ばれ、聖人のなすことは「事」と言われます。道はまるで鐘のようであり、一度音律が確定すると、二度と変わることはありません。事はまるで琴のようであり、一度曲が終えらると、また調律できます。法律、制度、礼儀と音楽は治国の道具であり、治国の根本ではありません。

十三、武事（征伐）

283

怒者逆德^①也，兵者凶器也，爭者末節^②也，故聖王重^③之。夫務戰勝，窮武事^④，未有不悔者也。

（卷十八 漢書六）

【註釋】①逆德：有背慈善仁愛之事。②末節：卑下的品行。③重：慎重，謹慎。引申為不

輕易，難。④窮武事：猶言窮兵黷武。濫用武力，肆意發動戰爭。

【白話】（主父偃上疏說：）憤怒是違背仁德的事，兵器是不祥之物，爭奪是卑下的行為，

所以聖明的君主對此非常慎重，不輕易言戰。致力於戰勝他國、肆意發動戰爭的君主，沒有不追悔的。

（主父偃は上書して言いました。）怒りは仁德に背くことです。兵器は不祥な物であり、争いは卑しい行為です。そのために、聖明な君主はこのことについて非常に慎重であり、決して軽々しく宣戦しません。また、他国に戦勝することばかりに力を注ぎ、妄りに戦争を起こした君主の中で後悔しなかった者は、一人もいません。

284

同力度^①德，同德度義。力鈞則有德者勝，德鈞則秉義者彊。揆度優劣，勝負可見。（卷二 尚書）

【註釋】①度：量度，衡量。

【白話】（周武王說：）兩軍對陣，勢均力敵則看其德行，德行相當則看其出兵是否符合正義。

（有德者勝，合義者強。）

286

會^①聞，用師觀^②。而動。也。聲，罪。德刑政事典禮不易，不可敵也。（卷五 春秋左氏傳中）

戦争における古今の失敗者を縦覧すると、彼らの敗戦が決まったのは、戦鼓を打ち鳴らす決戦当日ではありません。民心を離散させてしまっている平素の行いから、既に失敗の兆しが見えました。兵を用いて勝利を得た者の勝利が決まったのは、両軍が対峙する当日ではありません。民から擁護される平素の行いから、既に勝利の兆しが見えました。

平素的行爲就顯示出勝利的徵兆了。

【註釋】①素行：平素的行爲。②豫：預先，事先。俗作「預」。③朝（zhāo / ㄓㄠ）：日，天。【白話】縱觀古往今來用兵失敗者，並非敗在擊鼓決戰的當日，而是民心離散，平素的行爲就顯示出失敗的徵兆了；用兵獲勝者，並非勝在兩軍對陣的那天，而是民心擁護，

285

歷觀古今，用兵之敗，非鼓之日也，民心離散，素行^①豫^②敗也；用兵之勝，非陣之朝^③也，民心親附，素行豫勝也。（卷四十七 政要論）

（周の武王は言いました。）両軍が対峙する時、もし勢いも戦力も互角しているのならば、その徳性と品行によつて勝負が決まります。もし徳性と品行も互角しているのならば、どちらの出兵がより正義に適っているかによつて勝負が決まります。（徳のある方が勝利し、正義のある方が強いのです。）

【註釋】

①會：士會自稱。祁姓、士氏，名會，字季，因被封於隨、范，以邑為氏，別為范氏，諡武，又被稱為士季、隨會、隨季、范子、范會、武季、隨武子、范武子。是士蔦之孫，成伯缺之子，春秋晉國中軍將、太傅。②豐（キヨ／ヒ）：罪過、過失。

【白話】

（士會說：）我聽說用兵，要先觀察敵人的過失而後採取行動。若其德行、刑賞、政治、國務、典章、禮儀沒有違反常道，是不可抵擋的（指不能征討這樣的國家）。

（士會は言いました。）兵を用いる時は、まず敵の過失を観察してから行動に移るべきだと聞きました。もし相手の徳性や品行、刑罰と奨励、政治や国務、典章と礼儀に常道に悖るところがなければ、打ち負かすことはできないでしょう。（このような国を征服することはできません。）

287

武王問太公曰：「論將之道奈何？」太公曰：「將有五才十過。所謂五才者：勇、智、仁、信、忠也。勇則不可犯，智則不可亂，仁則愛人，信則不欺人，忠則無二心。所謂十過者：將有勇而輕死者，有急而心速者，有貪而喜利者，有仁而不忍於人者，有智而心怯者，有信而喜信於人者，有廉潔而不愛民者，有智而心緩者，有剛毅而自用（用任）者，有愞（心）而喜用人者。」

（卷三十一 六韜）

【註釋】

①愞（ruàn／ロ）：怯弱。

【白話】

周武王問姜太公說：「選擇將領之道，是怎樣的？」太公說：「選擇將領要具備五

種美德，避免十種缺點。所謂五種美德是：勇、智、仁、信、忠。勇敢就不可被侵犯，明智就不可被擾亂，仁慈就會愛護士卒，誠信就不會欺騙別人，忠誠就沒有貳心。所謂十種缺點是：將領有勇敢而輕率赴死的，有急躁而心求速成的，有貪婪而好利的，有仁慈而不忍害人害物、流於姑息的，有聰明卻膽小怕事的，有誠信卻輕信於人的，有廉潔而不肯厚愛士兵的，有聰明卻猶豫不決的，有強毅而剛愎自用的，有怯弱而喜歡依賴別人的。」

周の武王は姜太公に尋ねました。「軍隊を率いる將領を選ぶ方法とは、如何なものでしょうか」太公は答えました。「將領を選ぶ時は、五種的美徳を兼ね備えた者を選び、十種の欠点を持つ者を避けなさい。五種的美徳とは、勇、智、仁、信、忠です。勇氣があれば、侵されません。清らかな智慧があれば、乱されません。仁愛と慈悲があれば、兵卒を愛護します。誠意と信用があれば、人を騙しません。忠誠があれば、二心はありません。いわゆる十種の欠点とは、勇猛さがあるばかりに、軽々しく死に急ぐ者です。一心に成功を求めばかりに、せかせかして急ぐ者です。貪欲にして利益を貪ろうとする者です。慈悲で人や物に害を及ぼせないばかりに、それらを姑息してしまう者です。賢いのに、怖がりで頼りになれない者です。誠意と信用はあるが、あまりにも簡単に他人を信用してしまう者です。清廉ではあるが、兵卒を愛護しない者です。聡明ではあるが、優柔不断な者です。強い意志を持っているが、頑固にして人の意見を聞き入れない者です。怖がりで、人に頼るのを好む者です」

群書治要 360 3

十三、武事（征伐）

280

288

夫總文武者，軍之將也；兼剛柔者，兵之事也。凡人之論將，恆觀之於勇。勇之於將，乃數分之一耳。夫勇者輕命（命作合，輕合①），而不知利，未可也。（卷三十六 吳子）

【註釋】①輕合：輕率交戰。

【白話】文武雙全的人，才可做軍隊的將領；剛柔並濟的人，才可以指揮作戰。通常人們評論將領，往往只著眼於勇敢。其實勇敢對於將領來說，只是其應該具備的各種素質之一而已。僅憑勇敢的將領，輕易與敵交戰而不知權衡利害，這是不可取的。

文武共に優れている者こそ、軍隊の將領になれます。剛柔共に併せ持っている者こそ、作戦を指揮できます。將領について論じる時、人々は往々にしてその勇敢さばかり着目しているが、勇敢さは將領にとって、持つべき素質の一つに過ぎません。勇敢さしか取柄のない將領は、害を分析することなく輕率に敵と交戦してしまうが、決して見習ってはいけません。

289

武王曰：「士高下豈有差乎？」太公曰：「有九差。」武王曰：「願聞之。」太公曰：「人才參差①大小，猶斗②不以盛石③，滿則棄矣。非其人而使之，安得不殆④？多言多語，惡口惡舌，終日言惡，寢臥不絕，為衆所憎，為人所疾，此可使要問閭里⑤，察姦伺⑥猾；權數⑦好事，夜臥早起，雖遽⑧不悔，此妻子將也；先語察事，實長希言⑨，賦物平均，此十人之將也；切切⑩截截，不用諫言，數行刑戮，不避親戚，此百人之將也；訟辨⑪好勝，疾賊侵陵⑫，斥人以刑，

欲正一衆，此千人之將也；外貌咋咋^⑬，言語切切^⑭，知人飢飽，習人劇易^⑮，此萬人之將也；戰戰慄慄，日慎一日，近賢進謀，使人以節，言語不慢，忠心誠必^⑯，此十萬之將也；溫良實長，用心無兩，見賢進之，行法不枉，此百萬之將也；動動紛紛，鄰國皆聞，出入居處，百姓所親，誠信緩^⑰大，明於領世，能教成事^⑱，又能救敗，上知天文，下知地理，四海之內，皆如妻子，此英雄之率，乃天下之主也。」（卷三十一 六韜）

【註釋】①參差：不齊貌。②斗（ト）：量器。十升爲一斗，十斗爲一石。③石（シ）：計算容量的單位元，十斗爲一石。④殆：危亡，危險。⑤閭里：里巷，平民聚居之處。⑥伺：窺伺，窺探，觀察。⑦權數：猶權術。⑧遽：通「劇」。勞碌。⑨希言：少言，少說話。⑩切切：急切，急迫。⑪訟辨：爭辯。「辨」通「辯」。⑫侵陵：侵犯欺凌。⑬咋咋：《長短經》引用太公此言作「外貌咋咋」（ノノ／ノノ）。今從之。咋：羞慚。這裡指謙虛的樣子。⑭切切：懇摯。⑮劇易：艱難。⑯誠必：謂遵守信用，說到做到。⑰緩：謂刑政等寬宏，寬恕。⑱成事：成功，辦成事情。【白話】周武王問：「人的才能高下有哪些差別？」姜太公答：「有九種差別。」武王說：「希望能聽您講講。」太公說：「人的才能大小參差不齊，猶如不會以斗來裝一石之物，裝滿後，其餘的便只能拋棄。使用不合適的人，怎能不危險呢？第一種人多言多語，口不積德，整天說壞話、傳是非，連睡眠休息時都不止息，爲大眾所憎恨，被他人所厭惡，這種人可以讓他在民眾居住處打聽情況、探察姦邪狡詐之人；第二種人多有權術且好攬事務，晚睡早起，雖勞碌而不懊悔，這種人只能是管理妻子兒女的一

家之長；第三種人在說話前先觀察情況，言行謹慎，多做少說，分配平均，這種人可以做十人之將；第四種人辦事迫切雷厲風行，不輕易接受別人的諫言，多用刑戮，依法行事而不徇私情，這種人可以做百人之將；第五種人善辯好強，嫉惡如仇，以刑法懲處人，希望以此來矯正部隊，這種人可以做千人之將；第六種人外貌謙虛恭敬，言語懇切，了解眾人的飢飽，懂得他人的艱難，這是萬人之將；第七種人敬畏戒慎，做事一天比一天謹慎小心，親近賢者，善於採納別人意見，以禮待人，言語恭敬不輕慢，為人忠實守信，這是十萬人之將；第八種人溫和善良，實幹厚道，用心專一沒有貳心，見賢舉用，執法公正不阿，這是百萬人之將；第九種人一舉一動，連鄰國也無不知悉，所在之處，百姓親近擁戴，誠實守信而寬厚大度，能正確領導人民，能教化百姓成就大事，又能拯救危難，反敗為勝，上知天文，下知地理，看待四海之內的人民就如同自己家人一樣，這樣的人是英雄的首領，是天下之君主啊！」

周の武王は尋ねました。「人の才能にはどのような違いがありましたか」姜太公は答えました。「九つの違いがあります」武王は言いました。「先生のご高説を伺いたいです」太公は言いました。「人の才能はそれぞれに大小が異なります。櫛で全ての物を入れようとはしないでしょう。櫛がいっぱいになると、秤に合わない残りの物は捨てるほかありません。同じように、基準に合わない人を使うのは、危ないことと言えますか。人の才能にはそれぞれ特徴があるが、大きく分けて九つの種類に分かれます。一つ目は、お喋り好きで人の悪い噂を一日中言い続ける者です。眠りや休みの時でも、そのお喋りが止

まることはないから、人々から嫌われます。このような者を民の住処の周りに配置すると、何か邪で悪いことが起きてないかが分ります。二つ目は、腹に一物があつて世話好きな者です。いつも遅寝早起きで、たとえ忙しくしていても後悔しません。しかしながら、この程度の才能を持つ者は、せいぜい妻や子どもを管理する一家の主にしか過ぎません。三つ目は、何か言う前に状況を観察し、言葉と行いに慎重な者です。不言実行で、物を分配する時も公平さを守られます。このような者は十人ほど率いられる将領です。四つ目は、てきぱきと物事を進行させられて、他人の諫言を妄りに受け入れない者です。このような者は刑罰をよく使い、私情に影響されることなく法律に従うから、百人ほど率いられる将領です。五つ目は強がりて悪を目の仇の如く嫌い、言葉巧みな者です。このような者は部隊の風紀を正そうと、刑法を用いて人を処罰するから、千人ほど率いられる将領です。六つ目は、謙虚で恭しい態度を忘れずに、言葉遣いも懇切丁寧な者です。人々の飢えと苦しみが分るこのような者は、万人ほど率いられる将領です。七つ目は、慎重にして敬意を忘れず、日に日に注意深くなる者です。賢者に親しみながら、人の意見をよく取り入れます。また、人には礼節を持つて接し、言葉も軽薄になることなく恭しさに満ちているから、忠実で信用を守れる人柄で十万人もの兵士を率いられる将領です。八つ目は、優しく善良な心で、堅実に物事を進められる者です。一心不乱に仕事に打ち込み、優れた人材を見かけると挙用し、少しの私情も挟まずに公正に法を執り行えるから、百万人ほどを率いられる

将領です。九つ目は、少しでも動きがあると、すぐに隣国まで伝わり、どこにいても、民から親しまれて擁護される者です。誠実で信用を重んじるこのような者は、同時に広い心で寛大に人に接せられるから、民を正しく導き、偉大な事業を成就できます。また、民を危難から救い、勝敗を逆転できます。上は天文から、下は地理までの博識を誇り、四海の民を自分の家族同様に考えているから、このような者は英雄たちを率いて、天地の君主たりえます！」

290

夫將師^①者，必與士卒同滋味而共安危，敵乃可加^②。養士如此，乃可加兵於敵也。昔者良將之用兵也，人有饋^③一簞^④醪^⑤者，使投諸河，與士卒同（同舊作逆，改之）流而飲之。夫一簞之醪，不能味一河之水，而三軍之士，思為致死者，以滋味之及^⑥己也。（卷四十 三略）

【註釋】①師：當為「帥」字之誤。②加：加兵，即以武力進攻。③饋：贈送。④簞（dan / カラ）：用竹或葦做成的盛器。⑤醪（lao / カム）：酒。⑥及：至，到達。

【白話】身為將帥，一定要與士卒同甘苦、共安危，才可對敵作戰。從前有位良將帶兵打仗，有人送他一簞美酒，他就下令把酒倒在河裡，與全體士卒同流共飲。一簞美酒雖然不能使整條河的水都有酒味，但三軍將士因此而願意拼死效力，是因為將帥同甘共苦的精神及於自身的緣故。

将帥たる者は、部下の兵卒と苦樂や安否を共にしてこそ、敵と対戦できます。その昔、

291

穰苴^①曰：「將受命之日，則忘其家；臨軍^②約束^③，則忘其親；援枹鼓^④之急，則忘其身。」（卷十二 史記下）

【註釋】①穰苴（rang ju / ㄖㄨˊ ㄐㄩ）：齊國人，春秋末期軍事家。田氏，名穰苴，任司馬，曾率兵擊退晉、燕軍，治軍嚴整，深通兵法。②臨軍：謂將出作戰。③約束：規章；法令。④援枹（hu / ㄏㄨˋ）鼓：手持戰鼓之鼓槌，指在戰場指揮作戰（古時以擊鼓指揮軍隊進擊）。枹：鼓槌。

【白話】（齊國司馬）穰苴說：「身為將領，從接受任命起，就應當忘掉自己的家庭；即將出戰，要遵守軍中法令，就應當忘掉自己的雙親；擊鼓指揮軍隊進擊的緊急時刻，就應當忘掉自身的安危。」

（齊國の司馬である）穰苴は言われました。「將領としては、命を受けたその時から、自分の家庭を忘れるべきです。これから戦に出る時は、軍隊の法令を守り、自分の両親を忘れるべきです。戦鼓が打ち鳴らされる中、軍隊が進撃する緊張な時は、自身の安否を忘

戦に出ていたある良将は人から一升の美酒を送られたが、良将は酒を川の中に注いで、士卒全員と共に川水共々飲みました。一升の美酒だけでは河全体に酒の匂いを蔓延させられないが、三軍の兵士たちは命をかけて尽力するようになりました。何故なら、将帥は自分たちと苦楽を共にしているのだ、という気持ちが伝わったからです。

れるべきです」

賞不踰時，欲民速得爲善之利也；罰不遷列^①，欲民速睹爲不善之害也。賞功不移時，罰惡不轉列，所以勸善懲惡，欲速疾也。（卷

三十三 司馬法）

【註釋】①遷列：移動行列。「罰不遷列」指懲罰要就地執行。

【白話】（軍隊中）獎賞不錯過時機，爲的是使人迅速得到做善事的利益；懲罰就地執行，爲的是使人迅速看到做壞事的害處。

（軍隊の中では）奨励するのに時機を逸してはいけません。何故なら、人が速やかに良いことをした利益をもらえるようにするためです。また、懲罰はその場で与えるべきです。何故なら、すぐに悪いことをした不利益を人の目に焼きけます。

子曰：「以不教民^①戰，是謂棄之。」言用不習之民使之戰，必破敗，是爲棄之。（卷九 論語）

【註釋】①不教民：此三字構成一個名詞，即「不教之民」，指沒有學習戰鬥技能、平時也沒有接受道德教育的人民。若無道德教育做基礎，便無戰鬥意志，作戰也必然失敗。

【白話】用沒有受過軍事訓練及道德教育的人民去作戰，這等於是拋棄人民。

孔子は言われました。「軍事訓練及び道德教育を受けたことのない民に戦争に行けと言うのは、民を捨てるのに等しいことです」

伍、敬慎（尊敬と慎重）

一、微漸（修行の積み重ねは細かな処から）

294

夫禍之始也，猶燦^①火蘖足^②也，易止也；及其措^③於大事，雖孔子墨翟^④之賢，弗能救也。（卷三十六 尸子）

【註釋】

①燦（biāo / ㄅㄧㄠ）：火焰。②蘖（niè / ㄋㄧㄝˋ）足：清代汪繼培先生認為「足」字衍。

藥：樹木砍去後從殘存莖根上長出的新芽，泛指植物近根處長出的分枝。③措：舉；成。④墨翟（mò / ㄇㄛˋ）：姓墨名翟，生於春秋、戰國之交，魯人，倡「兼愛」、「非攻」，是墨家學派的創始人。

【白話】禍患剛開始的時候，就好像剛燃起的火苗、剛長出的新芽，容易制止；等到釀成大禍，那麼即使如孔子、墨翟般賢能，也無法挽救。

孔子は言われました。「軍事訓練及び道德教育を受けたことのない民に戦争に行けと言
うのは、民を捨てるのに等しいことです」

295

《象》曰：水在火上，既濟^①。君子以思患而豫防之。存不忘亡，既濟不忘未濟也。（卷一 周易）

【註釋】

①既濟：第六十三卦。離下坎上。離為火，坎為水。孔穎達先生《周易正義》說：「水在火上，炊爨之象，飲食以之而成，性命以之而濟，故曰『水在火上，既濟』也。」

群書治要 360 3

一、微漸（物事の小さな兆候）

【白話】既濟卦的《象傳》說：水在火上，比喻用火煮食物，象徵事情已經成功。君子觀此卦象，當於成功之時思慮將來可能出現的禍患，而預先採取措施，防範於未然。（因為成和敗、治和亂是循環不息的，因此君子目光遠大，存不忘亡，既濟不忘未濟。）

既濟の卦は『象伝』によると、「水が火の上にあるから、火で食べ物を調理しているように、物事の成功を象徴しています。しかしながら、君子がこの卦を観察する時は目の前の成功ではなく、将来に起こりうる災いについて考えるものです。そのために、事前に手を打って災難を未然に予防できます」（何故なら、成功と失敗、治安と混乱は永劫に循環するものです。そのために、君子は長い目で物事を考えて、成功している時でも、失敗した時のことを忘れません。）

206

自古及今，未有不亡之國也，故常戰慄，不敢諱亡。孔子所謂富貴無常，蓋謂此也。（卷十五 漢書三）

【白話】（劉向進諫說：）從古到今，沒有不滅亡的國家，所以賢明的君主心中常懷恐懼，不敢忌諱談及亡國。孔子所說的「富貴無常」，說的就是這個意思。

（劉向は上書して諫めました。）昔から今まで、滅亡しない国はありません。そのために、賢明な君主は常に戦々恐々として、亡国について言及しない訳にはいきません。孔子が言っていた「富貴は無常なり」とは、この意味です。

〔297〕

屋焚而人救之，則知德^①之；年老者，使塗隙戒突^②，故終身無失火之患，而不知德也。入於囹圄，解於患難者，則三族^③德之；教之以仁義慈悌，則終身無患，而莫之德。夫禍亦有突，賢者行天下，而務塞^④之，則天下無兵患矣，而莫之知德也。故曰：「聖人治於神^⑤，愚人爭於神^⑥也。」（卷三十六 尸子）

【註釋】

①德：感恩；感激。②塗隙戒突：塗塞煙囪的縫隙防備火災。塗：塗抹堵塞。隙：縫隙。戒：防備。突：煙囪。③三族：有三種說法：一種是指父族、母族、妻族，二是指父、子、孫，三是指父母、兄弟、妻子。④塞：堵塞；填塞。⑤治於神：消解禍害於尚不明顯的醞釀階段。神：隱微。⑥神：汪繼培先生認為當為「明」字。案《墨子·公輸篇》云：「治於神者，眾人不知其功；爭於明者，眾人知之。」

【白話】

房屋失火了，得到別人的救助，人們都知道感恩；而經驗豐富的長者教人塗塞煙囪縫隙防備災禍，從而使人終身無失火的隱患，可是人們卻不知道感恩。身陷牢獄，有人將他解救出來，那麼三族的家人都會感恩；但是教導仁義慈愛孝悌之德，使人一生沒有禍患，人們卻不知道報答感恩。世上的災難也都有類似「煙囪」的隱患，賢良的人行道於天下，盡力去彌補挽救，使天下免除戰爭的禍患，可人們也不知道報答感恩。所以說，聖人把禍害在尚不明顯的階段就消除掉，愚人則在事態顯明之時爭功。

家が火事になって人の助けを得たら、誰でも感謝の気持ち湧いてきます。しかしながら、経験豊かな老人が煙突に工夫することで火災から逃れられる秘訣を教えても、誰から

も感謝されません。牢に繋がれた者が誰かに解放されると、親族一同は助けてくれた者に感謝します。しかしながら、仁義慈愛や家族間の友好の重要性を教えて、人の一生が災難から逃れられるようにする者に対しては、誰も感謝と恩返しのできるだけ天下から戦争など様々の災いを取り除こうとしています。しかしながら、人々は彼らに感謝して恩返しをしようとしません。そのために、聖人はまだ水面下にある災いを取り除くのに苦心し、愚者は事態が明らかになってから功勞を奪い取ろうと躍起になります。

298

城郭溝渠^①，不足以固守；兵甲勇力，不足以應敵；博地^②多財，不足以有衆。唯^③有道者，能備患於未形也。（卷三十二 管子）

【註釋】①城郭溝渠：城郭，城牆。城指内城的牆，郭指外城的牆。溝渠，此指爲防守而挖的水道。②博地：廣闊的土地。③有道者：此處指掌握治國法則的君主。

【白話】僅憑城牆和護城河，不足以堅守城池；僅憑武器精兵，不足以應對敵人；僅憑地廣財多，不足以擁有百姓。只有掌握了治國之道的君主才能防患於未然。

城壁や堀だけでは、城や領地を守れません。兵器と精兵だけでは、敵と対峙できません。領土の広さと財産の多さだけでは、民を持てません。治国の道が分る君主こそ、災いを未

然に防ぐことができます。

二、風俗（風氣）

299

年穀豐稔^①，風俗未乂^②。夫風俗者，國之脈診也，不和，誠未足爲休^③。《書》曰：「雖休勿休。」況不休而可休^④乎？（卷四十五 崔寔政論）

【註譯】①稔（rěn / レン）：莊稼成熟。②乂（yì / イ）：安定。③休：美善。④休：停止。【白話】（目前）每年種植的農作物收成很好，但風俗尚未達到安寧。風俗猶如國家的脈象，如果風俗沒有調和，國政實在算不上美善。《尚書》說：「治政雖美善而不敢自以爲美。」更何況治政尚未完善，怎麼可以自滿並停止努力呢？

毎年の農作物の收穫はとも多いが、社会の風紀はまだ安寧とは言えません。何故なら、風紀はまるで国家の命脈のようであり、もし風紀の調和が取れていなかったら、良好な国政とは言えません。『尚書』は言われました。「本当に良き執政者はたとえ上手く政事を執り行えたとしても、自ら素晴らしいとは思いません」良き執政者でもそうであれば、政事にまだまだ改善の余地が残る者は、どうしたら満足して努力を止められましょうか。

300

禮俗不一，職位不重，小臣咨度^{（咨度作 讒嫉）}，庶人作議，此衰國之風也。君好謙^{（謙作 讓）}，臣好逸，

士好遊，民好流，此弱國之風也。君臣爭明，朝廷爭功，士大夫爭名，庶人爭利，此乖國之風也。上多欲，下多端，法不定，政多門，此亂國之風也。以侈爲博，以伉^①爲高，以濫爲通，遵禮謂之劬^②，守法謂之固，此荒國之風也。以苛爲察，以利爲公，以割下爲能，以附上爲忠，此叛國之風也。上下相疏，內外相疑（疑作蒙），小臣爭寵，大臣爭權，此危國之風也。上不訪下，下不諫上，婦言用，私政行，此亡國之風也。（卷四十六 申鑒）

【註釋】①伉（kàng / 亢）：驕縱、傲慢。②劬（qú / 劬）：勞苦。

【白話】政府制定的禮法和民間風俗不一致，大臣所負的職責和官位不相稱，君主身邊的小臣進讒言、鬧嫉妒，平民隨便議論朝政，這是衰國之風。君主喜歡過度謙退不能扛起應有的責任，臣子好逸惡勞，士大夫喜歡遊樂，百姓喜歡流落他鄉居住，這是弱國之風。君臣爭著顯示賢明，朝廷內群臣爭執功勞，士大夫好爭虛名，老百姓好爭利益，這是乖國之風。在上位的人多私欲，在下位的人多爭端無從著手，法規朝令夕改，政令出自多門，這是亂國之風。把奢侈當博大，把傲上當清高，把越軌當通達，以遵守禮儀爲煩勞，以遵紀守法爲固執，這是荒國之風。把苛刻當明察，把逐利當公務，以宰割下民爲本事，以巴結上司爲忠誠，這是叛國之風。上下互相疏遠，內外互相懷疑，小臣爭相求寵，大臣爭權奪位，這是危國之風。君主不訪察下情，臣下不直言進諫，寵妃之言多被採納，權臣之令暢行無阻，這是亡國之風。

政府が制定した礼法と民間の風俗が一致しておらず、大臣の職責と官位が見合わないことがあります。また、君主の周りにいる官位の低い臣下が讒言を進言して焼きもち焼いたり、平民が妄りに政事について論じるのは、国が衰退する風向きを示しています。あまりにも謙虚で逃げ腰になってしまう君主は、担うべき責任を担えません。また、臣下が職務を嫌う怠け者で、士大夫が遊樂ばかりを好み、民が異郷にさすらっていた方を好むようであれば、国力が弱まっていく風向きを示しています。君主と臣下がどちらがより賢明であるかを証明するのにはばかり気をとられることもあります。また、朝廷内の大臣たちは功労を、士大夫は虚名を、民は利益を争っているのは、国運が低下する風向きを示しています。上位にいる者の多くが私欲のことしか考えておらず、下位にいる者の多くが争うばかりで改善のしようがないことがあります。また、朝に頒布した法律や規制が夕方になると変更されて、政令も各部署から妄りに出されていては、国が乱れてしまう風向きを示しています。贅沢することが気前のいいことに、傲慢が清廉に、紀律のないことが親しみやすいことに言い換えられてしまうことがあります。また、礼儀を守ることが親しみやすいことを頑固だと見なすのは、国が荒廃してしまう風向きを示しています。苛酷であることを明察に、利益を追い求めることを公務に言い換えられてしまうことがあります。また、民をいじめることを才能に、上司におもねることを忠誠に考えることがあるが、これは国に背く風向きを示しています。上下が互いに疎遠であり、内外も互いに疑いあうことがあ

ります。また、官位の低い臣下が君主の寵愛を競いあい、大臣がより高い地位を求めて争うのは、国が危機に侵される風向きを示しています。君主が下々の様子を視察せず、臣下も率直に進言して諫めないことがあります。また、寵姫の言葉がよく採用されて、権力を持つ大臣の命令が威力を持つて実行されるのは、亡国する風向きを示しています。

301

世治則小人守正，而利不能誘也；世亂則君子爲姦，而刑（刑作法）不能禁也。（卷四十一 淮南子）

【白話】在太平盛世，小人都能堅守正道，財利也不能引誘他們；世道混亂，連君子都做姦邪之事，刑法也不能禁止。

太平な盛世にいと、心の卑しい者でも正道を固く守り、金銭や利益に誘惑されることはありません。世の中が混乱していると、たとえ君子でも邪なことに手を染めてしまい、刑法があつても阻止できません。

302

商賈在朝，則貨財上流^①；婦言^②人事，則賞罰不信；男女無別，則民無廉恥。而求百姓之安^③、兵（兵作難）士之死節^④，不可得也。（卷三十二 管子）

【註釋】①貨財上流：因賄賂風行而使財富流向朝廷及官吏手中。②婦言：后妃妻妾之言。③安：《治要》「商務本」斷句爲：而求百姓之安、兵士之死節。校勘記：「安下

有難字」。「天明本」斷句爲：而求百姓之安兵、士之死節。校勘記則爲：「兵作難」。今從商務本。「安難」謂不避禍難。④死節：爲守住節操而犧牲。

【白話】商人在朝做官，賄賂就會風靡上層；后妃妻妾干預朝政，獎賞處罰就不會準確；男女沒有界限，人民就沒有廉恥。如此，卻要求百姓爲君主不避禍難，兵士爲朝廷捐軀，是不可能的。

商人が仕官すると、賄賂の悪習は朝廷の上層部にまではびこってしまいます。皇后などの妃たちが朝政に干渉すると、賞罰に準則はなくなってしまう。男女に区別がないと、民は廉恥を失ってしまいます。このような状態になって、君主のために災いから逃れるなと民に要求し、朝廷のために身を捧げよと兵士に命じてても、所詮無理なことです。

303

廉隅^①貞潔者，德之令也；流逸奔隨者，行之汚也。風有所從來，俗有所由起。疾其末者，刈^②其本；惡其流者，塞其源。夫男女之際，明別其外內，遠絕其聲音，激厲其廉恥，塗塞其虧隙，由尙有胸心之逸念，睥睨^③之過視，而況開其門，導其徑者乎？（卷四十五 昌言）

【註釋】①廉隅：比喻端方不苟的行爲、品性。②刈（yī / 一）：割。消除，除去。③睥睨（dī pàn / カ、タ）：顧盼。睥：斜視；流盼。盼：同「盼」。

【白話】端方不苟、堅貞高潔，是美好的品德；放蕩無節、任性私奔，是污濁的行爲。風氣都有其來由，民俗也有其根源。嫉恨其末梢就該割斷其根本，厭惡其濁流就要堵塞其源頭。男女之間，即使明確地分開其外內的處所，疏遠隔絕其交談，激勵其廉恥

之心，堵塞造成非禮的空隙，還會有內心放縱的念頭、越禮的斜視，更何況大開其門，並為之引路呢？

正しく潔いでいるのは、美しい品格と徳性です。放蕩にして節操がなく、思うままに駆け落ちするのは、汚れた行いです。風俗にはそれぞれの由来があり、民族にもその根源があります。何かの末梢を妬み恨むのであれば、その根元を切り下ろしてしまふべきです。何かの濁流を嫌うのであれば、その源を塞いでしまふべきです。男女の間も同じです。たとえそれぞれの住処を内外に明らかに分かれて、その仲を疎遠にして会話を禁じ、さらに廉恥を重んじる心を育てることによって、礼儀に背く隙間を塞いでも、その心の中には放蕩したい考えや礼儀を背いてしまおうとする動きがあります。これらの禁止がなくなると、規範を破る行為は尚更増えることでしょう。

304

天下多忌諱^①，而民彌貧。

天下，謂人主也。忌諱者，防禁也。令天下，謂人主也。忌諱者，防禁也。令

民多利器^②，國家滋昏。

利器者，權也。民多權，則視者眩於目，聽者惑於耳，上下不

親，故國家昏亂也。

人多伎巧^③，奇物^④滋起。

人，謂君也。多伎巧，刻畫宮觀，彫琢章服，下則化上，日以滋起也。

法物滋彰，盜賊多有。

法，好也。珍好之物，滋生彰著，則農事廢，飢寒

並至，故盜賊多有。

（卷三十四 老子）

【註釋】①忌諱：指禁戒。②利器：謂權謀。③伎巧：即智巧。伎，與「技」同。④奇物：

奇麗奢華之物。

【白話】君主的禁令愈多，人民動輒得咎，不能安心工作，就會愈來愈貧窮。百姓多權謀，

上下寡恩少義，國家就愈來愈混亂。人主看重技藝機巧，上行下效，奇麗奢華之物就會興起。珍奇物品愈多愈精美，人民想要不勞而獲，盜賊就愈來愈多。

君主が下した禁令が多ければ多いほど、民はやたらと罪に問われることになるので、安心して仕事できずにますます貧しくなってしまう。民が権謀をよくめぐらし、上下を問わずに恩義を軽視しているのであれば、国はますます混乱になってしまいます。君主が巧妙で精緻な物を重視すると、それに見習って奇をてらった物が民間でも持てはやされるようになります。珍妙にして精巧な物が多ければ多いほど、民は労せずしてそれらの物を得ようとして、盗賊はどんどん増えてしまいます。

305

今使列肆^①賣侈功，商賈^②鬻^③僭服^④，百工^⑤作淫器^⑥，民見可欲^⑦，不能不買，賈人之列，戶踰侈矣。故王政一傾，普天率土，莫不奢僭者，非家至人告，乃時勢驅之使然。此則天下之患一也。（卷四十五 崔寔政論）

【註釋】①列肆：謂成列的商鋪。②商賈：商人。③鬻（yù / ㄩˋ）：賣。④僭（jiàn / ㄐㄧㄢˋ）：越禮違制的服飾。僭：指超越本分。⑤百工：各行各業的手工業者。⑥淫器：奇巧而無用的器物。⑦可欲：指足以引起欲念的事物。

【白話】如今成列的商鋪都在賣奢侈的物品，商人出售違背禮制的服飾，各行各業的手工業者都在製作奇巧而無用的器物，百姓見了能夠引起欲望的物品，禁不起誘惑不能不

買，這些商人，家家戶戶都越過等級奢靡無度。所以國家政令一旦鬆弛（沒有限制國人欲望的發展），普天下的官庶百姓，就會無不奢侈逾禮，不合法度。這不是到家家戶戶去宣揚的結果，而是時勢潮流的推動使其如此。這是危害國家的禍患之一。

今になつては連なる店舗は皆、贅沢な品物を売っています。商人は礼法と制度に背く衣服を売り出し、様々な職人たちは珍妙にして無用な物を作っています。民はこれらの物を見て欲望にかられ、買わずにいらなくなつてしまいます。これらの商人は皆、度を超えた豪華な生活をしています。そのために、もし国の政令が少しでも緩めてしまうと（国民の欲望が際限なく発展するように制限していないと）、天下の官員及び民は全て贅沢になつて、礼儀と法令を守らなくなつてしまいます。このような風潮は家々に訪れて宣伝した結果ではなく、時勢の移ろいによつて自然にそうなつてしまったのです。これは国に危害を及ぼす災いの一つです。

306

今背本而趨末，食者甚衆，是天下之大殘也；淫侈之俗，日日以長，是天下之大賊也。（卷

十四 漢書二）

【白話】如今人們背離農業趨向商業，食用糧食而不耕種的人口眾多，這是天下的大害；奢侈浪費的風氣日益增長，這是天下的大禍。

今になつて、人々は農業から離れて商業に走るようになりました。食糧を食べるばかり

で耕さない人口の甚大なことを見なさい。これは天下を揺るがす大害です。このまま贅沢に浪費する風習が日に日に増長していくと、天下を滅ぼす大禍になってしまいます。

307

君子之御下也，民奢，應之以儉；驕淫者，統之以理。未有上仁而下賊，讓行而爭路者也。故孔子曰：「移風易俗。」豈家令（命作至）人視之哉？亦取（取作先）之於身而已矣。（卷四十新語）

【白話】君王治理百姓，民風奢侈了，就提倡勤儉；民眾驕縱放蕩，就提倡倫理道德的教化。從沒有上位者仁義而下位者卻暴虐的，也沒有上位者讓路而下位者爭路的。所以孔子說：「移風易俗。」難道是要一家家地去查看嗎？其實只要君王以身作則，從自己做起就行了。

君主や帝王が民を治める時は、世間が贅沢をするようになると、節約を提唱してきました。民が驕つて放蕩するようになると、君主は倫理と道德による教化を提唱してきました。上位にいる者が仁義を重んじるのに、下位にいる者が暴虐の限りを尽すことは今まで一度もありません。また、上位にいる者が道を譲っているのに、下位にいるが道の通行権を争うこともありませんでした。そのために、孔子は言いました。「風俗を移ろわせて変更しなさい」まさか一軒一軒の民家を訪れなさいと言っている訳ではありません。実は君主や帝王が自ら模範となつて、民に見本を示せばよいのです。

〔308〕順其善意，防其邪心，與民同出一道，即民性可善，風俗可美矣。（卷三十五 文子）

【白話】君主依從百姓善的意念，防止百姓邪念產生，與百姓共同遵循善道而不變，才可以使百姓棄惡從善、民風趨於淳厚。

民の善意に従い、邪念が起ることを阻止して、民と共に善道に従って心変わりするところがなければ、君主は民に悪の道を捨てさせ、善の道に邁進させられます。そして民風も徐々に善良にして温厚なものになります。

〔309〕上好德則下修行，上好言則下飾辯。修行則仁義興焉，飾辯則大偽起焉，此必然之徵也。德

者難成而難見^①者也，言者易撰而易悅者也。先王知言之易，而悅之者衆，故不尙焉。（卷四十九 傅子）

【註釋】①見（*難* / *見*）：「現」的古字。

【白話】君主崇尚美德，則臣下重視修養德行；君主喜好高談闊論，則臣下熱衷粉飾巧言。修養德行則仁義之道興起，粉飾巧言則詭詐之風興起，這是必然現象。美德難修成也難被發現，高談闊論容易撰寫也容易討人喜歡。古代聖王知道巧言易說且多數人愛聽，所以不提倡。

君主が美德を崇めているのであれば、臣下は徳性を修養することを重視します。君主が空論を好むのであれば、臣下は美辞麗句で言葉を修飾することに熱中します。人々が徳性

310

を修養すれば、仁義の道は盛んになります。人々が美辞麗句で言葉を修飾すれば、詐欺の風習が出来上がってしまいます。これは必然の現象です。美德の養成は難しく、なかなか気付かれません。対して、空論は簡単に書いて人からも好まれます。古代の聖王は美辞麗句は容易く言えて、多くの人が好むものだとして知っているので、提唱しませんでした。

古者民樸而化淳^①，上少欲而下黜^②偽。衣足以暖身，食足以充口，器足以給用，居足以避風雨。養以大道，而民樂其生；敦^③以大質^④，而下無逸心。日中^⑤爲市，民交易而退，各得其所。蓋化淳也。（卷四十九 傅子）

【註釋】①化淳：教化淳厚。②黜（キハロ／テグ）：同「鮮」，少。③敦：勸勉；勉勵。④大質：純樸的本質。質：樸實；淳樸。⑤日中：從天亮到正午的半天時間。

【白話】古代人民樸實，風俗淳厚，在上位者貪欲少，居下位者少偽詐。人們只求衣能保暖，食可充飢，器具可供使用，住房能避風雨。用正確的道理教化，百姓安居樂業；用純樸的本質勸勉，百姓無放縱之心。上午是市場開放的時間，百姓進行交易後離開，各獲所需。這是風俗淳厚的結果。

古代の民は素朴であり、風俗も温厚なものでした。上位にいて貪欲な者は少なく、下位にいて詐欺をする者もありませんでした。人々にとって、衣服を着るのは寒さを凌ぐためであり、食べ物を食すのは飢えを満たすためでした。また、器物は使えるだけで充分

であり、家は雨風を凌げば満足しました。このように、正しい道理で教化すれば、民は居住地に満足して、それぞれの仕事に楽しく取り組むことができました。また、純朴な本質を奨励して勧めると、民から放蕩する心の芽を取り除けます。午前は市が開放する時間ではあるが、それぞれの必需品を得て取引が終えると、民はすぐに帰っていきます。これも温厚な風俗のお蔭でした。

三、治乱

311

文公^①問於郭偃^②，郭偃，卜偃。曰：「始也吾以國爲易，易，易治也。今也難。」對曰：「君以爲易，其難也將

至矣；君以爲難，其易也將至矣。」以爲難，而勤修之，故其易將至。（卷八 國語）

【註釋】①文公：即晉文公。姬姓，名重耳。春秋時期晉國國君，春秋五霸之一。②郭偃：

晉國大夫，掌管占卜，也稱卜偃。

【白話】晉文公向郭偃問道：「開始的時候，我以爲治理國家是很容易的事，現在才感到很難。」郭偃回答說：「君上如果以爲容易，那麼困難將會到來；君上如果認爲困難，那麼容易將會到來。」

文公は郭偃に言われました。「最初の頃は、国を治めるのは簡単なことだと思っています。今になって、その難しさがよく分ります」郭偃は答えました。「もし殿が簡単だと

お思いのであれば、困難はやってまいります。もし難しいとお思いのであれば、自ずとやさしくなりましょう」

312

大禹^①曰：「后^②克^③艱^④厥^⑤后，臣克艱^⑥厥^⑦臣，政乃又^⑧，黎民敏^⑨德。」
敏，疾也。能知爲君之難，爲臣不易，則其政治，而黎民皆疾修德也。（卷

二 尙書）

【註釋】①大禹：鯀的兒子，名文命，號禹，夏后氏首領。受舜禪讓繼帝位，建立夏代。②后：上古及三代的部落首領及君王稱「后」。③克：能夠。④厥：其。⑤又（又／＼）：

治理，安定。⑥敏：敏捷，迅速。

【白話】大禹曾說：「如果君主能夠了解盡到君主職責的艱難，臣子能夠了解盡到臣子本分的艱辛，國政就會得以安定，民眾就會迅速去修養自己的德行。」

大禹は言われました。「もし君主が君主としての責務を全うすることの難しさを理解し、臣下が臣下としての本分を守ることの厳しさを分れば、国政は安定し、民は速やかに自分たちの徳性と品行を修めましょう」

313

義^①也者，萬事之紀^②也，君臣^③上下^④親疏^⑤之所由起也，治亂安危之所在也。勿求於他，必反人情^⑥（人情人情作於己）。（卷三十九 呂氏春秋）

【註釋】①義：謂符合正義或道德規範。②紀：綱領。③君臣：指領導與被領導。④上下：

長幼。⑤親疏：指關係或感情上距離的遠近。

【白話】義，是萬事的綱紀，是產生君臣、長幼、親疏關係各自本分的起點，是國家治亂安危關鍵之所在。（所以成敗）勿求於他人，必須反求諸己。（自己按正義行事，才能獲得成功。）

義とは、万事の綱紀であり、君臣や長幼、親疎の關係それぞれの本質をなすものであります。また、国が混乱を治めて、危険を安定させるための鍵でもあります。（そのために、成敗は）人に求めるのではなく、逆に自分に対して要求しなければなりません。（自分が正義に従って物事を進行すれば、成功を得られます。）

314

明主不用其智，而任聖人之智；不用其力，而任衆人之力。故以聖人之智思慮者，無不知也；以衆人之力起事者，無不成也。能自去而因^①天下之智力，起^②則身逸而福多。亂主獨用其智，而不任聖人之智；獨用其力，而不任衆人之力，故其身勞而禍多。故曰：「獨任之國（國舊作圖，改之），勞而多禍。」（卷三十二 管子）

【註釋】①因：依託，憑藉。②起：清代戴望先生說：「元本無『起』字，此誤衍。」

【白話】賢明的君主不靠自己的智慧，而用聖人的智慧；不靠自己的力量，而用衆人的力量。所以憑藉聖人的智慧思考問題，就沒有不明白的；用衆人的力量做事，就沒有不成功的。能夠不固執己見而依靠天下人的智慧和力量，就會自身安逸而造福眾多。昏

君獨特自己的才智，而不信賴聖人的智慧；獨特自己的能力，而不依靠眾人的力量，所以自身疲勞而禍患眾多。所以說：「獨斷專行的國君，其國勢必疲於奔命而又多禍。」

賢明な君主は自分の智慧ではなく、聖人の智慧を用います。自分の力ではなく、万人の力を用います。聖人の智慧で問題について考えているので、分らないことはありません。万人の力で物事を進行しているので、成功しないことはありません。自分の意見を固持せず、天下の人々の智慧と力に頼ることができれば、自分は安逸でいられる上に、多くの者に福をもたせます。暗君は自分の才智を驕っているので、聖人の智慧に頼りません。自分の能力を驕っている、万人の力を借りません。そのために、自分は疲労困憊にして多くの禍にまみれています。ゆえに、「独断で物事を横柄に行う国君がいれば、その国政は必ず苦勞が多くて禍にまみれてしましましょう」と言われます。

315

國之所以亂者四：內有疑^①妻之妾，此宮亂也；庶有疑嫡之子，此家亂也；朝有疑相之臣，此國亂也；任官無能，此衆亂也。四者無別，主失其體；群官朋黨，以懷其私，則失彊^{（彊作族）}矣。故妻必定，子必正，相必直立^②以聽，官必忠信以敬。（卷三十二 管子）

【註釋】①疑（コト／カ）：通「擬」。比擬。②直立：正位，主其位的意思。直：正。立：古文「位」字。

【白話】國家之所以動亂的原因有四點：宮内有與正妻地位相當的寵妾，這是宮廷動亂的原因；庶子中有與嫡子地位相當的孩子，這是家中動亂的原因；朝廷中有權力與宰相相當的寵臣，這是國家動亂的原因；所任用的官員沒有才能，這是群吏動亂的原因。對這四種情況不能識別，君主就會喪失制度規章；群臣結為朋黨，各營私利，君主就會失去宗族的支持。所以，嫡妻必須要確定地位，嫡子必須要正名，宰相必須正位以聽政，百官必須忠信以敬業。

国に動乱が起こつてしまう原因は四つあります。宮内に正妻と地位が相当する寵姫がいれば、宮廷に動乱が起こつてしまう原因になります。庶子の中に嫡子と地位が相当する子どもがいれば、家に動乱が起こつてしまう原因になります。朝廷の中に宰相と権力が相当する寵臣がいれば、国に動乱が起こつてしまう原因になります。任用する官員に才能がなければ、臣下たちが動乱を起こつてしまう原因になります。これら四つの状況を識別できなければ、君主は制度と規則を失つてしまいます。臣下たちが朋党を結び、私利を企むようになると、君主は宗族からの支持を失つてしまいます。そのために、正妻の地位は確固たるものでなければならず、嫡子の名分は正さなければなりません。宰相の官位が正されてこそ、政事に専念することができます。百官は忠信を守つてこそ、その職務を敬謙に執り行えます。

316

子張問政於孔子曰：「何如斯可以從政矣？」子曰：「尊五美，屏^①四惡，斯可以從政矣。」
屏，除也。子張曰：「何謂五美？」子曰：「君子惠而不費，勞而不怨，欲而不貪^②，泰而不驕，威而不猛。」

子張曰：「何謂惠而不費？」子曰：「因人所利而利之，不亦（不亦上脫斯字）惠而不費乎？」

利民在政，無費於財。擇可勞而勞之，又誰怨？欲仁而得仁，又焉貪？君子無衆寡，無小大，無敢慢，言君子不以寡小

而慢之。斯不亦泰而不驕乎？君子正其衣冠，尊其瞻視，儼然人望而畏之，斯不亦威而不猛乎？」

子張曰：「何謂四惡？」子曰：「不教而殺，謂之虐；不戒視成^③，謂之暴；不戒，而責目前成，爲視成也。慢令

致期^④，謂之賊；與民無信，而虛刻期。猶之與^⑤人也，出納之吝^⑥，謂之有司^⑦。」謂財物俱當與人，而吝當於出內，難成，此有司之任耳，非人君之道。（卷

九 論語

【註釋】①屏（bǐng / ㄅㄧㄥˇ）：除去，排除，摒棄。②欲而不貪：下文云「欲仁而得仁，又

焉貪？」可知此「欲」字是指欲仁欲義而言。南朝梁代皇侃《論語義疏》云：「欲仁

義者爲廉，欲財色者爲貪。」③視成：謂責其成功。④致期：南宋朱熹先生認爲即「刻

期」，指嚴格限定日期。刻，通「剋」。⑤與：給予。⑥出納之吝：捨不得拿出去，

出手小氣。此處「出納」一詞只有「出」的含義，沒有「納」的含義。俞樾先生《群

經平議》云：「此自言出之吝耳，納則何吝之有？因出納爲人之恒言，故言出而並

及納。」⑦有司：本是官吏的通稱，這裡指庫吏之類的小官，他們在財務出入時都

要精確算計、嚴加盤查。從政的人如果這樣，就顯得吝嗇刻薄而小家子氣了。皇侃《論

語義疏》：「有司，猶庫吏之屬。人君若物與人而吝，即與庫吏無異。」

【白話】子張向孔子請教爲政之道說：「怎樣才可以從事政治呢？」孔子說：「要尊崇五種

美事，屏除四種惡事，這就可以從政了。」子張問：「什麼是五種美事？」孔子說：「君子爲政，給人民恩惠而不耗費財力，勞役人民而不招民怨，有欲（欲仁欲義）而非自私之貪欲，心中安泰而不驕傲，有威儀而不凶猛。」

子張又問：「怎樣才算給人民恩惠而不耗費財力？」孔子說：「就著人民可以得利之處，制定適當的政策來利民，這不就是惠民而不耗費財力嗎？需用民間勞力時，選擇可以勞動的（時間、情況和人民）去勞動他們，又有誰會怨呢？欲行仁政即行，便能得仁，又有什麼貪可言呢？君子待人，無論多數少數，也不論是大人物小人物，都不敢怠慢，這不就是心中安泰而不驕傲嗎？君子端正其衣冠，自尊其瞻視儀容，令人望之儼然而生敬畏，這不就是有威儀而不凶猛嗎？」

子張說：「什麼是四種惡政？」孔子說：「爲政不先教民，民眾犯罪就殺，這叫做虐；爲政不在事先一再地告誡，而立刻就要看到成果，這就是暴；政令發布很慢，限期完成卻是緊急而刻不容緩，這就是賊害民眾；散發財物給人民，到發放時卻顯得吝嗇，這就叫小吏氣量。」

子張は政事を執り行う方法について、孔子に尋ねました。「どうのようになれば、政治に従事することができましょうか」孔子は言いました。「五つの良いことを尊い、四つの悪事を排除すれば、政治に従事できましょう」子張はさらに尋ねました。「何が五つの良いことでしょうか」孔子は答えました。「君子が政事を執り行う時は、相手に金銭ではなく恩恵を与えているので、民を使役しても、民から恨まれません。すなわち、欲があつて

も（仁義のための欲であり、）私利を貪ろうとする貪欲ではありません。心が驕ることなく安らいでいるため、凶暴に怒らなくても、自然に威厳が備わります」

子張はまた尋ねました。「どのようにすれば、金銭を使わずに、民に恩恵を与えるのだと言えましょうか」孔子は答えました。「民が利益を得られそうなことに従って、適当な制度で人々の便利を図れば、金銭を使わずにして恩恵を与えているではありませんか。民間の労力が必要な時は、（時間や状態が）労働に適した人を選べば、誰が文句を言いましようか。もし仁政を行いたいと思つて実行できたら、仁愛の精神を得られるだけではなく、貪欲になることもないでしょう。君子は人に接する時、相手の人数や地位に係わらずに怠慢しないが、これこそ心の中が驕らずに安らいでいることの証明ではありませんか。君子はその衣服と冠を正して、人から見られる自分の儀容に気を使います。そのようにすると、人々は君子を見ただけで自然に畏まつて尊敬するようになり、これこそ凶暴に怒らなくても、自然に威厳が備わることです」

子張は言いました。「四つの悪政とは何でしょうか」孔子は言いました。「政事を執り行う時、先に民を教育していなかったのに、民が罪を犯せばすぐに殺してしまうのは、残酷だと言えます。新しい制度を実行する時、先に繰り返し宣伝して広まらなかったのに、すぐに目に見える成果が欲しいのは、暴虐だと言えます。政令の頒布が遅いの、完成する期限は短く、一刻の猶予も許さないのは、民を騙して害を及ぼすようなものです。財物

を民に分配すると言いながら、いざ分配する時は吝嗇しているのは、官位の低い官吏程度の気前しかないと言えます」

317

夫人君欲治者，既達專持刑德之柄矣，位必使當其德，祿必使當其功，官必使當其能。此三者治亂之本也。位當其德，則賢者居上，不肖者居下；祿當其功，則有勞者勸，無勞者慕。（卷四十七 政要論）

【白話】君王要讓天下達到大治，已經明瞭要用好法制和德教的權柄，那麼賜予人地位一定與其德行相符，賜予人俸祿一定與其功勞相符，賜予人官職一定與其才能相符。這三條，是治亂的根本。地位與德行相符，那麼賢德的人就會居於上位，不夠賢德的人就會居於下位；俸祿與功勞相符，那麼有功勞的人就會得到鼓勵，沒有功勞的人就會朝此努力。

君主と帝王は天下を安泰で素晴らしい状態にするためには、法制と徳育をよくすることだと、既に心得ております。そのように心得ていれば、人に地位を与える時は必ずその徳性と品行に、人に俸祿を与える時は必ずその功勞に、そして人に官職を与える時は必ずその才能に見合うようにします。これら三つのことは、混乱を治めるための根本です。地位と徳性や品行が一致していれば、賢徳のある者は上位に、賢徳のない者は下位にいます。俸祿と功勞が一致していれば、功勞のある者は励まされて、功勞のない者はそれを目標に

努力するようになります。

318

國亂有三事：年飢民散，無食以聚之則亂；治國無法則亂；有法而不能用則亂。有食以聚民，有法而能行，國不治，未之有也。（卷三十七 尹文子）

【白話】造成國家混亂的原因有三種：遭受饑荒，人民流離失所，君主沒有糧食來聚攏安穩人民，國家就會混亂；治理國家沒有法令制度，國家會混亂；有了法令制度但不能貫徹執行，國家也會混亂。有足夠的糧食能夠聚攏安穩百姓，有良好的法令制度且能貫徹執行，而國家還不能治理好，是從來沒有有的事。

國が混乱するのには三つの原因があります。民は飢饉にあつて家を失ったのに、君主に民を安定させるだけの食糧がなければ、国は混乱してしまいます。国を治めるのに、法令や制度がなければ、国は混乱に陥ってしまいます。法令や制度はあるのに、徹底して執行することができなくても、国は混乱に陥ってしまいます。民を安定させるだけの十分な食糧があつて、良好な法令や制度を徹底して執行することができれば、国を治められないことは、未だかつて一度もありません。

四、鑒戒（過去の経験を教訓にします）

319

孔子觀於明堂^①，睹四方之墉，^{牆，有堯、舜、桀、紂之象，而各有善惡之狀、興廢之誠焉。又}

有周公相成王，抱之而負斧扆^②，南面以朝諸侯之圖焉。孔子徘徊而望之，謂從者曰：「此則周之所以盛也！夫明鏡者所以察形，往古者所以知今。人主不務襲跡於其所以安存，而忽怠於所以危亡，是猶未有以異於卻步而欲求及前人也，豈非惑哉？」（卷十 孔子家語）

【註釋】①明堂：古代帝王宣明政教、舉行大典的地方。這裡是孔子到周國所參觀的明堂。

②斧扆（ㄅㄨˋ / ㄞˋ）：古代帝王朝堂所用的狀如屏風的器具，以絳爲質，高八尺，東西當戶牖之間。其上有斧形圖案，故名。《逸周書·明堂》：「天子之位，負斧扆，南面立。」

【白話】孔子在周國的明堂參觀時，看到四周的牆壁上繪有堯帝、舜帝、夏桀、商紂的畫像，畫像下面都敘述了他們的善行和惡跡的情況，以及興盛和衰亡的規誡。還有周公輔佐成王時，抱著成王背靠斧紋圖案的屏風，面南而坐接受諸侯來朝見的圖畫。孔子徘徊在這些畫像前反覆瞻仰，對跟隨在身邊的弟子們說：「這就是周朝繁榮興盛的原因啊！明鏡是用來觀察人的身形的，歷史則是用來看清現實和預知未來的。如果君王既不努力承襲古代聖王之所以長治久安之道，又忽視亡國之君之所以危亡的原因，這就跟向後面倒退，卻想要趕上走在前面的人沒有兩樣，豈不是很糊塗嗎？」

ある日、孔子は周国の帝王が政治や儀礼を行う明堂を見学しました。周りの壁には堯帝、

320

古人有言曰：「人無^①于^②水鑒^③，當于民鑒。」古賢聖有言，人無於水鑒，當於民鑒也。視水見己形，視民行事見吉凶。今惟殷墜命，我其可弗

大鑑？今惟殷紂無道，墜失天命，我其可不深大視爲戒也。（卷二 尚書）

【註釋】①無：勿。②于：以。③鑒：照，察看。

【白話】古人有句格言說：「人不要只把水當作鏡子觀察自己，而應當把百姓作爲鏡子審查自己。」如今殷已失掉了他的天命，我們豈可不深刻反省以殷商滅亡之事爲鑑呢？

昔の人はこのような格言を言われました。「人は水を鏡にして、自分のことを観察して

舜帝、夏桀、商紂らの肖像画が掲げられており、絵の下にはそれぞれのした善行と悪行が記され、強盛もしくは衰亡したことへの戒めが見えました。また、周公が成王を補佐していた時に、幼い主君を抱いて帝王の象徴である斧文様の屏風を背にしながら、南向きに座って諸侯の謁見を受けていた絵がありました。孔子はこれらの絵の前を歩き回って、繰り返し仰げてから、そばについていた弟子たちに言われました。「これこそ周朝が栄えて強盛になった原因です！明鏡は人の身なりを観察するためのものであり、歴史は現実を見定めて未来を予知するためのものです。もし主君が昔の聖王が長く平穩に治国できた道を勤めて受け継げようとしないうちに、亡国の君主がいかにして国を滅亡させたのかも無視しているのならば、まるで後ろ向きに歩いているのに、先頭にいる者に追いつこうとしているのと違いがありません。何と馬鹿げたことでしょうか」

はなりません。民を鏡にして、自分のことを審査するべきです」今や殷はその天命を失ったが、私たちが殷商が滅亡したことを鏡として、深く反省しないわけにはまいりません。

321

殷君喜以人餒^①虎；喜割人心；喜殺孕婦；喜殺人之父，孤人之子；喜奪；喜誣；以信爲欺，欺者爲眞；以忠爲不忠；忠諫者死，阿諛者賞；以君子爲下；急令暴取；好田獵，出入不時；喜治宮室脩臺池，日夜無已；喜爲酒池肉林糟丘，而牛飲者三千飲人；無長幼之序，貴賤之禮；喜聽讒用舉，無功者賞，無德者富；所愛專制而擅令，無禮義，無忠信，無聖人，無賢士，無法度，無升斛^②，無尺丈，無稱衡。此殷國之大妖也。（卷三十一 六韜）

【註釋】

①餒（*wa.i. / x.*）：亦作「餵」。餵養。②升斛：升與斛的合稱，均爲計量標準的名稱。

【白話】商紂王喜歡用人來餵虎；喜歡挖人的心；喜歡剖開孕婦的肚子；喜歡殺人之父，使人成爲孤兒；喜歡奪取；喜歡妄言；把誠信當成欺詐，把欺詐當作真實；把忠誠視爲不忠；忠心勸諫者被處死，阿諛奉承者受到賞賜；把君子看得卑下；政令苛急，暴取豪奪；喜好打獵，出入不避時節；喜好修造宮室台池，日夜不停；喜好建造酒池、肉林和酒糟堆成的小山，還招集三千人狂飲；不分長幼的次序，沒有貴賤的禮節；喜歡聽信姦邪之人的讒言，並任用他們舉薦的人，使無功者受賞，使無德者富有；喜好專制而獨攬政令；不講禮義、不講忠信，目無聖人，無視賢士，國無法度，沒有計容量、量長短、稱輕重的統一標準。這些都是殷國大的反常、怪異之事。

322

昔秦所以亡天下者、但坐^①賞輕而罰重、刑政錯亂。民力盡於奢侈、目眩於美色、志濁於財寶、

商の紂王はエサとして虎に人をやるのを好みました。また、人の心臓を抜き取り、妊婦の腹を切り裂き、人の父親を殺して人を孤児にしまい、略奪のを好みました。さらに、妄言を好む紂王は誠心誠意と信用を詐欺だと見なし、詐欺を真実だと考えました。紂王は忠実を不忠だと考えているので、忠心から諫言を呈した者は死刑に処せられ、おもねる者は褒美を与えられました。何より、紂王は君子を卑しい者だと考えました。その政令は苛酷にして性急であり、民の物でも暴虐を働いて無理に奪い取りました。獵を好むので、時節問わずに出かけたりしました。宮殿や池などを造るのを好んだので、昼夜問わずに工事は続きました。酒池肉林と酒麴でできた小山を好んで作り、三千人も招集して飲み明かしました。その宮殿には長幼の秩序がなく、貴賤の礼節ありません。邪な者の讒言を好んで聞き入れて信用し、推薦された者を任用するので、功勞のない者は褒美を与えられて、徳のない者が豊かになっていきます。横暴にして専制を好むので、政令は全て紂王一人しか下せません。礼と義、忠と信を重んじない紂王は、聖人のことなど眼中になく、賢人のことも無視しているので、国は法制がなく、重さや長短などを量るための統一した標準もありません。これらはいずれも殷国における、常軌から大きく逸してしまった怪異なことです。

邪臣在位，賢哲隱藏，百姓業業^②，天下苦之，是以遂有覆巢破卵之憂。漢所以彊^③者，躬行誠信，聽諫納賢，惠及負薪^④，躬請巖穴^⑤，廣採博察，以成其謀。此往事之明證也。（卷二十八 吳志下）

【註釋】①坐：因爲，由於。②業業：危懼的樣子。③彊（qiáng / ㄑㄩㄥˊ）：強盛；強大。④負薪：背負柴草，指地位低微的人。⑤巖穴：指巖穴之士，即隱士。古時隱士多山居，故稱。

【白話】以前秦朝之所以失去天下，就是因爲賞賜輕而刑罰重，刑法和政令混亂。國君的奢侈耗盡了民力，國君的雙眼被美色迷惑，心志被財寶腐蝕污染，姦邪之臣在位掌權，賢明之人隱居退避，百姓憂慮恐懼，天下人深感痛苦，因此最終遭到國破家亡的禍患。漢朝之所以強盛的原因，就在於君主親自履行誠信，聽取諫言，招納賢才，恩惠施及微賤之人，親自禮請隱逸的賢士出山，廣泛聽取各種意見，全面進行考察，從而成就了其宏遠的計畫。這些都是過去的鮮明例證。

その昔、秦朝が天下を失ったのは、褒美が軽すぎて刑罰が重すぎたので、刑法と政令が混乱してしまつたためです。国君の贅沢は民の財力と氣力を使い果たしてしまいました。その両目は美色に惑わされ、その心は財宝に蝕まれて汚されました。邪な臣下は高い地位にいて権力を握り、賢明な者は辞官して隠居しました。民は憂いと恐れに落とされ、天下の人々は苦しみを深く感じます。そのために、最終には国敗れて家も断絶する禍に直面し

323

王國富民，霸國富士^①，僅存之國富大夫，亡國富倉府。是謂上溢而下漏，故患無所救。（卷三十七 尉繚子）

【註釋】①士：智者、賢者。後泛指讀書人，知識階層。

【白話】實行王道的國家，致力於讓百姓富裕；實行霸道的國家，致力於讓士人富足；勉強生存的國家，高官貴族們特別富裕；瀕於滅亡的國家，君王的糧倉府庫特別富足。這就是人們所說的上層富得溢出而下民窮困不堪，像這樣，一旦有亡國的禍患就無法挽救了。

王道を實行している国は、民が豊かになれるように尽力します。霸道を實行している国は、士人が豊かになれるように尽力します。何とか存続している国では、高官や貴族たちが特に豊かです。滅亡する寸前の国は、主君の食糧庫が特に豊かです。これこそ、上の高

たのです。漢朝が強盛でいられた原因は、君主は自ら誠心誠意と信用を実行し、諫言を聞き入れて賢人を招くためです。たとえどのように卑しい身分の者であっても、漢朝の君主は恩恵を広く与えました。また、隠居している賢人には再び仕官するように、自ら出向いて礼儀を尽して訪れました。各方面からの意見を広く聞き入れて、全面的に考察しているので、その広遠な計画を実現できました。これらのことは皆、過去に残された鮮明な例証です。

官や貴族は溢れるほど豊かなのに、下の民はこの上なく貧困だと、人々が言うものです。このような状態で、もし亡国の禍があれば、二度と挽回できないでしょう。

324

《周書》曰：「天子見怪則脩德，諸侯見怪則脩政，大夫見怪則脩職，士庶見怪則脩身。」神不能傷道，妖亦不能害德。及衰世薄俗^①，君臣多淫驕失政，士庶多邪心惡行，是以數有災異變怪^②。又不能內自省視，畏天戒，而反外考謗議，求問厥故，惑於佞愚，而以自註^③誤，而令患禍得就，皆違天逆道者也。（卷四十四 桓子新論）

【註釋】①薄俗：輕薄的習俗，壞風氣。②變怪：災異變怪。③註（ぶさ／＼）：貽誤；搞壞。【白話】《逸周書》上說：「天子看到怪異現象則修養德行，諸侯看到怪異現象則修明政教，大夫看到怪異現象則盡忠職守修治政事，士人和百姓看到怪異現象則修養自身。」神明不能傷害道義，妖異不能傷害仁德。到了世道衰敗、民風日下之時，君臣多驕奢淫逸，政治混亂，士人和百姓也多心術不正、作惡多端，因此屢次發生災變怪異之事。又不能向內自我反省、畏懼上天的警戒，反而向外追究指責，求問災異發生的原因，從而被姦佞愚昧的小人所迷惑而自誤，使得禍患得以發生，這些都是違背天理、道義的。

『逸周書』は言われました。「天子は怪奇現象を見かけると、その徳性と品行を修めます。諸侯は怪奇現象を見かけると、政治や教育を改めます。大夫は怪奇現象を見かけると、

325

忠誠を尽して職務と政事に尽力します。士人と民は怪奇現象を見かけると、自分自身の身を修めます」何故なら、神であつても道義を傷つけられず、物の怪であつても仁徳を傷つけられません。世道が衰退して民風が日に日に悪くなる時こそ、禍や怪奇現象は度々起ります。驕った君臣が共に豪華な生活に耽るので、政治は混乱を極めます。士人と民の多くも性根が腐り、様々な悪事に手を染めてしまいます。このような者たちは、自分の心に問い質して反省したり、天から警戒を恐れたりせずに、禍が起る原因を他人の責任として非難し、追求ばかりしています。そのために、邪で卑しい愚者に惑わされて、自ら過ちを犯してしまい、禍を呼び寄せてしまいます。これらは天理と道義に背くことです。

仲叔于奚救孫桓子，桓子是以免。既，衛人賞之以邑，賞于奚也。辭，請曲縣^①、軒，縣也。繁纓^②以朝，許之。繁纓，馬飾，皆諸侯之服也。仲尼聞之，曰：「惜也！不如多與之邑。唯器與名，不可以假人，器，車服也。名，爵號也。君之所司也，政之大節也。若以假人，與人政也。政亡，則國家從之，不可止也已。」（卷五

春秋左氏傳中）

【註釋】①曲縣：亦作「曲懸」。古代天子在正堂將鐘磬等樂器四面懸掛稱「宮縣」，諸侯只懸掛在東西北三面稱「曲縣」、「軒縣」，大夫僅掛左右兩面稱「判縣」，士僅掛一面稱「特縣」。縣：「懸」的古字。②繁（*pan* / *フナ*）纓：古代天子、諸侯所用的馬飾。繁：馬腹帶。纓：馬頸革。

【白話】新築大夫仲叔于奚救援孫良夫，孫良夫因此免受災難。過後不久，衛君把城邑賞賜給仲叔于奚，于奚謝絕，而請求賜給他諸侯才能使用的「曲懸」和「繁纓」來朝見衛君，衛君允許了。孔子聽說了這件事，就說：「令人痛惜呀！還不如多賞他一些城邑。唯有禮器和爵位名號，不能隨便授予別人，這是國君所掌管的，是為政的大綱。若以此授人，就等於給入政權。政權喪失了，國家也會跟著喪失，那就無可挽回了。」

新築という地方の大夫であつた仲叔于奚が孫良夫を助けたので、孫良夫は災いを逃れました。間もなく、衛君は仲叔于奚に城を与えようとしたが、于奚はこれを断りました。代わりに、諸侯のみが使えた「曲懸」と「繁纓」を用いて衛君に謁見できるようにと于奚は願ひ出て、衛君はこれを許しました。このことを聞いた孔子は言われました。「何と惜しいことでしょう！このようなことになるなら、衛君はもっと多くの城を于奚に与えるべきでした。儀礼に使われる器と爵位だけは軽々しく人に与えてはなりません。これらは国君が司るものであり、政事を為すための大元です。もし誰かに授けるのならば、その者に政権の一部を授けたも同然です。政権を失うと、国家もつられて失われてしまいます。そのようになれば、もう挽回の手立てはありません」

326 生而富者驕，生而貴者傲。生富貴而能不驕傲者，未之有也。今寵祿初隆，百僚觀行，當堯舜之盛世，處光華之顯時，豈可不庶幾夙夜以永終譽？（卷二十二 後漢書二）

327

昔陳靈之被矢^①，灌氏之泯族^②，匪降自天，口實爲之。樞機之發，榮辱之主，三緘^③之戒，豈欺我哉。（卷五十 抱朴子）

【註釋】①陳靈公之被矢：《左傳・宣公十年》載：「陳靈公與孔寧、儀行父飲酒於夏氏，

【白話】

（崔駰勸諫竇太后之兄竇憲：）生來就富有的人會驕縱，生來就地位貴顯的人會傲慢。生來富貴而能夠不驕縱不傲慢的人，是不曾有過的。如今您的榮寵和祿位剛剛顯盛，百官都在看您的行動，您處在堯舜一般的盛世，正是榮耀顯赫之時，怎能不晝夜勤勞，長久擁有大家的讚譽？（竇憲未聽，之後圖謀篡位，漢和帝察覺而將其賜死。）

（崔駰は竇太后の兄である竇憲を諫めました。）生まれながらにして裕福な生活を送ってきた者は驕りやすく、生まれながらにして尊い地位にいる者は傲慢になりやすいものです。生まれながらにして裕福な生活を送っているのに、驕らずに傲慢にならなかった者は未だかつていませんでした。今や、あなたの栄誉と寵愛、そして地位と俸禄はまさに勢いをつけてきたところです。百官があなたの行動に注目しています。堯舜のような頂点において、まさに栄耀を極める時でしょう。そのために、昼夜問わずに職務に勤しみ、皆の賛美を長く続くものにならなければなりません。（しかしながら、竇憲はこの諫言を聞き入れませんでした。その後、謀反を企てた竇憲は漢和帝に気付かれて、死刑に処せられました。）

公謂行父曰：『徵舒似女。』對曰：『亦似君。』徵舒病之。公出，自其廐射而殺之。」②灌氏之泯族：《史記·魏其武安侯列傳》載：「灌將軍夫者，潁陰人也。……灌夫爲人剛直使酒，不好面諛。……宗族賓客爲權利，橫於潁川。……及飲酒酣，夫起舞屬丞相（田蚡），丞相不起。夫從坐上語侵之。魏其乃扶灌夫去，謝丞相。……丞相取燕王女爲夫人。有太后詔，召列侯宗室皆往賀。……飲酒酣，武安起爲壽，坐皆避席伏。已，魏其侯爲壽，獨故人避席耳，餘半膝席。灌夫不悅，起行酒，至武安，武安膝席曰：『不能滿觴。』夫怒，因嘻笑曰：『將軍，貴人也，屬之！』時武安不肯。行酒次至臨汝侯，臨汝侯方與程不識耳語，又不避席。夫無所發怒，乃罵臨汝侯……武安遂怒曰：『此吾驕灌夫罪。』……劾灌夫罵坐不敬，系居室，遂按其前事，遣吏分曹逐捕灌氏之屬，皆得棄市罪。」③三緘（Jin / 45）：指銅人嘴部三處被封。《說苑·敬慎》載：「孔子觀於周之太廟，見右陛之前，有金人焉，三緘其口。而銘其背曰：『古之慎言人也。戒之哉！戒之哉！無多言，多言多敗；無多事，多事多患。』」事又見《孔子家語·觀周》。緘：封閉。

【白話】從前陳靈公被射死，灌夫被滅族，災禍不是從天而降，而實在是言語造成的。言行是人生的關鍵，它主宰著人的榮譽或恥辱。古人關於三緘其口的告誡，難道是欺騙我們的嗎？

その昔、陳靈公が射殺され、灌夫の一族が滅亡されたが、いずれも突然天から降ってきた災いではなく、言葉による宿怨でありました。言行は仁政の鍵であり、人の榮譽もしくは

328

五、應事（用事を対処します）

は恥辱を大きく左右しています。昔の人は口を三度も封じなさいという戒めを残してくれ
たが、まさか私たちに嘘をつくわけがありませんか。

肅禮容，居^①中正，康^②道德，履仁義，敬天地，恪^③宗廟，此吉祥之術也，不幸而有災，則克
己責躬之所復也。然而有禱祈之禮、史巫^④之事者，盡中正、竭精誠也。（卷四十五 昌言）

【註釋】①居：指存心。②康：褒揚，讚美。③恪（ㄎㄜˋ / ㄎㄜˊ）：恭敬，恭謹。④史巫：祝史
和巫覡（ㄨ / ㄣ）。古代司祭祀、事鬼神的人。

【白話】整肅禮節儀容，遵循正道，弘揚道德，施行仁義，尊敬天地，恭敬宗廟，是求得吉
祥的方法，不幸有了災禍，嚴格克制私欲、反省責備自己就能回復吉祥。這樣才有
祈禱的禮儀、掌祭祀的史官和巫師之業，目的都是爲了竭盡中正精誠之意。

礼儀と容姿を肅々と正して、正道に従いなさい。道德を広めて仁義を行い、天地と宗廟
を恭しく尊敬するのは、吉祥を求めるための方法です。もし不幸にも災いに見舞われてし
まったら、私欲を厳しく制して、反省して自分のことを責めれば、吉祥を回復できます。
これこそ祈禱の礼儀、祭祀を司る史官とかんなぎの生業が存在する理由であり、目的はい
ずれも中正にして精誠の精神を極めるためです。

群書治要 360 3

五、應事（用事を対処します）

324

329

高於人之上者，必有以應於人。其察之也視下，視下者見之詳矣。人君誠能知所不知，不遺燈燭^①童昏^②之見，故無不可知而不知也。（卷四十七 劉廙別傳）

【註釋】①燈燭：指從基層角度了解民情。承接上文所說「日月至光至大，而有所不遍者，以其高於眾之上也。燈燭至微至小，而無不可之者，以其明之下，能照日月之所蔽也」。②童昏：愚昧無知。

【白話】高居於眾人之上的人，一定要有恰當的應對眾人的心態和方法。他觀察問題能從基層的角度，了解下情。從基層的角度，他就能夠清楚明白地了解。君主真的能知道自己還有不知道的東西，就不會遺棄基層反映的民情和愚昧無知者之所見。因此，就沒有什麼不可了解的事情而不能弄清楚的了。

人々の上に立つ者には、必ず人々に応えるのに相応しい心持ちと方法がなくてはなりません。問題を觀察する時に基層の視点を持てれば、下々の実情について理解することができます。基層の角度からはつきりと物事が分る上に、自分にはまだまだ知らないことがあると心得ているので、基層の民情や愚かな者の意見でさえも聞き漏らしてしまうことはありません。そのために、最終的には分らないことがなくなります。

330

人主不周密，則正言直行之士危；正言直行之士危，則人主孤而無內^①；人主孤而無內，則人臣黨而成群。使人主孤而無內，人臣黨而成群者，此非人臣之罪也，人主之過也。（卷三十二

管子

【註釋】①内：親信。

【白話】君主的思慮、行事不周密，說實話、行正道的人就會危險；說實話、行正道的人有危險，君主就會孤立而無親信；君主孤立無親，臣子就會結黨成群。使君主孤立無親，臣子結黨組派，這不是臣子的罪過，而是君主的過錯。

君主の思惑や行いが周密でないと、正直なことを言って正道を行う者は危険な目にあいます。正直なことを言って正道を行う者が危険な目にあうと、君主は孤立されてしまい、信用できる近臣がなくなってしまう。君主が孤立されて信用できる近臣を失ってしまうと、ほかの臣下たちは徒党を結びます。そのために、君主が孤立されて近い近臣を失い、ほかの臣下たちが徒党を結ぶのは臣下の罪ではなく、君主の過ちです。

331

子貢爲信陽宰，將行，孔子曰：「勤之慎之，奉天之時，無奪無伐，無暴無盜。」子貢曰：「賜也，少而事君子，豈以盜爲累哉？」孔子曰：「而未之詳也。夫以賢代賢，是之謂奪；以不肖代賢，是之謂伐；緩^①令急^②誅^③，是之謂暴；取善自與，是之謂盜。盜非竊財之謂也。吾聞之：知爲吏者，奉法以利民；不知爲吏者，枉法以侵民。此怨所由生也。匿人之善，斯謂蔽賢；揚人之惡，斯謂小人。内不相訓^④而外相謗，非親睦也。言人之善，若己有之；言人之惡，若己受之。故君子無所不慎焉。」（卷十 孔子家語）

【註釋】①緩：寬鬆。②急：嚴格；嚴厲。③誅：懲罰；責罰。④訓：警告；規勸。

【白話】孔子的弟子子貢當了信陽的地方官，將要前往赴任的時候，孔子對他說：「（你到那裡後）要勤奮工作，謹慎處事，要遵循自然規律。不要『奪』，不要『伐』，不要『暴』，不要『盜』。」子貢說：「老師，弟子從年輕的時候起就在先生這裡學習，難道還會犯盜竊的過失嗎？」孔子說：「你還沒有進一步了解啊。用賢者取代賢者，這就叫做『奪』；用不賢的人取代賢者，這就叫做『伐』；政令很寬鬆而懲罰很嚴厲，這就叫做『暴』；取得佳績就歸功於自己，這就叫做『盜』。『盜』說的並不是指偷竊他人的財物啊。我聽說：懂得為官之道的人，能奉行法紀來為民謀利；不懂得為官之道的人，就會違法亂紀侵害百姓利益。這就是民怨產生的根源啊。隱匿別人的善，這就叫蔽賢；傳揚別人的惡，這就是小人。私下不相互告誡規勸而在外面互相誹謗，這不是親善和睦的行為。要做到說起別人的善，就好像自己有這樣的善似的滿心歡喜；說別人的惡，就像是自己受到別人的攻擊一樣。所以君子沒有一件事不謹慎啊！」

孔子弟子である子貢は信陽という所の代官になったが、赴任する前に、孔子から言われました。「（向こうについてからは）仕事を懸命にこなし、日頃の言行を慎み、自然の摂理に従いなさい。『奪い取って』はならず、『殺伐して』はならず、『暴虐になって』はならず、『盗みを働いて』はなりません」子貢は言いました。「先生。私は若い時から先生の所で勉強してきましたが、まさか盗みなどの過ちを犯すことがありますか」孔

332

子曰：「巧言亂德。小不忍，亂大謀。」

巧言利口，則亂德義。
小不忍則亂大謀。

（卷九 論語）

【白話】孔子說：「能把無理說得有理而且動聽，這種言語足以擾亂人的德行。對人對事如在小事不能忍耐，便會擾亂大計。」

孔子は言われました。「道義に合わないことをいかにも理に適っているようにきれいに

子は言われました。「あなたはまだ深く分っていないません。新しい賢者で元の賢者の職位を取って代わることは、『奪い取り』と言えます。賢くない者で賢者の職位を取って代わることは、『殺伐』と言えます。政令は緩やかなのに、懲罰は非常に厳しいのは、『暴虐』と言えます。いい成果があると自分の功労だと言うのは、『盗み取り』と言えます。『盗み取り』の対象は、人の財物ばかりではありません。仕官の道が分る者は、法規に従って民のためになることをするが、仕官の道が分らない者は、法規に背いて民の利益を侵してしまうと聞きました。これこそ民の怨みが生まれる元です。人のした善行を隠すのは、賢者を隠していると言えます。人の悪行を言いふらすのは、卑しい者のすることです。戒めあうことをせずに、外で互いの悪口を言うのは、親善にして和睦の行為ではありません。人のした善行について言う時は、自分のしたことのように心から嬉しそうに言いなさい。人の悪行にういて言う時は、自分が人から非難されたようにしなさい。ゆえに、君子は何事に対しても慎重でいるものです！」

言える者がいるが、このような巧言は人の徳性と品行を乱すのに十分な威力を持っています。人と物事に対して、小さなところで我慢できないようであれば、大きな計画も乱されてしまいます」

333

天有四殃：水、旱、饑、荒^①。其至無時，非務積聚，何以備之？《夏箴》曰：「小人無兼年^②之食，遇天饑^③，妻子非其有也；大夫無兼年之食，遇天饑，臣妾^④輿馬^⑤非其有也；國無兼年之食，遇天饑，百姓非其百姓也。」戒之哉，不思禍咎無日矣。言不遠也。（卷八 周書）

【註釋】①饑、荒：穀物、果子等歉收或沒有收成。按《爾雅·釋天》：「穀不熟爲饑，蔬不熟爲饑，果不熟爲荒。」②兼年：兩年。③天饑：天災造成的饑荒。④臣妾：古時對奴僕的稱謂，男曰臣，女曰妾。⑤輿馬：車馬。

【白話】天災有四種，即水災、旱災、五穀不熟、果子歉收。它們的到來沒有定時，若不致力於積蓄儲備糧食，用什麼來防備呢？《夏箴》說：「平民沒有夠吃兩年的糧食，遇到饑荒，妻子兒女就不屬他所有了；大夫沒有夠吃兩年的糧食，遇到饑荒，奴僕和車馬就不屬他所有了；國家沒有夠吃兩年的糧食，遇到饑荒，天下百姓就不屬他所有了。」要警戒啊！如果不思考這些問題，災禍臨頭就沒有多少時日了。

天災には四つの種類があり、すなわち洪水、旱魃、五穀や果物の凶作がそれです。これらの災いの到来には一定の時間がないため、普段から食糧の蓄積に力を注がなければ、い

334

分土地，趣本業^①，養桑麻，盡地力也。寡功^②節用，則民自富。如是則水旱不能憂，凶年不能累也。（卷四十二 鹽鐵論）

【註釋】①本業：農業。②功：指徭役，古代官方規定的平民成年男子在一定時期內或特殊情況下所承擔的無償社會勞動。一般有力役、軍役和雜役。

【白話】將土地分給百姓，致力於農業耕作，養蠶種麻，充分發揮土地的出產能力。減少徭役，節省政府的費用，那百姓自然就會富裕起來。如果能這樣，那麼水旱災害就不足以使我們憂愁，荒年也不足以讓我們受苦。

土地を民たちに分け与えて、農業や養蚕業に尽力するようにさせたら、土地の生産能力を充分に發揮させられます。また、労役を減らして政府の出費を節約すれば、民は自然に裕福になります。そのようになれば、洪水や旱魃の時でも憂うことなく、凶作の年も苦

ざ見舞われてしまったら、何を持って予防できでしょうか。『夏箴』は言われました。「もし民に二年分の食糧がなければ、いざ飢饉になると、妻も子どもも夫のものではなくなくてしまいます。もし大夫に二年分の食糧がなければ、いざ飢饉になると、奴隸も馬車や馬も大夫のものではなくなってしまいます。もし国に二年分の食糧がなければ、いざ飢饉になると、天下の民は君主のものではなくなってしまいます」警戒しなさい！もしこれらの問題について考えないのであれば、災いに見舞われる日はすぐ目の前でしよう。

しまれることがなくなります。

〔335〕

天下有信數^①三：一曰智有所不能立；二曰力有所不能舉；三曰強有所不能勝。故雖有堯之智，而無衆人之助，大功不立；有烏獲之勁，而不得人助，不能自舉；有賁^②、育之強，而無術法，不得長生^③。（卷四十 韓子）

【註釋】①信數：必然的道理。②賁（ben / ベン）：指戰國時勇士孟賁。③長生：「長勝」之誤。

【白話】天下有三個必然的道理：一是再聰明也有做不成的事；二是力氣再大也有無法舉起的東西；三是再強大也有不能勝過的對手。所以雖然具有堯的智慧，而沒有衆人的幫助，也沒有辦法建立偉大的功業；雖然具有烏獲那樣大的力氣，而沒有別人的幫助，也不能把自己舉起來；雖然具有孟賁、夏育那樣的強壯，而沒有正確的方法，也不能永遠取勝。

天下には三つの必然の道理があります。一、いくら賢くても、できないことがあります。二、いくら力強くても、持ち上げられない物があります。三、いくら強くても、勝てない相手がいます。そのために、たとえ堯の智慧があっても、人々の助けがなければ、偉大な功業を成し遂げられません。たとえ烏獲のように力強くても、人の助けがなければ、自分を持ち上げることはできません。たとえ孟賁、夏育らのような強さがあっても、正しい方

法がなければ、いつまでも勝利を得られません。

六、慎始終（始終を慎みます）

蒙。《象》曰：山下出泉^①，蒙。君子以果行育德。（卷一 周易）

【註釋】①山下出泉：蒙卦下坎爲水，上艮爲山，故云「山下出泉」。

【白話】蒙卦的《象傳》說：高山下流出泉水，這是啓迪蒙昧的象徵。君子效法蒙卦的精神，行動時如水之必行，果決不疑、堅持不懈，來培育美好的德行。（泉水剛從山下流出時，沒受到污染，也沒有固定的方向，好比人的童年時期。此時是接受教育的最佳時期，幼童見到善行必啓發善心，聽到道義必仰慕道義，因此君子要果決地引導幼童培養德行。）

蒙の卦は『象伝』によると、高山のふもとに泉が湧き出るので、啓蒙の象徴です。君子は蒙の卦の精神に見習うべきです。行動する時は湧き出る泉のように、果敢にして疑いもせずに、美しい徳性と品行を育てるのに根気良く続けることです。（ふもとから流れ出た当時の泉は汚されておらず、決まった方向もなく、まるで人の幼少期です。この時期は教育を受けるのに最良な時期であり、幼児は善行を見ると必ず善心を啓発されて、道義を聞くに必ず道義を慕うようになります。そのために、君子は果敢に幼児を導き、その徳性と品行を育てなくてはなりません。）

337

弗務細行，終累^①大德。

輕忽小物，積害毀大，故君子慎其微也。

爲山九仞^②，功虧一簣^③。

諭向成也，未成一簣，猶不爲山，故曰功虧一簣。是以聖人乾乾日側，慎終如始也。

（卷

二 尙書）

【註釋】

①累：損害，妨礙。②仞：古代長度單位。一說七尺爲一仞，又說八尺爲一仞。③簣：

盛土的竹筐。

【白話】

不慎重自己的細微小節，終究會損害大的德行。猶如堆積九仞高的土山，就差一竹筐土，也不能說大功告成。（所以聖人終日勤勉敬慎，慎終如始。）

自分の細かな所に慎重でいなければ、必ず大きな徳性と品行を損なうことになりましよう。まるで九仞の功を一簣に虧くように、長い間の努力も成功するとはいえません。（そのために、聖人はいつも初心を忘れずに、勤勉にして慎み深いものです。）

陸、明辨（明弁）

一、邪正（正邪）

338

聖人之求事也，先論其理義，計其可否。故義則求之，不義則止；可則求之，不可則止。故其所得事者，常爲身寶。小人求事也，不論其理義，不計其可否；不義亦求之，不可亦求之。故其所得事者，未嘗爲賴也。故曰：「必得之事，不足賴也。」（卷三十二 管子）

【白話】聖人辦事，先考察它是否合乎公理正義，考慮它是否可行。合於義就做，不合於義就不做；可行就做，不可行就不做。所以他所辦的事情，常常是很寶貴的。小人辦事，不考察它是否合於公理正義，不考慮它是否可行。不合於義也做，不可行也做。所以，他所辦的事情，沒有可信賴的。所以說：「不顧一切一定要做的事，是不值得信賴的。」

聖人は事を進める時、まずそれが公理と正義に適っているかどうかを考察してから、実行性について考えます。義に適っているのであれば実行するが、義に適っていないければ実行しません。そのために、聖人のする仕事は、往々にして非常に貴重なことです。卑しい者は事を進める時、それが公理と正義に適っているかどうかを考察せずに、実行性についても考えません。義に適ってなくてもするし、実行してはいけないことでも引き受けてしまいます。そのために、卑しい者のする仕事に信頼できるものではありません。ゆえに、

「何でもかんでも、無理に必ずすることは、信賴できません」

339

口能言之，身能行之，國寶^①也；口不能言，身能行之，國器^②也；口能言之，身不能行，國用^③也；口言善，身行惡，國妖^④也。治國者敬其寶，愛其器，任其用，除其妖。（卷三十八 孫卿子）

【註釋】①國寶：國家的重寶。指國家的寶貴人才。②國器：國家的大器。指可以治國的人才。

③國用：國家的用器。指國家賴其言而用。④國妖：國家的妖孽。指危害國家的人。

【白話】口能陳說聖賢之道，身能落實聖賢之道，這樣的人是國家的大器（可輔佐君王）；口不能陳說聖賢之道，但身能落實聖賢之道，這樣的人是國家的大器（可輔佐君王治國）；口能陳說聖賢之道，但身不能落實聖賢之道，這樣的人是國家的用器（可聽從其言語施政）；口中說的是善言，自身行的都是惡事，這種人是國家的妖孽。能使國家大治的聖明君主，敬重其重寶，愛護其大器，任用其用器，剷除其妖孽。

口では聖賢の道について言えて、身体では聖賢の道を実行できる者は、国の貴重な宝です（国師として君主を導けます）。口では聖賢の道を言えないが、身体では聖賢の道を実行できる者は、国を盛り上げる大いなる器です（君主の治国を輔佐できます）。口では聖賢の道を言えるが、身体では聖賢の道を実行できない者は、国に使われる器です（君主は

340

その言葉を参考にして執政できます。口先は善いことを言いながら、実は悪事ばかりを働いているのは、国に害をなす妖異です。国をよく治める聖明な君主は、国の宝を尊敬し、国の大いなる器を愛護し、国を支える器を使いこなすが、国の妖異については肅清します。

夫教訓者，所以遂道術而崇德義也。今學問之士，好語虛無之事，爭著雕麗之文，以求見異於世，品人^①鮮識，從而尚之，此傷道德之實，而惑矇夫^②之失者也。詩賦者，所以頌善醜之德，泄哀樂之情也，故溫雅以廣文，興喻^③以盡意。今賦頌之徒，苟爲饒辨^④屈蹇^⑤之辭，競陳誣罔^⑥無然^⑦之事，以索見怪於世，愚夫戇^⑧士，從而奇之，此悖孩童之思，而長不誠之言者也。盡孝悌於父母，正操行於閨門^⑨，所以爲列士也。今多務交游以結黨，偷勢竊名，以取濟渡^⑩，夸末^⑪之徒，從而尚之，此逼貞士^⑫之節，而眩世俗之心者也。養生順志，所以爲孝也。今多違志以儉養，約生^⑬以待終，終沒之後，乃崇飾喪紀^⑭，以言孝，盛饗^⑮賓旅以求名，誣善^⑯之徒，從而稱之，此亂孝悌之眞行，而誤後生之痛者也。忠正以事君，信法以理下，所以居官也。今多姦諛以取媚，玩^⑰法以便己，苟得^⑱之徒，從而賢之，此滅貞良之行，開亂危之源者也。五者，外雖有賢才之虛譽，內有傷道德之至實。（卷四十四 潛夫論）

【註釋】①品人：眾人，常人。②矇夫：瞎子。指不學無知之人。③興喻：指詩歌創作手法的興與比。興爲託物言志，喻爲取他物作比況。④饒辨：即饒（*ráo* / ㄖㄠˊ）辯。爭訟辯論。饒：通「詭」。爭辯。辨：通「辯」。⑤屈蹇（*jū ān / ㄐㄩ ㄢ*）：形容隱晦

艱澀。蹇：通「蹇」。艱澀：艱難。⑥誣罔：無中生有，欺騙愚弄。⑦無然：不是這樣。⑧戇（*zhàng / 戇*）：愚，傻。⑨閨門：內室的門。借指家庭。⑩濟渡：渡水到達彼岸。比喻仕途順利，辦事方便。⑪夸末：謂浮誇而不務實。⑫貞士：志節堅定、操守方正之士。⑬約生：節約生前供養。⑭喪紀：喪事。⑮饗：以隆重的禮儀宴請賓客。泛指宴請，以酒食犒勞、招待。⑯誣善：偽善。⑰苟得：不該得而得到。

【白話】

教育訓導，是爲了成就道德學問和弘揚德義的。現今做學問的人，喜歡談論荒誕無稽的事，爭相寫作雕飾華麗的文章，以求標新立異被世人特殊看待，一般人很少能認識清楚，便跟著尊崇他，這是實際上傷害道德，而嚴重迷惑無知者的大錯。詩和賦，是用來吟誦善惡品行、抒發哀樂情感的，所以用詞溫潤典雅來增加文采，用興和比的方式來充分表達心意。而現今吟賦作頌的人，隨便地創作巧辯晦澀的文辭，競相陳述欺妄不實的事情，以博取世人的驚異，愚昧無知的人，便跟著對他稱奇讚歎，這是惑亂孩童的思想，而助長不誠實的言論的做法。對父母竭盡孝順恭敬，在家中則端正操守品行，這樣才夠得上稱爲士人。如今人們多致力於結交朋友以結爲朋黨，竊取權勢、名譽以求在仕途上飛黃騰達，那些浮誇而不務實的人，便跟著推崇他，這是貶抑忠貞之士的節操、迷惑世俗人心志的行徑。奉養父母，順承其心意，就是孝道。現今人們多違背父母的意願並吝嗇於贍養父母，在父母生前緊縮開銷而等待父母死亡，當父母亡故之後，子女們卻隆重操辦喪事來顯示孝心，大辦宴席款待賓客來博取孝名，那些偽善的人們，便跟著稱頌他們，這是悖亂孝悌的實質，貽誤後輩而令人痛心的事。以忠誠正直來事奉君主，以信守法度來治理百姓，這是爲官者

的責任。現今的官員多姦詐諂媚來討好上司，玩忽法令以方便自己，那些不應得到官職而得到的人，便跟著尊崇他，這是毀滅善行、開啓造成動亂的禍根。這五種做法，表面上雖然有賢才的虛假名譽，而實質上則會嚴重損害道德。

教育と訓導は、道德と學問を成就し、德義を広めるためにあります。今や研究に携わる者は目新しさと特異さで人々から特別視されることを求めて、荒唐無稽なことを論じるのを好み、美辞麗句に修飾された華美な文章を作ることを競います。何かをよく分つてから崇める人は少なくなつてしまつたが、このようなことは実は道德を傷つき、無知な者をいたく戸惑わせてしまう大きな過ちです。詩と賦は、品行の良し悪しについて朗読し、哀樂などの感情を綴るためのものです。そのために、優しくて正しい言葉を使つて文章としての美しさを増し、興と比という形で気持ちを充分に伝えようとしました。しかしながら、今の詩人たちは人々の讃嘆を得るために、難しくて詭弁にすぎない言葉をいい加減に作つては事実とは違うことを競つて言います。愚かで無知な者はそのような者に対して賞賛を送るが、これは子どもを思想を惑わせて混乱させ、嘘の言論を助長してしまうやり方です。親に対して孝行の限りを尽して尊敬し、家の中では品行を正しく守つてこそ、詩人と言えます。今の人は仕官の道を順調に歩めて、権勢や名誉を盗み取るために、友達を作つて徒党を結ぶことに力を注ぎます。足が地についていない投機的な者たちはそのような者についていくが、このようなことは忠節を守る者の節操を貶め、人々の心を惑わせる行いです。

親を養つて、親の心に従えば、孝行と言えます。今の人の多くは親に背いて、親を養うことを嫌います。親が生きている時は節約をして親の死を待つばかりだが、親が亡くなると、盛大な葬式をして子どもとしての孝心を誇示し、広く宴を設けて弔客をもてなし、孝子の名声を博しようとした。偽善者はそのような子どもを賞賛するが、これは考の本質にもとることであり、後世に笑われる程、痛ましいのです。忠誠と正直さで君主に仕えて、信用と法制で民を治めるのは、仕官している者の責任です。しかしながら、今の官員の多くは媚びへつらうことで上司におもねり、私利のために法制を弄びます。官職を得られないはずなのに、官位についてしまった者たちはそれらの悪人を崇めるようになるが、これは善行が滅ぼされて、動乱が起る禍の元になります。これら五つのやり方は、見かけでは賢明な才能があるように見えても、実は道徳をひどく損なつてしまします。

二、人情

〔341〕

聖王深識人情，而達治體，故其稱曰：「不以一眚^①掩大德。」又曰：「赦小過，舉賢才。」

又曰：「無求備於一人。」（卷三十 晉書下）

【註釋】①眚（sheng / ㄕㄥˋ）：過失。

【白話】聖王都深刻明瞭人之常情，而且通曉為政之道，所以他們說：「不要因小的過錯來掩蓋大的德行。」又說：「饒恕小的過失，任用有賢德的人。」又說：「對於一個

人不能求全責備。」

聖王は人情についてよく知っており、政事を行う方法についても熟知しています。そのために、聖王たちはこのように言いました。「小さな過ちで大きな徳性と品行を隠さないようにしなさい」また、「小さな過ちは許して、徳性のある賢人を任用しなさい」とも言いました。そして、このようにも言いました。「一人の人間に完璧さを求めて責めてはいけません」

三、才德

342

孔子之通①，智過蓂弘②，

蓂弘，周景王之史臣，通天下鬼方之術也。

勇服③孟賁④，

孟賁，衛人。

能亦多矣。然而勇力不聞，伎巧不知，

專行孝道⑤，以成素王⑥，事亦鮮矣。（卷四十一 淮南子）

【註釋】

①通：淵博。②蓂弘：周景王的史官，通曉天下醫卜星相等方術。③服：降服。④

孟賁（ben / ベン）：戰國時勇士。⑤孝道：《淮南子》今世通行本「孝」作「教」。

⑥素王：猶空王。謂具有帝王之德而未居帝王之位者。

【白話】

孔子的淵博，他的才智超過蓂弘，勇力可以制服孟賁，才能算是很多了。可是他的勇力並不為人所知，技能也不被人了解，他專心從事於孝道的教化，因而被人們稱為具有帝王之德而未居帝王之位的「素王」，他做的事可謂簡約。

孔子は奥深い人間でした。その才知は萇弘を超え、勇氣と力強さは孟賁をも降せると言われて、非常に多才だと言えましょう。しかしながら、孔子の勇氣と力強さはあまり知られておらず、その才能もよく知られていません。いつも孝道による教化活動に熱心に取り組んでいるので、帝王のような徳性を持ちながら、帝王の位に座していない「素王」だと人々から言われるが、孔子のなすことは質素にして実に肝要です。

四、朋党

343

君子比而不別。比^①徳以贊^②事，比也；佐。引黨^③以封己^④，引，取也。封，厚也。利己而忘君，別^⑤也。別，爲朋黨。（卷八 國語）

【註釋】①比徳：同心同徳。比：親近；和睦。②贊事：輔佐國事。贊：佐助。③引黨：援引私黨。④封己：厚待自己。⑤別：別爲朋黨。

【白話】（叔向説：）君子親近他人，與人和睦相處卻不結私黨。同心同徳，共襄國事，這是團結，就叫做「比」；結成朋黨來厚待自己圖謀私利，專利自己而心中沒有君上，那是勾結，就叫做「別」。

（叔向は言いました。）君子は他人に親しく近づき、仲良くしながらも、徒党を結んだりしません。心を一つにして、共に国事を盛り上げようとするのは団結であり、「比」と

言われます。徒党を結んで自分に最良してもらって、私利私欲のことばかり気にしていて、主君のことを全く気にしていないのは、結託しているのであり、「別」と言われます。

五、辨物（物事を識別します）

344 世之君子欲其義之成，而助之脩其身則慍^①。是猶欲其牆之成，而人助之築則慍也。豈不悖^②哉？」（卷三十四 墨子）

【註釋】①慍：怒。②悖：違背道理，謬誤。

【白話】世上的君子想讓自己仁義修養得以成就，可是別人幫助他修身，他卻生氣。這就好比想把牆築成，別人幫助他築牆，他卻生氣一樣。這難道不是很荒謬嗎？

世間の君子は仁義を修めて成功しようとするが、誰かが修身の手助けをすると、怒ってしまふ者がいます。まるで壁を建てたいのに、誰かが工事の手助けをすると、怒ってしまふ者がいるように、何と不条理なことではありませんか。

345 布衣也，其友皆孝悌純謹畏令，如此者，家必日益^①，身必日安，此所謂吉人也。事君也，其友皆誠信有行^②好善，如此者，事君日益，官職日進，此所謂吉臣也。人主也，朝臣多賢，左右多忠，主有失敢交爭^③正諫，俱交如此者，國日安，主日尊，天下日服，此所謂吉主也。（卷

三十九 呂氏春秋

【註釋】①日益：一天一天地富足。高誘註：「益，富也。」②有行：有德行。③交爭（zhēng

／兕）：交相諫諍。爭：通「諍」。諍諫；規勸。

【白話】觀察平民，如果他的朋友都很孝順父母、尊敬兄長、忠厚恭謹、敬畏政令，像這樣的平民，家庭必然一天比一天富足，自己必然一天比一天安樂，這就是所謂的吉人。觀察事奉君主的臣子，如果他的朋友都很誠實守信、德行高尚、樂於爲善，像這樣的臣子，事奉君主會一天比一天有所增益，官職會一天比一天晉升，這就是所謂的吉臣。觀察君主，如果朝廷官員大多賢能，身邊的侍從大多忠正，君主有過失，他們都敢於交相直言諫諍，像這樣的君主，國家會一天比一天安定，君主會一天比一天尊貴，天下百姓也會一天比一天敬服他，這就是所謂的吉主。

平民を觀察していると、もしその友達が皆親孝行をして兄弟を尊敬しており、温厚にして慎ましい態度で、政令に畏まって敬意を払えるのなら、その家庭は必ず日に日に豊かになっていき、その者自身も日に日に安らいで楽しい生活を送れましょう。このような者こそ、いわゆる吉祥な人です。君主に仕える臣下を觀察していると、もしその友達が皆信用を守る素晴らしい徳性と品行の持ち主で、心から喜んで慈善事業に参加するのなら、その君主は日に日に利益をもらえて、その官職も日に日に高いものになります。このような者こそ、いわゆる吉祥な臣下です。君主を觀察すると、もしその朝廷にいる官員の多くが有能な賢人で、その周りにいる侍従の多くも忠義と公正さを兼ね備えている者

で、君主に過ちがあると皆率直に諫言を進呈することができのならば、その国は日に日に安定し、君主も日に日に尊いものになりましょう。民もそのような君主のことを日に日に敬服するようになるので、このような者こそ、いわゆる吉祥な君主です。

346

原（原作）蠶

①一歳再收，非不利也，然而王法禁之者，爲其殘桑也；家老異糧而食之，殊器而

烹之，子婦跣②而上堂，跪而酌羹，非不費也，然而不可省者，爲其害義也；待媒而結言，娉納而取婦，絨統③而親迎④，非不煩也，然而不可易者，可以防淫也；使民居處相司⑤，有罪相告，於以禁姦非不輟⑥也，然而不可行者，爲傷和睦之心，而構⑦仇讎之怨也。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①原蠶：二蠶，即夏秋第二次孵化的蠶。原：再。蠶蠶即原蠶。天明本校註「原作蠶」，商務本將之刪除。編者亦認爲《治要》原文「原」字無誤。②跣（xiǎn / テン）：赤腳；光著腳。③絨統（chōng / コウ）：古時繫官印的絲帶及大夫以上的禮冠。引申爲官服、禮服。統：通「冕」。④親迎：古代婚禮「六禮」之一。夫婿親至女家迎新娘入室，行交拜合卺之禮。⑤相司：互相偵察。司：通「伺」。⑥輟（chuò / テウ）：止。指止住罪惡。⑦構（gōu / コウ）：造成；結成。

【白話】養第二次蠶可以一年收兩次蠶絲，這不是沒有利，但是國家制定的法令禁止此事，是因爲這樣做會損害桑樹；家中老人與家人吃不同的飯，用不同的食具烹調，兒媳

光著脚走上堂去，跪著給長輩啗羹湯，這種禮法不是不費事，然而卻不能省減，是因爲省減了會損害大義；等有了媒人才訂婚約、下聘禮以後迎娶新婦，夫婿穿上禮服戴上禮帽親至女家迎娶新娘入室，行交拜合卺之禮，這樣做不是不繁瑣，但是不能改變這套禮法，是因爲這樣做可以防止淫亂；讓百姓生活在一起時左鄰右舍相互監視，發現有人犯罪便相互告發，用這種方法來檢舉邪惡的人，並不是不能制止犯罪的行爲，但是卻不能那樣做，因爲會傷害人們的和睦之心，造成仇人般的怨恨。

年に二回も蚕を飼うと年に二回も絹糸を得られて、利益がない訳ではないが、国が修めた法令ではこのことを禁じています。何故なら、このようにすると、桑の木が傷つけられてしまうためです。家のお年寄りと家族は違う食事をして、その食事も違う器具で調理しなければなりません。また、嫁は裸足で年長者のいる上座まで行き、跪いて食事を取り分けないけません。このような礼法は手間がかからない訳ではないが、省いてはいけません。何故なら、省いてしまうと、大義を損なってしまうためです。仲人が決まったら婚約を結び、結納をしてから新婦を娶ることができます。さらに、新郎は礼服と礼帽を着けて女性の家まで出向いて、花嫁を迎えて伝統的な儀礼を行わないといけません。このようなやり方は煩わしくない訳ではないが、変えてはいけません。何故なら、このようにすることで妄りな男女交際を防止できるためです。民が生活している時は、左右の隣人に互いのことを監視しあうようにして、誰かが罪を犯せば互いに告発させるやり方があります。

347

す。このようなやり方で邪惡な者を檢挙すれば、犯罪を制止できない訳ではないが、実行してはいけません。何故なら、このようなやり方は人々の和睦の心を傷つき、互いに敵同士のような怨みを生じさせてしまうためです。

事有可行而不可言者，有可言而不可行者，或易爲而難成者，或難成而易敗者。所謂可行而不可言者，趣舍^①也；可言而不可行者，僞詐也；易爲而難成者，事^②也；難成而易敗者，治

（治作名）也。此四策^③者，聖人之所獨視而留志^④也。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①趣舍：取捨。趣：通「取」。②事：事業，功業。③策：謀略。④留志：留意。

【白話】有些事情是可以做而不能說的，有些事情是可以說而不能做的，有些事情做起來容易卻很難成功的，有些事情難以成功而成功後又很容易毀壞。這裡所說的可以做而不能說的是人的進退取捨，可以說而不能做的是作假欺詐，容易做卻難以成功的是事業，難以成功卻很容易毀壞的是好的名聲。這四種情形是聖人獨自認識到並予以關注的。

実行できて、口外できないことがあります。口外でもでき、実行ないこともあります。また、やり始めるのは簡単だが、成功するのは難しいことがあります。成功するのが難しいだけではなく、成功してからも簡単に敗れてしまうこともあります。ここで言う、実行できて、口外できないのは人の進退取捨です。口外できて、実行できないのは嘘を言

う詐欺です。そして、やり始めるのは簡単だが、成功するのは難しいのは事業です。成功するのは難しいのに、簡単に敗れてしまうのは良い名声を博すことです。これら四つの状況は聖人が独自に認識できて、気を使っていることです。

348

治國有常，而利民爲本；政教有道，而令行爲右^①。苟利於民，不必法古；苟周^②於事，不必循俗^③。故聖人法與時變，禮與俗化。衣服器械，各便其用；法度制令，各因其宜。故變古未可非，循俗未足多^④。（卷三十五 文子）

【註釋】①右：古代崇右，故以右爲貴。②周：適合。③循俗：順從風俗。循：遵從。④足多：值得稱讚。多：稱讚。

【白話】治理國家有常理，以利益民眾爲根本；政治教化有方法，以政令通行爲上。如果有利於百姓，就不必效法古人；如果措施合宜於事理，就不必順從舊俗。所以聖人制定法度隨著時代而變化，制定禮儀隨著風俗而演化。衣服和用具，都適合百姓所用；法律制度和政策命令，都根據百姓所適宜的情況。所以改變古人的作法不一定值得非議，而順從舊俗也不一定值得讚譽。

國を治めるのには常理があるが、民に益することはその根本です。政治と教化には方法があるが、政令が順調に実行できることを最も重要な条件としています。もし民に益しているのならば、何も古人に見習うばかりではありません。もし政策が理に適っているのな

349

らば、昔の慣わしに従う必要があります。そのために、聖人の制定する法律と制度は時代と共に変化し、聖人の制定する礼儀も風俗と共に調整されます。衣服と用具は皆、民の使い道に合わせるようにします。法律制度と政策命令も皆、民にとって適当な状態に変えなければなりません。そのために、古人のやり方を変えるからと言って、必ずしも非難の対象にはなりません。また、旧来の慣わしに従うのも必ずしも褒められるものではないです。

夫瑞^①生必於嘉士^②，福至實由善人。在德爲瑞，無德爲災。（卷二十四 後漢書四）

【註釋】①瑞：祥瑞，吉祥的徵兆。②嘉士：善人；德才兼優的人。

【白話】（竇武勸諫東漢桓帝說：）祥瑞的現象，必然是由於有德才兼備的人出現而產生的，

福氣的到來確實是源自善人。有德行，這些現象就是祥瑞；無德行，這些現象就代表災異將到來。

（竇武は東漢の桓帝に諫言を進呈して言いました。）吉祥な兆しは、必ず才徳兼備な者が生まれたから現れるものです。福がやってくるのは、確かに善人のためです。徳性と品行があれば、これら特別な現象は吉祥な兆しです。徳性と品行がなければ、これらの現象は災いの到来を意味します。

群書治要 360 3

五、辨物（物事を区別します）

〔350〕觀其所舉，而治亂可見也；察其黨與^①，而賢不肖可論也。（卷四十一 淮南子）

【註釋】①黨與：同夥之人；同類之人。

【白話】觀察君主所舉用的人，其國家是政治清明還是混亂不堪便可以預見；觀察一個人的同夥，那這個人是賢明還是不賢明便可以論定。

主君が挙用する者を觀察すれば、その国の政治が清明であるか、それともこの上なく混乱なのかが見えます。人の仲間を觀察すれば、その者が賢明なのかどうかは論定できます。

〔351〕子曰：「有德者必有言^①，有言者不必有德；仁者必有勇，有勇者不必有仁。」（卷九 論語）

【註釋】①言：這裡指的是善言、道義之言。

【白話】孔子說：「有德行的人必定會說有益於人的善言，但是會說益人善言之人不一定有德。有道德的仁人必定有勇（因為仁人做道德的事必然勇為），有勇的人則不一定有仁（雖然勇於做事，但若不與道德相合，也只是無意義的匹夫之勇）。」

孔子は言われました。「徳性と品行のある者は、必ず人のためになる善言を言うが、人のためになる善言をいう者に、必ずしも徳性と品行があるとは限りません。また、道徳と仁愛の心がある者には必ず勇気があるが（慈悲な人は必ず道徳に適ったことを勇んでするため）、勇気のある者には、必ずしも仁愛の心があるとは限りません（物事を進める勇気が

あつても、その中身が道德に適っていなければ、ただ意味のない匹夫の勇しかすぎません。」

〔352〕

夫商賈者，所以伸^①盈虛^②而獲天地之利，通有無而壹^③四海之財。其人可甚賤，而其業不可廢。蓋衆利之所充，而積僞之所生，不可不審察也。（卷四十九 傅子）

【註釋】①伸：《永樂大典》作「沖」。②盈虛：有餘與不足。③壹：統一；一致。

【白話】商人，是爲了調劑物品的有餘與不足，來獲取天地間的利益；流通有無，來均衡四方財物。經商的人，雖然社會地位低賤，但商業卻不能廢棄。商業是眾多利益的匯集之處，是各種欺詐現象產生的源頭，所以不能不仔細考察。

商人は物の余剰と不足を調節することによって、この世の中の利益を得ています。また、流通を制御することによって、四方の財物を均等に分配するようにしています。商いをする者の社会における地位は低い、商業は廃れてはいけません。このように、商業は多くの利益が集うところであり、各種の詐欺現象が生まれる源でもあるので、その良し悪しについては慎重に考察しなければなりません。

六、因果

353

皇天無親^①，惟德是輔；民心無常^②，惟惠^③之懷。

天之於人，無有親疏。惟有德者，則輔佐之。民心於上，無有常主。惟愛己者，則歸往之。

爲善弗同，同歸

于治^④；爲惡弗同，同歸于亂。（卷二 尚書）

【註釋】

①親：指偏愛。②無常：不固定。③惠：仁愛，寬厚。④歸：歸趨，趨於。⑤治：治理得好，安定太平。

【白話】

上天從來不會偏愛誰，只要是賢德之人都會佑助；民心也不是固定不變的，只要領導者仁慈愛民，人民都會歸向。行善政的方法不同，但只要是真的善政，結局都是域內大治；作惡的方式不同，但結局都是社會動亂。

天はいつも誰かを最厚したりせず、賢明にして徳性のある者ならば、誰でも助けてくださいます。民の心もいつも変わらぬものではなく、指導者が慈悲に満ちて民のことを愛護すれば、民は皆帰順します。善政を行う方法は色々あれど、本当に良い善政ならば、その統治下ではどこも安らいで安定しているものです。悪事を行う方法は色々あれど、いずれも社会の動乱にしかありません。

354

仁者在位，而仁人來；義者在朝，而義士至。是以墨子之門多勇士，仲尼之門多道德，文王之朝多賢良，秦王之庭多不詳。故善者必有所主（主作因）而至，惡者必有所因而來。夫善惡不空作，禍福不濫生，唯心之所向，志之所行而已矣。（卷四十 新語）

【白話】仁者在朝廷執政，就能感召仁者前來；義士在朝廷執政，就會感召義士前來。所以

墨子的門下多勇士，孔子的門下多道德之人，文王的朝中多賢良之臣，秦王的朝堂多不善之人。所以善人到來必有其原因，惡人到來也必有其緣由。善惡不會憑空發生，禍福不會隨便到來，都是人們心靈所趨向和意志所實行的結果而已。

仁者が王位に座していると、情け深い心の人たちも朝廷に集まってきます。義者が朝廷にいと、義をかたく守る人たちも集まってきます。そのために、墨子の門下には勇士が多く、孔子の門下には道德のある者が多いです。また、文王の治世には多くの賢明にして善良な臣下がいたが、秦王の時には不善な者が多くいました。ゆえに、善人がやってくるのには必ず原因があるが、悪人がやってくるのにも必ず理由があります。善悪は何の理由もなく降って湧いたようなものではなく、禍福も勝手にやってきました。全ては人々の心の赴くままに、そして人々の意志が実行された結果にしかすぎません。

355

利天下者，天下啓之；害天下者，天下閉之；生天下者，天下德^①之；殺天下者，天下賊之；
 徼^②天下者，天下通之；窮天下者，天下仇之；安天下者，天下恃之；危天下者，天下災之。
 天下者非一人之天下，唯有道者得天下也。（卷三十一 六韜）

【註釋】①德：感恩，感激。②徼：這裡指君主以真情對待百姓而無隱瞞。

【白話】為天下謀利益的人，天下人就擁護他；給天下人帶來禍害的人，天下人就反對他；

使天下人得以生養的人，天下人就感激他；殺戮天下人的人，天下人就毀滅他；以真心真情對待天下人，天下人皆以真情相待而無隱瞞；讓天下人的意願不得抒發而陷於窘境的人，天下人就仇視他；使天下安居樂業的人，天下人就依靠他；讓天下遭受危難的人，天下人也將給他帶來災難。天下不是一個人的天下，只有有道之人，才能得到天下。

天下の人々のために利益を図ろうとする者は、天下の人々から擁護されます。天下の人々に禍をもたらしてしまう者は、天下の人々から反対されます。天下の人々が静養できるようにする者は、天下の人々から感謝されます。天下の人々を殺戮してしまう者は、天下の人々から滅ぼされます。真心で天下の人々に接している者は、天下の人々から隠すことなく、真心で接せられます。天下の人々を窮地に陥れて、その気持ちを聞き入らない者は、天下の人々から敵視されます。天下の人々が安らいで仕事に楽しく励めるようにする者は、天下の人々から頼りにされます。天下の人々を危ない目に合わせる者は、天下の人々から災難をもたらされます。天下は一人の天下ではありません。道德に適った方法を心得た者のみが天下を得られます。

356 夫天下大器，今人之置器，置諸安處則安，置諸危處則危。天下之情與器無以異，在天子之所置之。湯、武置天下於仁義禮樂，而德澤洽，禽獸草木廣裕^①，德被子孫數十世，此天下所

共聞也；秦王置天下於法令刑罰，德澤無一有，而怨毒盈於世，人憎惡之如仇讎，禍幾及身，子孫誅絕^②，此天下之所共見也。是非其明效大驗^③邪！（卷十六 漢書四）

【註釋】①廣裕：繁庶。②誅絕：誅滅；滅絕。③明效大驗：很顯著的效驗。

【白話】天下好比一個大的器物，現在人們放置器物，放在安穩處就安穩，放在危險處就危險。治理天下的道理和放置器物沒有什麼差別，就看天子把它放在什麼地方。商湯、周武王把天下放在仁義道德、禮樂教化上，於是恩德廣被，禽獸繁衍，草木茂盛，德行覆蔭子孫幾十世，這是天下人都知道的；秦始皇把天下放置於法令刑罰上，沒有一點恩澤，於是怨恨充滿世間，人們憎恨他如仇敵一般，禍害差一點殃及自身，子孫被誅殺滅絕，這是天下人都看到的。誰對誰錯這就清楚地得到呈現和驗證了啊！

天下はまるで一つの大きな器です。穏やかな所に置けば、それは穏やかになります。危ない所に置けば、それは危なくなります。天下を治める理も、器の設置にあまり違いがなく、天子が天下をどのような所に置けばによって変わります。商湯や周の武王は天下を仁義道德と礼楽教化を重んじる環境に置いたので、その恩恵と徳性は世の中に広く伝わりました。獣たちは大いに繁栄し、草木も大変茂りました。このような徳性と品行はその後何十代の子孫までも伝わっていたことは、天下の人々にも知られています。秦の始皇帝は天下を法令と刑罰に満ちた環境に置いたが、民には少しの恩恵も与えなかったため、世間は怨みに満ち溢れていました。人々は始皇帝のことを仇のように敵視し、禍は彼自身に及ぼしそうになったのみではなく、その子孫までも実際に殺されて滅亡されてしまいました。

これも天下の人々に知られていることです。どちらが正しいかどちらが間違っているのか、これらの事実からはつきりと証明されていましょう！

〔357〕人主能安其民，則民事其主，如事其父母。故主有憂則憂之，有難則死之。人主視民如土，則民不爲用。主有憂則不憂，有難則不死。故曰：「莫樂之，則莫哀之；莫生之，則莫死之。」

（卷三十二 管子）

【白話】君主能使人民生活安定，那麼人民事奉君主，便會如同事奉自己的父母一樣。因此，君主有憂，人民便會爲他分憂；君主有危難，人民便會爲他效死。君主若視人民如同泥土，人民便不會爲他效力。君主有憂，人民不會爲他分憂；君主有危難，也不會爲他效死。所以說：「君主不能使人民安樂，人民就不會爲君王分憂；君主不考慮人民的生存，人民就不會爲君王效死。」

君主が民の生活を安定させられれば、民は自分の父母に仕えるように、君主に仕えます。そのために、君主に憂い事があれば、民はその憂い事を取り除こうとします。君主に危難があれば、民はその危難から君主を守ろうと命をかけます。もし君主が民のことを泥土のように考えているのならば、民は君主のために尽力しません。君主に憂い事があっても、民はその憂い事を取り除こうとしません。君主に危難があっても、民はその危難から君主を守ろうと命をかけません。そのために、「君主が民に安樂な生活を送らせるようにでき

なければ、民は君主の憂い事を取り除こうとしません。君主が民の生存を考慮していないのであれば、民は君主のために命をかけません」

358

臣聞、謙遜^①靜慤^②，天表^③之應^④，應之以福；驕溢靡麗，天表之應，應之以異^⑤。（卷十八 漢書六）

【註釋】①謙遜：謙虛恭謹。②靜慤（*que / ke*）：沉靜樸實。慤：恭謹；樸實。③天表：上天顯示。④應：感應，應驗。⑤異：怪異不祥之事；災異。

【白話】（東方朔勸諫漢武帝說：）我聽說做人謙虛恭謹、沉靜樸實，上天就會感應，應之以福；驕橫自滿、奢侈無度，上天也會感應，應之以怪異現象。

（東方朔は漢の武帝に諫言を進呈して言いました。）恭しくて慎ましく、謙虚かつ沈着に質素な本分を守っていれば、天から感動されて、福を与えられると聞きました。また、傲慢にして贅沢の限りを尽してしまうと、天の怒りを買って、怪奇現象に見舞われます。

359

小人朝爲，而夕求其成；坐施而立望其及^{（及作反）}；行一日之善，而問終身之譽。譽不至則曰，善無益矣，遂疑聖人之言，背先王之教，存其舊術，順其常好。是以身辱名賤，而永爲人役也^{（永作不，免二字）}。（卷四十六 中論）

【白話】小人早晨做事，傍晚就希求事情成功；剛坐下來施行，站起來就指望有回報；做了

一天好事，就希望有終身的榮譽。榮譽沒有得到，就說做好事沒有什麼益處，於是就懷疑聖人的言論，背棄先王的教誨，保留其過去的做法，順從其平素的喜好。因此身辱名賤，難免被他人所役使。

卑しい者は朝、何かをすると、夕方にはもうそのこと成功を望んでいます。ちよつと座つて何かしたただけなのに、立ち上がるとすぐに何か見返りはないかと望んでいます。一日だけいいことをすれば、終身の榮譽を欲します。もし榮譽を得られなかったら、いいことをしても何も利益はないと言つて、聖人の言論を疑い、先王の教えに背いてします。そして昔のやり方に戻り、いつもの好みのままにしてしまいます。そのために、いつまでも卑しい身分と名声で、人に使われる運命から逃れられません。

360

六三①：負且乘，致寇至，貞吝。

處非其位，履非其正，以附於四，用夫柔邪以自媚者也。乘二負四，以容其身。寇來也，自己所致矣，雖幸而免，正之所賤也。

（卷一 周易）

【註釋】

①六三：指解卦的第三爻。六三在九四之下、九二之上，以陰處陽位，代表姦邪小人用諂媚手段攀附九四，又凌駕於九二君子之上。

【白話】

解卦的第三爻：小人身負重物而乘車，必招致盜寇前來，正是眾人鄙視的。（背負東西，本是小人之事；乘的車子，本是君子治國、平和天下乘坐的器具，如今小人竊乘君子的器具，必無能匡濟，大盜必競相來搶奪了。）

解卦の中の第三の爻とは、卑しい者が重い物を持って馬車に乗っていると、必ず盜賊の

来襲を招いてしまうという意味があるが、これこそ、人々が最も見下していることです。
（物を背負うのは、元から卑しい者の仕事です。馬車とは、元から君子が国を治めて、天下を平和にするための乗り物です。しかしながら、今や卑しい者は君子の乗り物を盗み取っています。君子ほどの品性と才能がないのに、その地位を占拠していると、大きな盗賊たちは必ず奪い取りにやってきました。）

著作権について

本書はクリエイティブ・コモンズの台湾バージョン3.0「氏名表示、非営利性、添削の禁止」条文を採用しています。この原則の下で販売することを禁止しますが、ご縁の有る方には贈呈しております。

本書の増刷にご興味の有る方は、本会の規定された方法で引用の出所を明示した上で、流通及び頒布することを歓迎いたします。ただし、販売・転売など一切の商業行為及び内容に関する添削はお断りします。

出版のご協力者及び愛読者
ご縁のある皆様方への回向のメッセージ

この功德で

現世の業果を消せることを願う。

諸々の福と智慧を増やし

善の根が育つように円熟したい。

全ての刀剣怪我

飢饉等々の災厄

皆悉く消滅してくれたまえ。

人は皆それぞれに礼儀と譲れあいの精神を習い

この本を受け貰う者のために読経するべし。

この本に触れるご縁に恵まれた者

現世の家族は安樂でいられ

先に亡くなった者は成仏できる。

風雨は常に風ぎ

人々は悉く安らかである。

法界普く良識を有し

共に無上の仏道を証明しよう。



<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/tw/>

This book is for free distribution. It is not for sale. Printed in Taiwan.

群書治要 三六〇 第三冊

編訳者 マレーシア中華文化教育センター

翻訳者 台湾 NGO 法人西有学会

表紙デザイン 台湾紳格室内設計会社

発行者 台湾 NGO 法人西有学会

地 址 台湾台中市西屯区台湾大道二段 910 号 8F-7

電話番号 + 886-4-23126366

ファックス番号 + 886-4-23125600

Email: amt@seiyuu.org.tw

www.seiyuu.org.tw

◎ 本書は「縁の方に無料で贈呈いたします。販売・転売などの商業行為は一切お断りします。」

◎ 増刷は歓迎いたします（内容の添削はご容赦くださいますよう、よろしく願っています）。本書を広め流通させることは、皆様の無量の功德となりましよう。

西元二〇一七年九月 二版

群書治要

三六〇



発行者 台湾NGO法人西有学会